

北上市
介護保険事業に関する実態調査
(介護予防・日常生活圏域二一ズ調査及び
第2号被保険者調査、在宅介護実態調査)

一調査結果報告書一

令和8年3月 北上市

<目 次>

I	調査概要	1
II	調査結果（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）	3
1	対象者の属性	3
2	対象者の家族や生活状況について	6
3	からだを動かすことについて	13
4	食べることについて	20
5	毎日の生活について	26
6	地域での活動について	32
7	就労について	40
8	たすけあいについて	43
9	健康について	48
10	認知症について	57
11	北上市の高齢者施策について	68
12	成年後見制度の認識について	80
13	北上市の独自の施策について	82
14	各種リスクを有する割合	89
III	調査結果（第2号被保険者調査）	98
1	調査票の回答者について	98
2	対象者及び家族や生活状況について	99
3	北上市の福祉施策について	103
4	介護予防について	108
5	日常生活や健康状態について	111
6	生きがいや社会参加について	118
7	今後の意向について	123
8	地域とのかかわりについて	136
9	健康について	139
10	認知症について	143
11	成年後見制度の認識について	152
12	北上市の独自の施策について	154
IV	調査結果（在宅介護実態調査）	158
1	調査票の回答者について	158
2	対象者について	159
3	主な介護者について	167

V	調査結果からみえる課題	171
1	介護予防・重度化防止の推進	171
2	1人暮らし高齢者への支援	174
3	健康づくりの推進	176
4	認知症施策の充実	178
5	在宅生活の継続と介護者への支援	181
6	圏域別の状況	185
VI	参考資料	189
1	調査票（介護予防・日常生活圏域二一ズ調査）	189
2	調査票（第2号被保険者調査）	199
3	調査票（在宅介護実態調査）	209

I 調査概要

1 調査の目的

令和9年度から令和11年度までを計画期間とする第11次北上市高齢者福祉計画・第10期北上市介護保険事業計画の策定に向けた準備として、北上市を取り巻く現状、日常生活圏域別の高齢者の生活実態及び高齢者の自立生活を阻む課題を把握するための基礎データの収集・分析を目的として実施しました。

2 調査対象

- 介護予防・日常生活圏域二ーズ調査：市内にお住まい（令和7年8月1日現在）の65歳以上（第1号被保険者）で、「要介護認定を受けていない方」、または、「要支援1・2認定を受けている方」の中から無作為抽出した方
- 第2号被保険者調査：市内にお住まい（令和7年8月1日現在）の40歳から64歳までの医療保険加入者（第2号被保険者）の中から無作為抽出した方
- 在宅介護実態調査：市内にお住まい（令和7年8月1日現在）の「要介護1～要介護5認定を受けて在宅で生活をしている方」の中から無作為抽出した方

3 調査期間

令和7年10月15日（水）～令和7年11月20日（木）

※集計には、令和7年12月1日（月）までの回収票を有効としました

4 調査方法

郵送配布・郵送回収方式

回収についてはウェブによる回答方式を併用

※在宅介護実態調査については、認定調査員の聴取により実施

5 回収状況

調査種別	配布数①	総回答数	有効回答数②	有効回答率 ②/①
介護予防・日常生活圏域二ーズ調査	4,000	2,722	2,721	68.0%
第2号被保険者調査	1,000	506	506	50.6%
在宅介護実態調査	352	352	352	100.0%

6 調査結果の見方

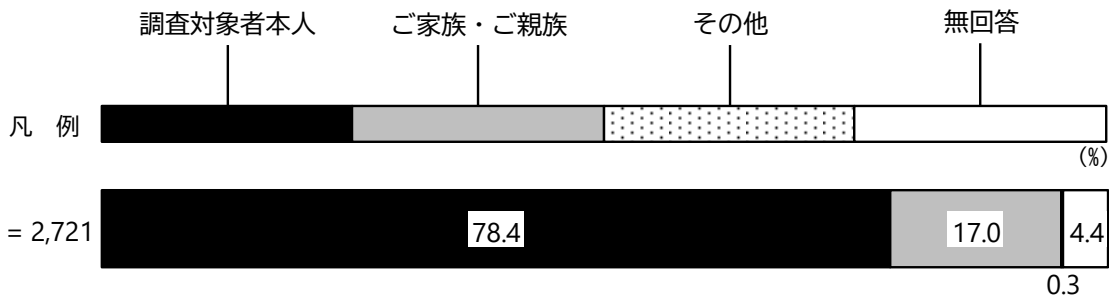
- n (number of cases) は回答割合算出における基数であり、100.0%が何人の回答に相当するかを表しています。
- 回答割合は百分率で表し、小数点第2位を四捨五入して算出しています。したがって、単一回答式の質問においては、回答割合を合計しても100.0%にならない場合があります。また、複数回答式の質問においては、各設問の調査数を基数として算出するため、全ての選択肢の割合を合計すると100.0%を超える場合があります。
- 回答が皆無（0件）であった選択肢の回答割合は、図表中では「-」と表記しています。なお、一部、視認性を考慮して「-」を非掲載としている場合があります。
- 調査数（n）が少数のものは、回答割合の信頼性が低いため、コメントを省略している場合があります。
- 図表及びコメントで、選択肢の語句等を一部簡略化等している場合があります。

Ⅱ 調査結果（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

1 対象者の属性

1-1 調査票の回答者

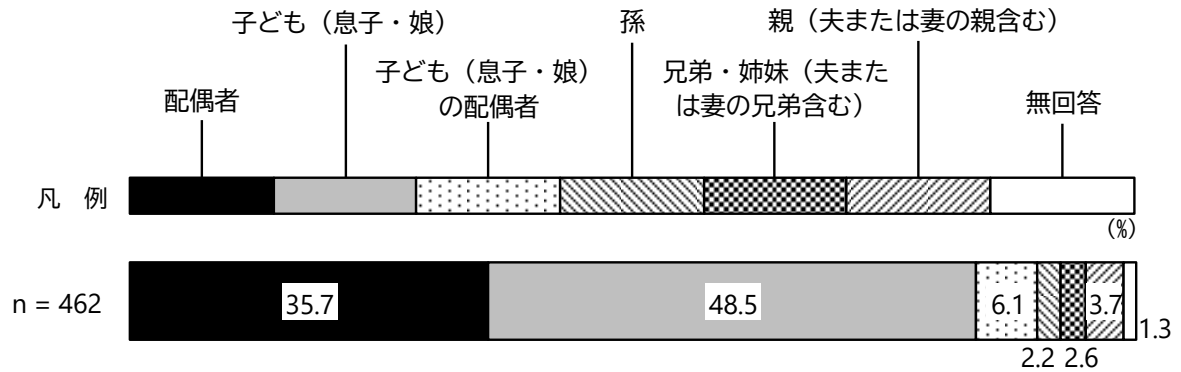
現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか（○は1つ）



1-2 回答者の続柄

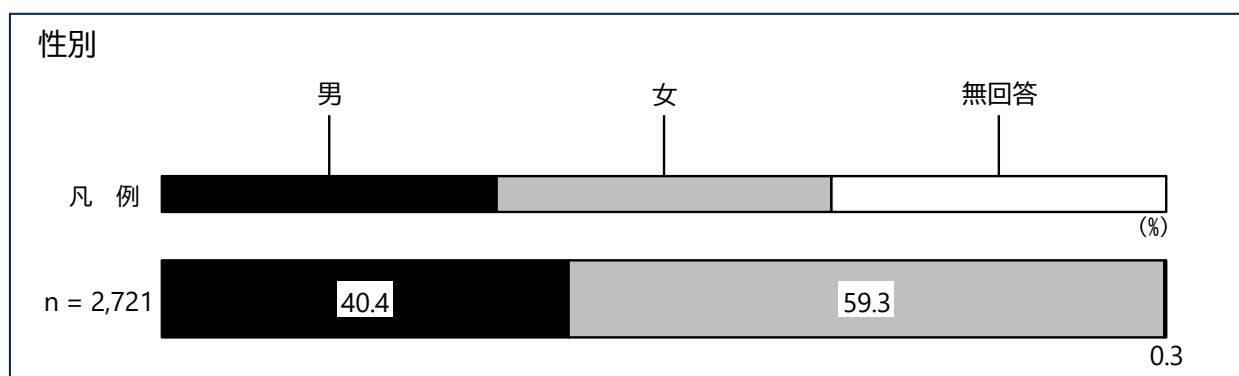
【「ご家族・ご親族」に○をつけた方にうかがいます】

あて名のご本人からみた続柄に○をつけてください（○は1つ）

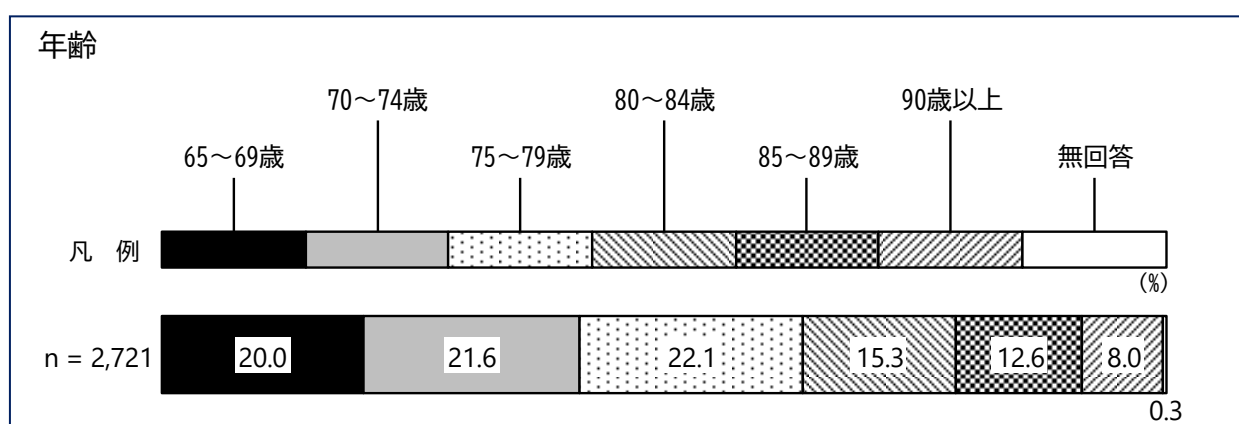


II 調査結果（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

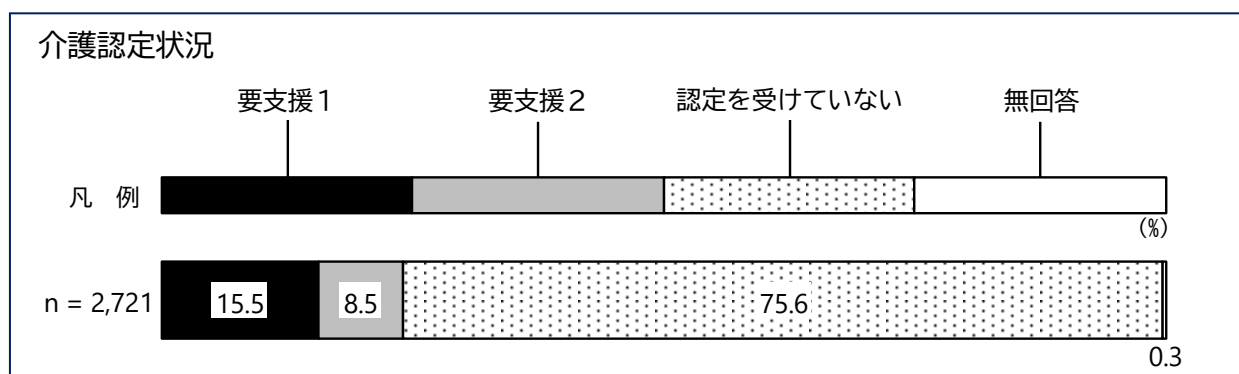
1-3 対象者の性別



1-4 対象者の年齢



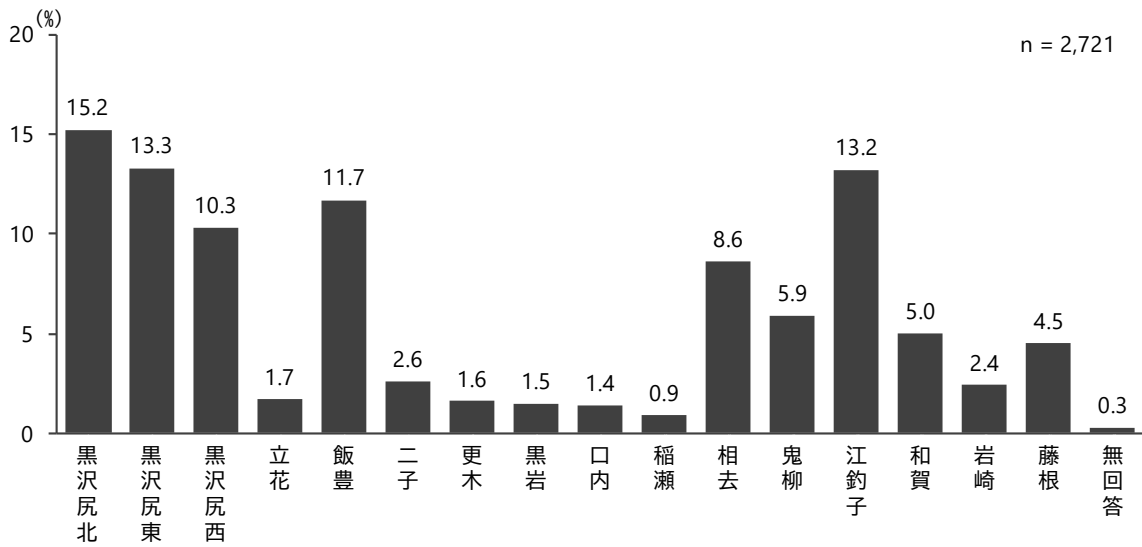
1-5 介護認定の状況



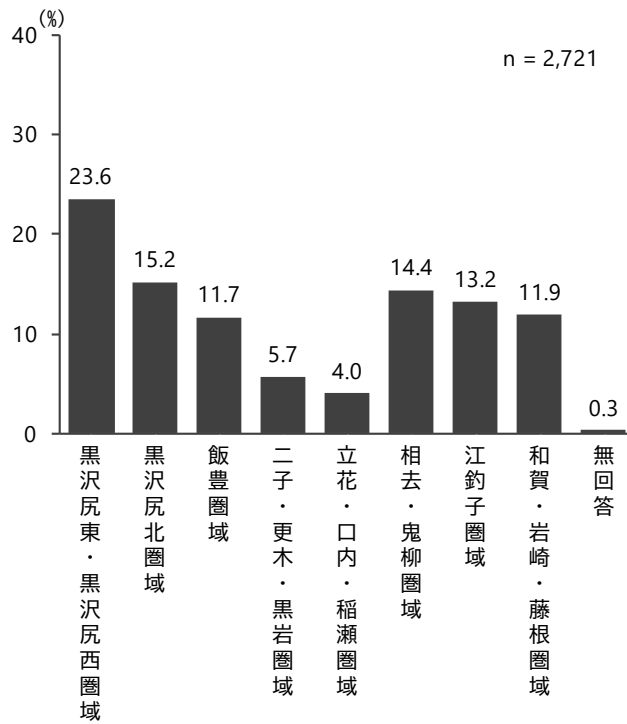
※以降の認定状況別の集計については、「認定を受けていない」方を『一般高齢者』とし、「要支援1」と「要支援2」の方は合わせて『要支援認定者』として、集計を行っています。

1-6 居住地区・日常生活圏域

居住地区



日常生活圏域

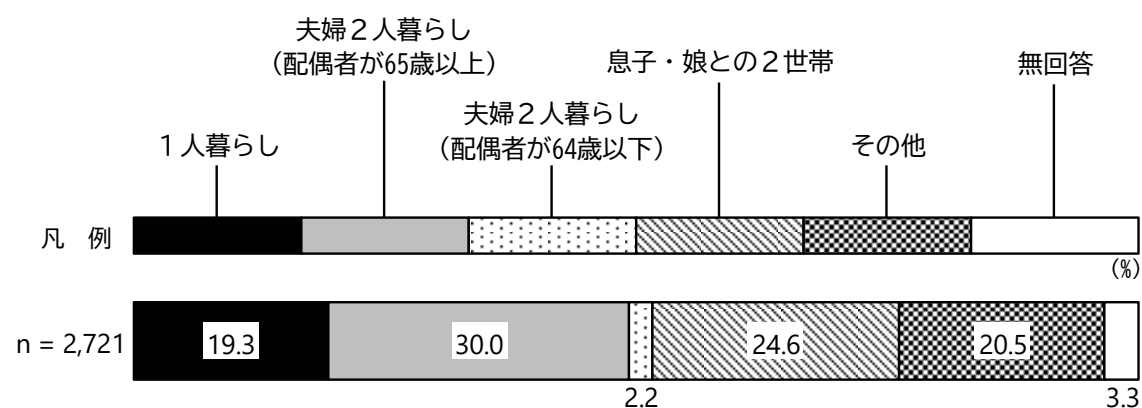


2 対象者の家族や生活状況について

2-1 家族構成

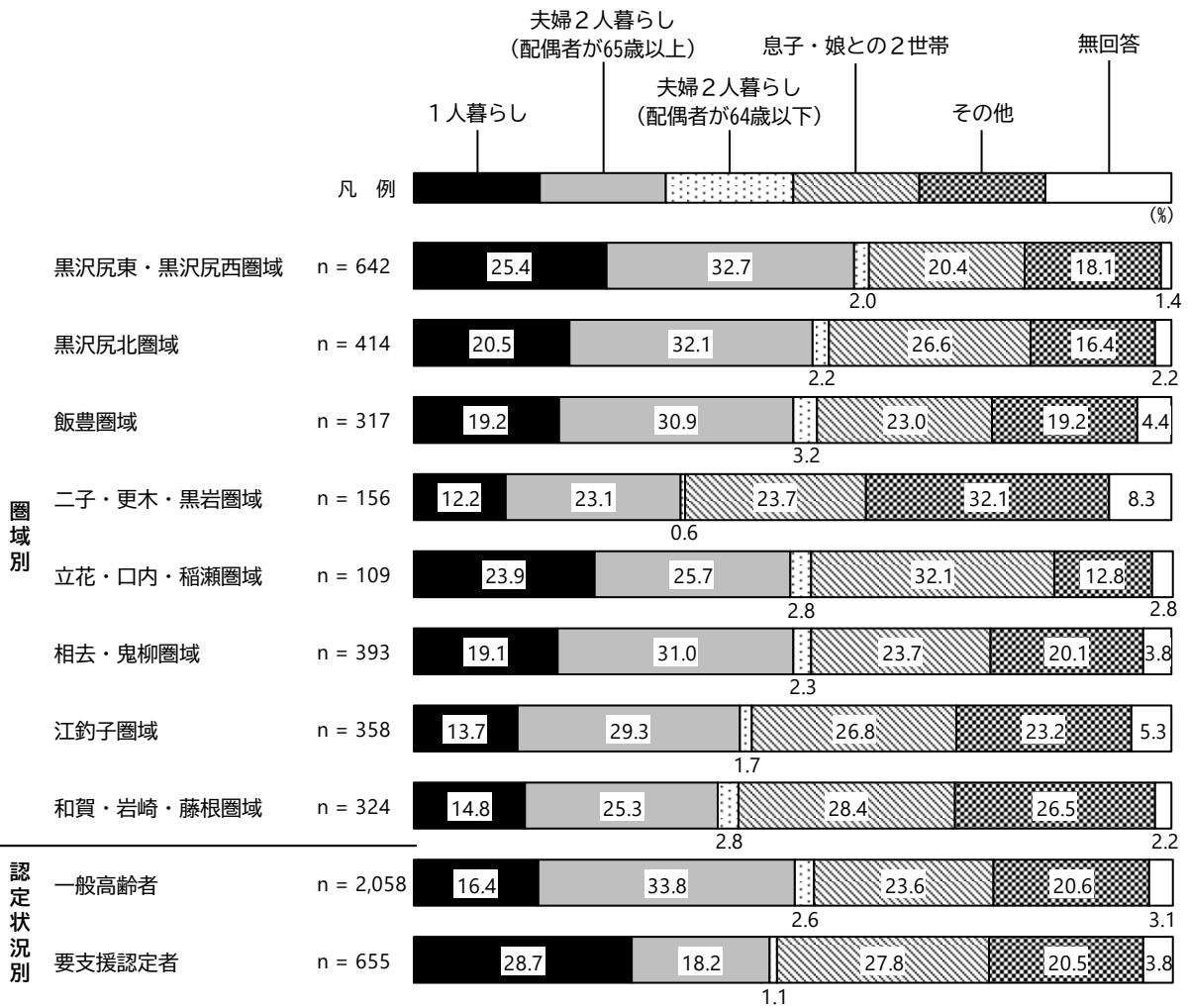
- ▶ 家族構成については、「夫婦2人暮らし（配偶者が65歳以上）」が30.0%と最も高く、次いで「息子・娘との2世帯」（24.6%）、「1人暮らし」（19.3%）となっています。
- ▶ 圏域別でみると、黒沢尻東・黒沢尻西圏域、黒沢尻北圏域、立花・口内・稲瀬圏域で「1人暮らし」が2割以上と他の圏域と比べて高くなっています。
- ▶ 認定状況別でみると、要支援認定者では「夫婦2人暮らし（配偶者が65歳以上）」が18.2%と一般高齢者と比べ15ポイント以上低くなっています。

問1（1）家族構成を教えてください（○は1つ）



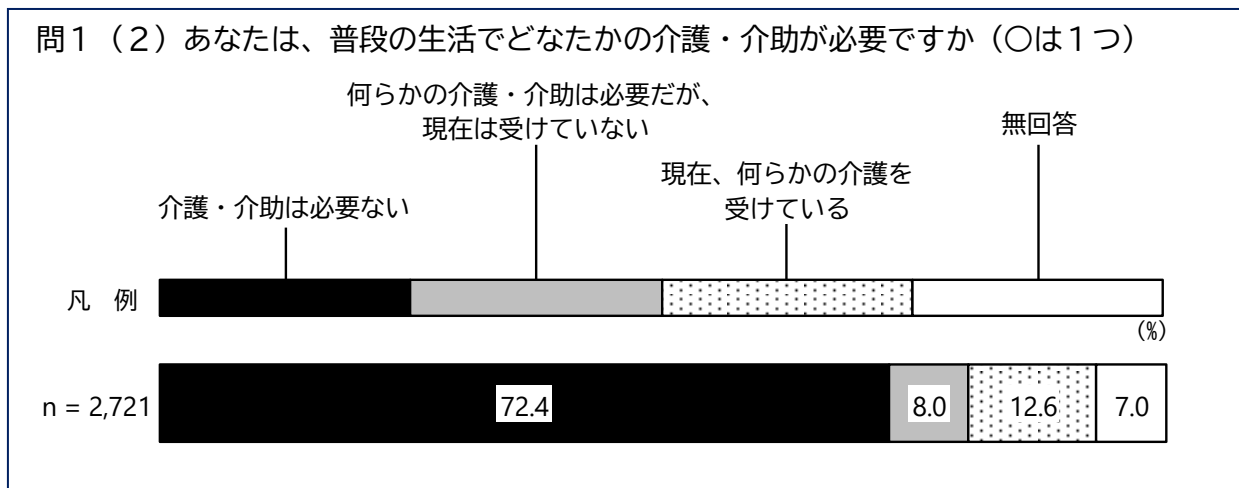
Ⅱ 調査結果（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

【圏域別・認定状況別／家族構成】



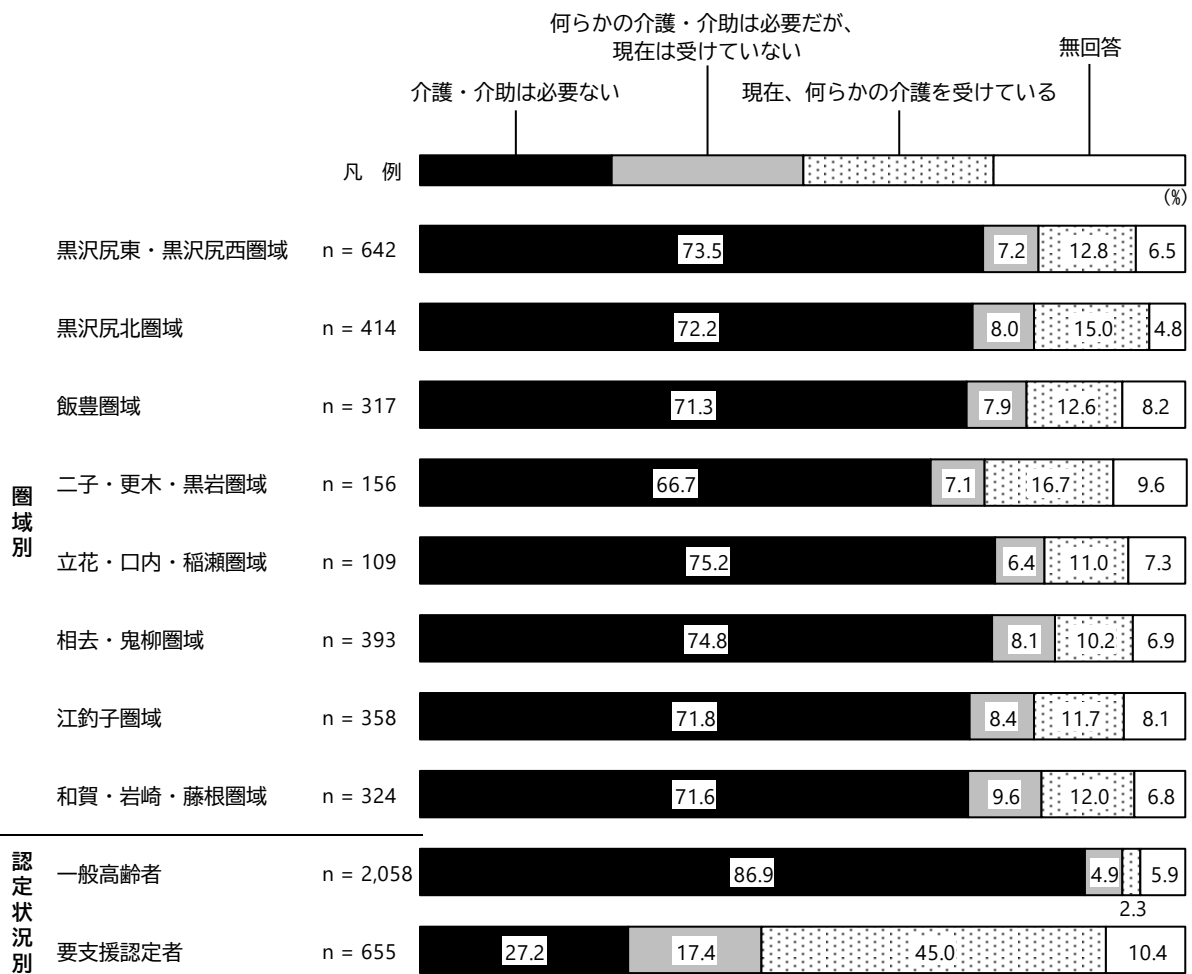
2-2 介護・介助の必要性

- ▶ 介護・介助の必要性については、「介護・介助は必要ない」が72.4%と最も高く、次いで「現在、何らかの介護を受けている」(12.6%)、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」(8.0%)となっています。
- ▶ 圏域別でみると、二子・更木・黒岩圏域では「介護・介助は必要ない」が66.7%と他の圏域と比べて低くなっています。
- ▶ 認定状況別でみると、要支援認定者では「介護・介助は必要ない」が27.2%と一般高齢者と比べ55ポイント以上低くなっています。



II 調査結果（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

【圏域別・認定状況別／介護・介助の必要性】



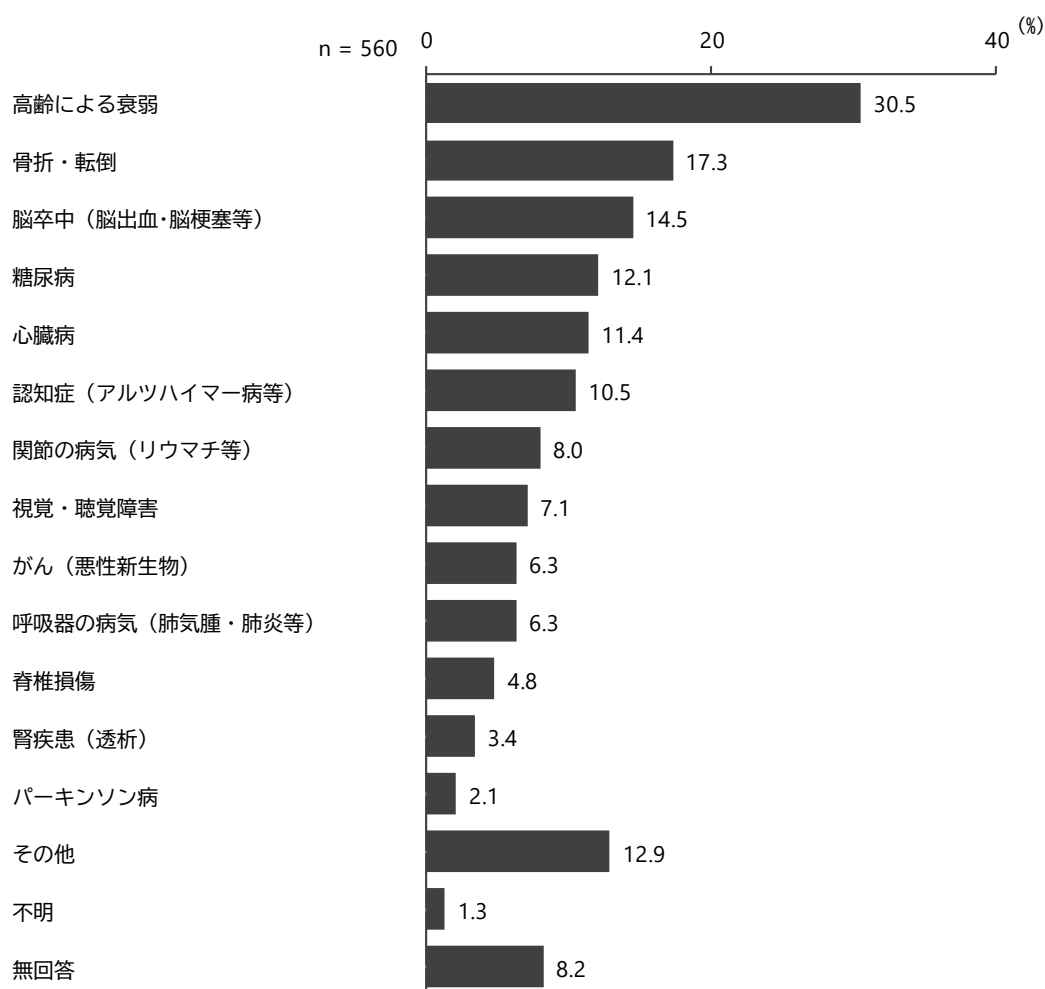
II 調査結果（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

2-3 介護・介助の原因

- ▶ 介護・介助の原因については、「高齢による衰弱」が30.5%と最も高く、次いで「骨折・転倒」（17.3%）、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」（14.5%）となっています。

【問1（2）で「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」「現在、何らかの介護を受けている」を選択した方のみお答えください】

問1（2）① 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか（〇はいくつでも）

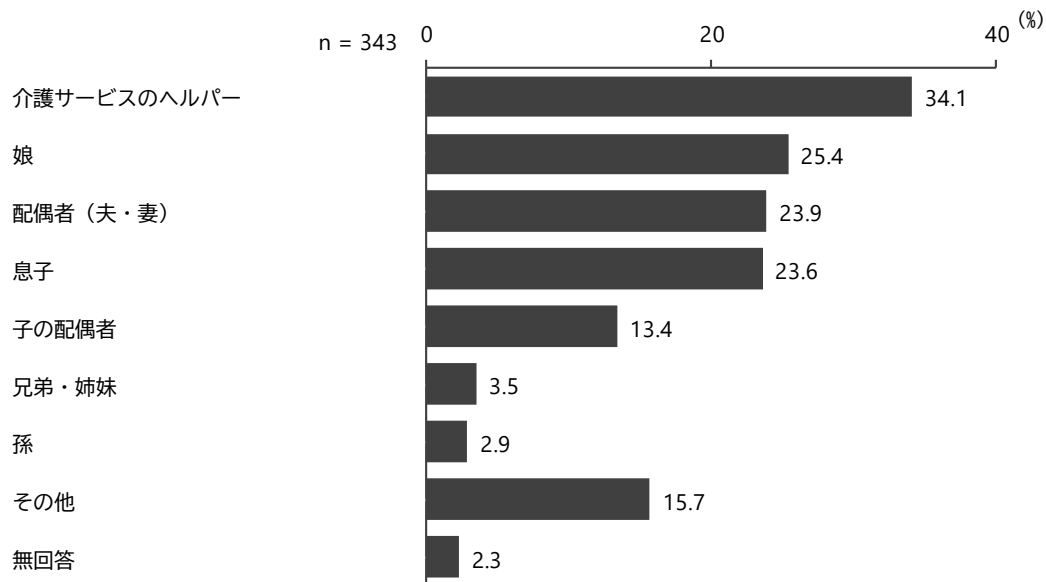


2-4 主な介護者

- ▶ 主な介護者については、「介護サービスのヘルパー」が34.1%と最も高く、次いで「娘」（25.4%）、「配偶者（夫・妻）」（23.9%）となっています。

【問1（2）で「現在、何らかの介護を受けている」を選択した方のみお答えください】

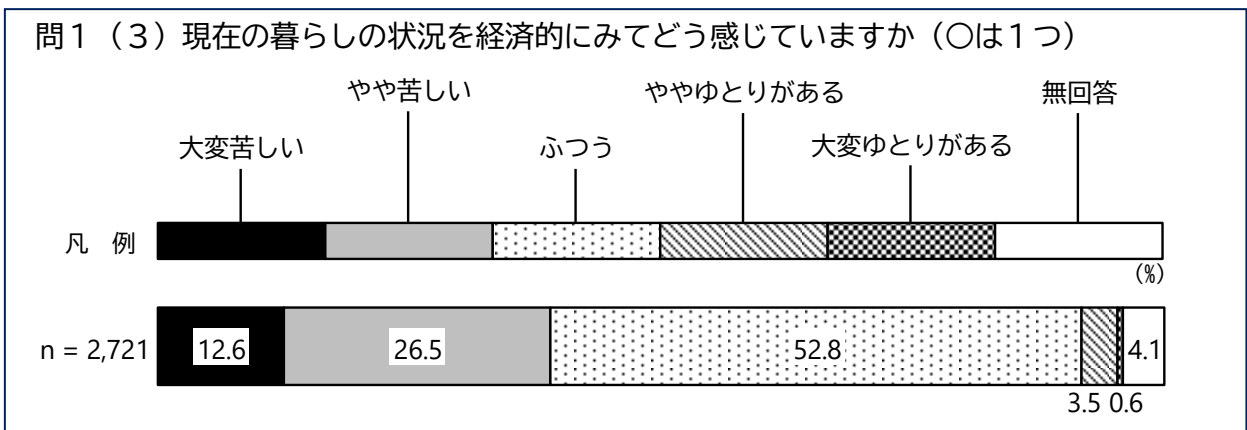
問1（2）② 主にどなたの介護、介助を受けていますか（〇はいくつでも）



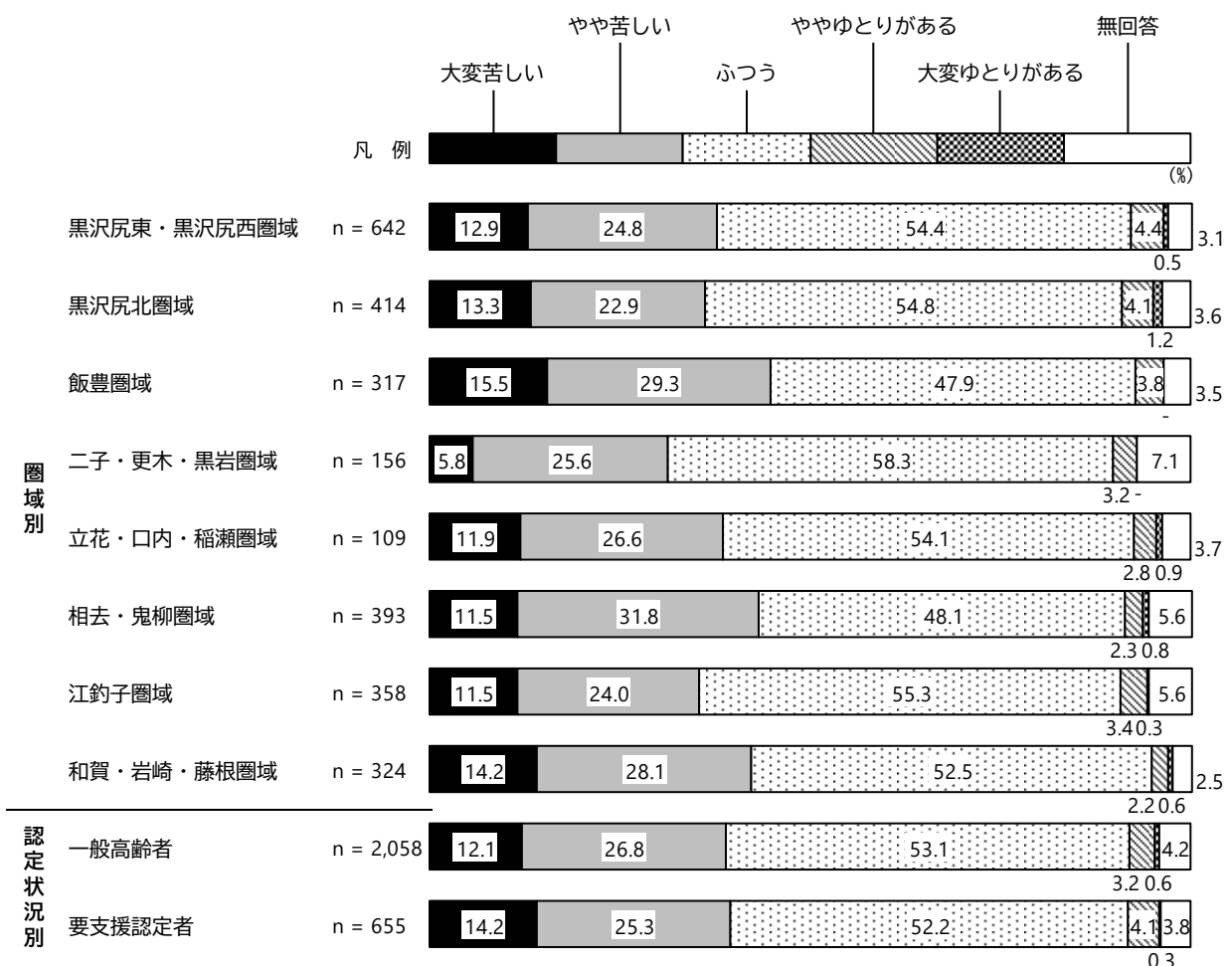
II 調査結果（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

2-5 現在の経済状況

- ▶ 現在の経済状況については、「ふつう」が 52.8%と最も高く、次いで「やや苦しい」（26.5%）、「大変苦しい」（12.6%）となっています。
- ▶ 圏域別でみると、飯豊圏域、相去・鬼柳圏域、和賀・岩崎・藤根圏域では「大変苦しい」と「やや苦しい」を合わせた《苦しい》が4割以上と他の圏域と比べて高くなっています。
- ▶ 認定状況別でみると、要支援認定者と一般高齢者では概ね同様の傾向となっています。



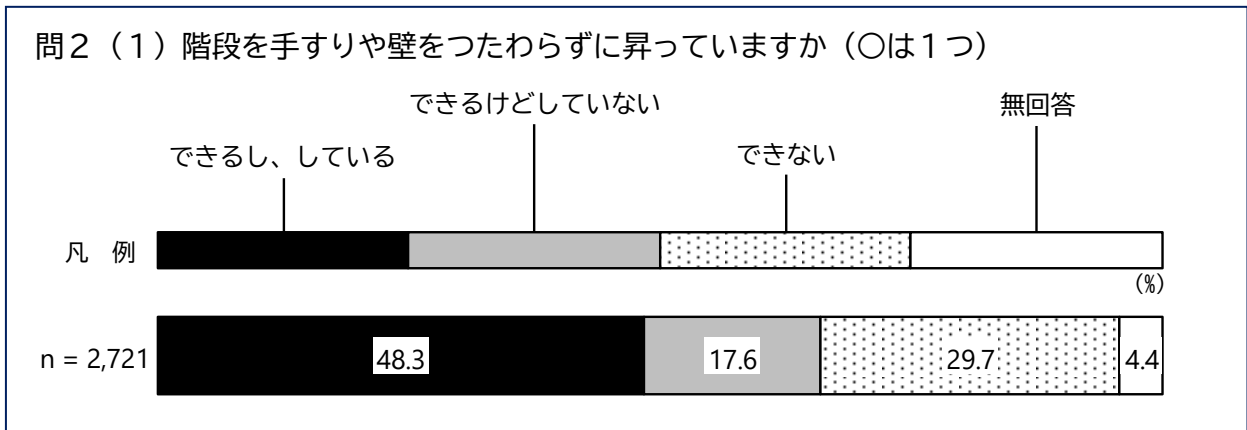
【圏域別・認定状況別／現在の経済状況】



3 からだを動かすことについて

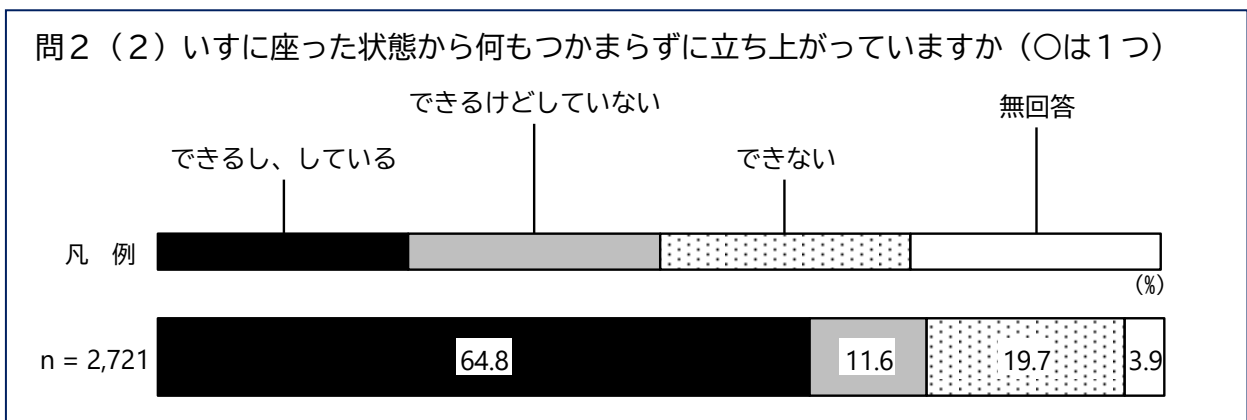
3-1 階段を手すりや壁をつたわずに昇れるか

- ▶ 階段を手すりや壁をつたわずに昇れるかについては、「できるし、している」が48.3%と最も高く、次いで「できない」(29.7%)、「できるけどしていない」(17.6%)となっています。



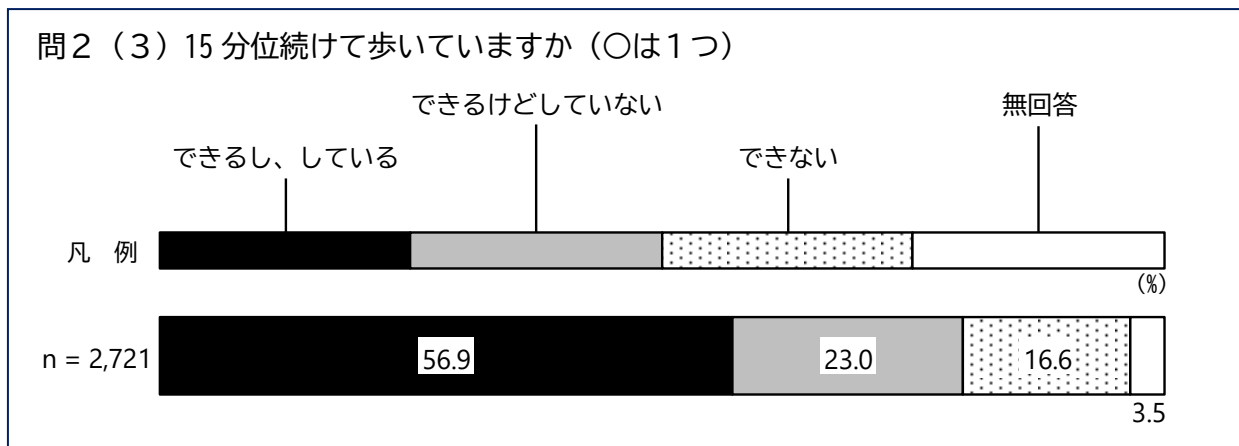
3-2 いすに座った状態から何もつかまらずに立ち上がれるか

- ▶ いすに座った状態から何もつかまらずに立ち上がれるかについては、「できるし、している」が64.8%と最も高く、次いで「できない」(19.7%)、「できるけどしていない」(11.6%)となっています。



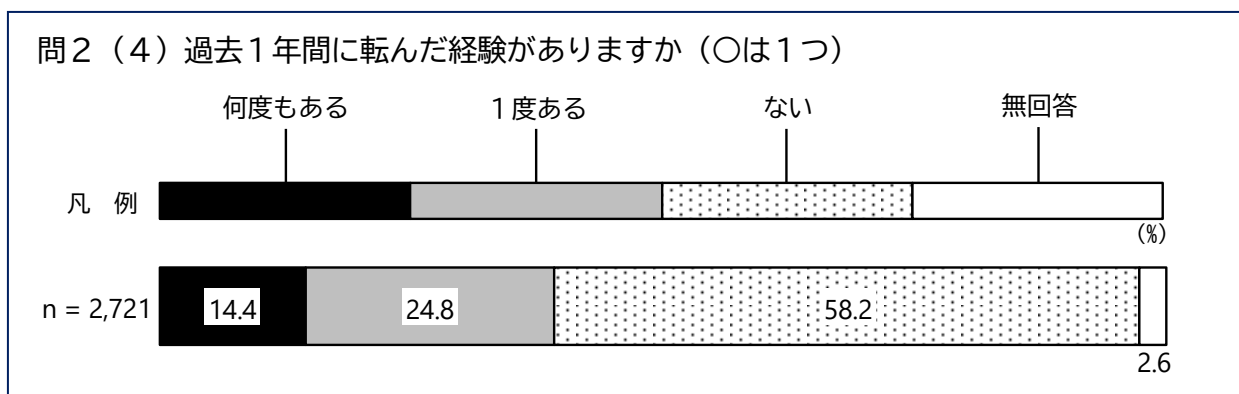
3-3 15分続けて歩けるか

- ▶ 15分続けて歩けるかについては、「できるし、している」が56.9%と最も高く、次いで「できるけどしていない」(23.0%)、「できない」(16.6%)となっています。



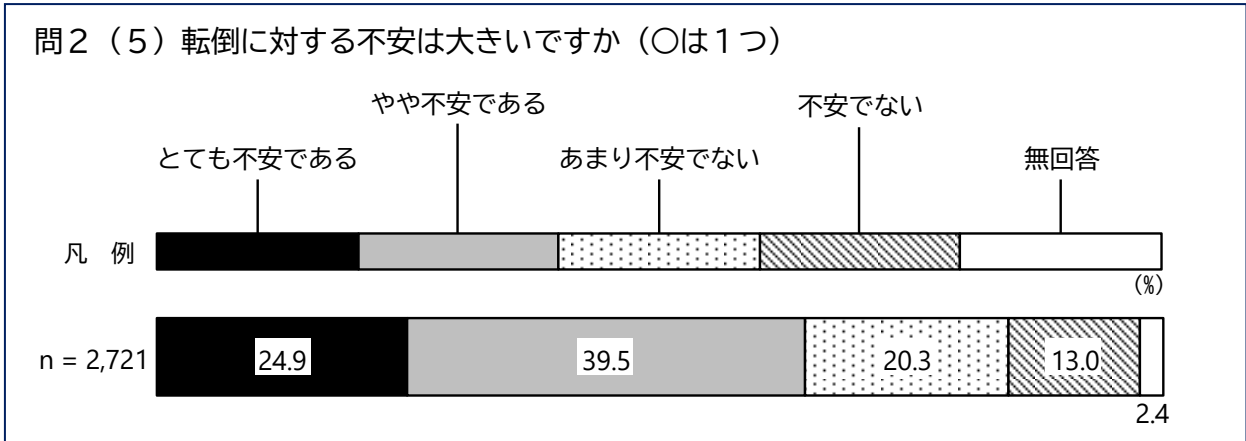
3-4 過去1年間の転倒の有無

- ▶ 過去1年間の転倒の有無については、「ない」が58.2%と最も高く、次いで「1度ある」(24.8%)、「何度もある」(14.4%)となっています。



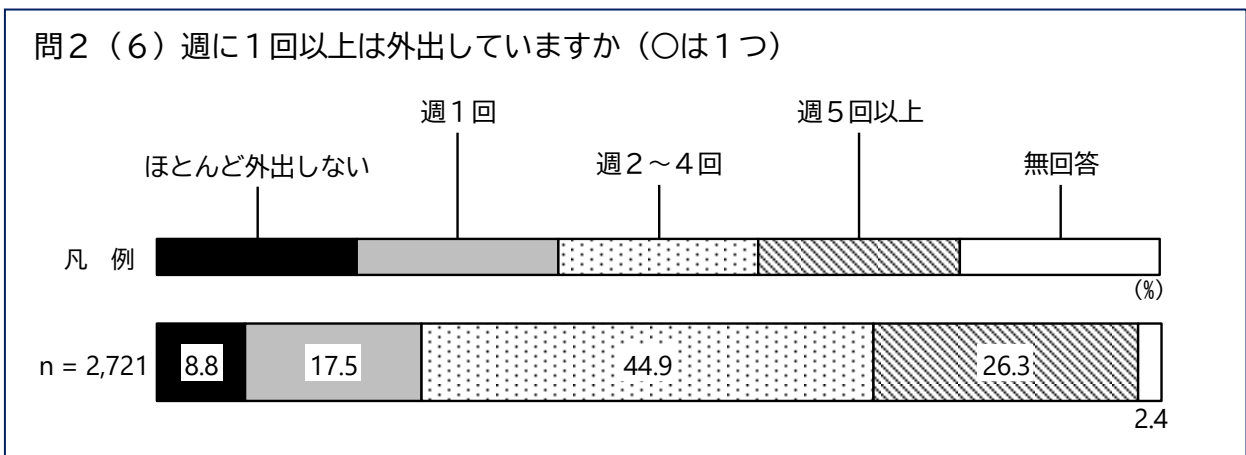
3-5 転倒に対する不安の有無

- ▶ 転倒に対する不安の有無については、「やや不安である」が39.5%と最も高く、次いで「とても不安である」(24.9%)、「あまり不安でない」(20.3%)となっています。



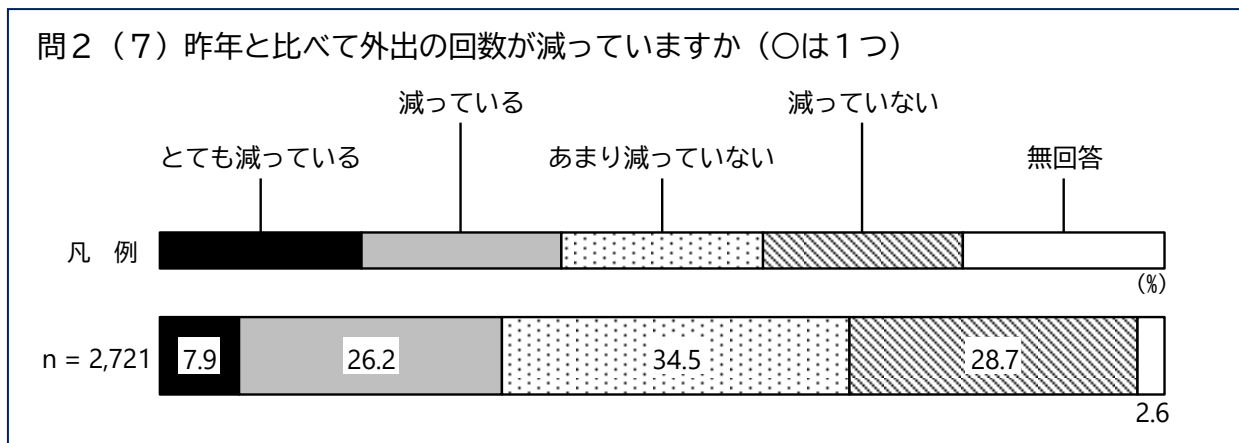
3-6 週に1回以上の外出の有無

- ▶ 週に1回以上の外出の有無については、「週2～4回」が44.9%と最も高く、次いで「週5回以上」(26.3%)、「週1回」(17.5%)となっています。



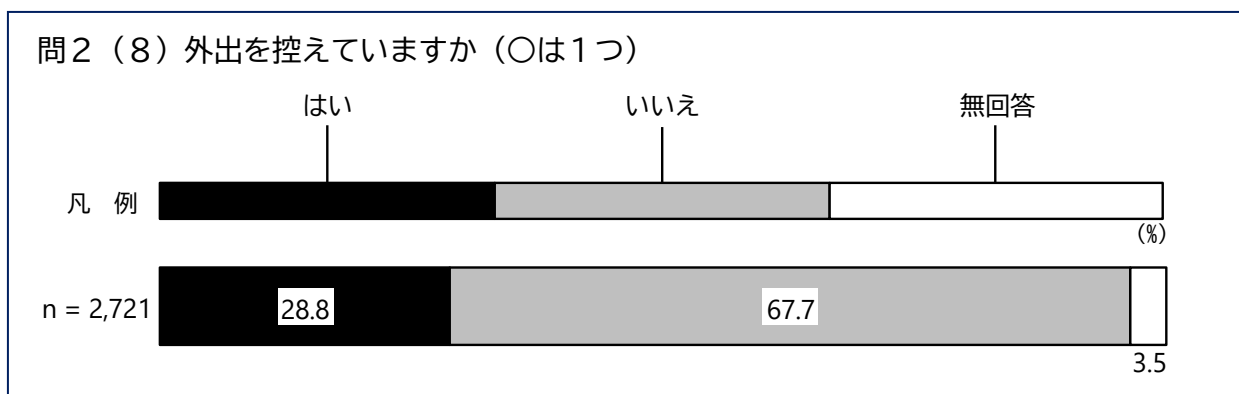
3-7 外出頻度の変化

- ▶ 外出頻度の変化については、「あまり減っていない」が34.5%と最も高く、次いで「減っていない」(28.7%)、「減っている」(26.2%)となっています。



3-8 外出を控えているか

- ▶ 外出を控えているかについては、「いいえ」が67.7%、「はい」が28.8%となっています。

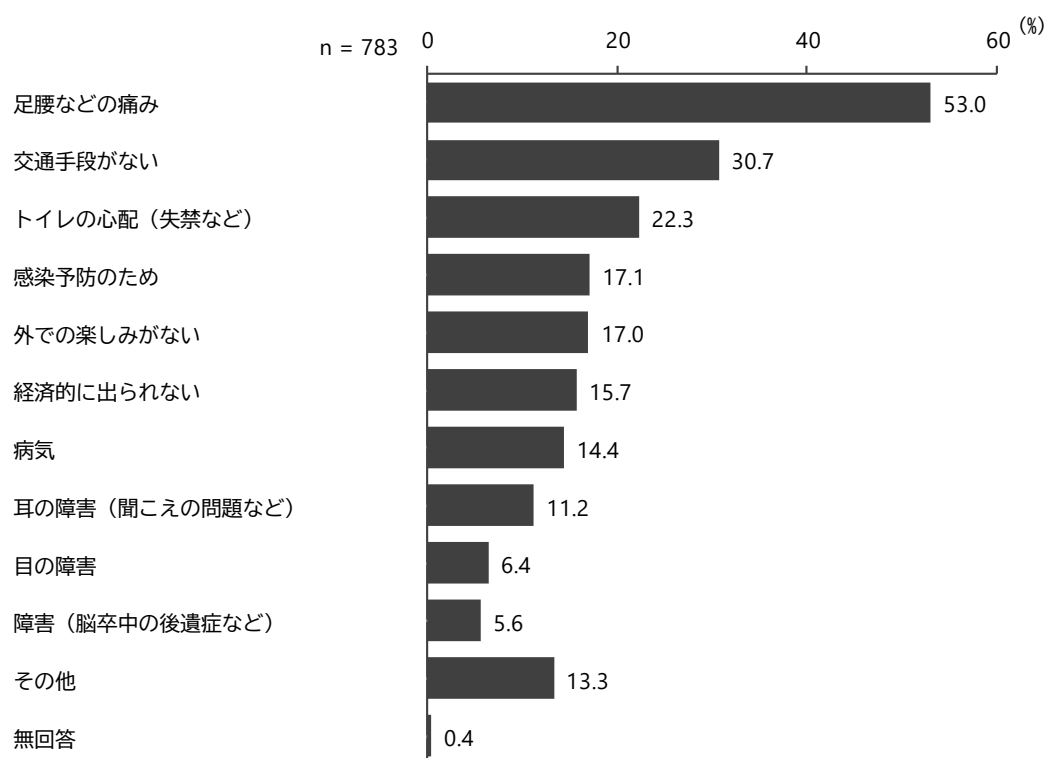


3-9 外出を控える理由

- ▶ 外出を控える理由については、「足腰などの痛み」が53.0%と最も高く、次いで「交通手段がない」(30.7%)、「トイレの心配（失禁など）」(22.3%)となっています。

【問2（8）で「はい」（外出を控えている）を選択した方のみお答えください】

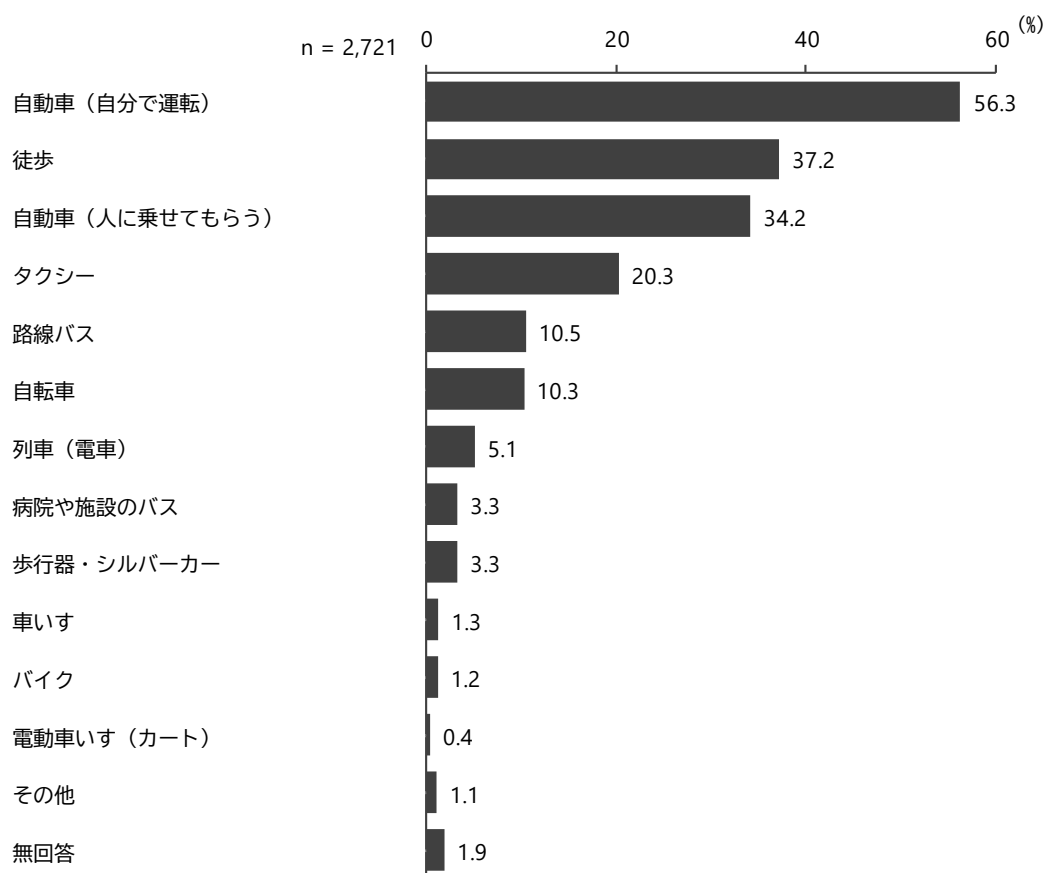
問2（8）① 外出を控えている理由は、次のどれですか（○はいくつでも）



3-10 外出時の移動手段

- ▶ 外出時の移動手段については、「自動車（自分で運転）」が 56.3%と最も高く、次いで「徒歩」（37.2%）、「自動車（人に乗せてもらう）」（34.2%）となっています。
- ▶ 圏域別でみると、黒沢尻東・黒沢尻西圏域では「徒歩」が 56.1%と他の圏域と比べて高くなっています。
- ▶ 認定状況別でみると、要支援認定者では「タクシー」が 43.8%と一般高齢者と比べ 30ポイント以上高くなっています。

問2（9）外出する際の移動手段は何ですか（○はいくつでも）



Ⅱ 調査結果（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

【圏域別・認定状況別／外出時の移動手段】

		n	徒歩	自転車	バイク	自動車 (自分で運転)	自動車 (人に乗せてもらう)	列車 (電車)	路線バス	病院や施設のバス	車いす	電動車いす (カート)	歩行器・シルバーカー	タクシー	その他	無回答
圏域別	黒沢尻東・黒沢尻西圏域	642	56.1	15.7	1.2	47.5	34.3	8.3	9.8	2.6	0.6	0.5	3.1	27.7	0.8	1.6
	黒沢尻北圏域	414	43.7	9.4	0.7	52.9	36.5	4.8	10.6	2.9	1.2	-	4.8	25.4	1.9	1.2
	飯豊圏域	317	28.1	7.6	1.3	56.5	35.6	6.3	13.6	3.8	2.8	1.3	2.8	20.8	0.9	1.3
	二子・更木・黒岩圏域	156	23.7	12.8	0.6	55.8	36.5	2.6	3.8	1.9	2.6	1.3	5.8	12.8	1.9	4.5
	立花・口内・稲瀬圏域	109	31.2	7.3	1.8	67.0	28.4	1.8	11.9	5.5	-	-	2.8	16.5	-	2.8
	相去・鬼柳圏域	393	31.8	8.7	1.5	61.6	30.3	3.8	12.7	2.8	0.8	-	2.0	16.5	1.3	3.3
	江釣子圏域	358	30.7	9.8	1.4	59.5	36.9	2.8	10.1	3.6	0.8	0.6	3.4	16.8	0.8	2.2
	和賀・岩崎・藤根圏域	324	23.5	5.9	1.2	64.5	32.4	4.6	9.6	5.2	2.2	-	2.5	12.7	1.2	0.6
状況別	一般高齢者	2,058	39.4	12.3	1.6	69.3	26.0	6.0	9.7	0.6	0.6	0.0	0.6	12.9	0.5	2.1
	要支援認定者	655	30.7	4.0	0.2	15.4	59.8	2.3	13.1	11.9	3.5	1.5	11.6	43.8	3.2	1.4

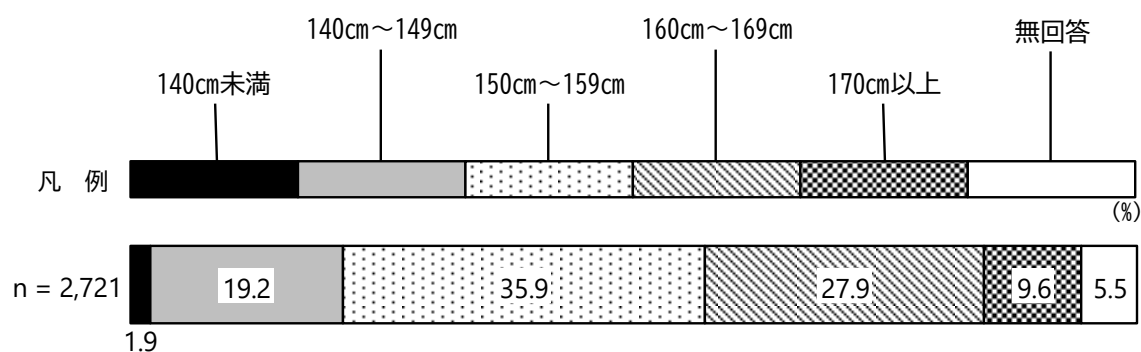
4 食べることについて

4-1 身長・体重

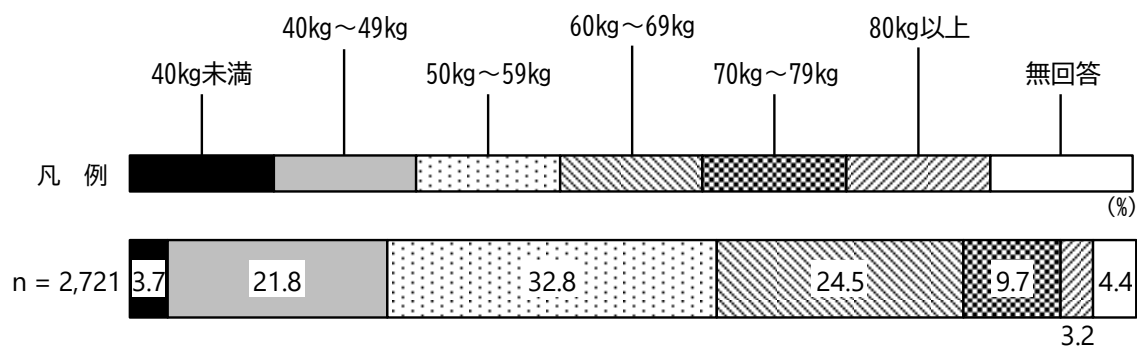
- ▶ 身長については、「150 cm～159 cm」が 35.9%と最も高く、次いで「160 cm～169 cm」（27.9%）、「140 cm～149 cm」（19.2%）となっています。
- ▶ 体重については、「50 kg～59 kg」が 32.8%と最も高く、次いで「60 kg～69 kg」（24.5%）、「40 kg～49 kg」（21.8%）となっています。

問3（1）身長・体重を教えてください（数字を記入 小数点以下は不要です）

身長

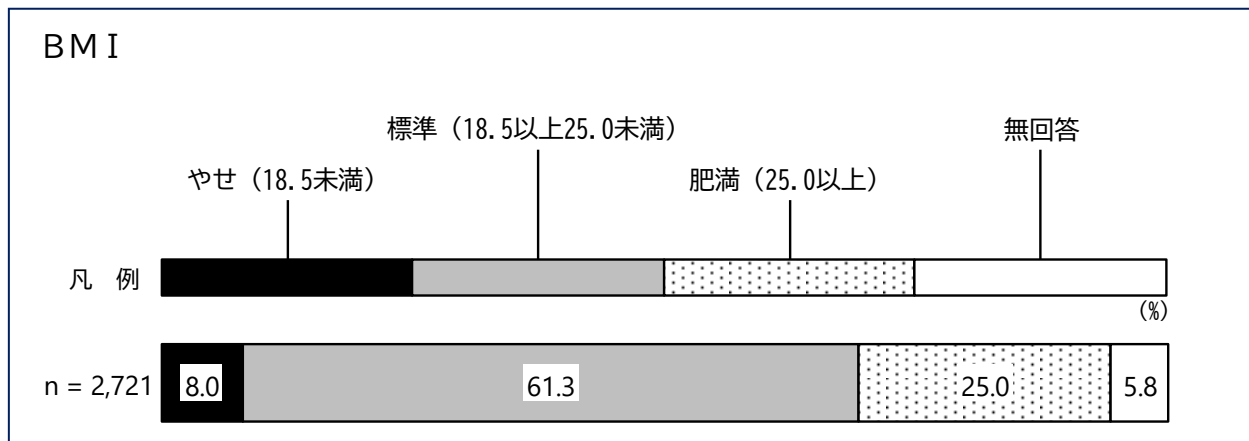


体重

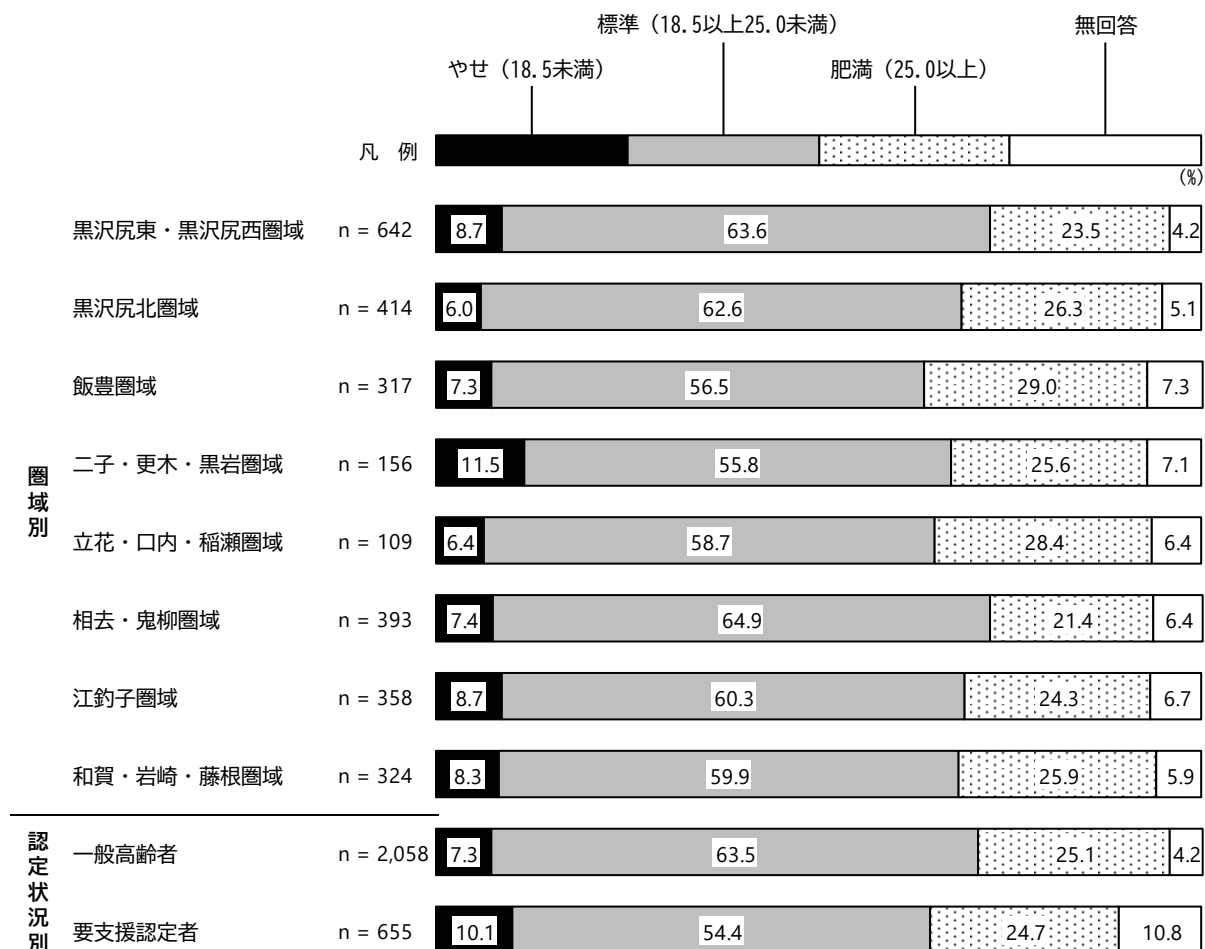


4-2 BMI

- ▶ BMIについては、「標準（18.5以上25.0未満）」が61.3%と最も高く、次いで「肥満（25.0以上）」（25.0%）、「やせ（18.5未満）」（8.0%）となっています。
- ▶ 圏域別でみると、相去・鬼柳圏域では「肥満（25.0以上）」が21.4%と他の圏域と比べて低くなっています。
- ▶ 認定状況別でみると、要支援認定者では「標準（18.5以上25.0未満）」が54.4%と一般高齢者と比べて低くなっています。

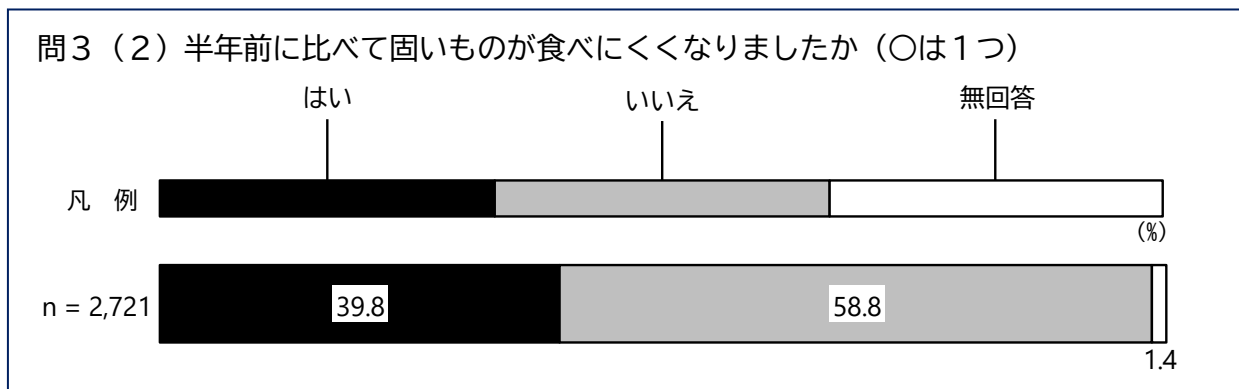


【圏域別・認定状況別／BMI】



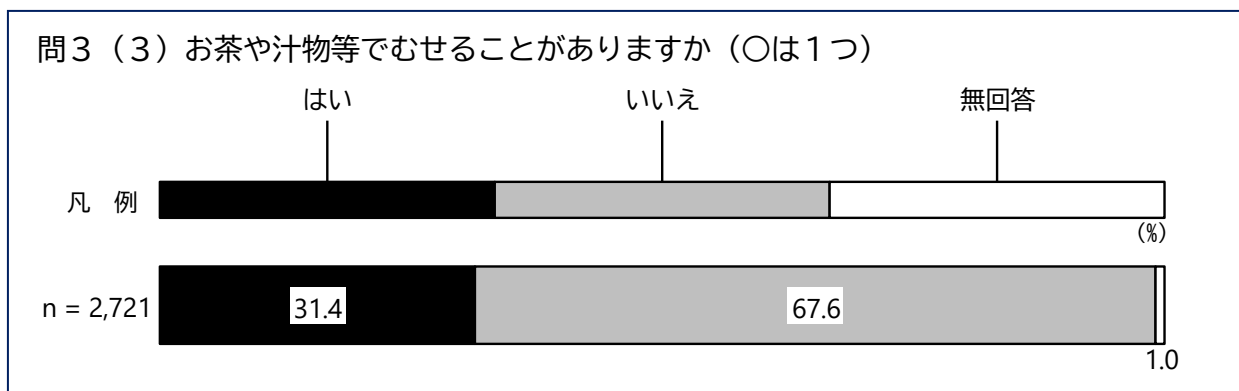
4-3 半年前に比べ固いものが食べにくくなったか

- ▶ 半年前に比べ固いものが食べにくくなったかについては、「いいえ」が58.8%、「はい」が39.8%となっています。



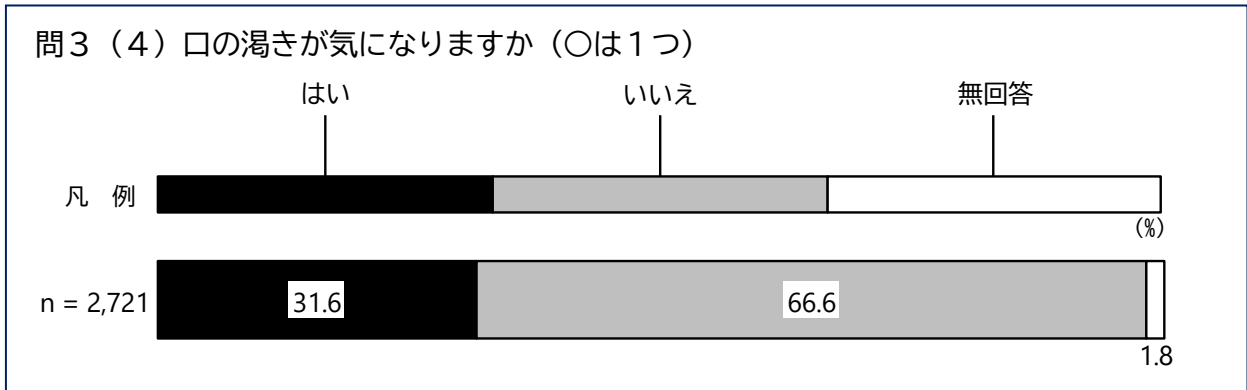
4-4 お茶や汁物等でむせることの有無

- ▶ お茶や汁物等でむせることの有無については、「いいえ」が67.6%、「はい」が31.4%となっています。



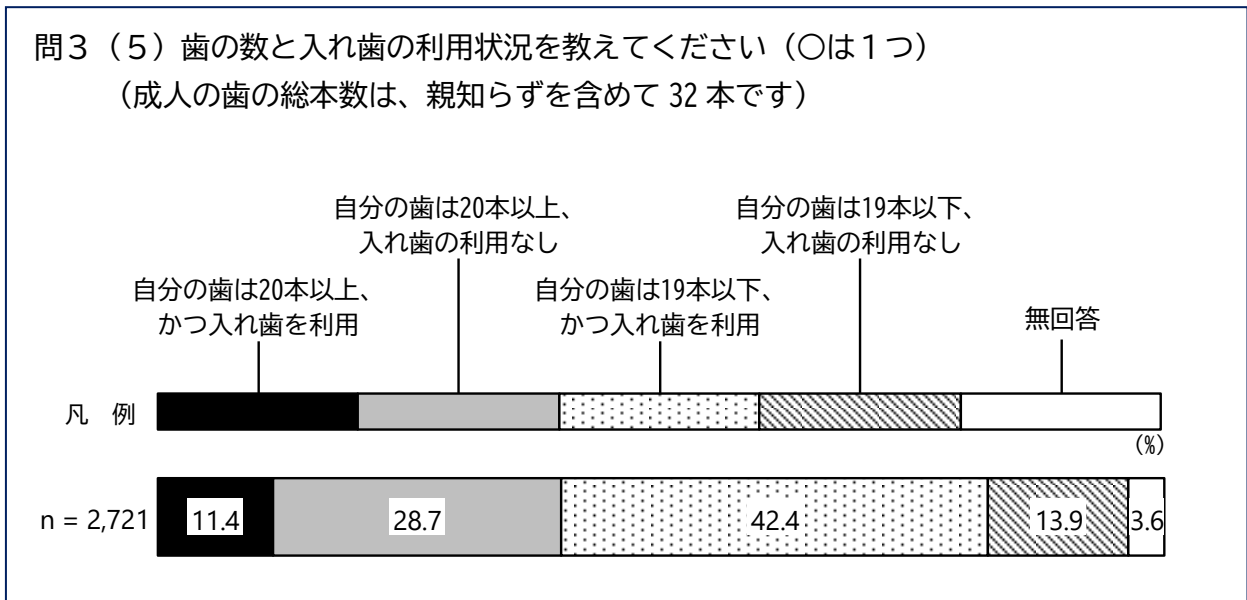
4-5 口の渇きが気になるか

- ▶ 口の渇きが気になるかについては、「いいえ」が 66.6%、「はい」が 31.6%となっています。



4-6 歯の数と入れ歯の利用状況

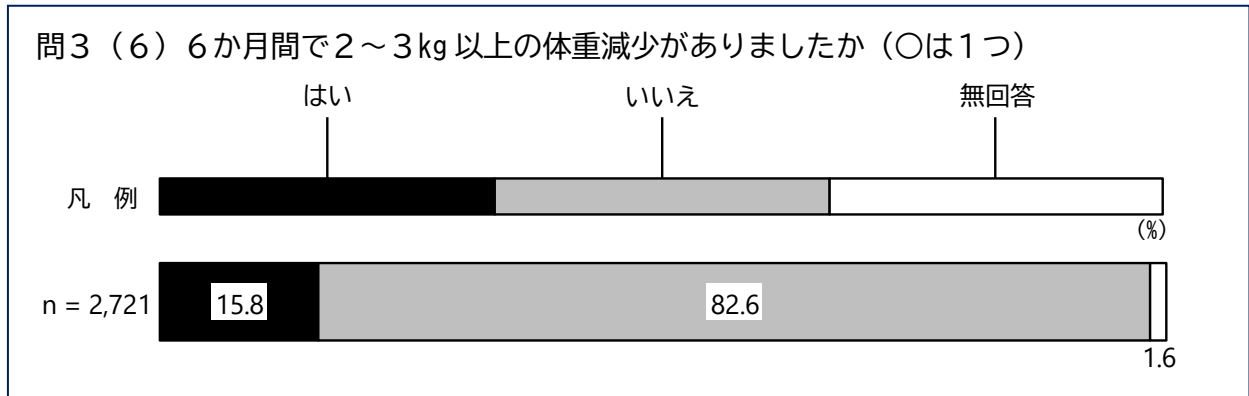
- ▶ 歯の数と入れ歯の利用状況については、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が 42.4%と最も高く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」(28.7%)、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」(13.9%)となっています。



II 調査結果（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

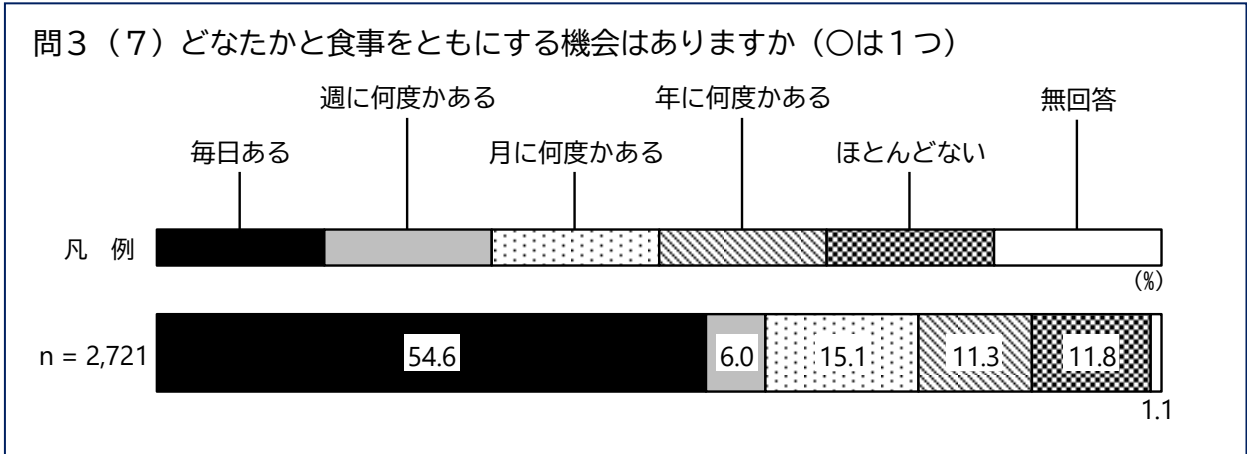
4-7 6か月間での体重減少の有無

- ▶ 6か月間での体重減少の有無については、「いいえ」が82.6%、「はい」が15.8%となっています。

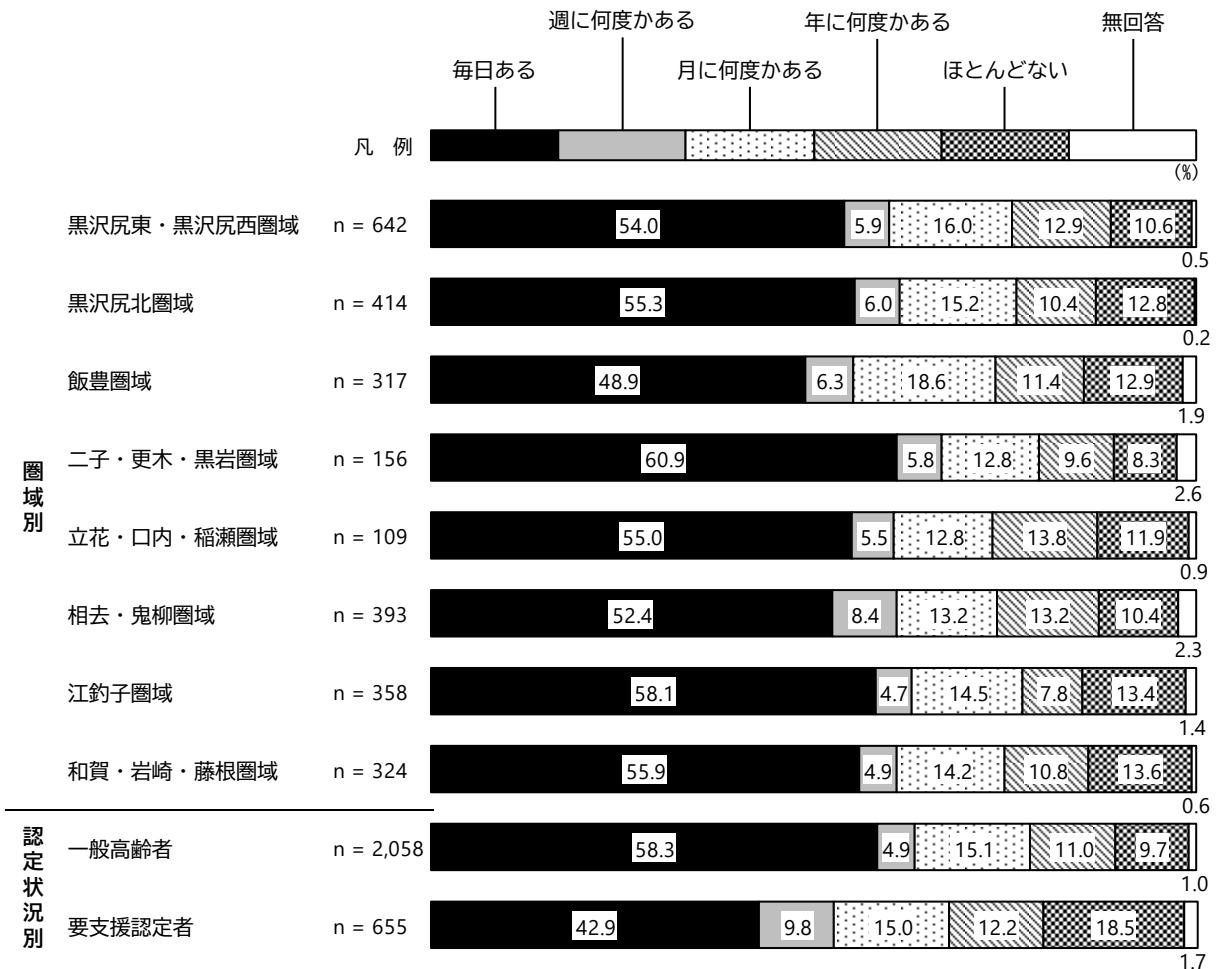


4-8 どなたかと食事をとる機会の有無

- ▶ どなたかと食事をとる機会の有無については、「毎日ある」が54.6%と最も高く、次いで「月に何度かある」（15.1%）、「ほとんどない」（11.8%）となっています。
- ▶ 圏域別でみると、二子・更木・黒岩圏域では「毎日ある」が60.9%と他の圏域と比べて高くなっています。
- ▶ 認定状況別でみると、要支援認定者では「毎日ある」が42.9%と一般高齢者と比べ15ポイント以上低くなっています。



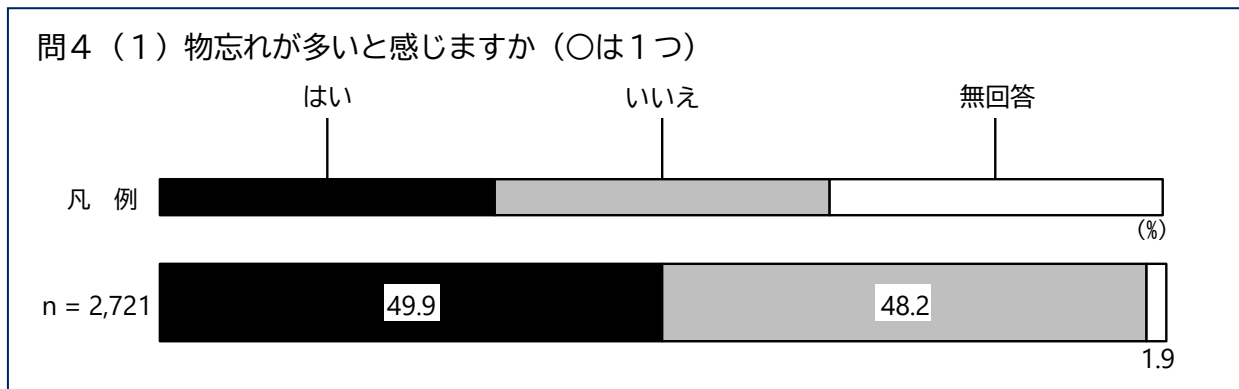
【圏域別・認定状況別／どなたかと食事をとる機会の有無】



5 毎日の生活について

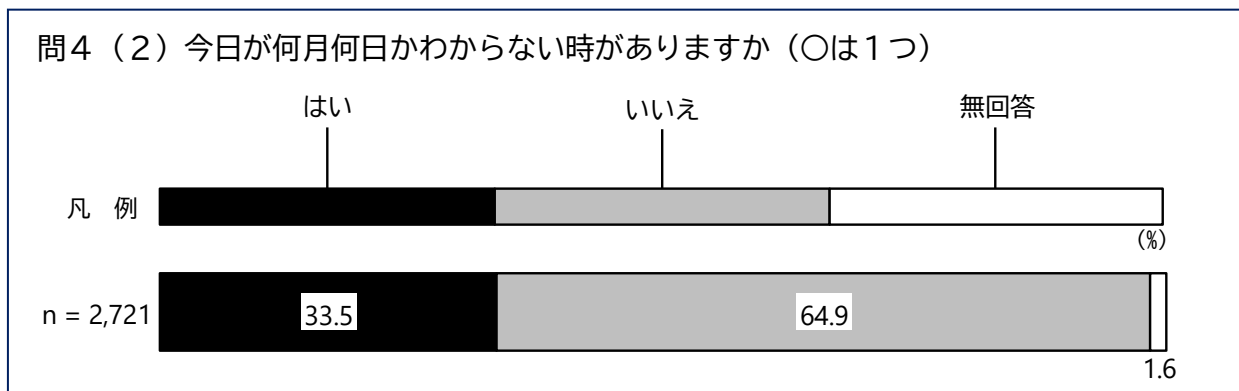
5-1 物忘れが多いと感じるか

- ▶ 物忘れが多いと感じるかについては、「はい」が49.9%、「いいえ」が48.2%となっています。



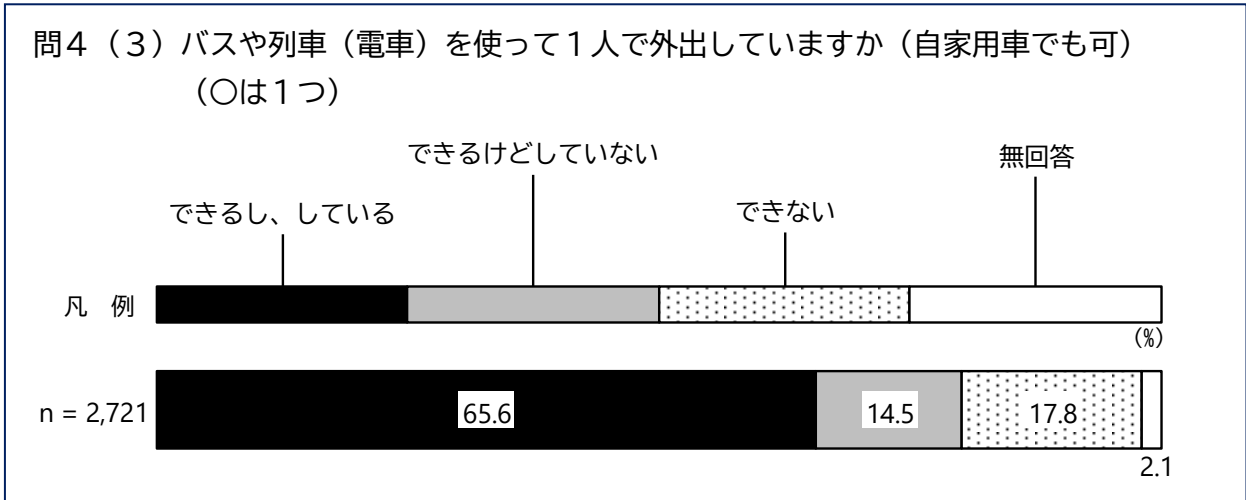
5-2 今日の日付がわからない時があるか

- ▶ 今日の日付がわからない時があるかについては、「いいえ」が64.9%、「はい」が33.5%となっています。



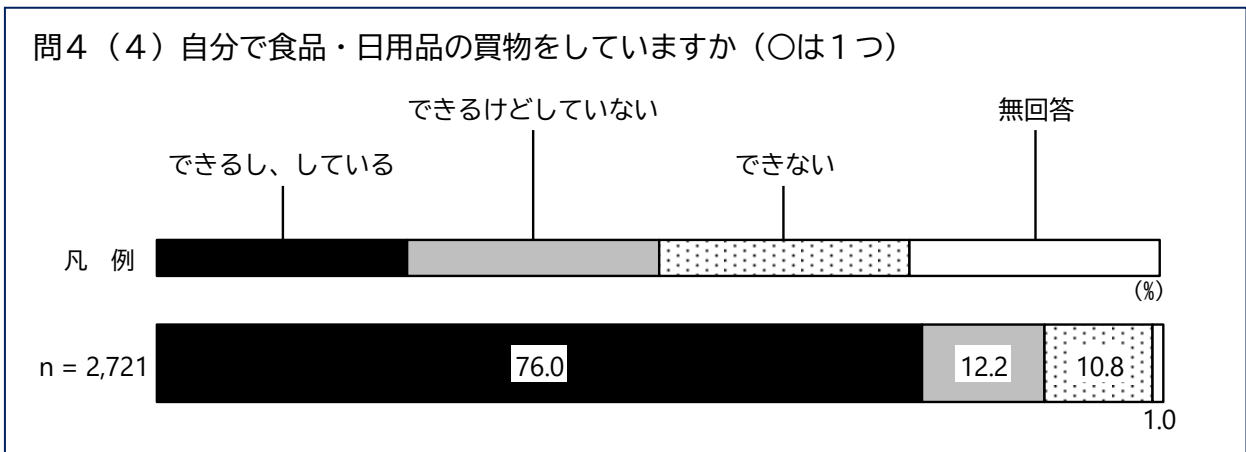
5-3 バスや電車を使って1人で外出できるか

- ▶ バスや電車を使って1人で外出できるかについては、「できるし、している」が65.6%と最も高く、次いで「できない」(17.8%)、「できるけどしていない」(14.5%)となっています。



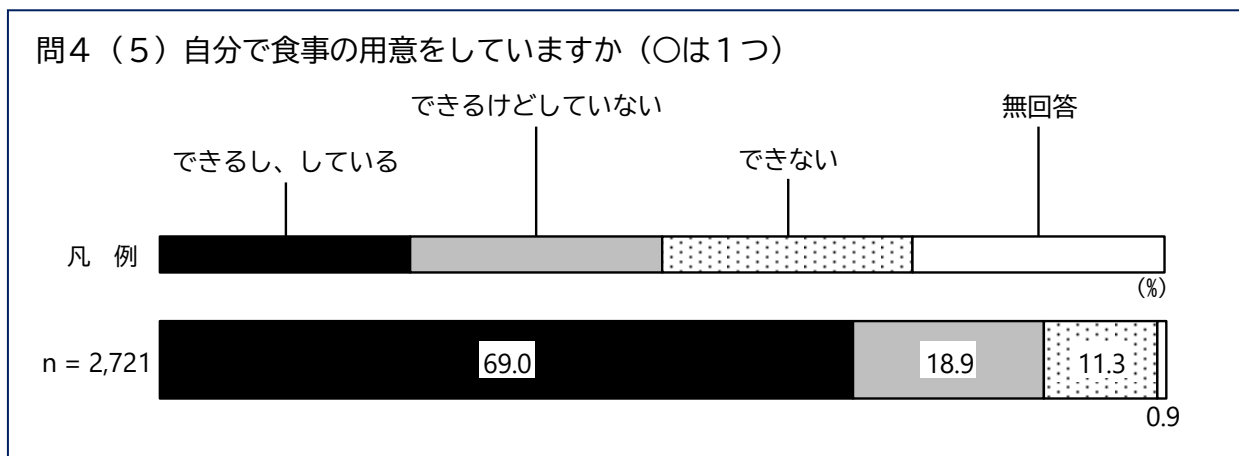
5-4 自分で食品・日用品の買物をしているか

- ▶ 自分で食品・日用品の買物をしているかについては、「できるし、している」が76.0%と最も高く、次いで「できるけどしていない」(12.2%)、「できない」(10.8%)となっています。



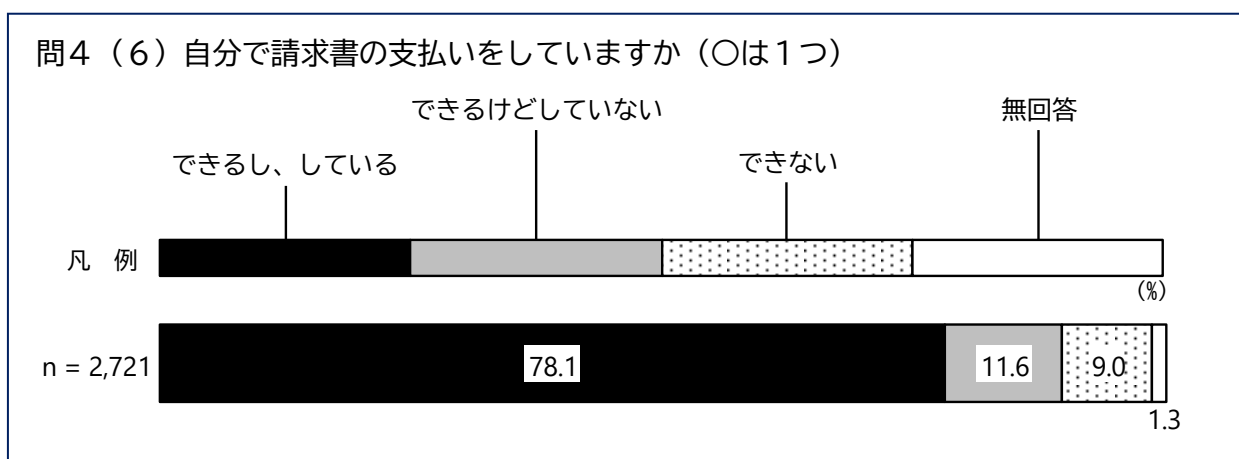
5-5 自分で食事の用意をしているか

- ▶ 自分で食事の用意をしているかについては、「できるし、している」が69.0%と最も高く、次いで「できるけどしていない」(18.9%)、「できない」(11.3%)となっています。



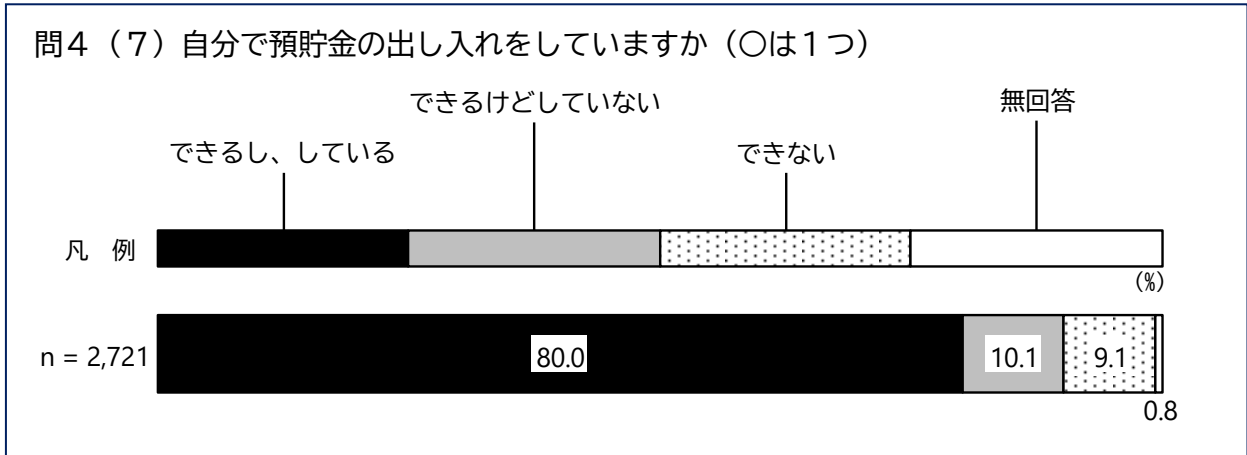
5-6 自分で請求書の支払いをしているか

- ▶ 自分で請求書の支払いをしているかについては、「できるし、している」が78.1%と最も高く、次いで「できるけどしていない」(11.6%)、「できない」(9.0%)となっています。



5-7 自分で預貯金の出し入れをしているか

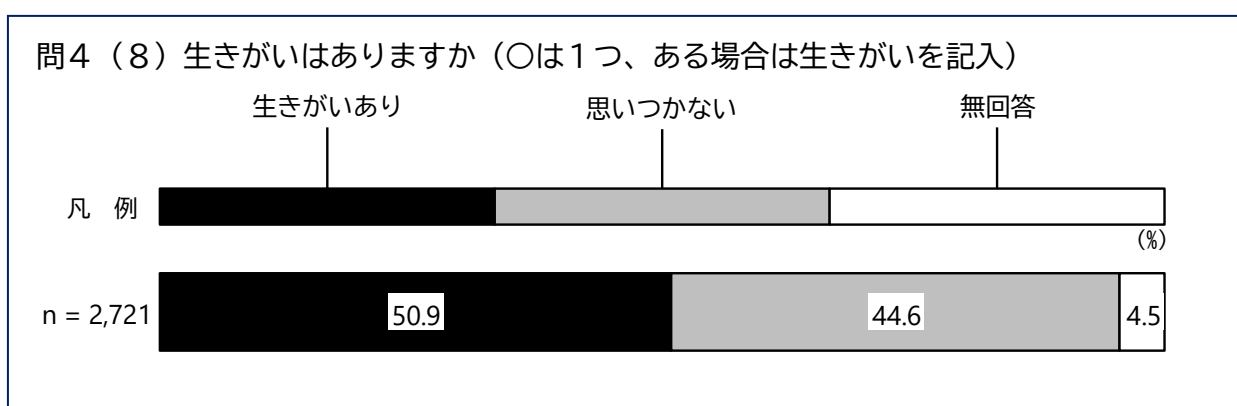
- ▶ 自分で預貯金の出し入れをしているかについては、「できるし、している」が80.0%と最も高く、次いで「できるけどしていない」(10.1%)、「できない」(9.1%)となっています。



II 調査結果（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

5-8 生きがいの有無

- ▶ 生きがいの有無については、「生きがいあり」が 50.9%、「思いつかない」が 44.6%となっています。
- ▶ 生きがいの内容と件数については、「家族（子ども、孫など）」が 388 件と最も多く、次いで「趣味（読書や音楽など）」（228 件）、「家庭菜園、園芸（畑仕事含む）」（208 件）となっています。
- ▶ 圏域別でみると、和賀・岩崎・藤根圏域では「思いつかない」が 51.5%と他の圏域と比べて高くなっています。
- ▶ 認定状況別でみると、要支援認定者では「生きがいあり」が 38.5%と一般高齢者と比べ 15 ポイント以上低くなっています。
- ▶ 幸福度別でみると、「生きがいあり」の割合は幸福度が上がるにつれ高くなる傾向があり、7 点以上では 66.0%となっています。

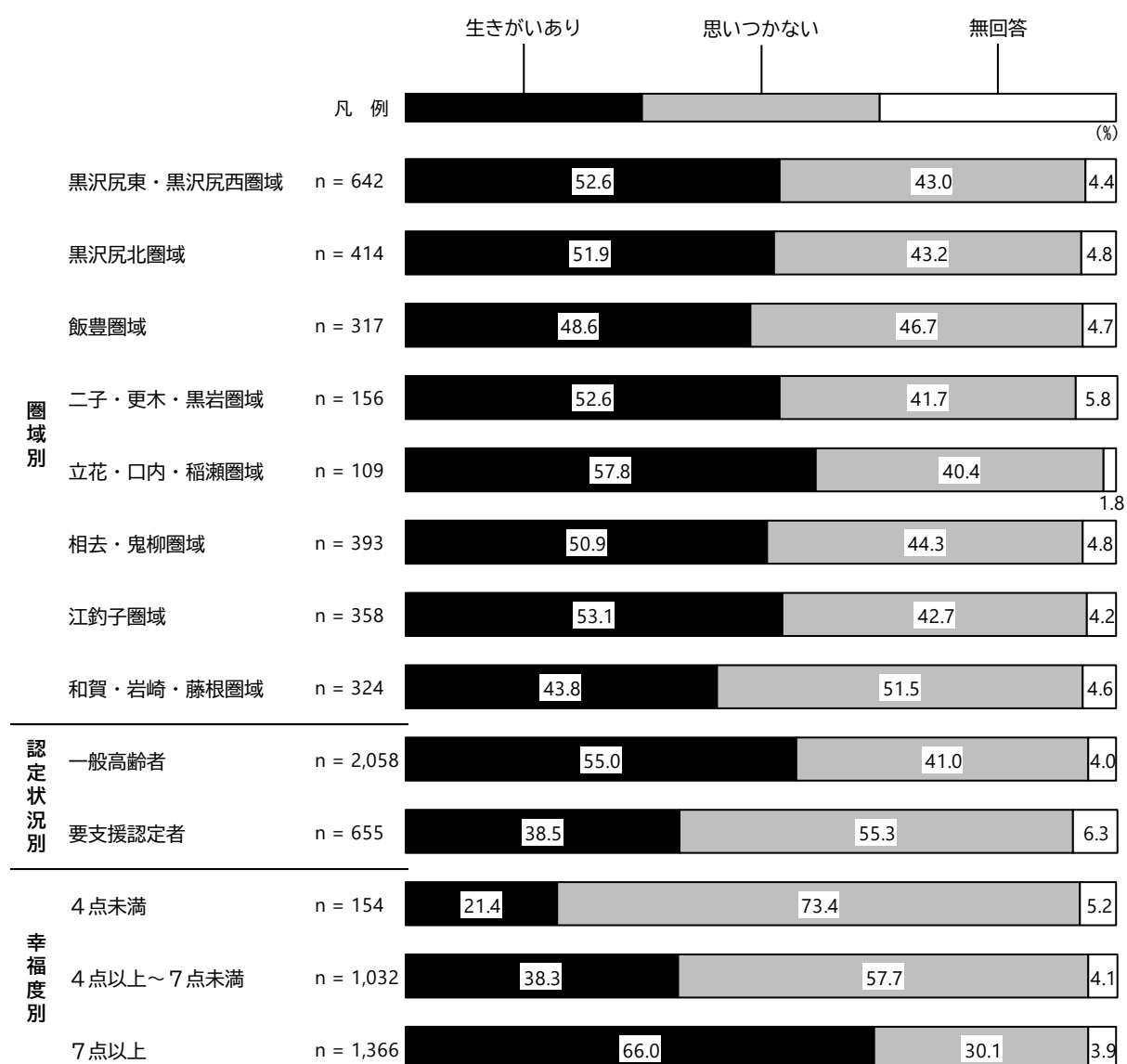


【生きがいの内容と件数】

No	内容	件数
1	家族（子ども、孫など）	388
2	趣味（読書や音楽など）	228
3	家庭菜園、園芸（畑仕事含む）	208
4	スポーツなど	135
5	友人、知人との交流	127
6	仕事、ボランティア	111
7	旅行、温泉	111
8	健康づくり	77
9	食事、料理	77
10	日々の生活	37
11	ペット、いきもの	36
12	その他	147
合計		1,682

Ⅱ 調査結果（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

【圏域別・認定状況別・幸福度別／生きがいの有無】

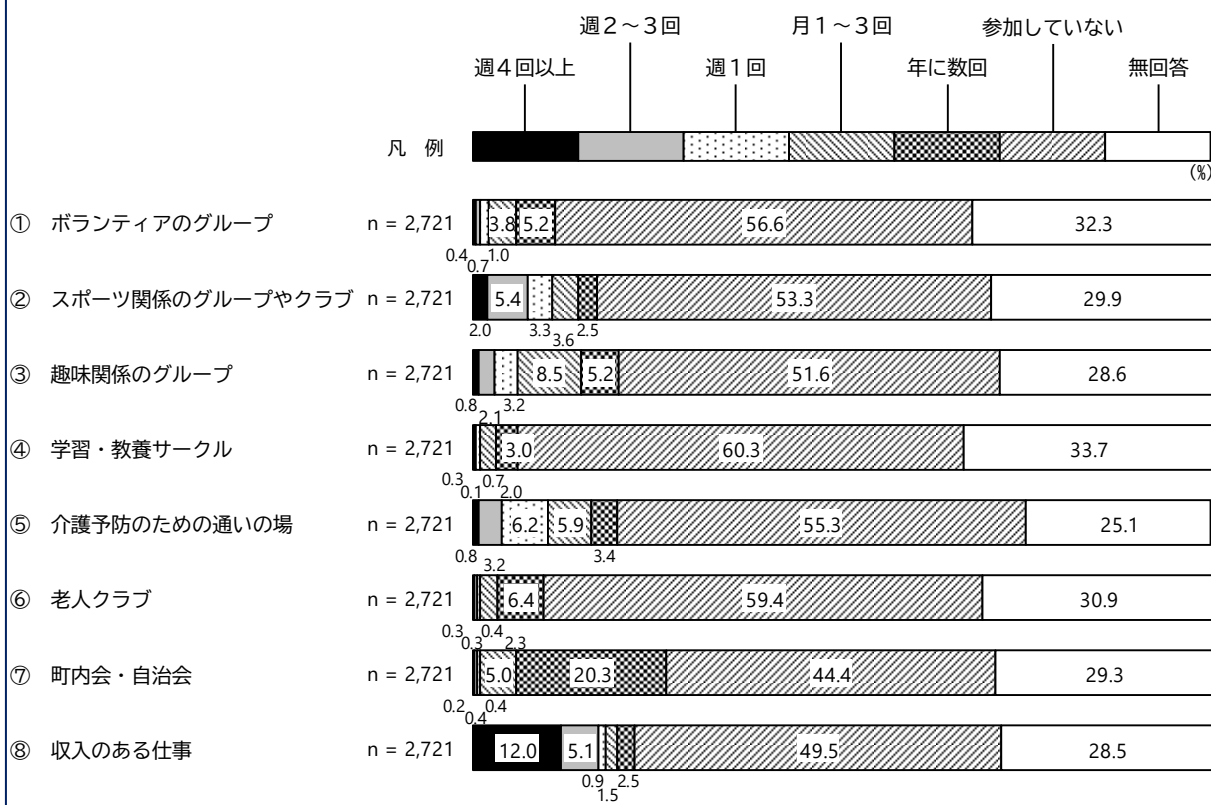


6 地域での活動について

6-1 地域での会・グループ等への参加頻度

- ▶ 地域での会・グループ等への参加頻度については、「参加していない」がそれぞれ最も高い割合となっています。
- ▶ 「週4回以上」～「年に数回」を合わせた《参加している》割合では、『⑦町内会・自治会』が26.3%と最も高く、次いで、『⑧収入のある仕事』（22.0%）、『③趣味関係のグループ』（19.8%）の順となっています。
- ▶ 「週4回以上」～「週1回」を合わせた《週1回以上》参加している割合では、『⑧収入のある仕事』が18.0%と最も高く、次いで『②スポーツ関係のグループやクラブ』（10.7%）、『⑤介護予防のための通いの場』（10.2%）の順となっています。

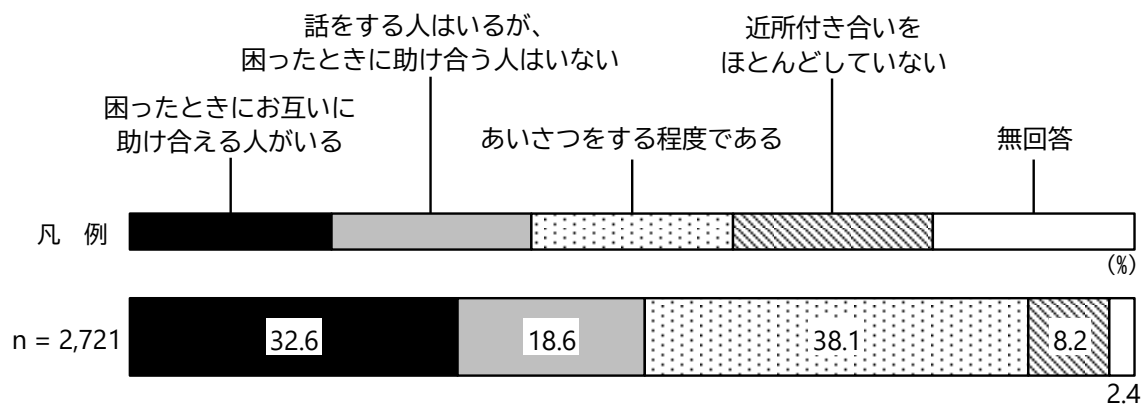
問5（1） 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか
（①～⑧それぞれあてはまるもの1つに○）



6-2 近所付き合いの状況

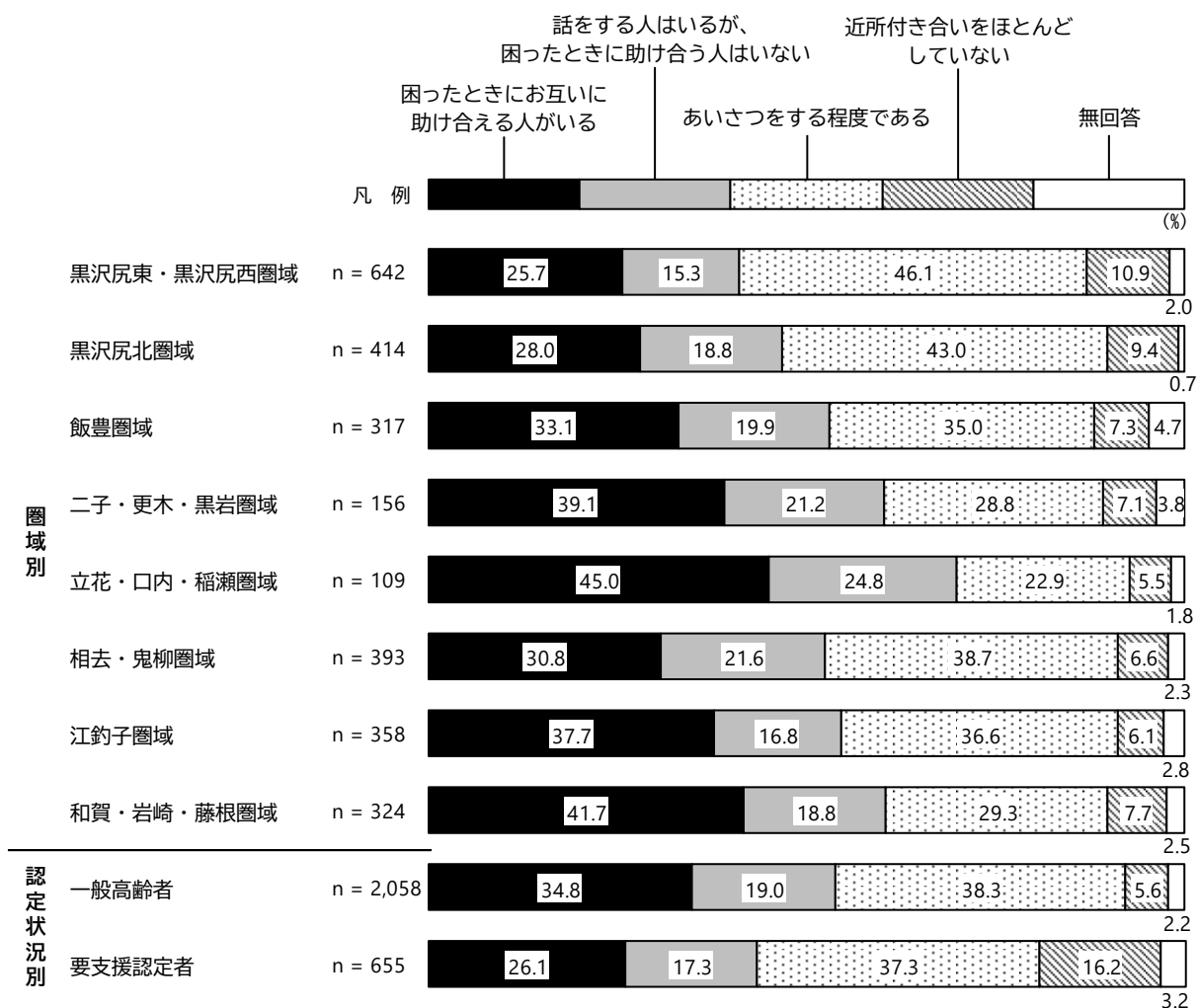
- ▶ 近所付き合いの状況については、「あいさつをする程度である」が38.1%と最も高く、次いで「困ったときにお互いに助け合える人がいる」（32.6%）、「話をする人はいるが、困ったときに助け合う人はいない」（18.6%）となっています。
- ▶ 圏域別でみると、黒沢尻東・黒沢尻西圏域では「困ったときにお互いに助け合える人がいる」が25.7%と他の圏域と比べて低くなっています。
- ▶ 認定状況別でみると、要支援認定者では「困ったときにお互いに助け合える人がいる」が26.1%と一般高齢者と比べて低くなっています。

問5（2）近所付き合いをどの程度していますか（○は1つ）



II 調査結果（介護予防・日常生活圏域二一ズ調査）

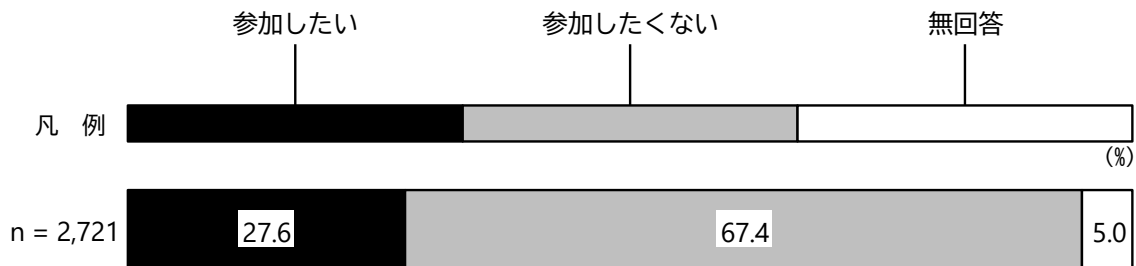
【圏域別・認定状況別／近所付き合いの状況】



6-3 高齢者の見守り活動への参加意向

- ▶ 高齢者の見守り活動への参加意向については、「参加したくない」が67.4%、「参加したい」が27.6%となっています。

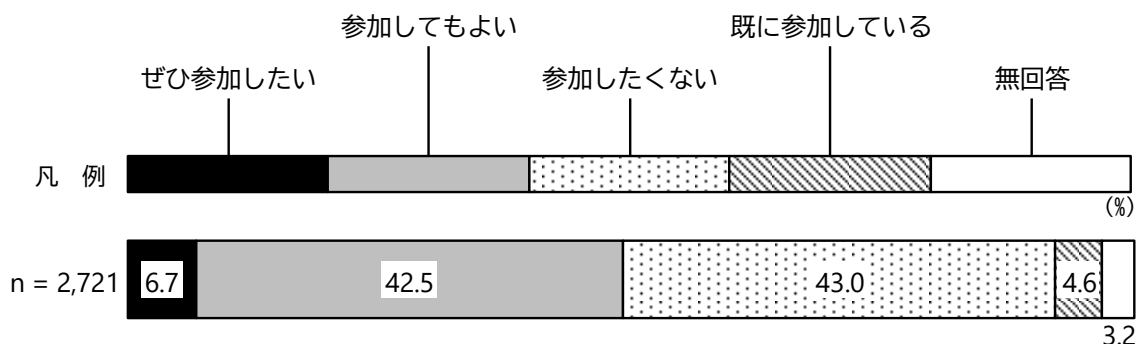
問5（3）お住まいの地域での高齢者への声かけや訪問などの活動に参加したいと思いますか（○は1つ）



6-4 地域活動等への参加意向（参加者として）

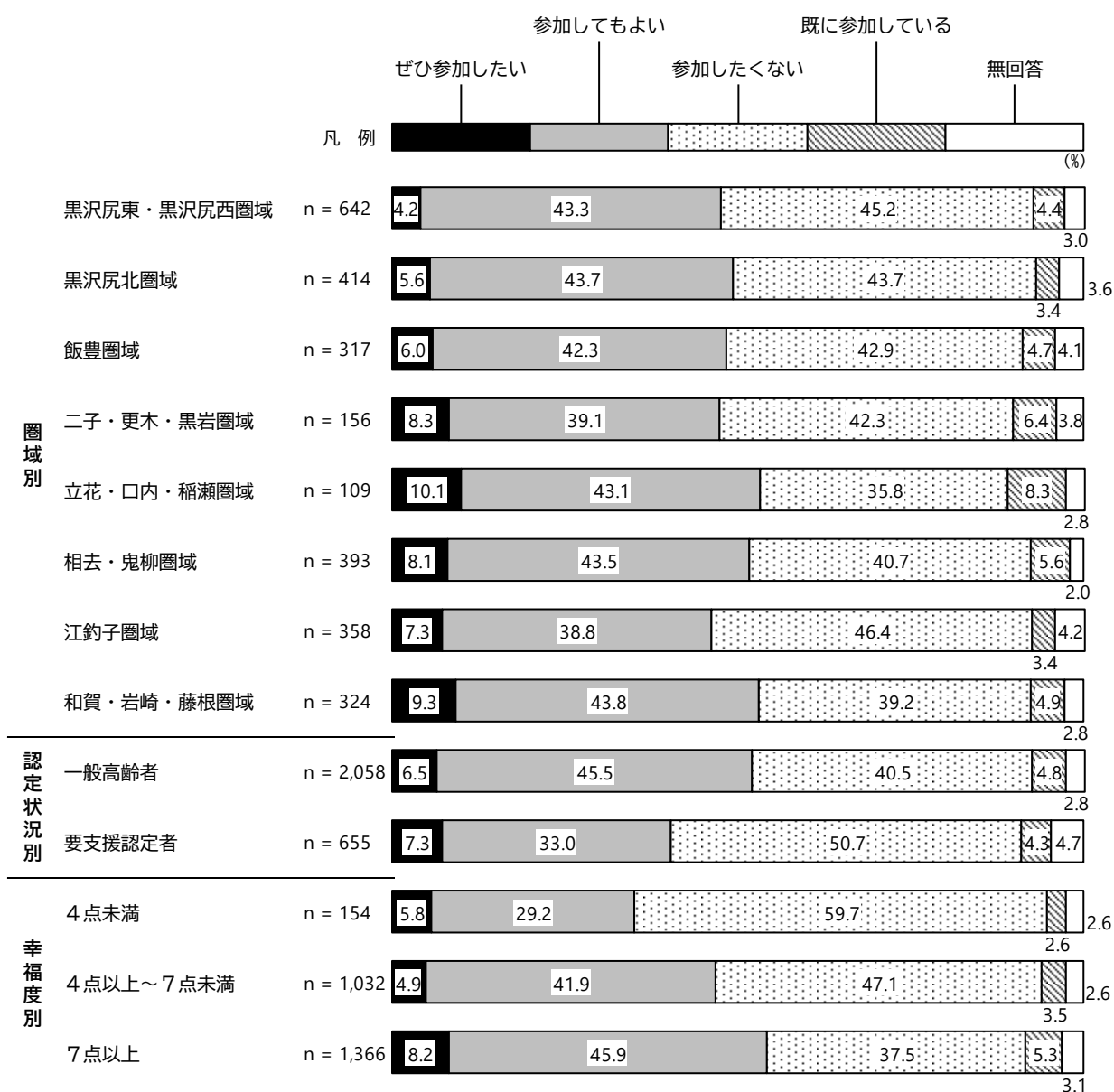
- ▶ 地域活動等への参加意向（参加者として）については、「参加したくない」が43.0%と最も高く、次いで「参加してもよい」(42.5%)、「ぜひ参加したい」(6.7%)となっています。
- ▶ 圏域別でみると、二子・更木・黒岩圏域と江釣子圏域では「参加してもよい」が4割未満と他の圏域と比べて低くなっています。
- ▶ 認定状況別でみると、要支援認定者では「参加したくない」が50.7%と一般高齢者と比べ10ポイント以上高くなっています。
- ▶ 幸福度別でみると、「参加したくない」割合は幸福度が上がるにつれ低くなる傾向があり、7点以上では37.5%となっています。

問5（4）地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか（○は1つ）



II 調査結果（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

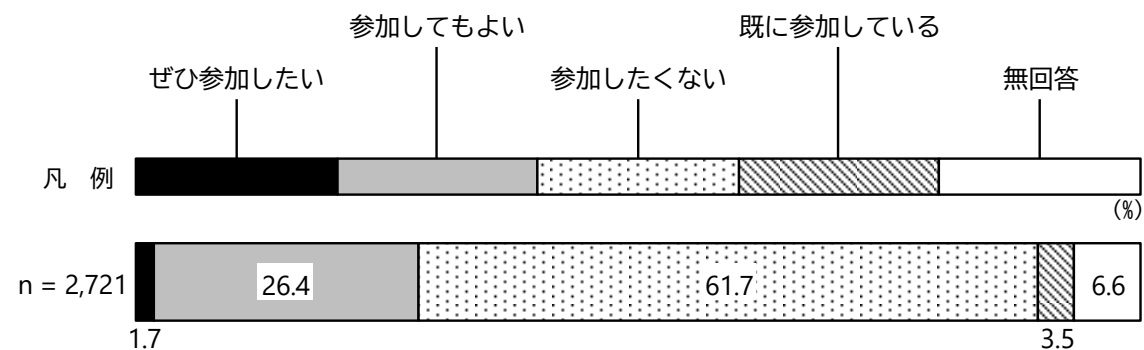
【圏域別・認定状況別・幸福度別／地域活動等への参加意向（参加者として）】



6-5 地域活動等への参加意向（企画・運営として）

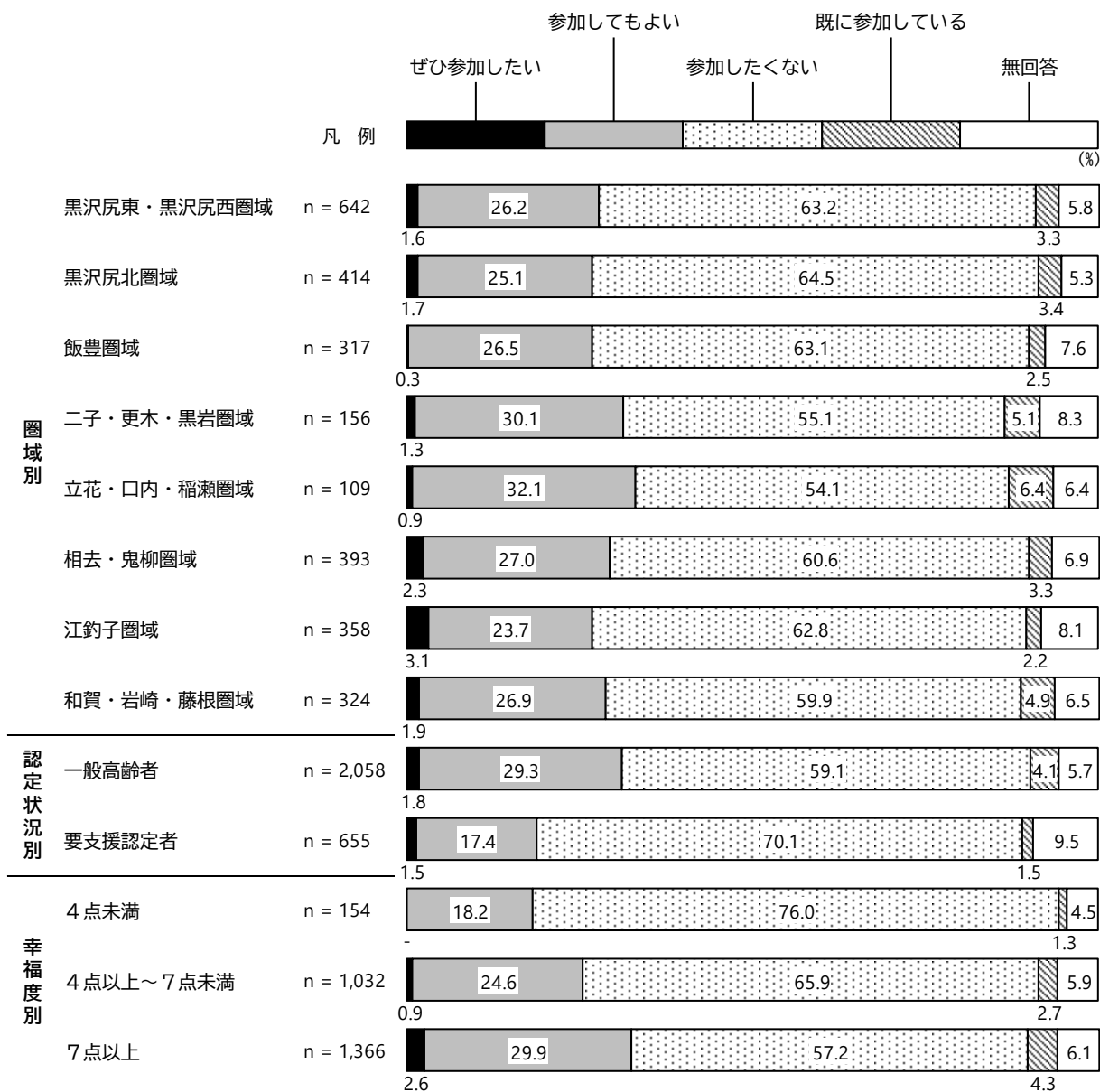
- ▶ 地域活動等への参加意向（企画・運営として）については、「参加したくない」が61.7%と最も高く、次いで「参加してもよい」(26.4%)、「既に参加している」(3.5%)となっています。
- ▶ 圏域別で見ると、二子・更木・黒岩圏域、立花・口内・稲瀬圏域では「参加してもよい」が3割以上と他の圏域と比べて高くなっています。
- ▶ 認定状況別で見ると、一般高齢者では「参加してもよい」が29.3%と要支援認定者と比べ10ポイント以上高くなっています。
- ▶ 幸福度別で見ると、「参加してもよい」割合は幸福度が上がるにつれ高くなる傾向があり、7点以上では29.9%となっています。

問5（5）地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか（○は1つ）



II 調査結果（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

【圏域別・認定状況別・幸福度別／地域活動等への参加意向（企画・運営として）】

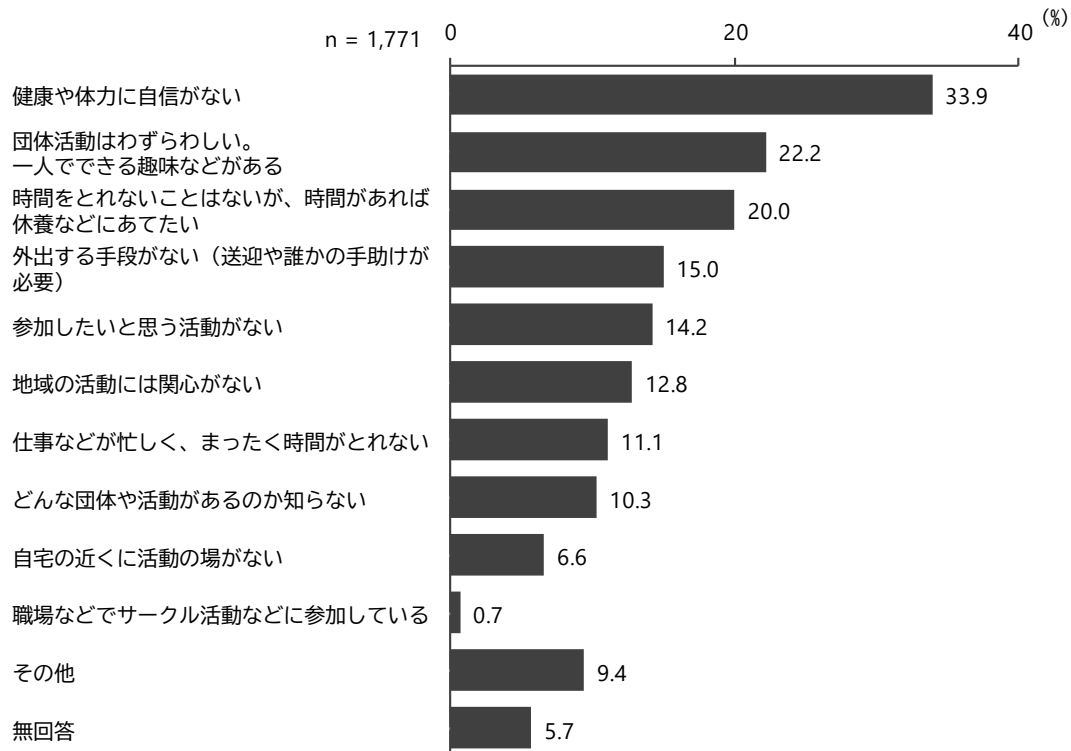


6-6 地域活動等に参加したくない理由

- ▶ 地域活動等に参加したくない理由については、「健康や体力に自信がない」が33.9%と最も高く、次いで「団体活動はわずらわしい。一人のできる趣味などがある」(22.2%)、「時間をとれないことはないが、時間があれば休養などにあてたい」(20.0%)となっています。

【問5（4）または（5）で「3. 参加したくない」と回答した方のみお答えください】

問5（5）① 地域での活動に参加したくない理由を教えてください（○はいくつでも）

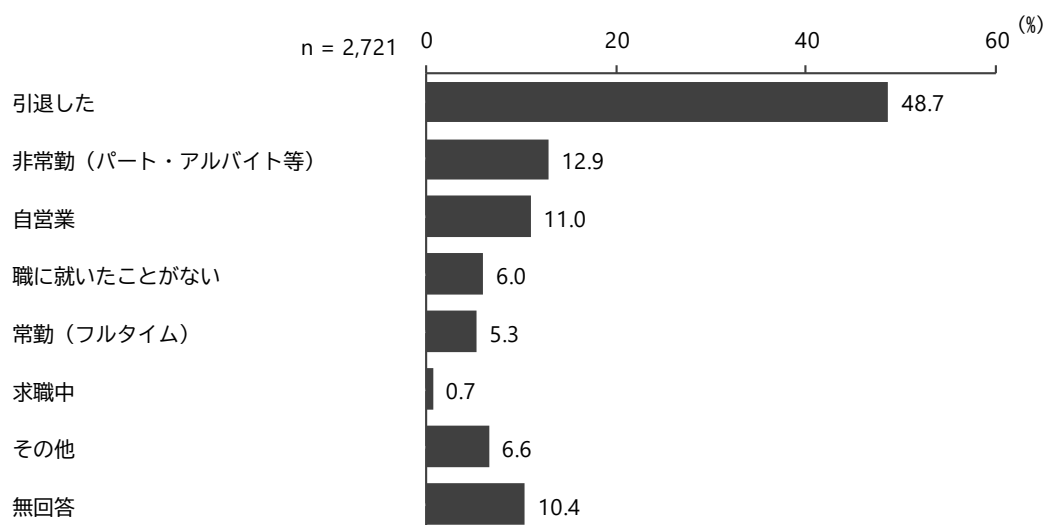


7 就労について

7-1 就労状態

- ▶ 就労状態については、「引退した」が48.7%と最も高く、次いで「非常勤（パート・アルバイト等）」（12.9%）、「自営業」（11.0%）となっています。
- ▶ 圏域別でみると、立花・口内・稲瀬圏域では「自営業」が22.0%と他の圏域と比べて高くなっています。
- ▶ 性別でみると、男性では「引退した」が52.4%と女性と比べて高くなっています。
- ▶ 幸福度別でみると、「自営業」の割合は幸福度が上がるにつれ高くなる傾向があり、7点以上では12.3%となっています。

問6（1）現在のあなたの就労状態はどれですか（○はいくつでも）



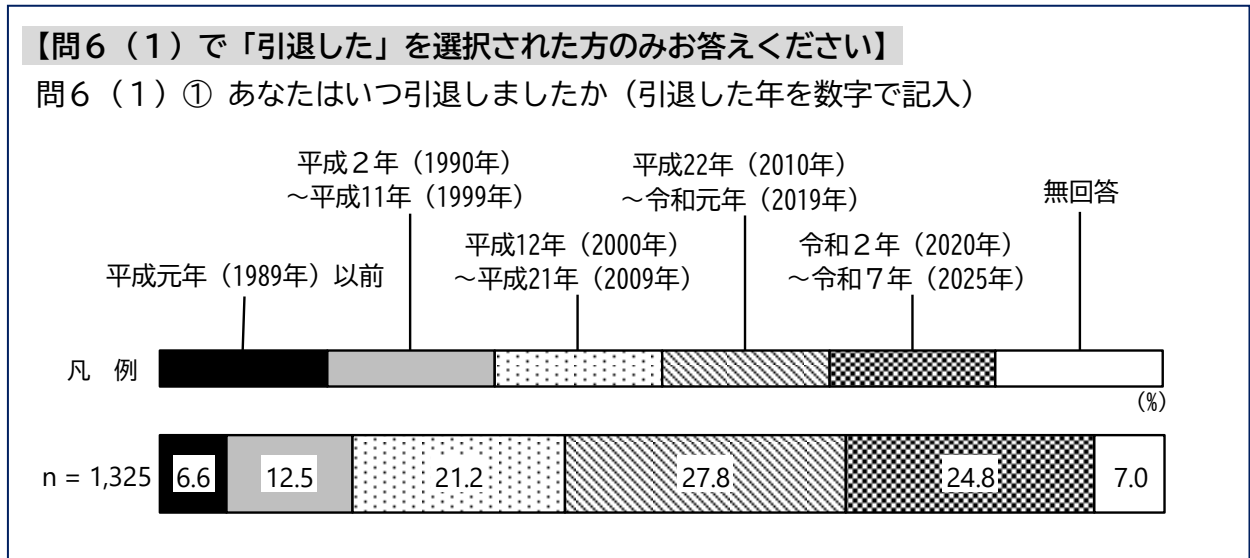
II 調査結果（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

【圏域別・性別・幸福度別／就労状態】

			(%)								
		n	職に就いたことがない	引退した	常勤（フルタイム）	（非） アルパート・バイト等	自営業	求職中	その他	無回答	
圏域別	黒沢尻東・黒沢尻西圏域	642	5.8	54.0	4.8	10.3	8.6	0.6	7.0	10.3	
	黒沢尻北圏域	414	7.2	50.0	5.3	12.8	8.7	1.2	6.3	9.4	
	飯豊圏域	317	5.0	47.0	5.4	13.9	11.7	0.6	6.0	12.6	
	二子・更木・黒岩圏域	156	6.4	46.8	1.9	13.5	16.0	-	5.1	11.5	
	立花・口内・稲瀬圏域	109	2.8	51.4	0.9	7.3	22.0	-	7.3	9.2	
	相去・鬼柳圏域	393	6.6	47.8	7.1	16.3	5.6	0.3	6.6	9.9	
	江釣子圏域	358	5.9	47.5	5.6	11.2	13.4	0.3	6.7	11.5	
	和賀・岩崎・藤根圏域	324	6.5	40.7	6.8	16.0	15.4	1.2	6.8	9.6	
性別	男性	1,100	2.0	52.4	7.6	12.5	14.1	0.8	4.5	7.9	
	女性	1,613	8.8	46.2	3.7	13.1	8.8	0.5	7.9	12.2	
幸福度別	4点未満	154	5.8	48.7	3.9	11.0	7.8	1.3	10.4	11.0	
	4点以上～7点未満	1,032	7.5	49.7	5.0	11.1	10.1	0.7	6.6	10.5	
	7点以上	1,366	4.9	48.2	6.1	14.8	12.3	0.4	6.3	8.9	

7-2 引退した年

▶ 引退した年については、「平成22年（2010年）～令和元年（2019年）」が27.8%と最も高く、次いで「令和2年（2020年）～令和7年（2025年）」（24.8%）、「平成12年（2000年）～平成21年（2009年）」（21.2%）となっています。

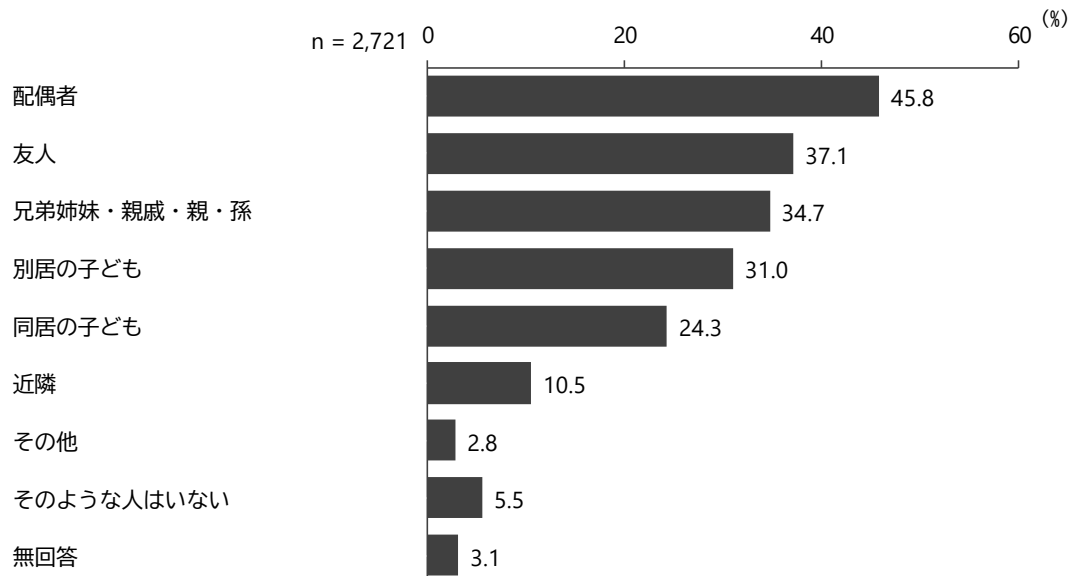


8 たすけあいについて

8-1 心配事や愚痴を聞いてくれる人

- ▶ 心配事や愚痴を聞いてくれる人については、「配偶者」が45.8%と最も高く、次いで「友人」(37.1%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(34.7%)となっています。

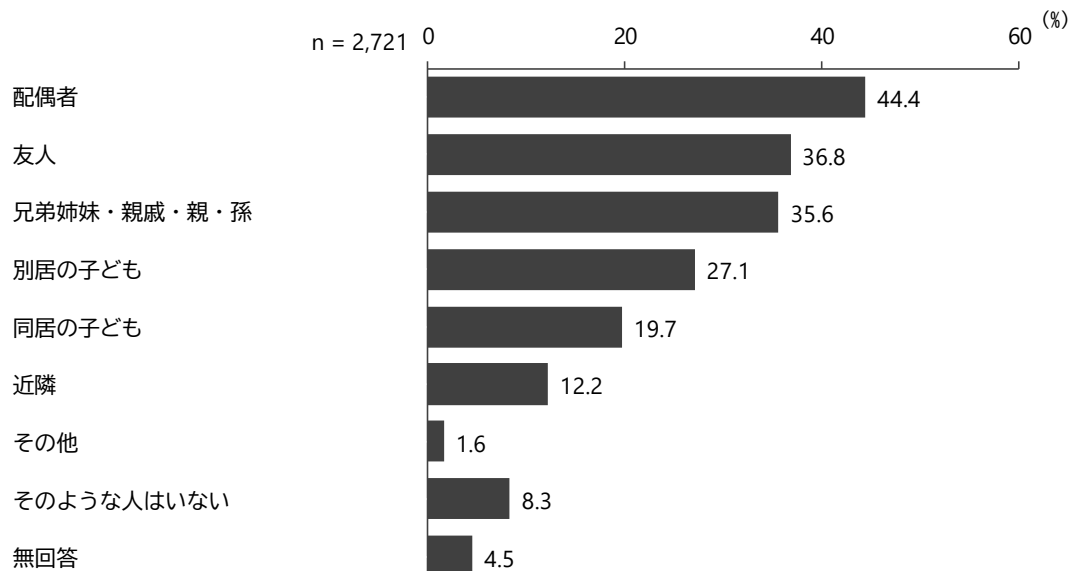
問7（1）あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人（〇はいくつでも）



8-2 心配事や愚痴を聞いてあげる人

- ▶ 心配事や愚痴を聞いてあげる人については、「配偶者」が44.4%と最も高く、次いで「友人」(36.8%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(35.6%)となっています。

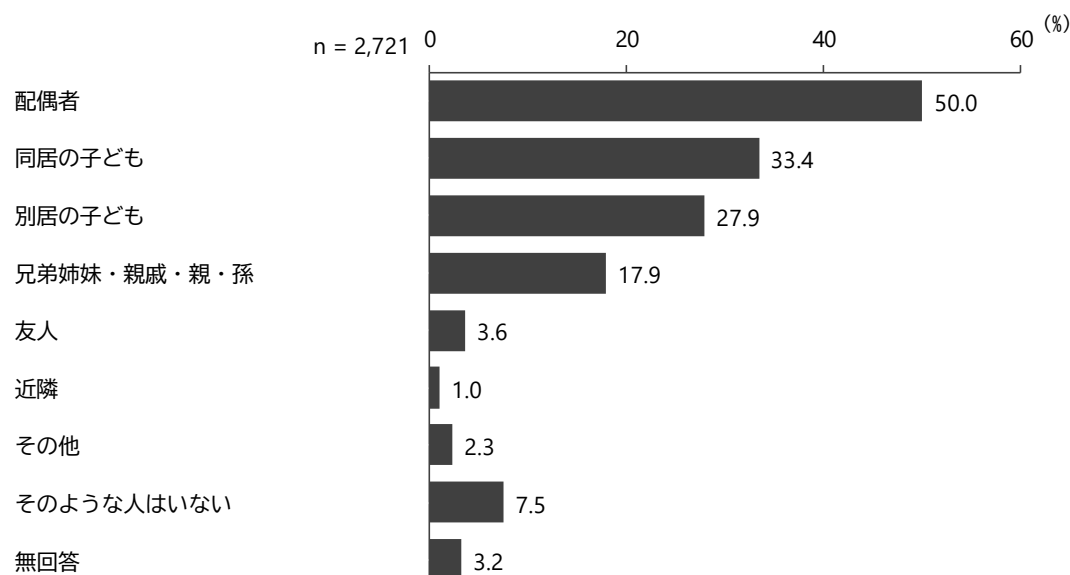
問7（2）反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人（〇はいくつでも）



8-3 看病や世話をしてくれる人

- ▶ 看病や世話をしてくれる人については、「配偶者」が50.0%と最も高く、次いで「同居の子ども」(33.4%)、「別居の子ども」(27.9%)となっています。

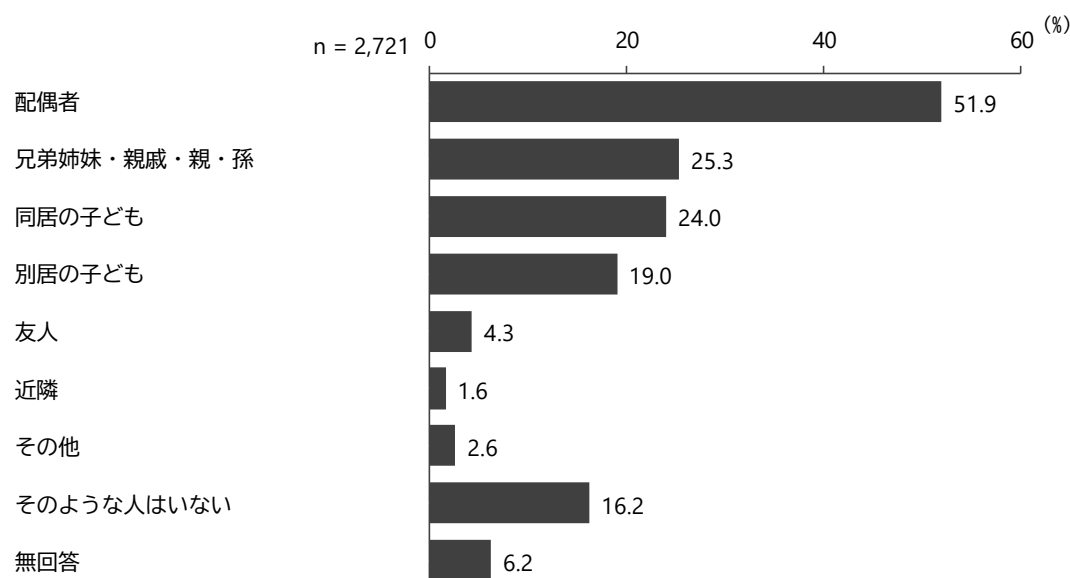
問7（3）あなたが病気で数日間寝込んだ時に、看病や世話をしてくれる人
（○はいくつでも）



8-4 看病や世話をしてあげる人

- ▶ 看病や世話をしてあげる人については、「配偶者」が51.9%と最も高く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(25.3%)、「同居の子ども」(24.0%)となっています。

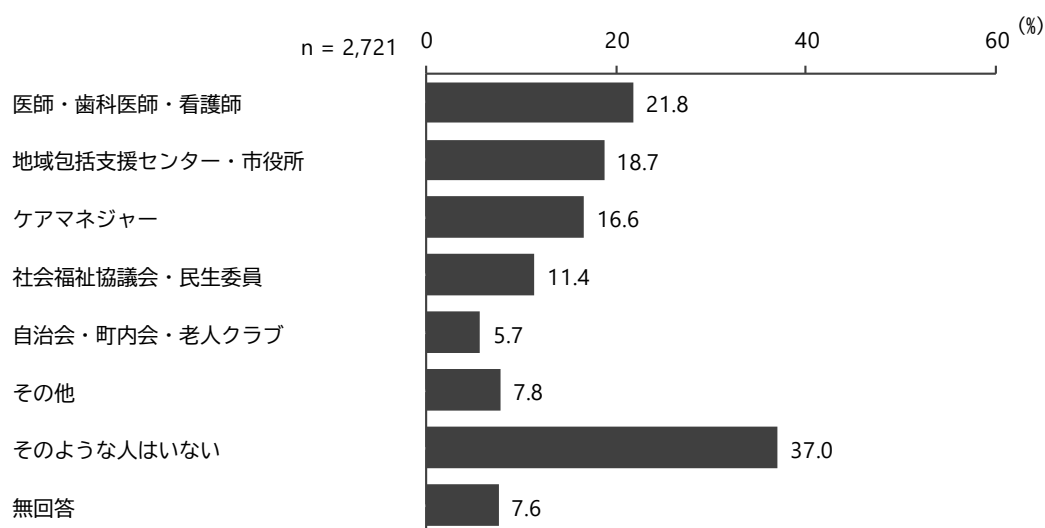
問7（4）反対に、看病や世話をしてあげる人（○はいくつでも）



8-5 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手

- ▶ 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手については、「医師・歯科医師・看護師」が21.8%と最も高く、次いで「地域包括支援センター・市役所」（18.7%）、「ケアマネジャー」（16.6%）となっています。一方「そのような人はいない」が37.0%となっています。
- ▶ 圏域別でみると、黒沢尻北圏域、二子・更木・黒岩圏域、立花・口内・稲瀬圏域では「地域包括支援センター・市役所」が2割以上と他の圏域と比べて高くなっています。
- ▶ 認定状況別でみると、要支援認定者では「ケアマネジャー」が54.2%と一般高齢者と比べ45ポイント以上高くなっています。
- ▶ 年代別でみると、「ケアマネジャー」の割合は概ね年齢が上がるにつれ高くなる傾向があり、90歳以上では41.6%となっています。

問7（5）家族や友人・知人以外で、何かあった時に相談する相手を教えてください
（○はいくつでも）



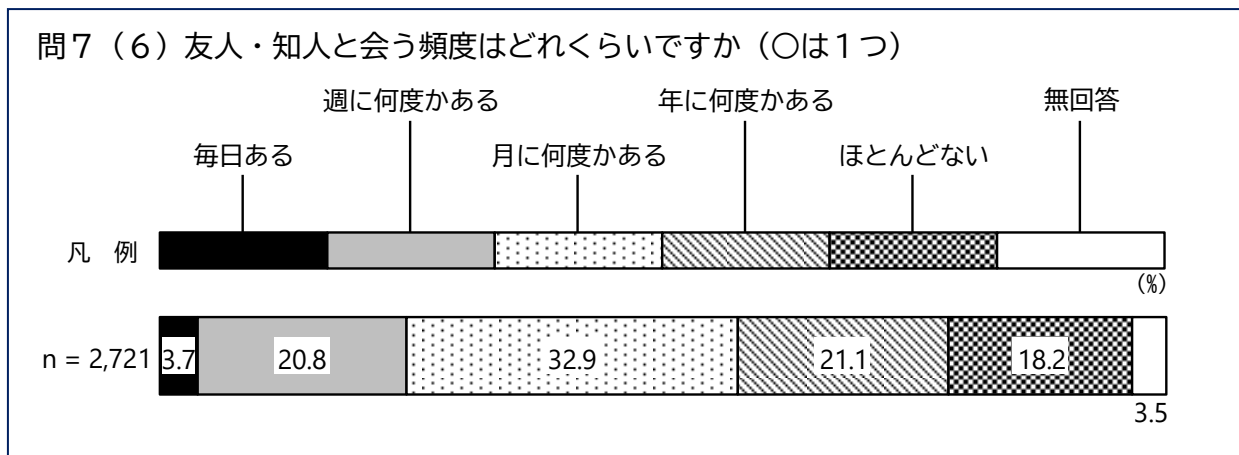
II 調査結果（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

【圏域別・認定状況別・年代別／家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手】

											(%)
		n	自治会・町内会・老人クラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター・市役所	その他	そのような人はいない	無回答	
圏域別	黒沢尻東・黒沢尻西圏域	642	5.3	11.1	15.9	22.9	17.3	7.3	39.7	7.0	
	黒沢尻北圏域	414	3.9	11.6	19.1	24.9	21.7	6.3	36.2	6.0	
	飯豊圏域	317	5.7	11.0	16.7	19.6	18.9	8.5	38.5	8.5	
	二子・更木・黒岩圏域	156	8.3	12.2	21.2	16.7	25.0	2.6	34.6	9.0	
	立花・口内・稲瀬圏域	109	5.5	12.8	12.8	26.6	28.4	9.2	28.4	4.6	
	相去・鬼柳圏域	393	8.1	11.5	17.0	22.4	19.1	8.9	32.6	9.2	
	江釣子圏域	358	5.3	9.5	13.7	20.4	17.0	10.1	38.5	7.5	
	和賀・岩崎・藤根圏域	324	5.6	13.3	17.0	20.4	13.0	8.3	38.0	8.6	
状況別	一般高齢者	2,058	6.5	10.9	4.7	21.9	16.5	9.0	42.7	7.9	
	要支援認定者	655	3.5	12.8	54.2	21.8	25.8	4.0	18.8	6.7	
年代別	65～69歳	545	5.5	7.7	8.1	20.4	16.9	9.7	48.1	3.5	
	70～74歳	589	5.9	8.7	7.3	21.9	16.5	8.5	46.2	7.5	
	75～79歳	600	5.3	14.2	10.0	24.0	21.3	8.7	34.0	9.0	
	80～84歳	416	6.7	13.7	21.6	21.4	21.4	7.0	27.6	9.6	
	85～89歳	344	5.2	12.2	36.0	23.5	19.2	4.1	25.9	9.6	
	90歳以上	219	5.9	14.6	41.6	18.3	16.9	6.4	26.9	7.8	

8-6 友人・知人と会う頻度

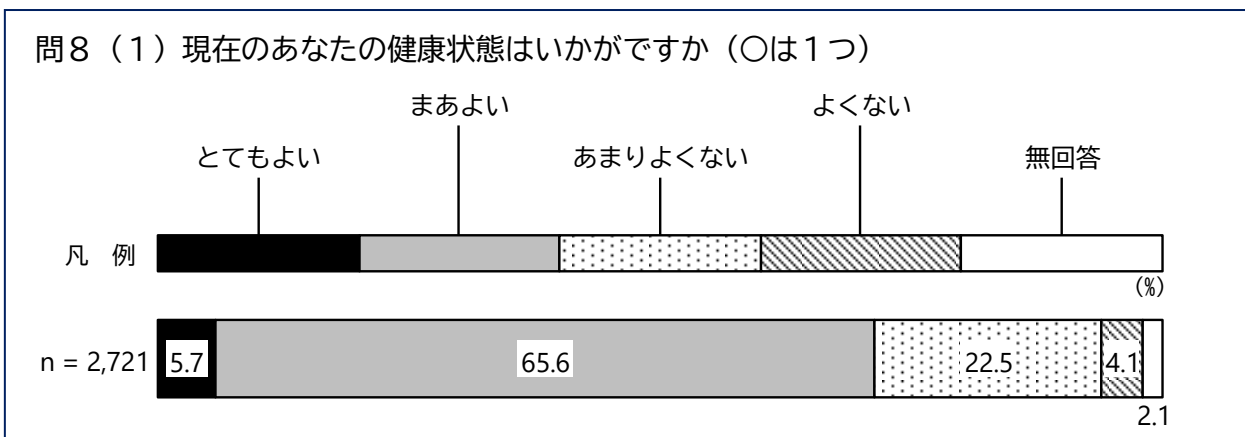
- ▶ 友人・知人と会う頻度については、「月に何度かある」が32.9%と最も高く、次いで「年に何度かある」(21.1%)、「週に何度かある」(20.8%)となっています。



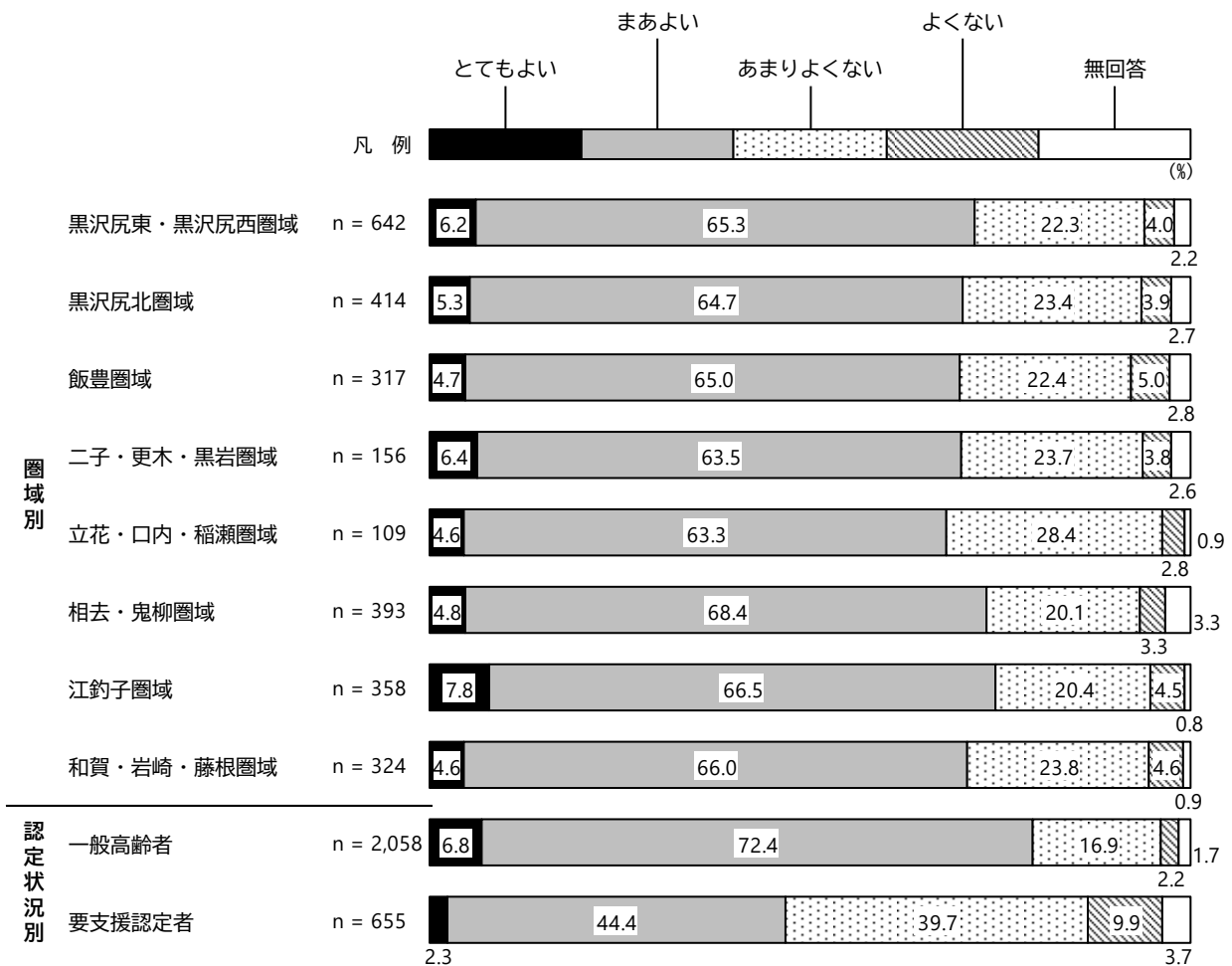
9 健康について

9-1 現在の主観的健康感

- ▶ 現在の主観的健康感については、「まあよい」が65.6%と最も高く、次いで「あまりよくない」(22.5%)、「とてもよい」(5.7%)となっています。
- ▶ 圏域別でみると、相去・鬼柳圏域では「あまりよくない」と「よくない」を合わせた《よくない》が23.4%と他の圏域と比べて低くなっています。
- ▶ 認定状況別でみると、一般高齢者では「とてもよい」と「まあよい」を合わせた《よい》が79.2%と要支援認定者と比べ30ポイント以上高くなっています。

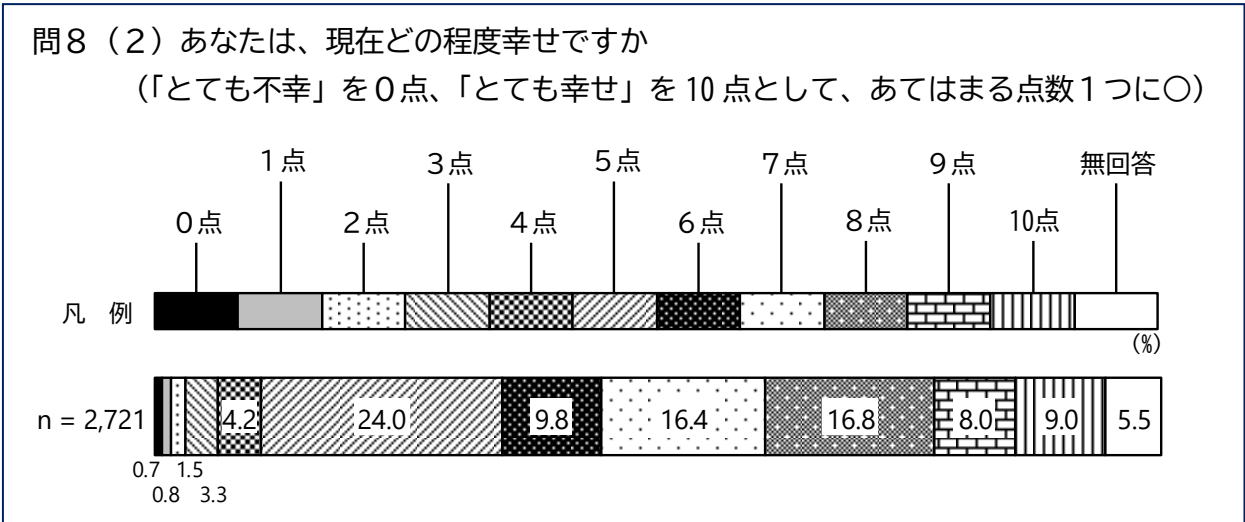


【圏域別・認定状況別／現在の主観的健康感】

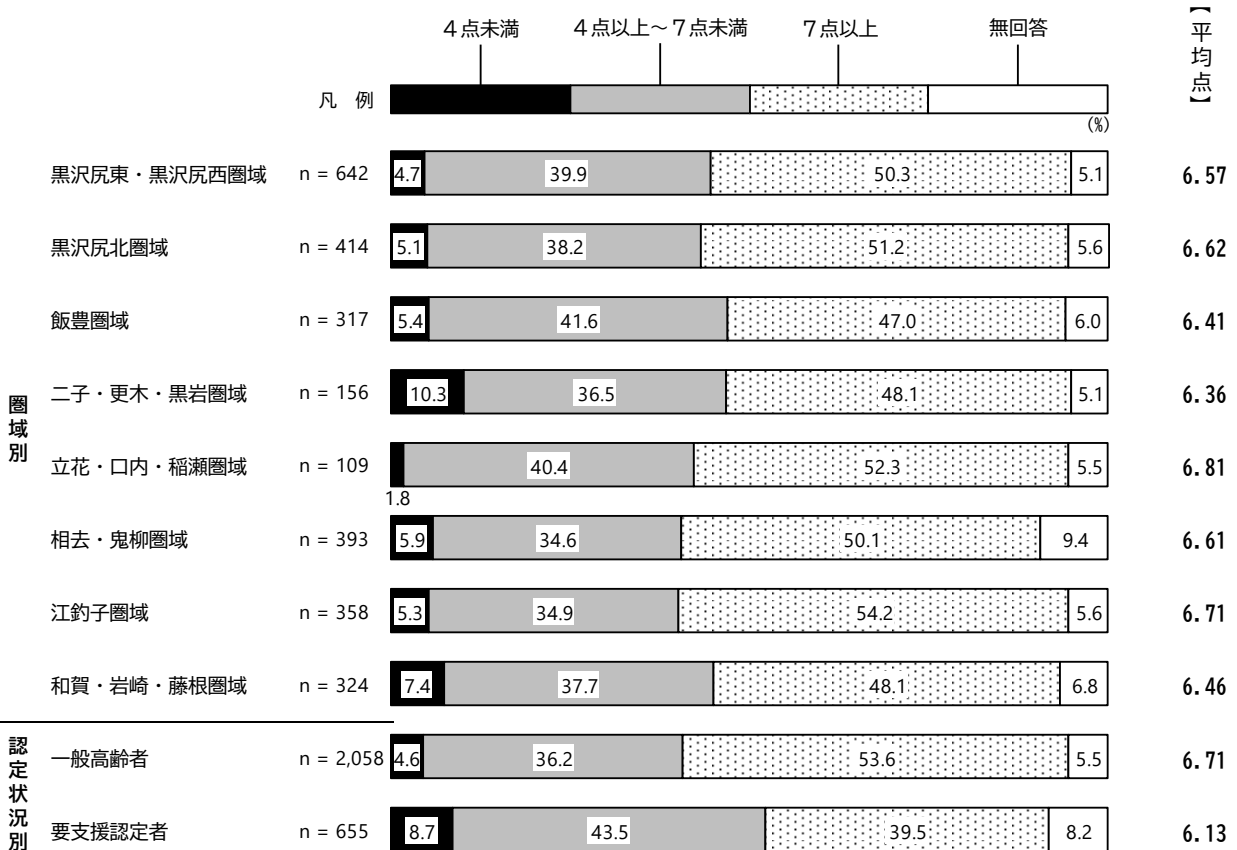


9-2 幸福度

- ▶ 幸福度については、「5点」が24.0%と最も高く、次いで「8点」（16.8%）、「7点」（16.4%）となっています。
- ▶ 回答結果より平均点を算出したところ、市全体での幸福度の平均点は6.57点という結果となっています。
- ▶ 圏域別及び認定状況別で見ると、いずれも平均点は6.5点前後となっています。

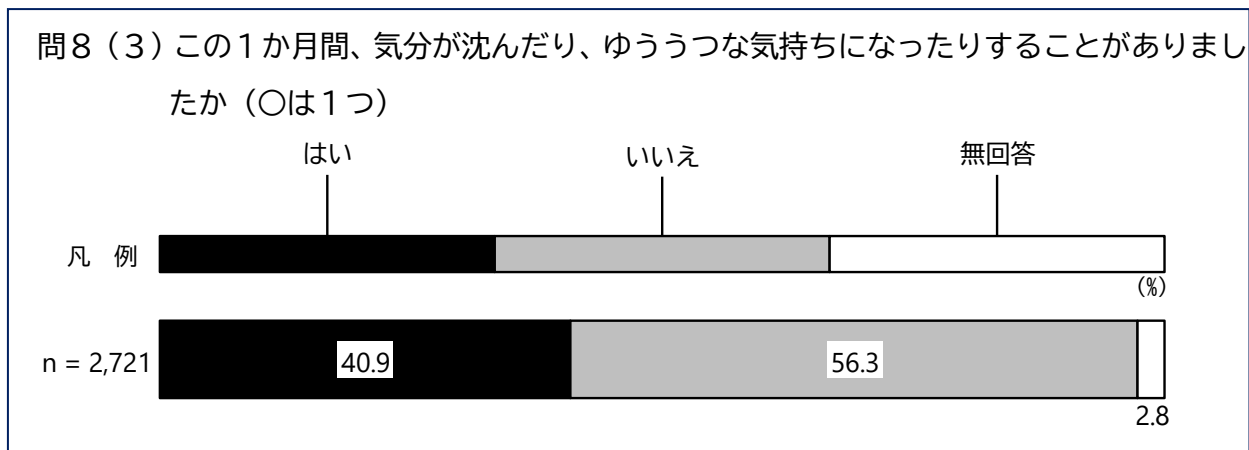


【圏域別・認定状況別／幸福度】



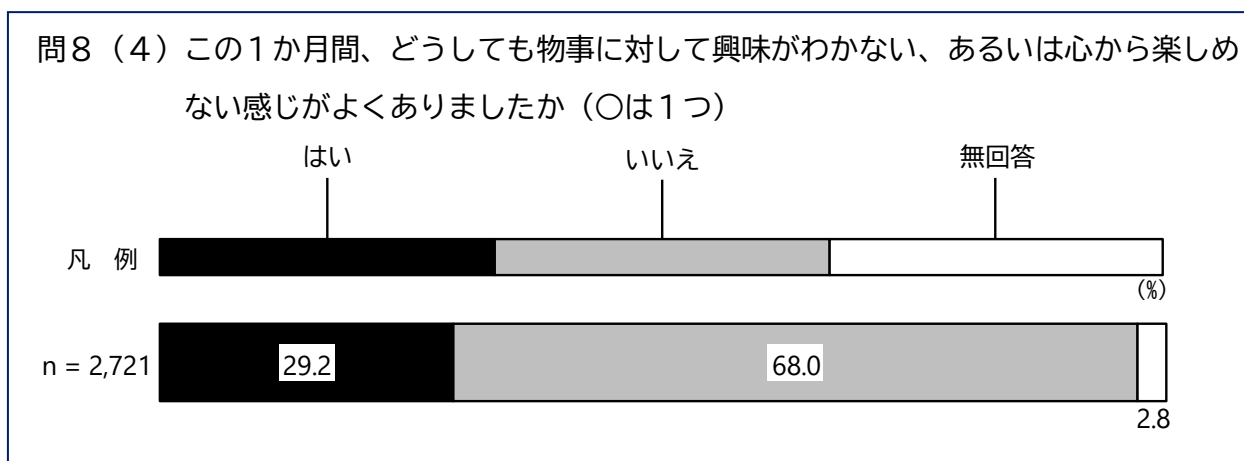
9-3 気分のゆううつや落ち込みの有無

- ▶ 気分のゆううつや落ち込みの有無については、「いいえ」が 56.3%、「はい」が 40.9% となっています。



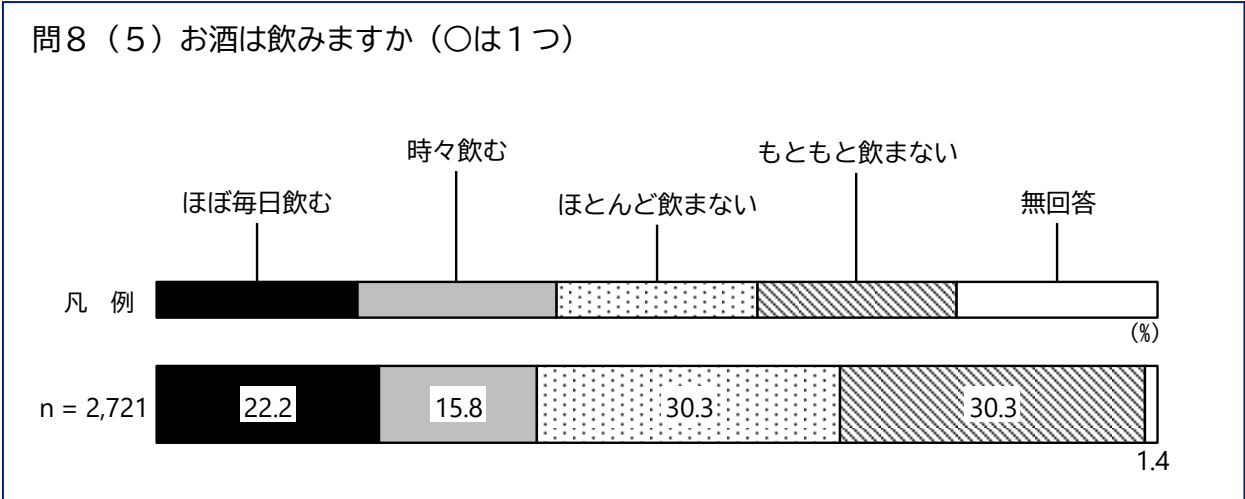
9-4 物事への興味、楽しさの欠如の有無

- ▶ 物事への興味、楽しさの欠如の有無については、「いいえ」が 68.0%、「はい」が 29.2% となっています。



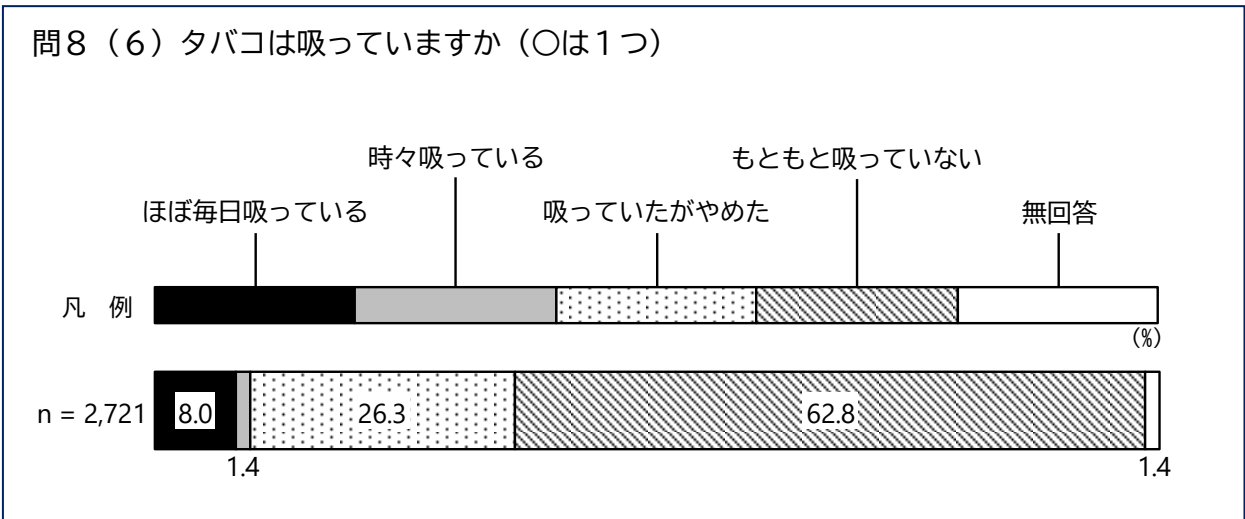
9-5 飲酒の状況

▶ 飲酒の状況については、「ほとんど飲まない」と「もともと飲まない」がともに30.3%と最も高く、次いで「ほぼ毎日飲む」(22.2%)、「時々飲む」(15.8%)となっています。



9-6 喫煙の状況

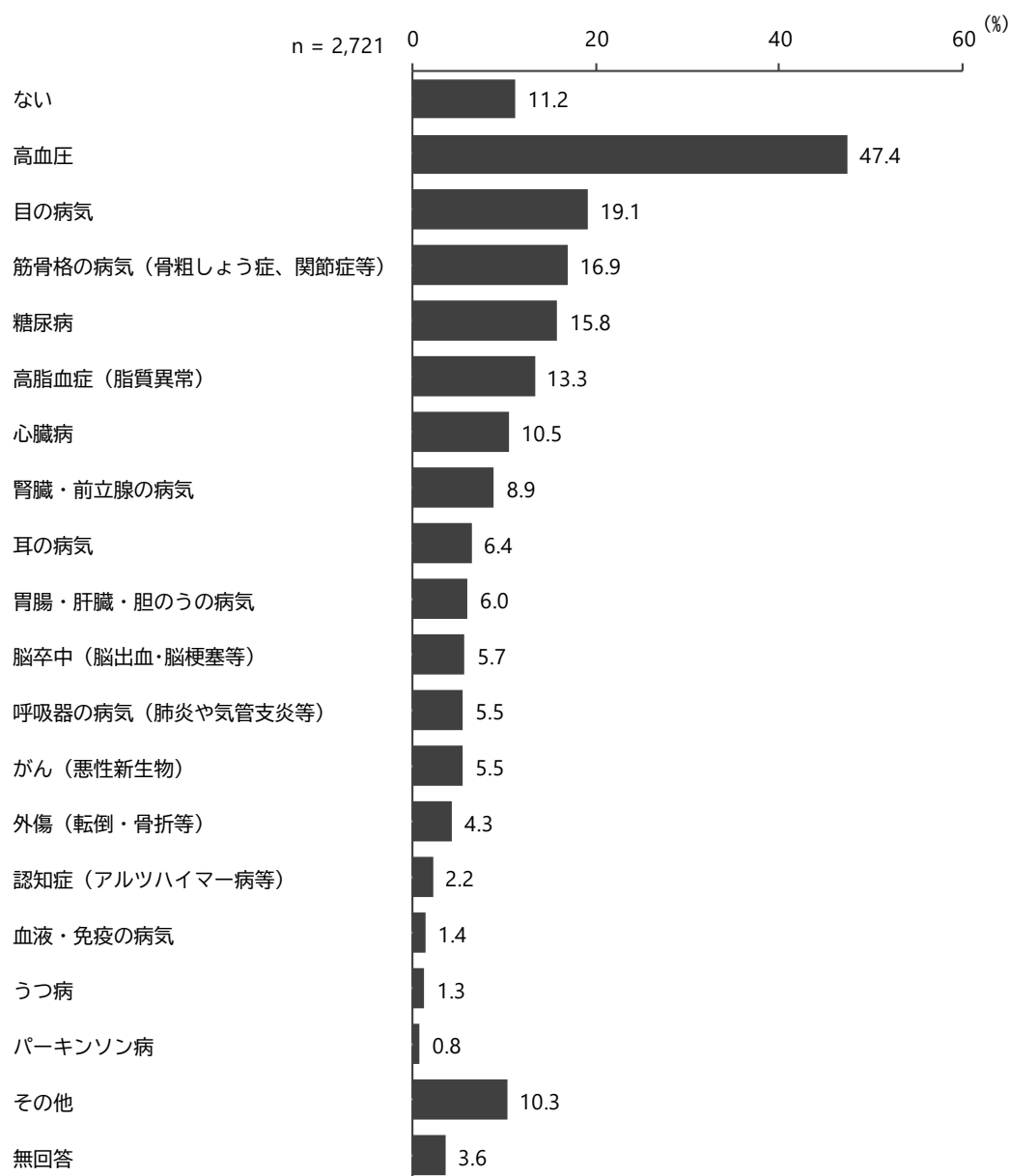
▶ 喫煙の状況については、「もともと吸っていない」が62.8%と最も高く、次いで「吸っていたがやめた」(26.3%)、「ほぼ毎日吸っている」(8.0%)となっています。



9-7 治療中、または後遺症のある病気

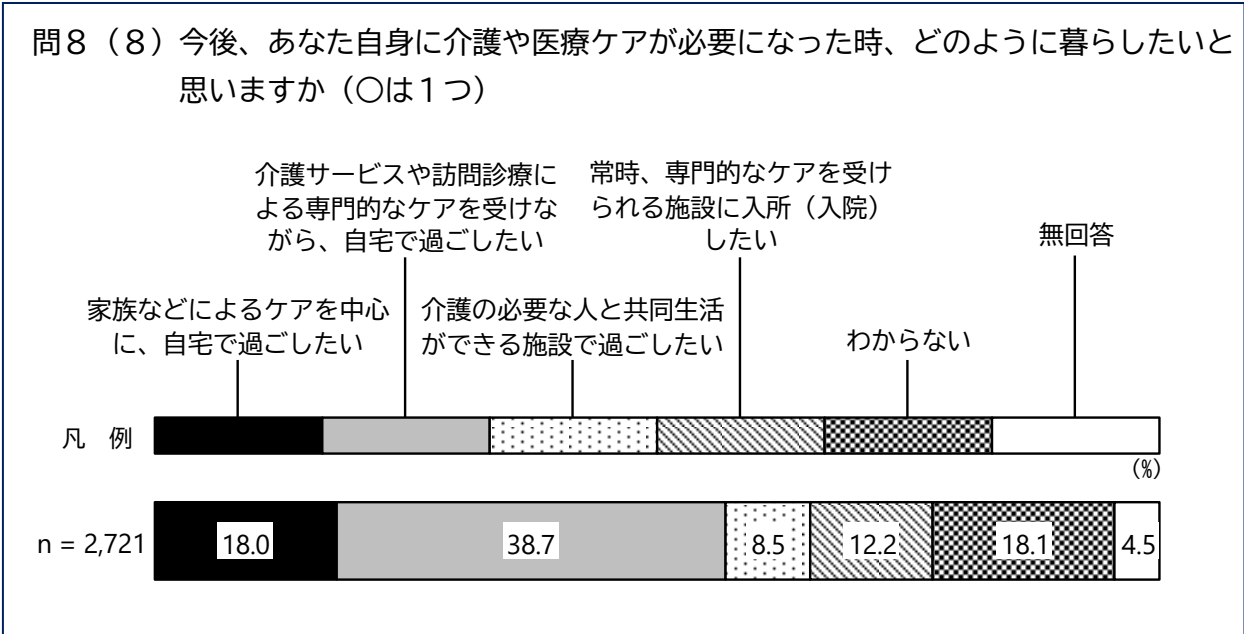
- ▶ 治療中、または後遺症のある病気については、「高血圧」が47.4%と最も高く、次いで「目の病気」(19.1%)、「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」(16.9%)となっています。一方「ない」は11.2%となっています。

問8（7）現在治療中、または後遺症のある病気はありますか（○はいくつでも）



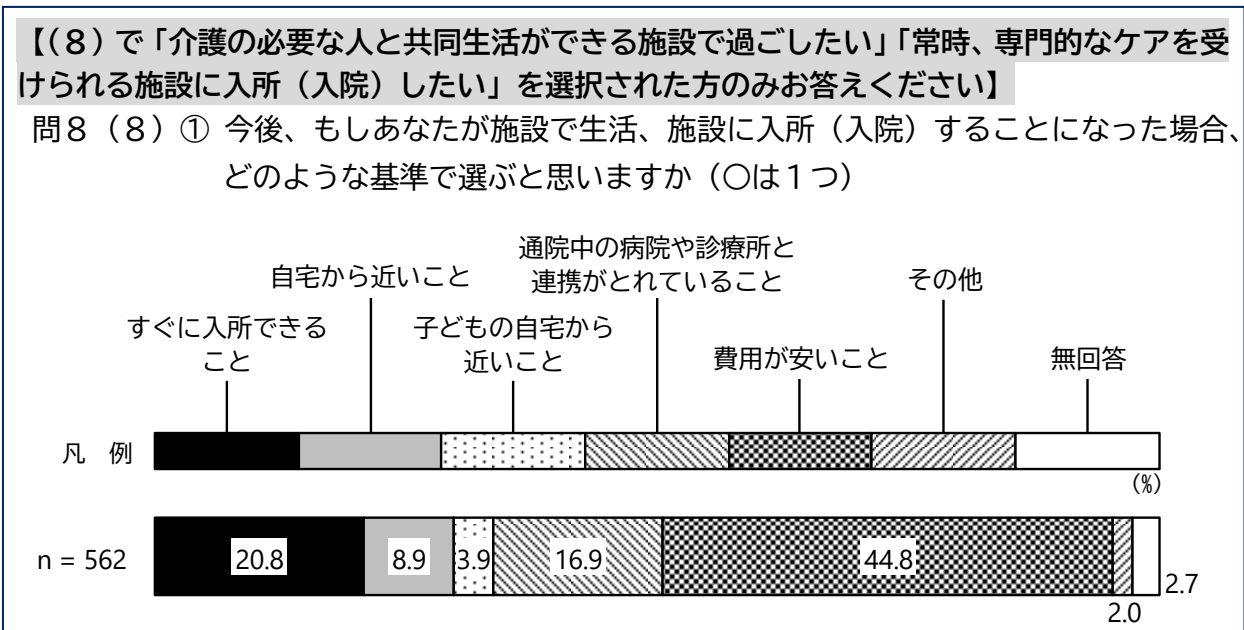
9-8 介護や医療ケアが必要になった時に希望する暮らし方

▶ 介護や医療ケアが必要になった時に希望する暮らし方については、「介護サービスや訪問診療による専門的なケアを受けながら、自宅で過ごしたい」が38.7%と最も高く、次いで「家族などによるケアを中心に、自宅で過ごしたい」(18.0%)、「常時、専門的なケアを受けられる施設に入所（入院）したい」(12.2%)となっています。一方「わからない」が18.1%となっています。



9-9 施設を選択する基準

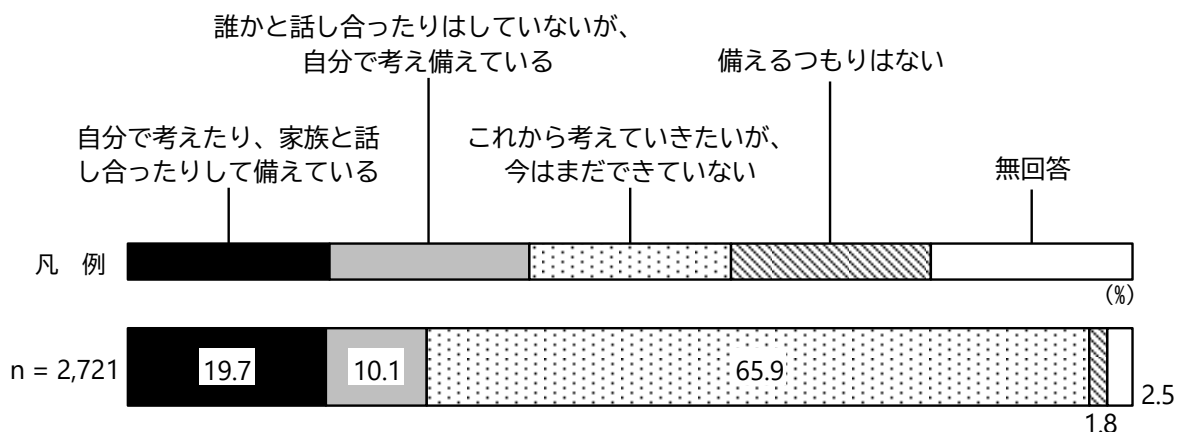
▶ 施設を選択する基準については、「費用が安いこと」が44.8%と最も高く、次いで「すぐに入所できること」(20.8%)、「通院中の病院や診療所と連携がとれていること」(16.9%)となっています。



9-10 判断能力が不十分になった場合の考えや話し合い

- ▶ 判断能力が不十分になった場合の考えや話し合いについては、「これから考えていきたいが、今はまだできていない」が65.9%と最も高く、次いで「自分で考えたり、家族と話し合ったりして備えている」（19.7%）、「誰かと話し合ったりはしていないが、自分で考え備えている」（10.1%）となっています。

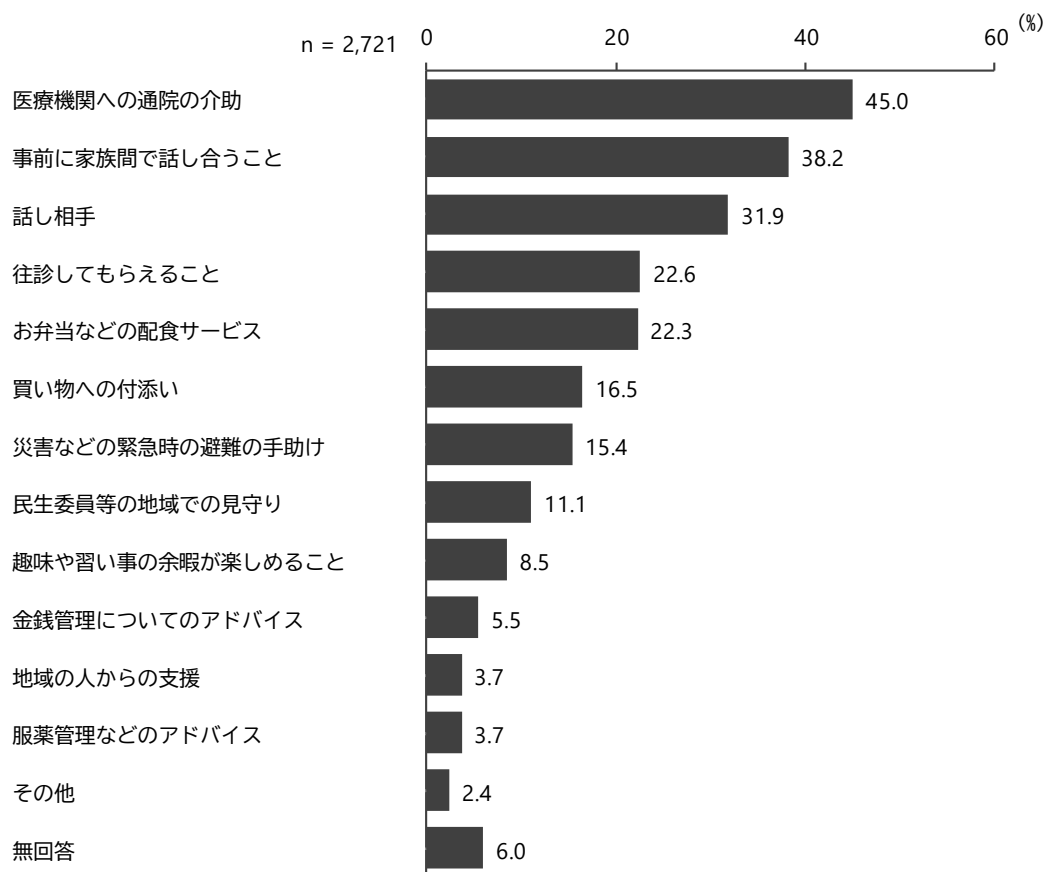
問8（9）介護や医療ケアの選択を自分自身で判断できなくなった時に備え、考えたり話し合ったりしていますか（○は1つ）



9-11 地域で暮らし続けるために必要なこと

- ▶ 地域で暮らし続けるために必要なことについては、「医療機関への通院の介助」が45.0%と最も高く、次いで「事前に家族間で話し合うこと」（38.2%）、「話し相手」（31.9%）となっています。
- ▶ 圏域別でみると、和賀・岩崎・藤根圏域では「往診してもらえること」が27.2%と他の圏域と比べて高くなっています。

問8（10）今後、もしあなたに介護や医療ケアが必要になった場合、住み慣れた地域で暮らし続けるため必要になりそうだと思うものは何ですか（○は3つまで）



II 調査結果（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

【圏域別／地域で暮らし続けるために必要なこと】

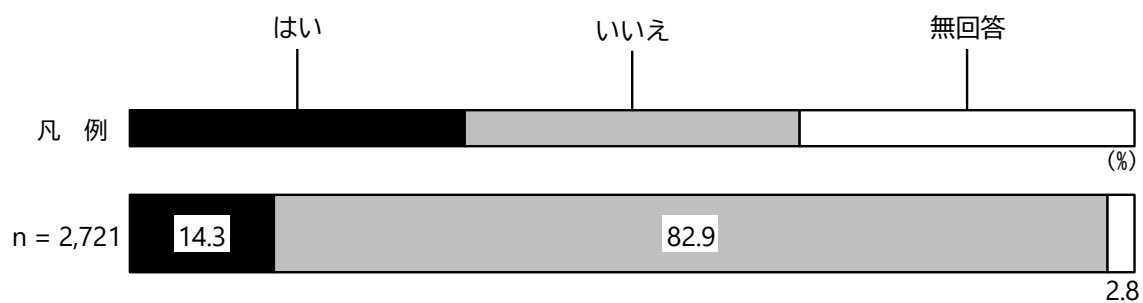
		n	話し相手	災害などの緊急時の避難の手助け	医療機関への通院の介助	買い物への付添い	趣味や習い事の余暇が楽しめること	往診してもらえること	り民生委員等の地域での見守	地域の人からの支援	お弁当などの配食サービス	金銭管理についてのアドバイス	服薬管理などのアドバイス	と事前に家族間で話し合うこ	その他	無回答
圏域別	黒沢尻東・黒沢尻西圏域	642	31.2	18.5	40.0	14.6	7.8	22.6	12.0	3.7	25.7	6.4	3.9	39.6	2.3	5.1
	黒沢尻北圏域	414	26.1	20.0	44.0	15.9	11.6	22.9	10.6	4.3	21.7	3.9	1.4	37.0	2.9	4.6
	飯豊圏域	317	32.8	16.1	44.2	17.0	10.7	19.6	11.7	4.1	24.0	5.7	6.6	34.7	3.5	7.3
	二子・更木・黒岩圏域	156	26.3	12.2	43.6	17.3	6.4	25.6	10.9	1.3	27.6	7.1	3.2	32.1	1.3	7.7
	立花・口内・稲瀬圏域	109	35.8	7.3	51.4	13.8	11.9	24.8	11.0	1.8	22.9	2.8	2.8	35.8	4.6	8.3
	相去・鬼柳圏域	393	34.9	15.8	45.5	19.8	6.9	20.1	10.9	2.8	23.7	5.6	3.6	39.7	2.3	5.9
	江釣子圏域	358	33.5	14.2	48.9	15.9	6.7	21.2	10.9	3.9	17.9	5.9	3.6	39.9	1.7	7.0
	和賀・岩崎・藤根圏域	324	35.2	8.3	51.2	17.6	7.7	27.2	10.5	4.3	15.7	5.6	4.3	40.4	1.2	6.2

10 認知症について

10-1 認知症の症状の有無

- ▶ 認知症の症状の有無については、「いいえ」が 82.9%、「はい」が 14.3%となっています。

問9（1）認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいますか（○は1つ）

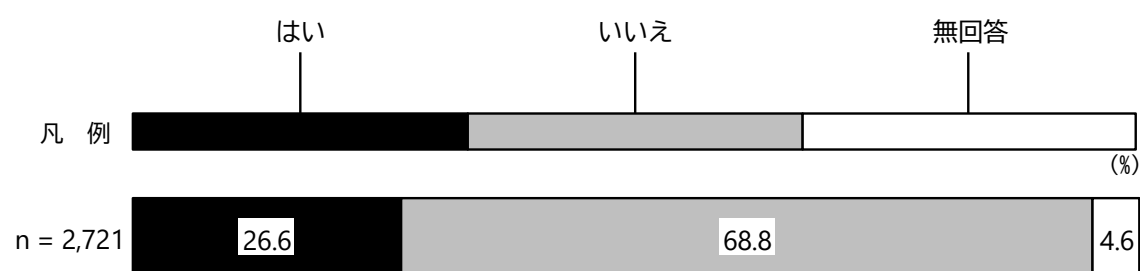


II 調査結果（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

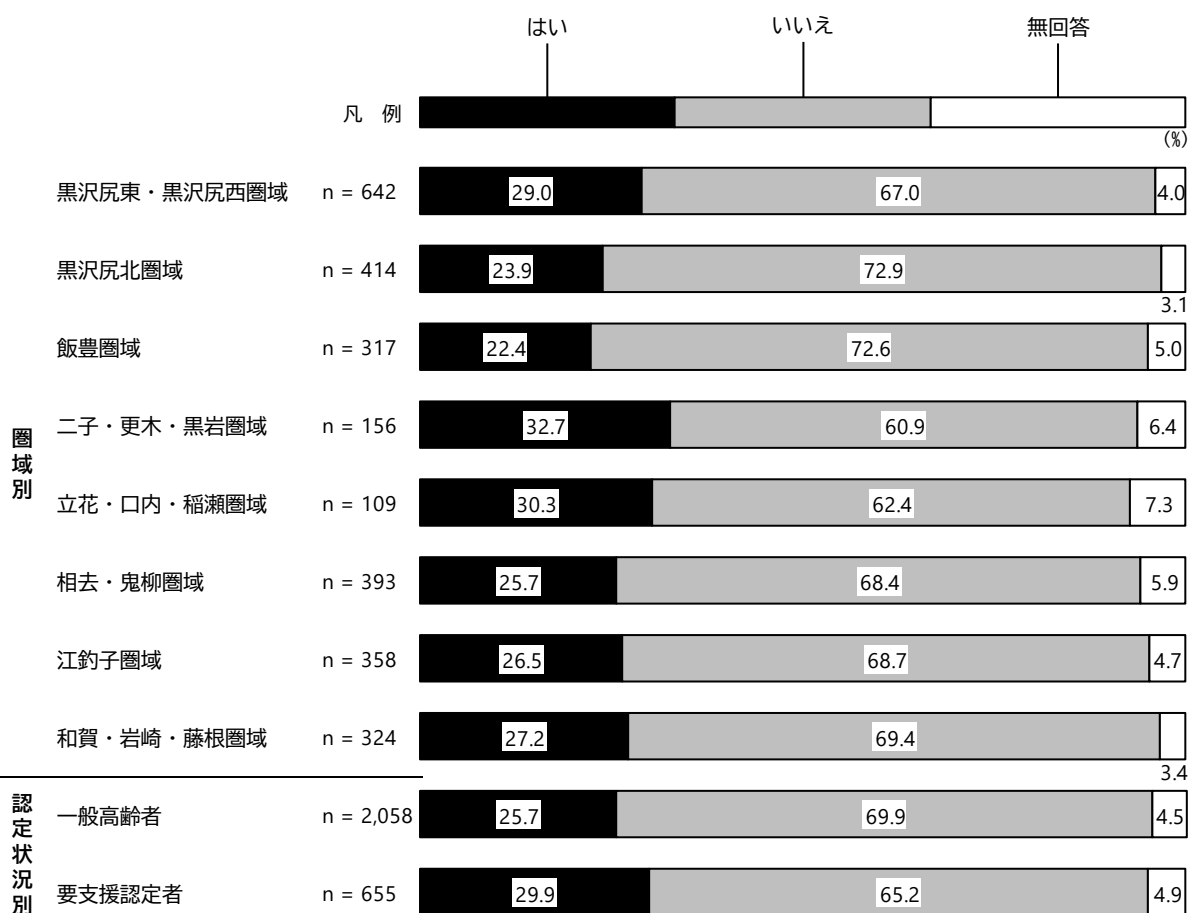
10-2 認知症に関する相談窓口の認知度

- ▶ 認知症に関する相談窓口の認知度については、「いいえ」が 68.8%、「はい」が 26.6% となっています。
- ▶ 圏域別でみると、飯豊圏域では「はい」が 22.4%と他の圏域と比べて低くなっています。
- ▶ 認定状況別でみると、要支援認定者では「はい」が 29.9%と一般高齢者と比べて高くなっています。

問9（2）認知症に関する相談窓口を知っていますか（○は1つ）



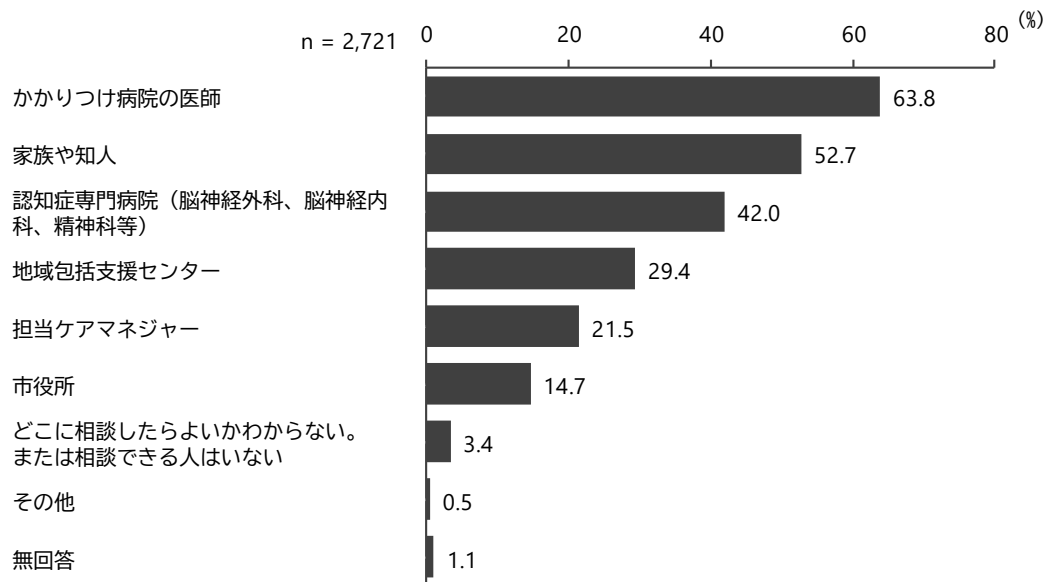
【圏域別・認定状況別／認知症に関する相談窓口の認知度】



10-3 認知症が心配になった時の相談相手・場所

- ▶ 認知症が心配になった時の相談相手・場所については、「かかりつけ病院の医師」が63.8%と最も高く、次いで「家族や知人」(52.7%)、「認知症専門病院（脳神経外科、脳神経内科、精神科等）」(42.0%)となっています。
- ▶ 圏域別でみると、二子・更木・黒岩圏域では「家族や知人」が42.9%と他の圏域と比べて低くなっています。
- ▶ 認定状況別でみると、要支援認定者では「担当ケアマネジャー」が54.2%と一般高齢者と比べ40ポイント以上高くなっています。
- ▶ 年代別でみると、「担当ケアマネジャー」の割合は概ね年齢が上がるにつれ高くなる傾向があり、90歳以上では44.3%となっています。

問9（3）認知症が心配になった時、どこ・誰に相談するとよいと思いますか
（〇はいくつでも）



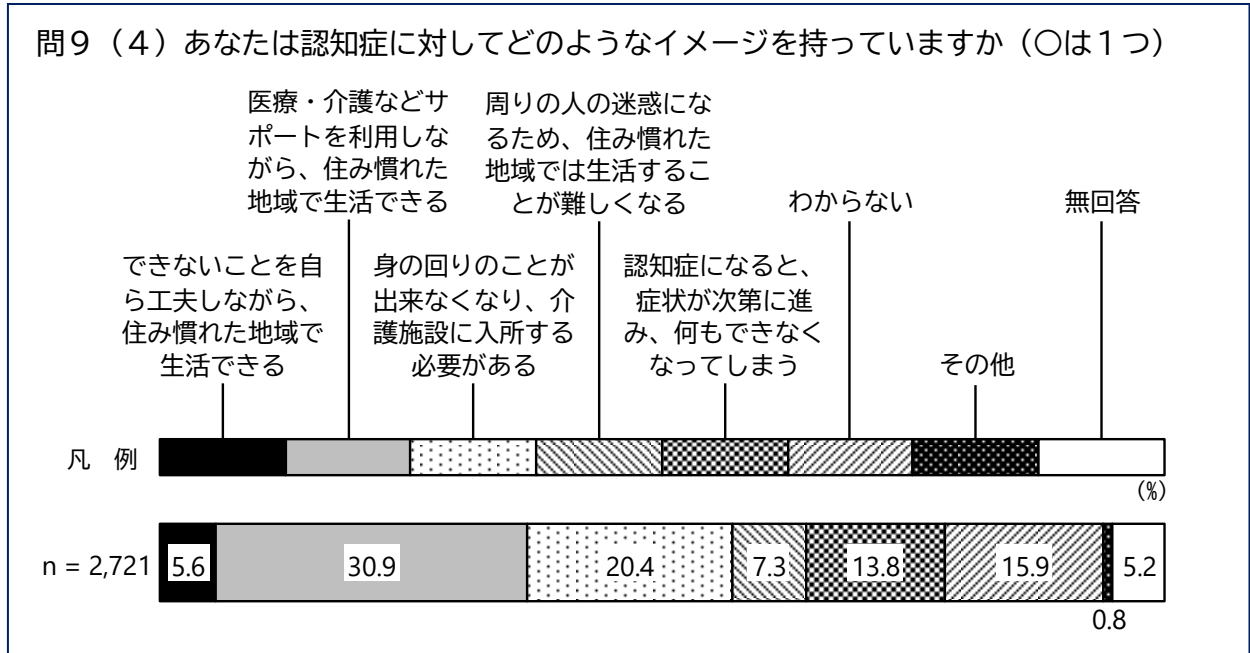
II 調査結果（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

【圏域別・認定状況別・年代別／認知症が心配になった時の相談相手・場所】

			かかりつけ病院の医師	家族や知人	科、認知症専門病院（脳神経内科、精神科等）	市役所	地域包括支援センター	担当ケアマネジャー	はらない。または相談できないかわからない。または相談したらいけない。	どこに相談したらよいかわらない。	その他	無回答
		n										(%)
圏域別	黒沢尻東・黒沢尻西圏域	642	65.0	54.2	43.9	17.1	30.1	22.7	1.7	-	1.6	
	黒沢尻北圏域	414	60.6	54.6	45.2	16.4	30.2	23.2	2.9	0.7	0.5	
	飯豊圏域	317	58.4	50.5	41.6	12.0	27.4	21.5	6.0	0.3	0.9	
	二子・更木・黒岩圏域	156	62.2	42.9	39.7	11.5	31.4	23.1	3.2	-	2.6	
	立花・口内・稲瀬圏域	109	74.3	53.2	41.3	11.9	37.6	16.5	0.9	0.9	0.9	
	相去・鬼柳圏域	393	65.9	53.7	42.7	17.3	29.5	20.6	3.8	0.8	0.8	
	江釣子圏域	358	64.5	52.0	41.3	14.8	26.3	20.1	3.9	0.6	1.1	
	和賀・岩崎・藤根圏域	324	65.1	53.7	36.1	9.6	28.7	21.0	4.3	0.6	1.2	
状況別	一般高齢者	2,058	63.5	54.2	43.5	16.5	29.6	11.2	3.5	0.4	1.0	
	要支援認定者	655	65.0	48.1	37.4	9.0	28.7	54.2	2.9	0.6	1.5	
年代別	65～69歳	545	60.0	52.5	47.7	17.2	32.5	16.1	2.8	0.2	0.9	
	70～74歳	589	60.4	55.7	43.5	17.1	29.4	13.9	3.2	0.7	0.7	
	75～79歳	600	64.2	54.5	44.3	15.8	30.7	14.2	3.7	0.2	1.2	
	80～84歳	416	70.0	49.0	39.4	14.2	29.3	26.2	4.3	0.7	1.2	
	85～89歳	344	67.4	50.3	38.7	8.4	23.5	36.0	2.9	-	1.7	
	90歳以上	219	64.4	51.1	28.3	9.6	27.9	44.3	3.2	1.4	1.8	

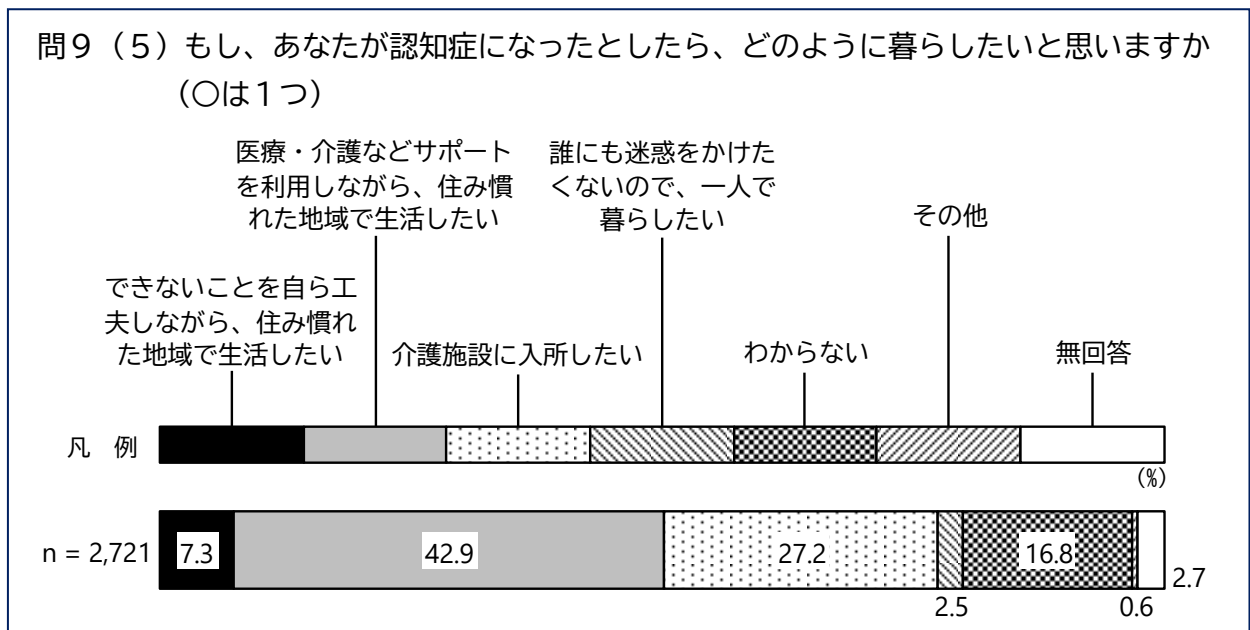
10-4 認知症のイメージ

- ▶ 認知症のイメージについては、「医療・介護などサポートを利用しながら、住み慣れた地域で生活できる」が30.9%と最も高く、次いで「身の回りのことが出来なくなり、介護施設に入所する必要がある」(20.4%)、「認知症になると、症状が次第に進み、何もできなくなってしまう」(13.8%)となっています。一方「わからない」が15.9%となっています。



10-5 認知症になった時に希望する暮らし方

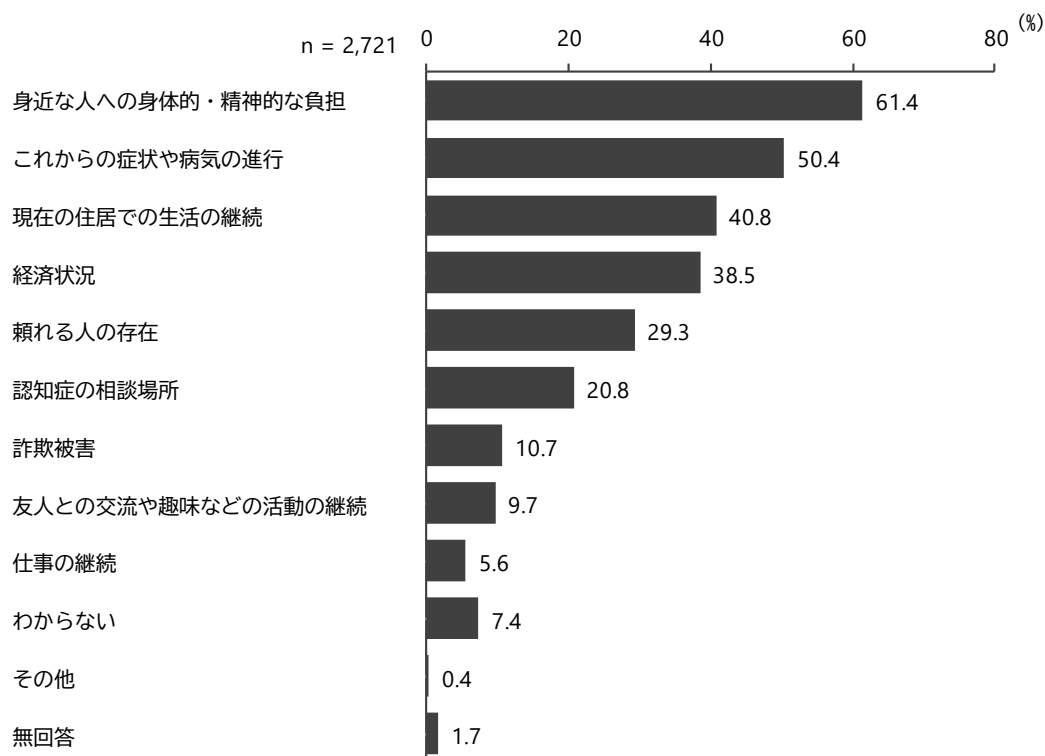
- ▶ 認知症になった時に希望する暮らし方については、「医療・介護などサポートを利用しながら、住み慣れた地域で生活したい」が42.9%と最も高く、次いで「介護施設に入所したい」(27.2%)、「できないことを自ら工夫しながら、住み慣れた地域で生活したい」(7.3%)となっています。一方「わからない」が16.8%となっています。



10-6 自分や大切な人が認知症になった場合に心配なことや不安に感じること

- ▶ 自分や大切な人が認知症になった場合に心配なことや不安に感じることについては、「身近な人への身体的・精神的な負担」が61.4%と最も高く、次いで「これからの症状や病気の進行」(50.4%)、「現在の住居での生活の継続」(40.8%)となっています。

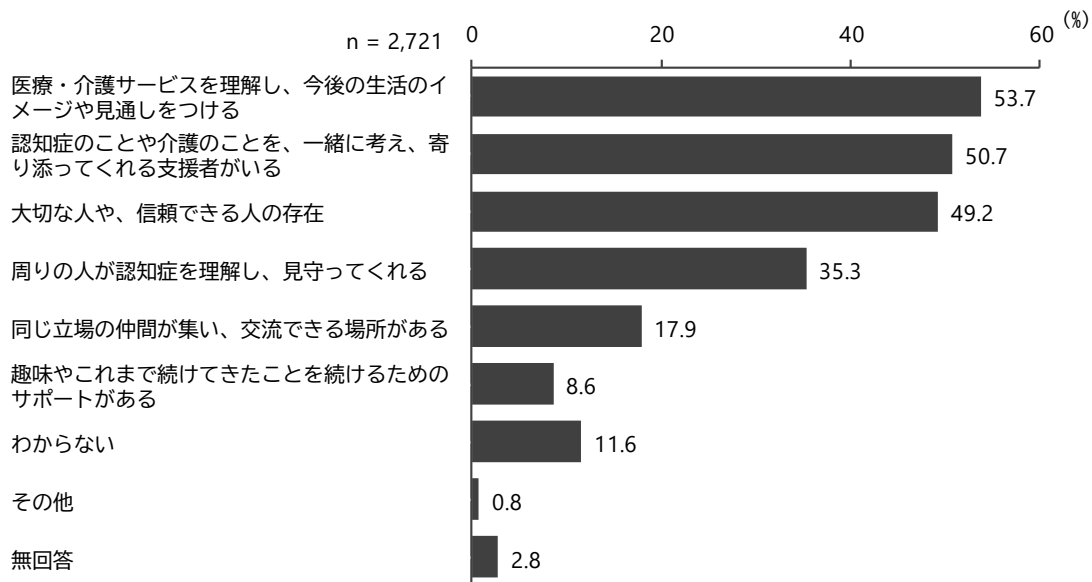
問9（6）自分や大切な人が認知症になったとしたら、心配なことや不安に感じることは何ですか（○はいくつでも）



10-7 認知症になった場合に安心して、希望をもって暮らしていくために大切だと思うこと

- ▶ 認知症になった場合に安心して、希望をもって暮らしていくために大切だと思うことについては、「医療・介護サービスを理解し、今後の生活のイメージや見通しをつける」が53.7%と最も高く、次いで「認知症のことや介護のことを、一緒に考え、寄り添ってくれる支援者がいる」(50.7%)、「大切な人や、信頼できる人の存在」(49.2%)となっています。
- ▶ 圏域別でみると、黒沢尻東・黒沢尻西圏域では「医療・介護サービスを理解し、今後の生活のイメージや見通しをつける」が57.6%と他の圏域と比べて高くなっています。
- ▶ 認定状況別でみると、要支援認定者では「大切な人や、信頼できる人の存在」が43.1%と一般高齢者と比べて低くなっています。

問9（7）自分や大切な人が認知症になったとしても、安心して、希望をもって暮らしていくために大切だと思うことは何ですか（〇はいくつでも）



II 調査結果（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

【圏域別・認定状況別／認知症になった場合に安心して、希望をもって暮らしていくために大切だと思うこと】

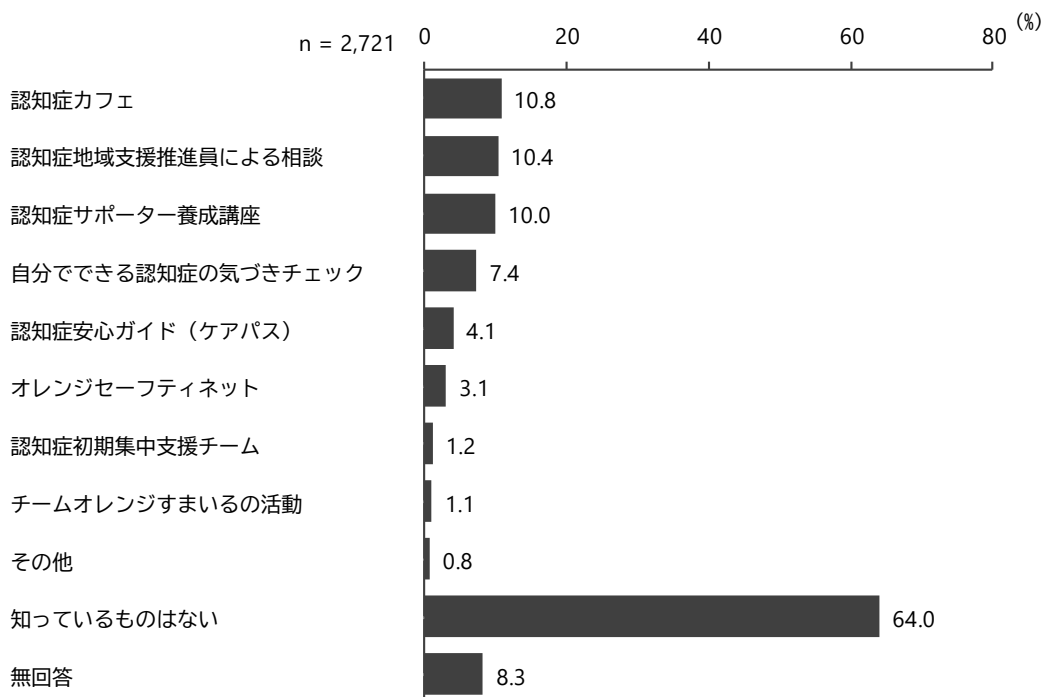
(%)

		n	周りの人が認知症を理解し、見守ってくれる	大切な人や、信頼できる人の存在	医療・介護サービスや、通いの生活のイメージ	認知症のことや介護のことと一緒に考え、寄り添ってくれる支援者がいる	同じ立場の仲間が集い、交流できる場所がある	趣味やこれまでに続けてきたことがある	わからない	その他	無回答
圏域別	黒沢尻東・黒沢尻西圏域	642	36.3	51.7	57.6	52.2	17.6	7.3	10.4	0.6	1.9
	黒沢尻北圏域	414	35.3	49.0	55.1	53.6	19.8	9.7	11.6	1.2	2.7
	飯豊圏域	317	32.2	43.2	48.9	48.9	15.8	7.9	15.8	-	2.8
	二子・更木・黒岩圏域	156	37.2	44.9	46.8	47.4	17.3	8.3	14.1	0.6	3.2
	立花・口内・稲瀬圏域	109	42.2	52.3	54.1	45.0	24.8	16.5	8.3	0.9	0.9
	相去・鬼柳圏域	393	36.1	50.9	54.2	51.9	17.8	9.9	10.2	0.8	3.8
	江釣子圏域	358	34.1	48.3	52.2	51.1	20.4	8.4	10.1	0.8	4.5
	和賀・岩崎・藤根圏域	324	33.6	49.7	52.8	47.8	13.6	6.5	12.7	0.9	2.2
状況別	一般高齢者	2,058	36.6	51.1	55.6	51.3	18.1	8.5	10.3	0.6	2.4
	要支援認定者	655	31.3	43.1	47.6	49.2	17.4	9.0	15.4	1.1	4.0

10-8 北上市の認知症に関する取り組みの認知状況

- ▶ 北上市の認知症に関する取り組みの認知状況については、「認知症カフェ」が10.8%と最も高く、次いで「認知症地域支援推進員による相談」（10.4%）、「認知症サポーター養成講座」（10.0%）となっています。一方「知っているものはない」が64.0%となっています。
- ▶ 圏域別でみると、立花・口内・稲瀬圏域では「認知症カフェ」が14.7%、江釣子圏域では「認知症地域支援推進員による相談」が14.2%と、それぞれ他の圏域と比べて高くなっています。
- ▶ 認定状況別でみると、要支援認定者と一般高齢者では、概ね同様の傾向となっています。
- ▶ 性別でみると、女性では「認知症カフェ」が14.7%と男性と比べて高くなっています。

問9（8）北上市が実施する認知症に関する取り組みの中で、知っているものを教えてください（○はいくつでも）



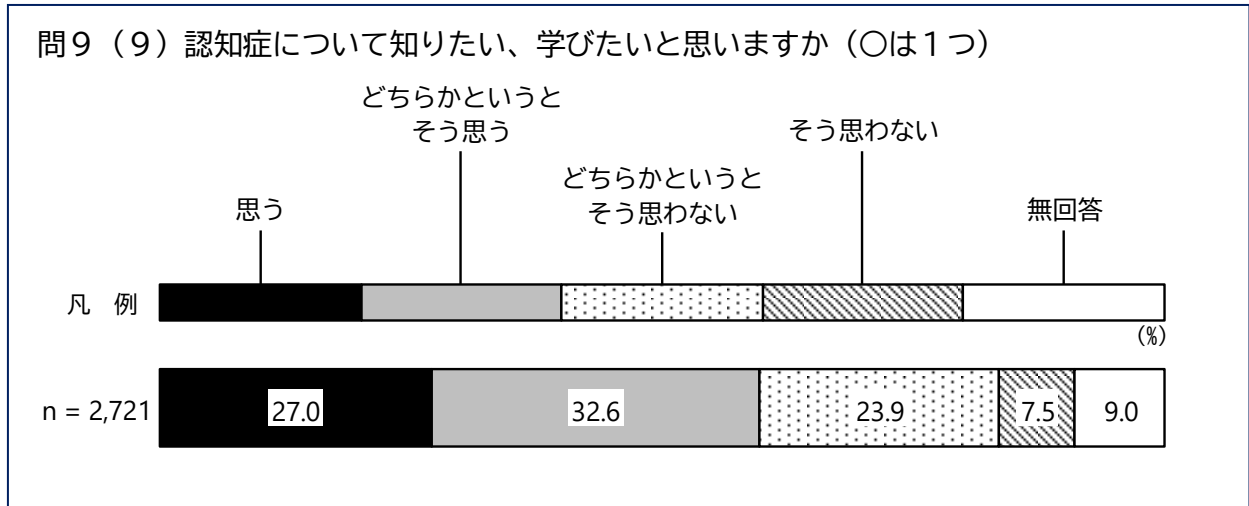
II 調査結果（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

【圏域別・認定状況別・性別／北上市の認知症に関する取り組みの認知状況】

			認知症サポーター養成講座	認知症安心ガイド（ケアパス）	認知症カフェ	認知症地域支援推進員による相談	認知症初期集中支援チーム	オレンジセーフティネット	自分でできる認知症の気づきエッセツク	活動チームオレンジすまいるの	その他	知っているものはない	無回答
		n											(%)
圏域別	黒沢尻東・黒沢尻西圏域	642	11.4	5.3	11.8	9.0	0.6	2.8	6.7	1.1	1.6	64.2	7.0
	黒沢尻北圏域	414	9.9	3.4	9.9	7.2	1.4	3.6	7.5	1.9	-	67.1	6.8
	飯豊圏域	317	8.2	2.8	8.8	10.7	0.9	2.2	5.4	0.9	0.6	66.9	8.8
	二子・更木・黒岩圏域	156	11.5	5.1	12.2	11.5	1.9	6.4	8.3	1.9	1.9	62.2	6.4
	立花・口内・稲瀬圏域	109	11.0	2.8	14.7	11.9	1.8	3.7	9.2	-	0.9	62.4	4.6
	相去・鬼柳圏域	393	8.9	3.1	10.2	10.4	0.8	4.1	7.1	1.0	0.3	62.6	11.2
	江釣子圏域	358	9.8	4.2	10.9	14.2	1.4	2.0	8.4	0.6	0.8	60.3	11.5
	和賀・岩崎・藤根圏域	324	9.6	4.9	10.5	12.0	1.9	2.2	9.0	1.2	0.9	63.0	8.0
状況別	一般高齢者	2,058	10.3	3.8	10.9	10.3	1.0	2.7	7.8	1.1	0.9	64.9	7.4
	要支援認定者	655	8.9	4.9	10.5	10.8	1.7	4.3	6.1	1.2	0.8	60.6	11.5
性別	男性	1,100	7.2	3.8	5.1	9.7	0.9	2.5	5.2	0.8	1.5	71.8	7.6
	女性	1,613	11.9	4.3	14.7	11.0	1.4	3.5	8.9	1.4	0.4	58.5	8.9

10-9 認知症について知りたい、学びたいと思うか

▶ 認知症について知りたい、学びたいと思うかについては、「どちらかというと思う」が 32.6%と最も高く、次いで「思う」（27.0%）、「どちらかというと思わない」（23.9%）となっています。

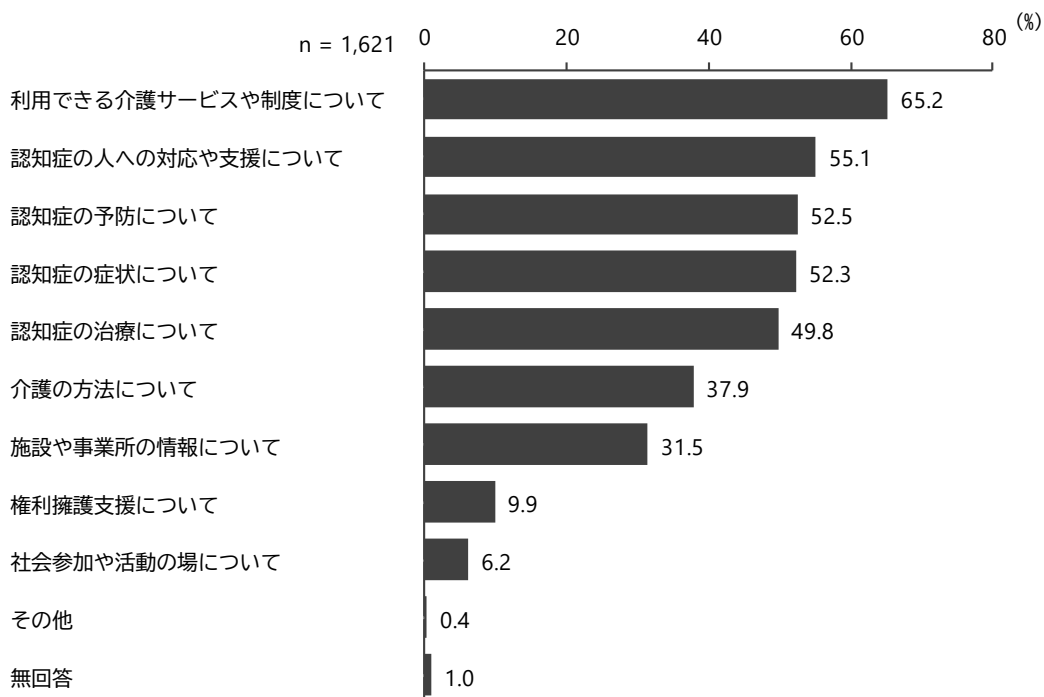


10-10 認知症について学びたいこと

▶ 認知症について学びたいことについては、「利用できる介護サービスや制度について」が 65.2%と最も高く、次いで「認知症の人への対応や支援について」（55.1%）、「認知症の予防について」（52.5%）となっています。

【問9（9）で「思う」「どちらかというと思う」と回答した方のみお答えください】

問9（9）① どのようなことを学びたいと思いますか（○はいくつでも）

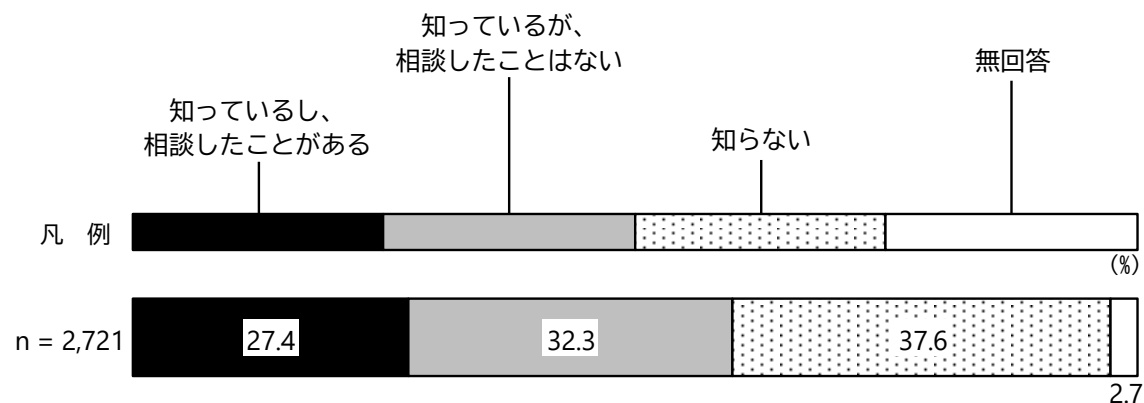


11 北上市の高齢者施策について

11-1 地域包括支援センターの認知度

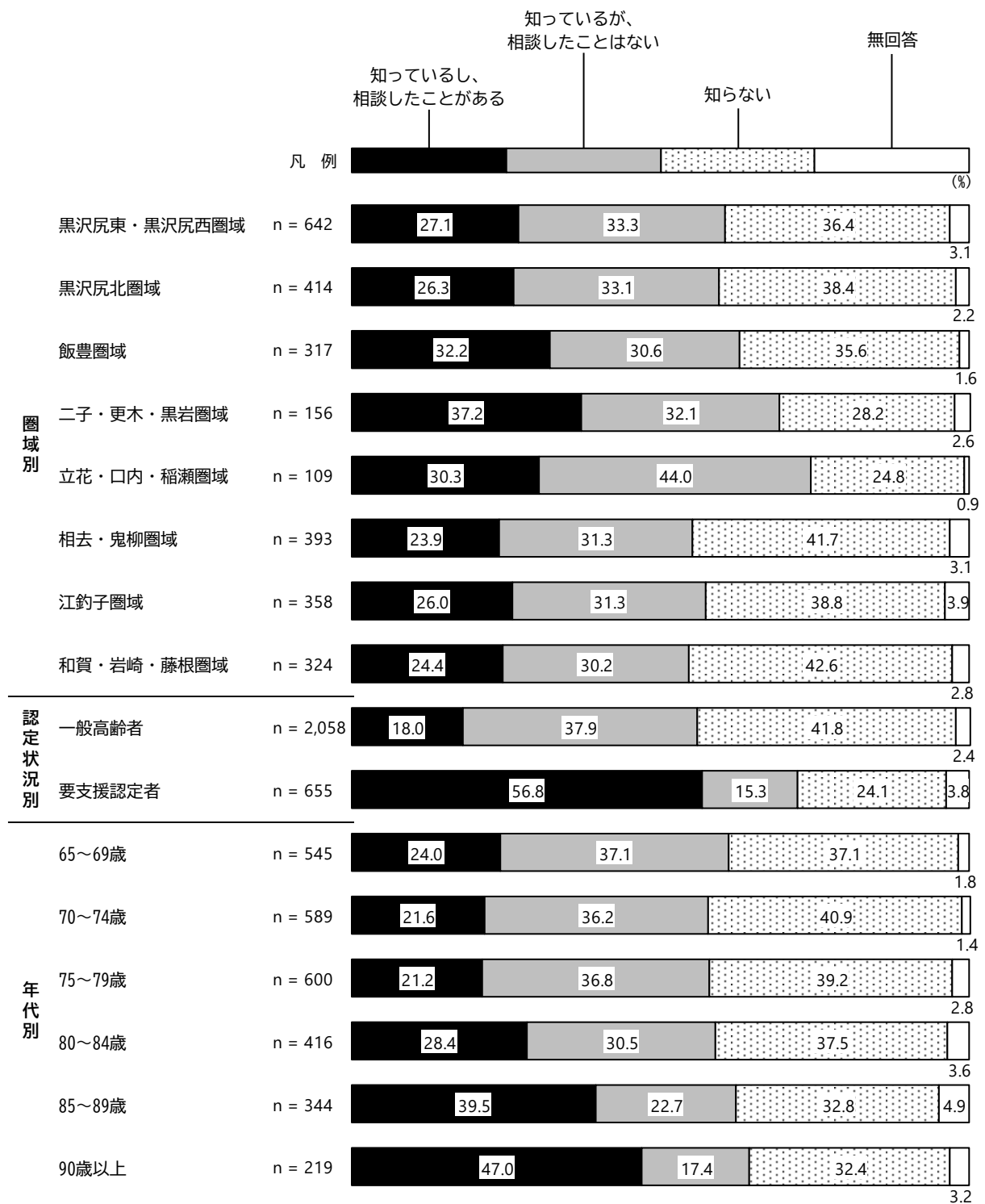
- ▶ 地域包括支援センターの認知度については、「知らない」が37.6%と最も高く、次いで「知っているが、相談したことはない」(32.3%)、「知っているし、相談したことがある」(27.4%)となっています。
- ▶ 圏域別でみると、二子・更木・黒岩圏域では「知っているし、相談したことがある」が37.2%と他の圏域と比べて高くなっています。
- ▶ 認定状況別でみると、要支援認定者では「知っているし、相談したことがある」が56.8%と一般高齢者と比べ35ポイント以上高くなっています。
- ▶ 年代別でみると、90歳以上では「知っているし、相談したことがある」が47.0%と他の年代と比べて高くなっています。

問10(1) 北上市では、高齢者の総合相談窓口として「地域包括支援センター」を開設しています。あなたは、地域包括支援センターを知っていますか（○は1つ）



II 調査結果（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

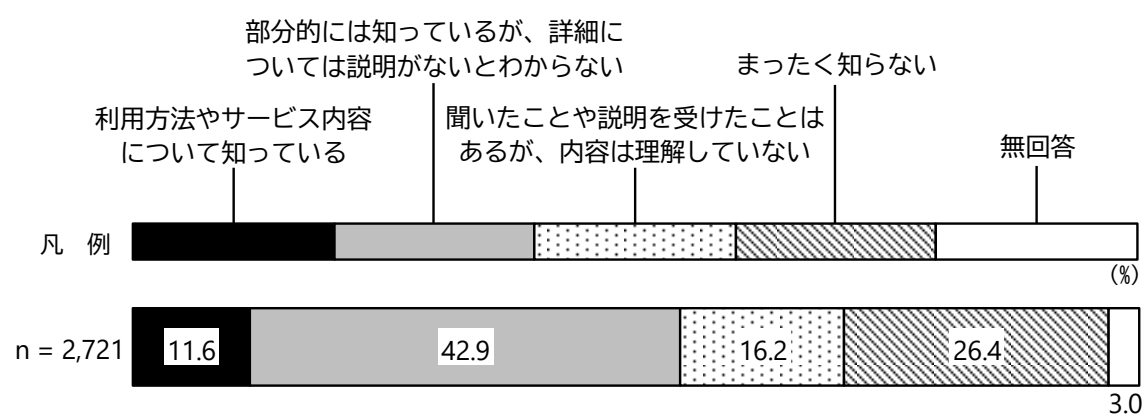
【圏域別・認定状況別・年代別／地域包括支援センターの認知度】



11-2 介護保険制度の認知度

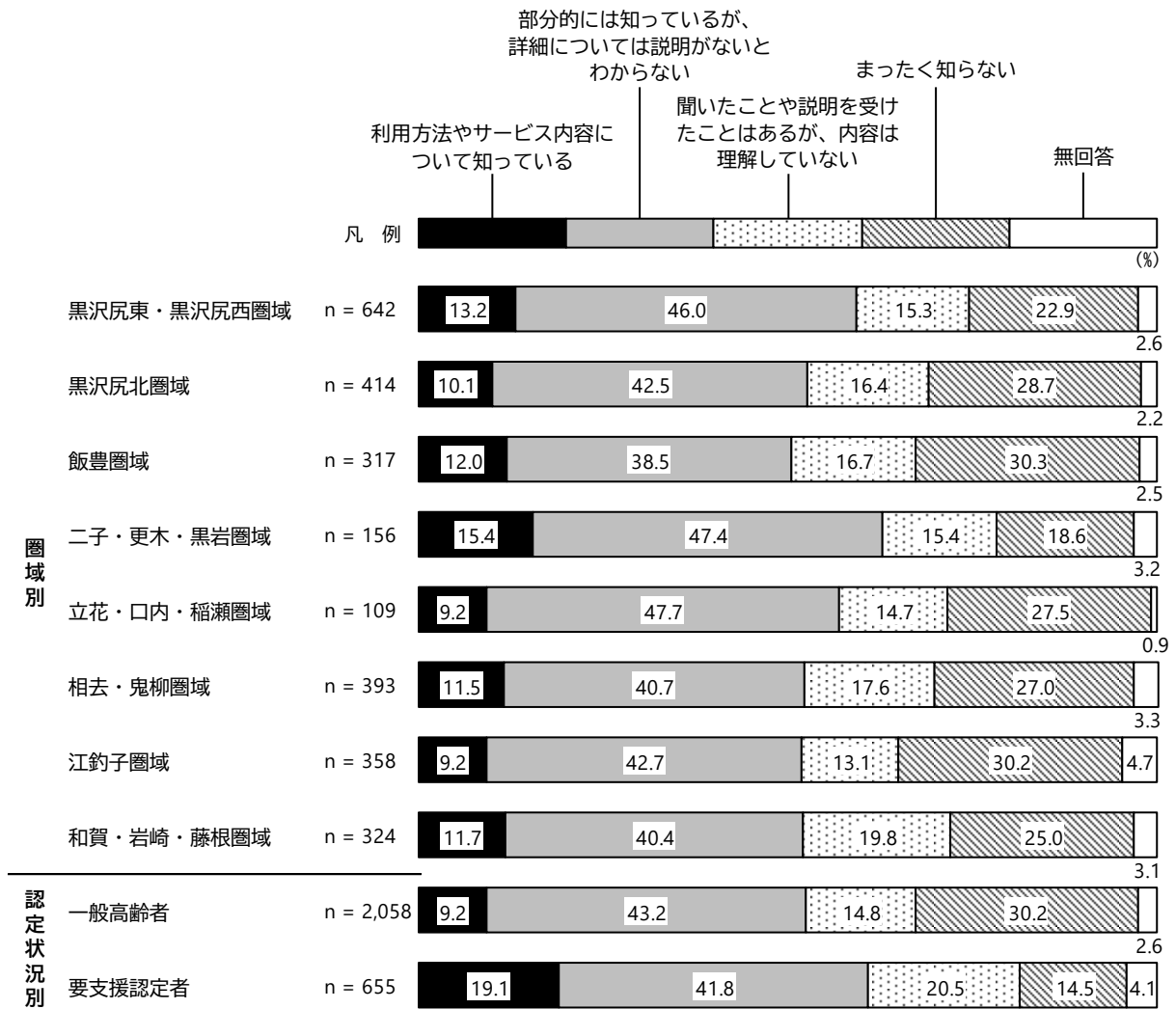
- ▶ 介護保険制度の認知度については、「部分的には知っているが、詳細については説明がないとわからない」が42.9%と最も高く、次いで「聞いたことや説明を受けたことはあるが、内容は理解していない」（16.2%）、「利用方法やサービス内容について知っている」（11.6%）となっています。一方「まったく知らない」が26.4%となっています。
- ▶ 圏域別でみると、飯豊圏域と江釣子圏域では「まったく知らない」が3割以上と他の圏域と比べて高くなっています。
- ▶ 認定状況別でみると、要支援認定者では「利用方法やサービス内容について知っている」が19.1%と一般高齢者と比べて高くなっています。

問10（2）あなたは介護保険制度についてどれくらい知っていますか（○は1つ）



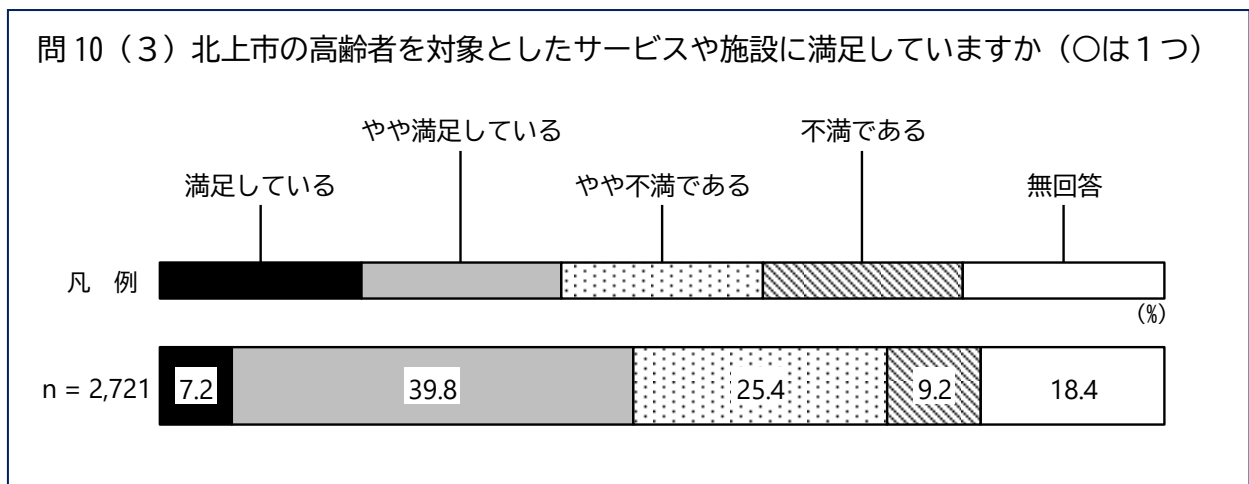
II 調査結果（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

【圏域別・認定状況別／介護保険制度の認知度】



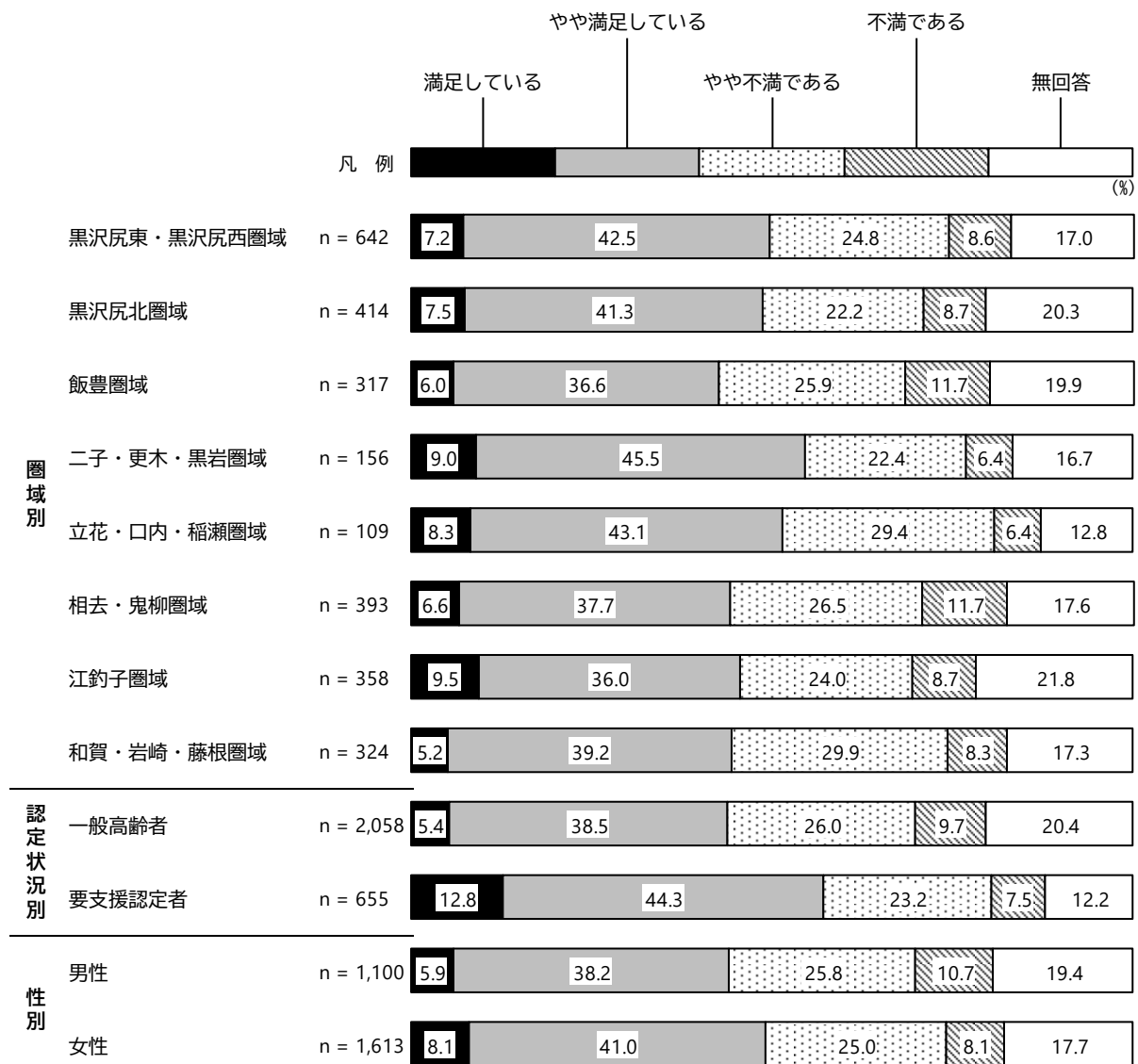
11-3 北上市の高齢者向けサービスや施設の満足度

- ▶ 北上市の高齢者向けサービスや施設の満足度については、「やや満足している」が 39.8%と最も高く、次いで「やや不満である」(25.4%)、「不満である」(9.2%)となっています。
- ▶ 圏域別でみると、飯豊圏域と相去・鬼柳圏域では「不満である」がどちらも 11.7%と他の圏域と比べて高くなっています。
- ▶ 認定状況別でみると、要支援認定者では「満足している」が 12.8%と一般高齢者と比べて高くなっています。
- ▶ 性別でみると、女性では「不満である」が 8.1%と男性と比べて低くなっています。



II 調査結果（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

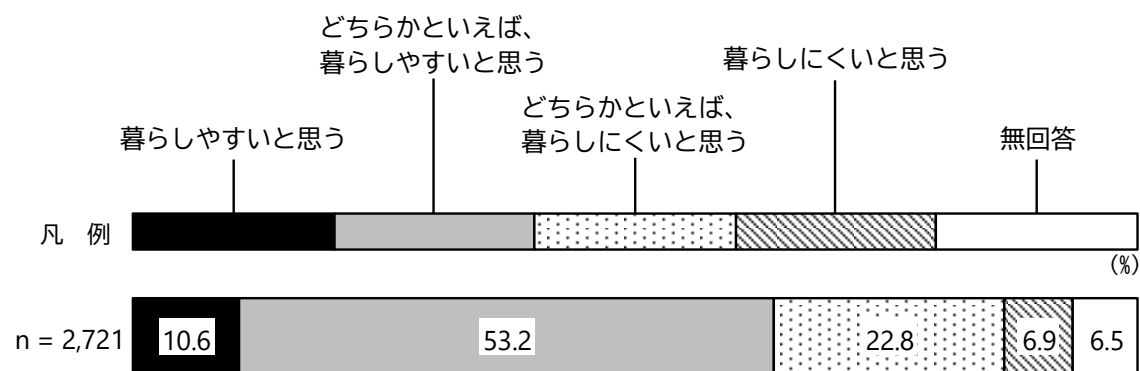
【圏域別・認定状況別・性別／北上市の高齢者向けサービスや施設の満足度】



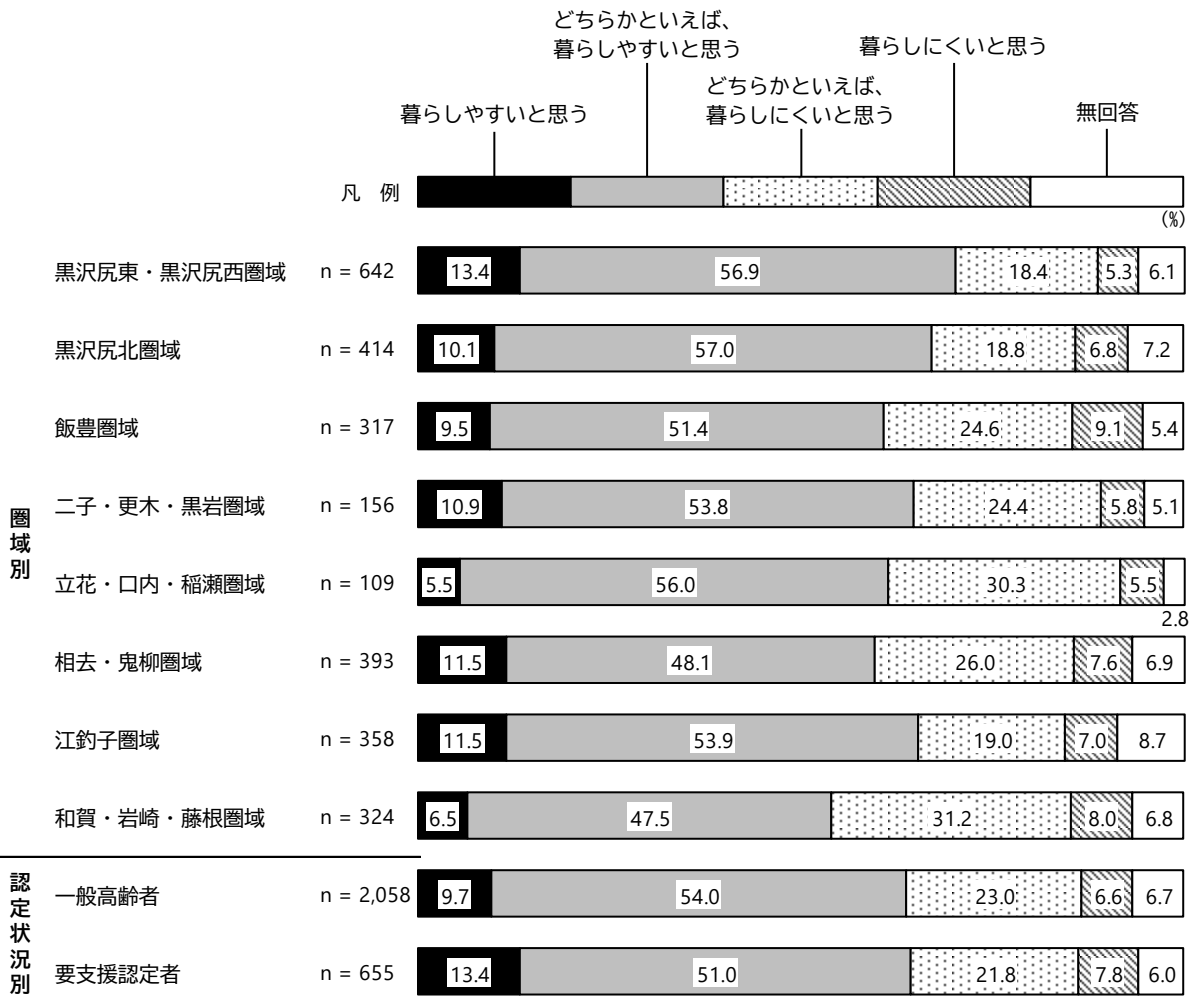
11-4 北上市は高齢者が暮らしやすいまちだと思うか

- ▶ 北上市は高齢者が暮らしやすいまちだと思うかについては、「どちらかといえば、暮らしやすいと思う」が53.2%と最も高く、次いで「どちらかといえば、暮らしにくいと思う」（22.8%）、「暮らしやすいと思う」（10.6%）となっています。
- ▶ 圏域別でみると、黒沢尻東・黒沢尻西圏域では「暮らしやすいと思う」が13.4%と他の圏域と比べて高くなっています。
- ▶ 認定状況別でみると、要支援認定者では「暮らしやすいと思う」が13.4%と一般高齢者と比べて高くなっています。

問10（4）北上市は、あなたや同世代にとって暮らしやすいと思いますか（○は1つ）



【圏域別・認定状況別／北上市は高齢者が暮らしやすいまちだと思うか】

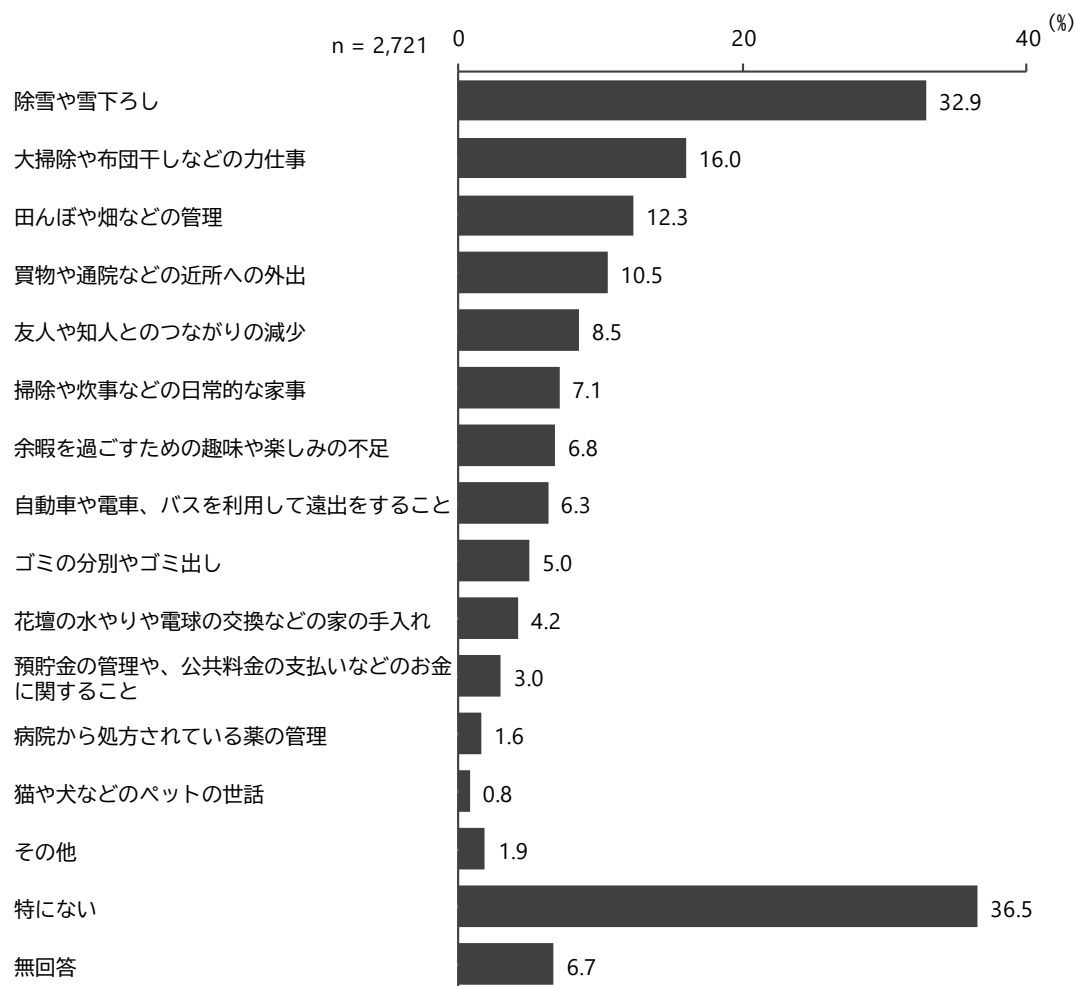


II 調査結果（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

11-5 日常生活で困っていること

- ▶ 日常生活で困っていることについては、「除雪や雪下ろし」が32.9%と最も高く、次いで「大掃除や布団干しなどの力仕事」（16.0%）、「田んぼや畑などの管理」（12.3%）となっています。一方「特にない」が36.5%となっています。

問10（5）日常生活で困っていることはありますか（○は3つまで）

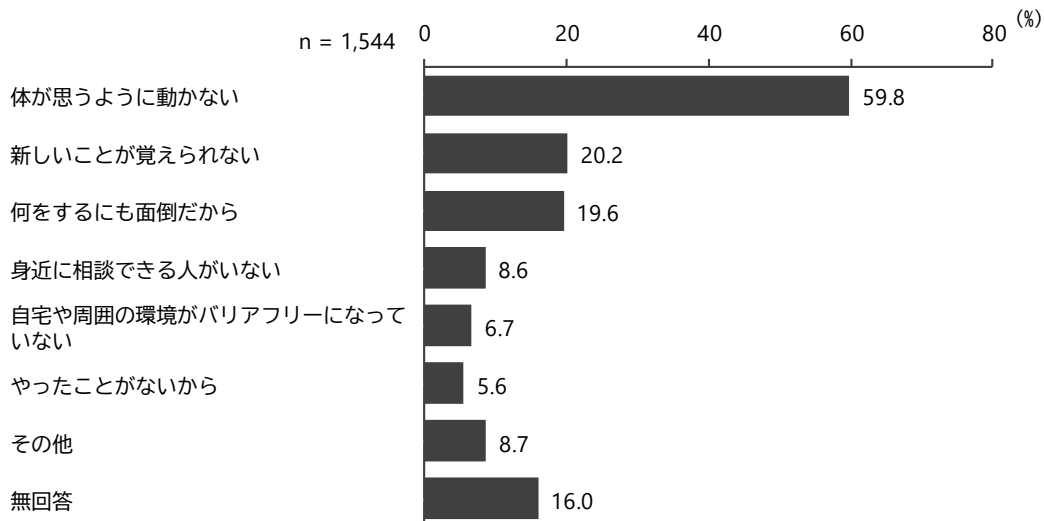


11-6 日常生活で困っていることの原因

- ▶ 日常生活で困っていることの原因については、「体が思うように動かない」が59.8%と最も高く、次いで「新しいことが覚えられない」（20.2%）、「何をするにも面倒だから」（19.6%）となっています。

【問10(5)①と(5)②は、(5)で「1.」～「14.」（「特になし」以外）を選択された方のみお答えください】

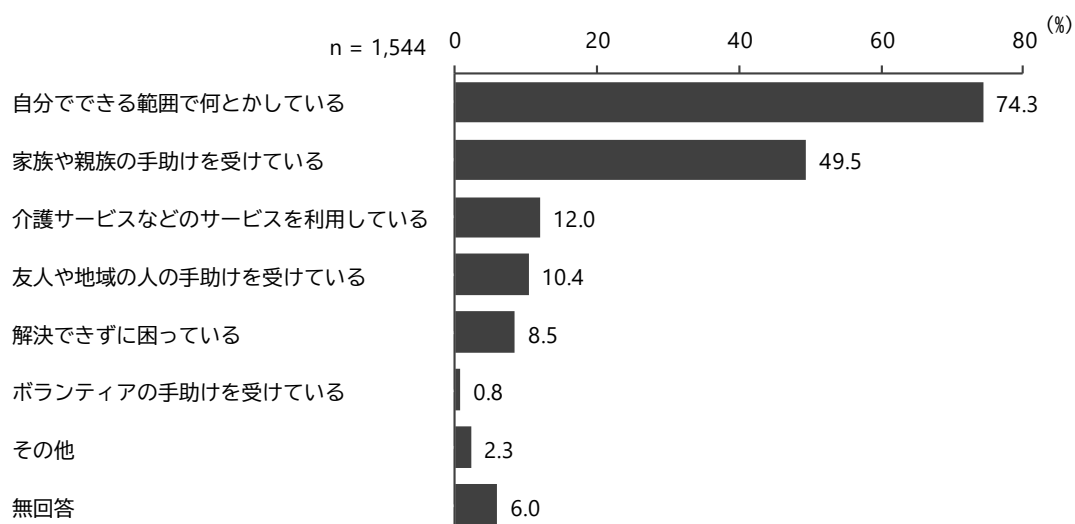
問10(5)① 日常生活で困っていることの原因は何だと思いますか（○は3つまで）



11-7 日常生活で困っていることの方法

- ▶ 日常生活で困っていることの方法については、「自分でできる範囲で何とかしている」が74.3%と最も高く、次いで「家族や親族の手助けを受けている」（49.5%）、「介護サービスなどのサービスを利用している」（12.0%）となっています。

問10(5)② 日常生活で困っていることは、普段どのように解決していますか（○は3つまで）

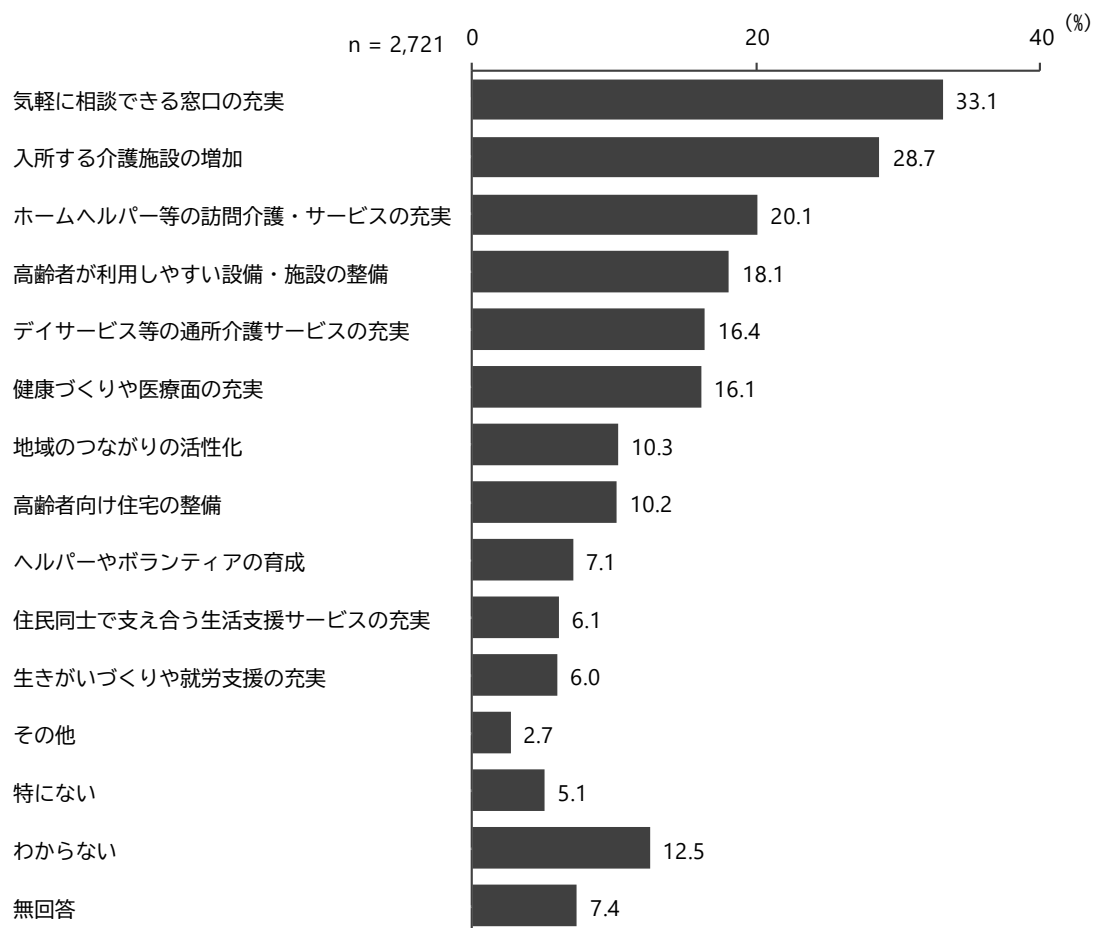


II 調査結果（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

11-8 高齢者が暮らしやすいまちになるために、北上市が重点的に進めるべきこと

- ▶ 高齢者が暮らしやすいまちになるために、北上市が重点的に進めるべきことについては、「気軽に相談できる窓口の充実」が33.1%と最も高く、次いで「入所する介護施設の増加」(28.7%)、「ホームヘルパー等の訪問介護・サービスの充実」(20.1%)となっています。
- ▶ 圏域別でみると、二子・更木・黒岩圏域では「地域のつながりの活性化」が15.4%と他の圏域と比べて高くなっています。
- ▶ 認定状況別でみると、要支援認定者と一般高齢者どちらも「入所する介護施設の増加」が約3割となっています。
- ▶ 年代別でみると、70～74歳では「気軽に相談できる窓口の充実」が37.5%と他の年代と比べて高くなっています。

問10（6）高齢者にとって暮らしやすいまちになるために、北上市が重点的に進めるべきことは何だと思えますか（〇は3つまで）



Ⅱ 調査結果（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

【圏域別・認定状況別・年代別／高齢者が暮らしやすいまちになるために、北上市が重点的に進めるべきこと】

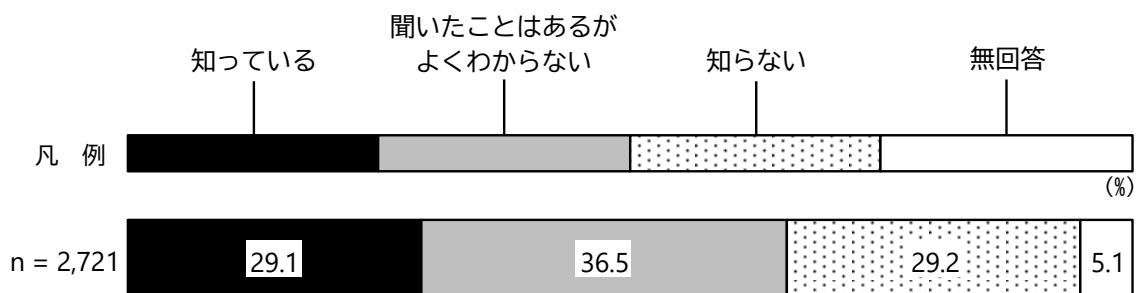
		n	地域のつながりの活性化	実気軽に相談できる窓口の充実	健康づくりや医療面の充実	ホームヘルパー等の訪問介護・サービスの充実	デイサービスの充実	入所する介護施設の増加	ヘルパーやボランティアの育成	生きがいづくりや就労支援の充実	高齢者向け住宅の整備	高齢者が利用しやすい設備・施設の整備	住民同士で支え合う生活支援サービスの充実	その他	特にない	わからない	無回答
圏域別	黒沢尻東・黒沢尻西圏域	642	10.9	34.9	19.6	20.4	15.6	28.0	8.1	7.6	11.8	18.8	6.2	2.2	4.4	10.6	7.0
	黒沢尻北圏域	414	9.2	35.0	17.4	21.0	15.9	27.3	6.5	5.6	9.4	19.3	4.3	2.9	6.3	15.0	4.8
	飯豊圏域	317	8.5	29.0	13.9	18.9	15.1	27.8	11.0	5.7	9.8	17.0	5.4	3.2	5.7	16.1	9.1
	二子・更木・黒岩圏域	156	15.4	34.0	10.3	23.7	14.7	31.4	9.0	5.1	6.4	15.4	5.1	2.6	7.1	10.9	4.5
	立花・口内・稲瀬圏域	109	11.0	29.4	11.9	15.6	13.8	31.2	3.7	3.7	10.1	17.4	7.3	3.7	4.6	15.6	9.2
	相去・鬼柳圏域	393	10.2	36.9	16.5	18.3	17.6	27.5	5.6	6.1	11.2	20.9	8.1	3.1	4.3	10.4	7.4
	江釣子圏域	358	10.9	32.1	13.4	20.1	15.1	29.1	5.6	5.6	10.3	14.8	5.3	1.7	5.6	11.5	9.5
	和賀・岩崎・藤根圏域	324	8.6	28.7	16.7	21.3	21.3	31.2	5.9	4.9	9.0	17.9	7.1	3.4	4.3	12.7	8.3
状況別	一般高齢者	2,058	11.0	35.6	16.8	18.6	14.7	28.3	7.0	6.8	10.0	18.4	6.4	2.9	5.2	12.1	6.6
	要支援認定者	655	7.9	25.5	14.2	24.9	21.5	29.8	7.3	3.5	11.0	17.3	5.2	2.0	5.0	13.7	10.1
年代別	65～69歳	545	8.6	32.3	16.5	21.5	18.0	31.6	10.5	9.4	14.7	21.1	4.8	4.4	3.9	12.5	4.0
	70～74歳	589	11.9	37.5	16.6	18.7	15.3	28.4	6.1	7.5	11.9	19.5	5.8	2.9	3.7	11.4	5.4
	75～79歳	600	10.3	34.5	16.7	17.7	12.8	28.3	6.7	6.2	9.0	17.5	6.5	2.3	5.7	12.3	8.7
	80～84歳	416	11.8	33.4	16.3	19.7	14.7	27.9	6.0	3.4	7.5	16.1	8.4	2.9	6.0	10.3	10.6
	85～89歳	344	10.2	29.7	15.1	24.4	20.3	25.9	5.5	2.6	7.8	18.6	5.5	0.9	7.0	12.5	9.3
	90歳以上	219	6.8	24.7	13.7	21.0	21.9	28.8	7.3	3.2	6.8	11.4	5.5	1.4	5.9	19.6	8.7

12 成年後見制度の認識について

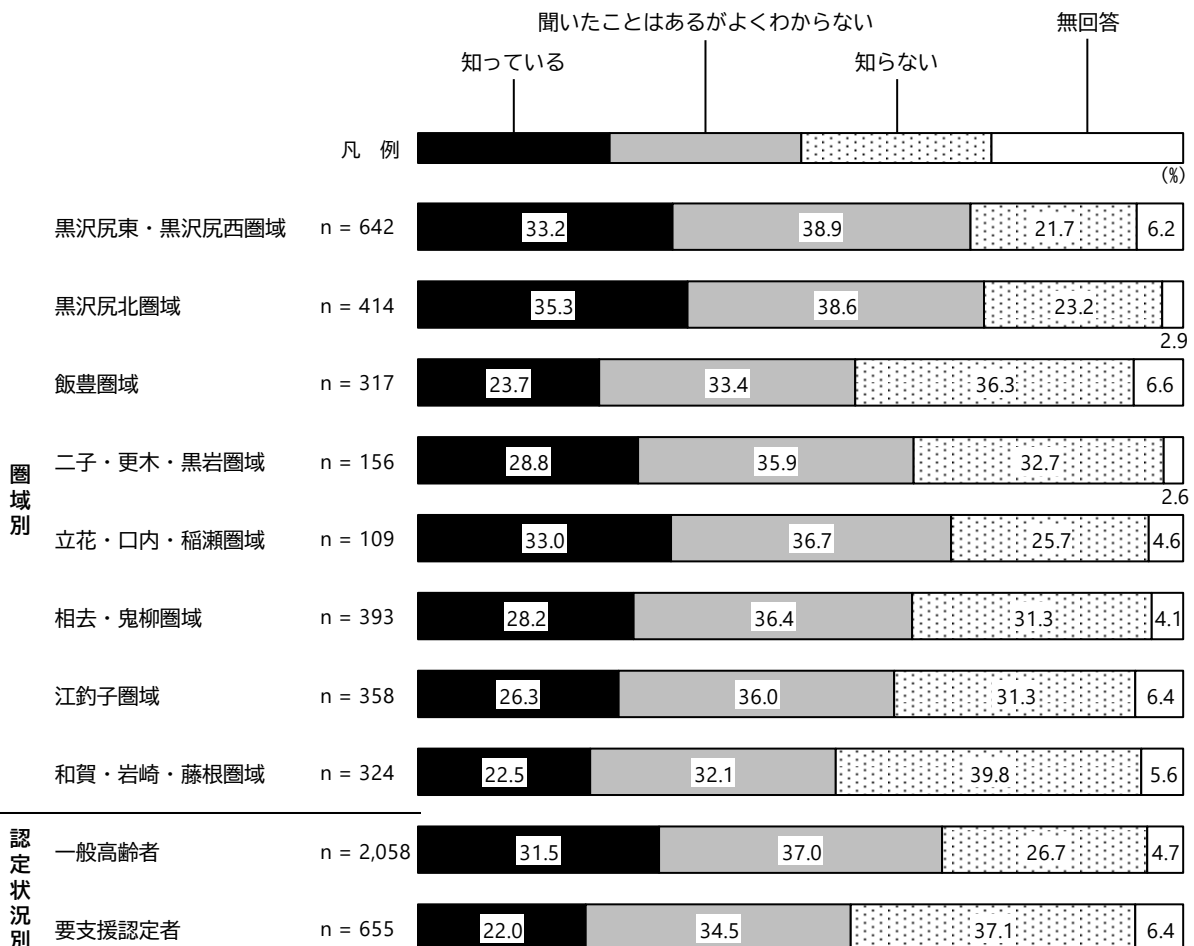
12-1 「成年後見制度」の認知度

- ▶ 「成年後見制度」の認知度については、「聞いたことはあるがよくわからない」が36.5%と最も高く、次いで「知らない」(29.2%)、「知っている」(29.1%)となっています。
- ▶ 圏域別でみると、黒沢尻北圏域では「知っている」が35.3%と他の圏域と比べて高くなっています。
- ▶ 認定状況別でみると、要支援認定者では「知らない」が37.1%と一般高齢者と比べ10ポイント以上高くなっています。

問11(1)「成年後見制度」について知っていますか（○は1つ）



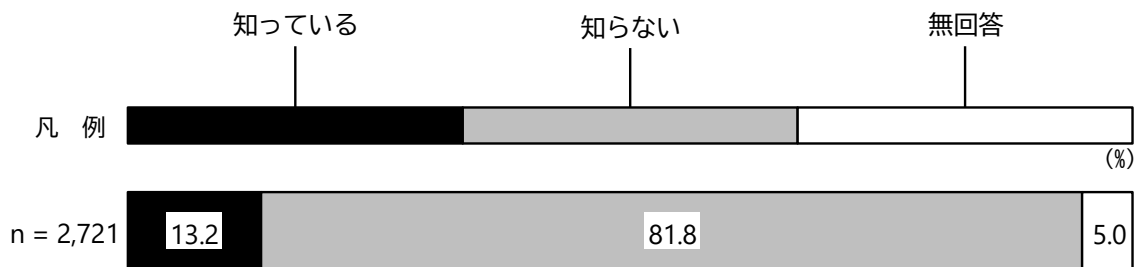
【圏域別・認定状況別／「成年後見制度」の認知度】



12-2 「北上市権利擁護支援センター」の認知度

- ▶ 「北上市権利擁護支援センター」の認知度については、「知らない」が81.8%、「知っている」13.2%となっています。

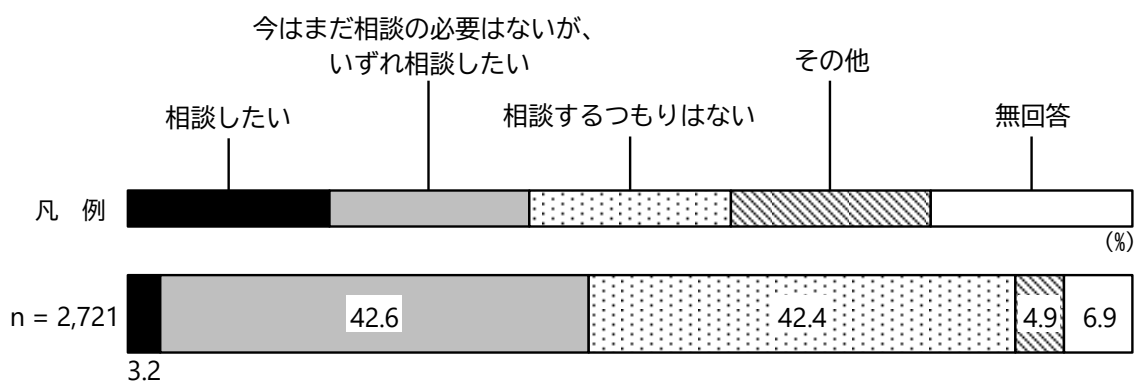
問 11（2）北上市の成年後見制度の相談窓口は、市役所長寿介護課にある「北上市権利擁護支援センター」ですが、知っていますか（○は1つ）



12-3 成年後見制度の相談希望

- ▶ 成年後見制度の相談希望については、「今はまだ相談の必要はないが、いずれ相談したい」が42.6%と最も高く、次いで「相談するつもりはない」(42.4%)、「相談したい」(3.2%)となっています。

問 11（3）今後、成年後見制度について、相談してみたいと思いますか（○は1つ）

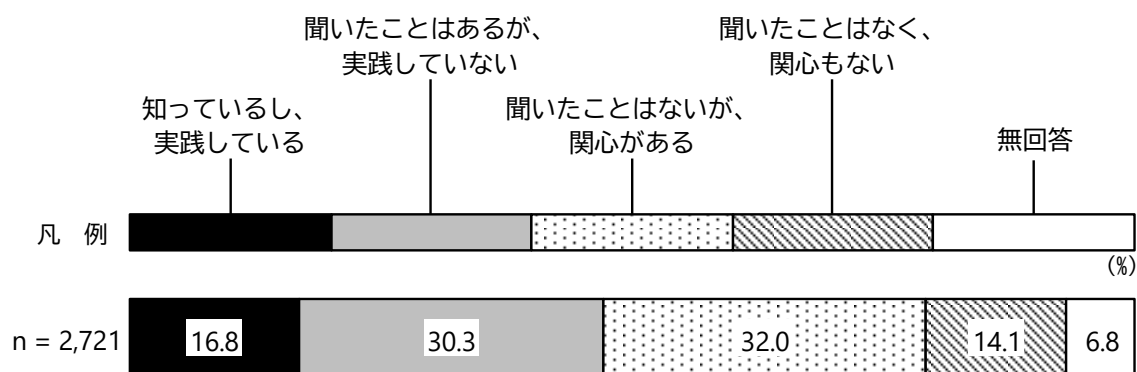


13 北上市の独自の施策について

13-1 介護予防のための体づくり

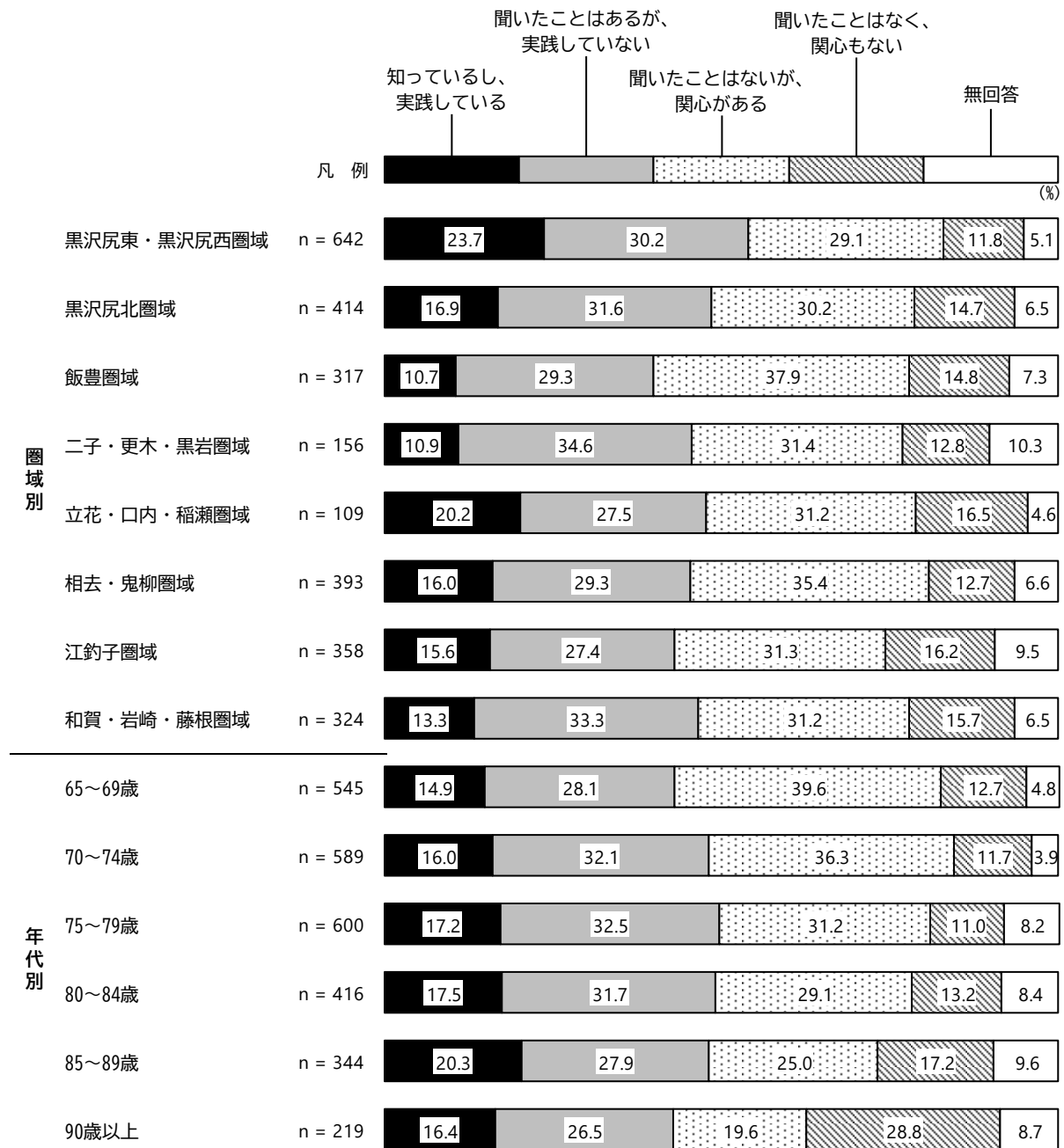
- ▶ 介護予防のための体づくりについては、「聞いたことはないが、関心がある」が 32.0% と最も高く、次いで「聞いたことはあるが、実践していない」（30.3%）、「知っているし、実践している」（16.8%）となっています。
- ▶ 圏域別でみると、黒沢尻東・黒沢尻西圏域では「知っているし、実践している」が 23.7% と他の圏域と比べて高くなっています。
- ▶ 年代別でみると、85～89 歳では「知っているし、実践している」が 20.3% と他の年代と比べて高くなっています。

問 12（1）あなたは、適切なトレーニングを行うことで、高齢になっても、介護の支援を利用せずに生活できる体づくりができることを知っていますか（○は1つ）



II 調査結果（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

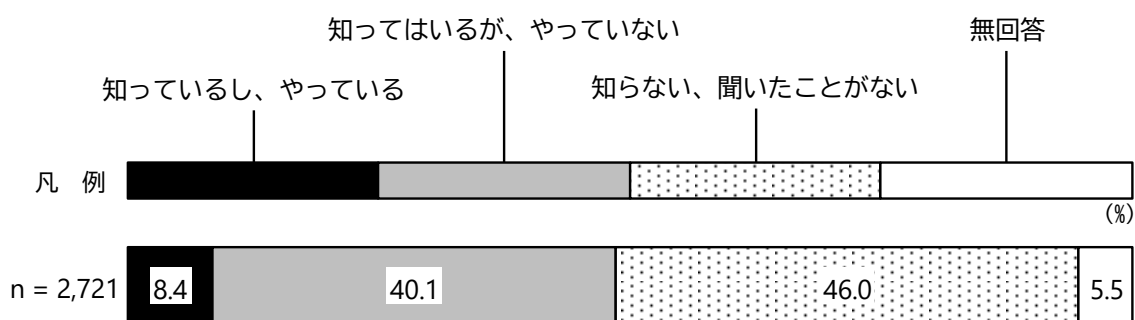
【圏域別・年代別／介護予防のための体づくり】



13-2 「きたかみいきいき体操」の認知度

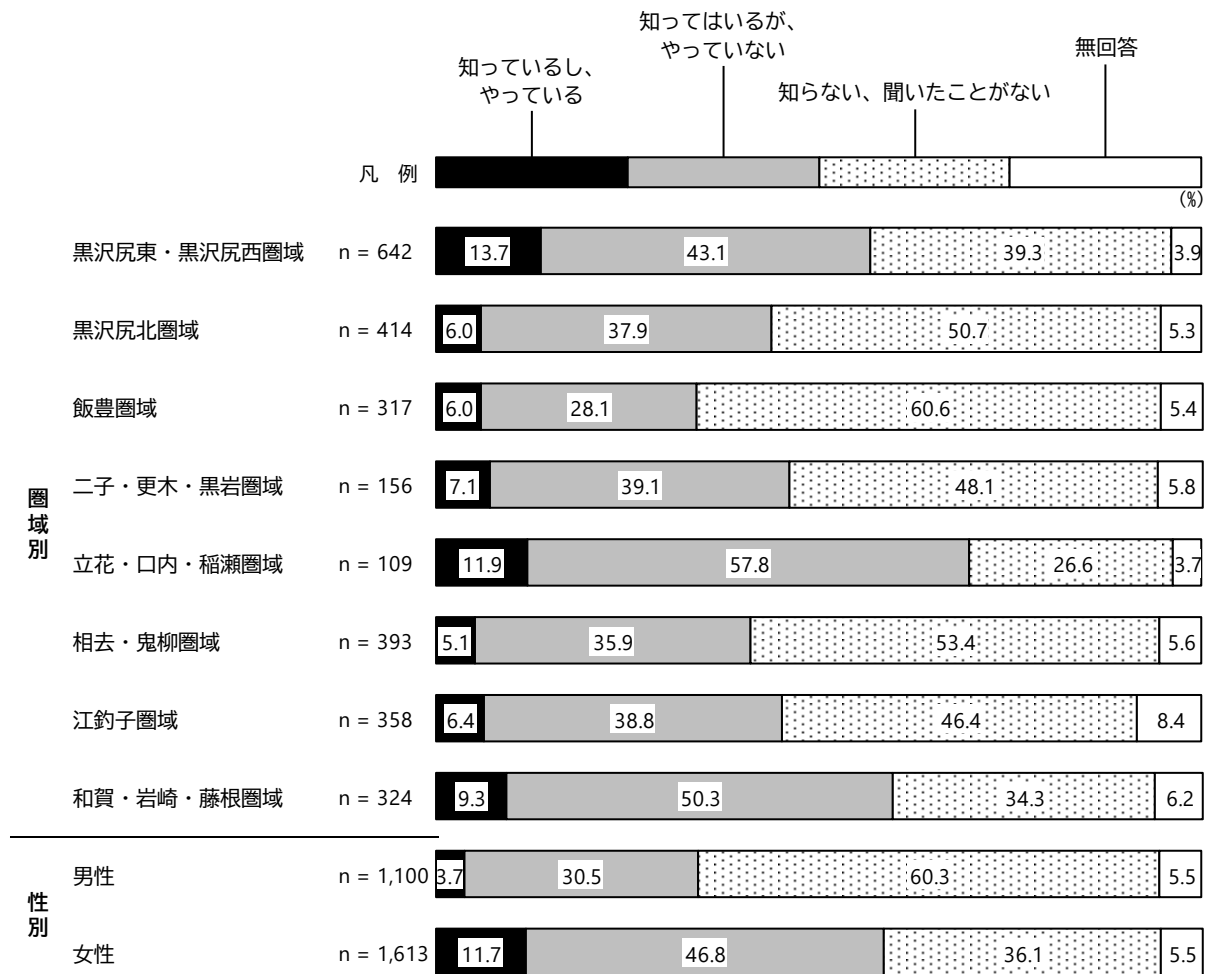
- ▶ 「きたかみいきいき体操」の認知度については、「知らない、聞いたことがない」が46.0%と最も高く、次いで「知っているが、やっていない」(40.1%)、「知っているし、やっている」(8.4%)となっています。
- ▶ 圏域別で見ると、立花・口内・稲瀬圏域と和賀・岩崎・藤根圏域では「知っているが、やっていない」が5割以上と他の圏域と比べて高くなっています。
- ▶ 性別で見ると、男性では「知らない、聞いたことがない」が60.3%と女性と比べ20ポイント以上高くなっています。

問12(2)「きたかみいきいき体操（いきいき百歳体操）」について知っていますか
(○は1つ)



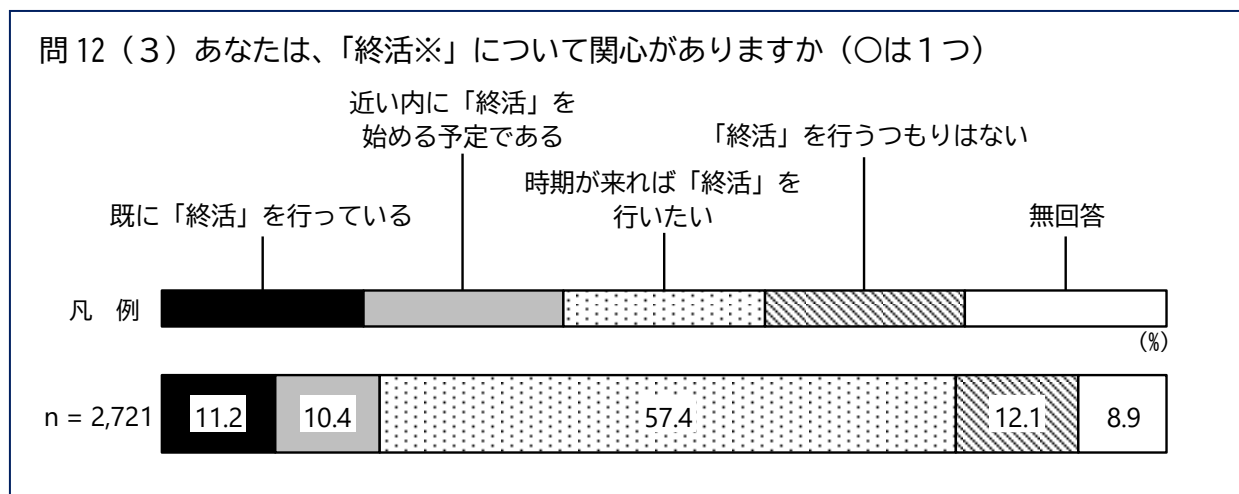
Ⅱ 調査結果（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

【圏域別・性別／「きたかみいきいき体操」の認知度】



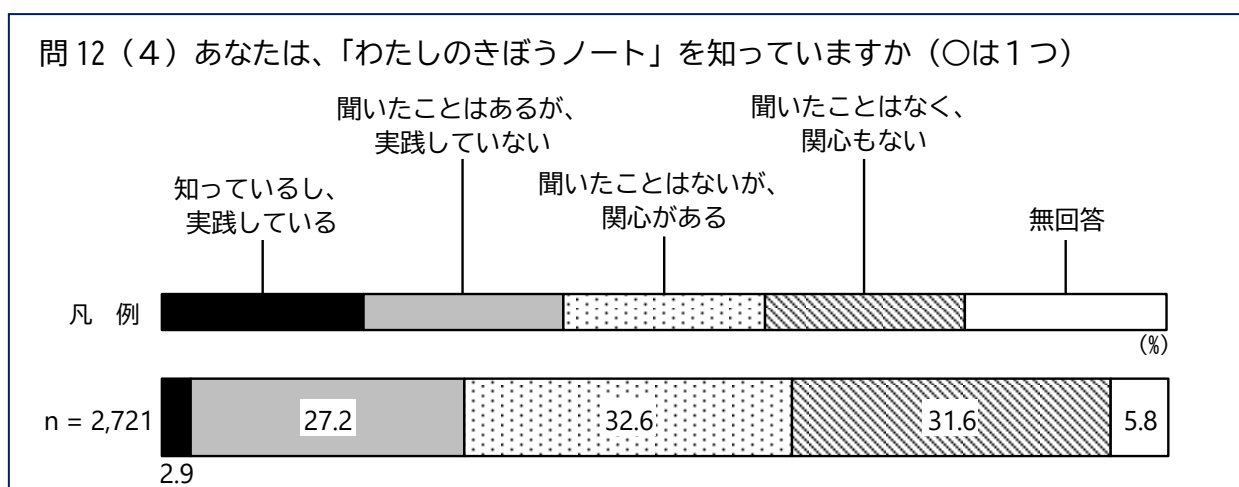
13-3 「終活」への関心の有無

- ▶ 「終活」への関心の有無については、「時期が来れば「終活」を行いたい」が57.4%と最も高く、次いで「終活」を行うつもりはない（12.1%）、「既に「終活」を行っている」（11.2%）となっています。



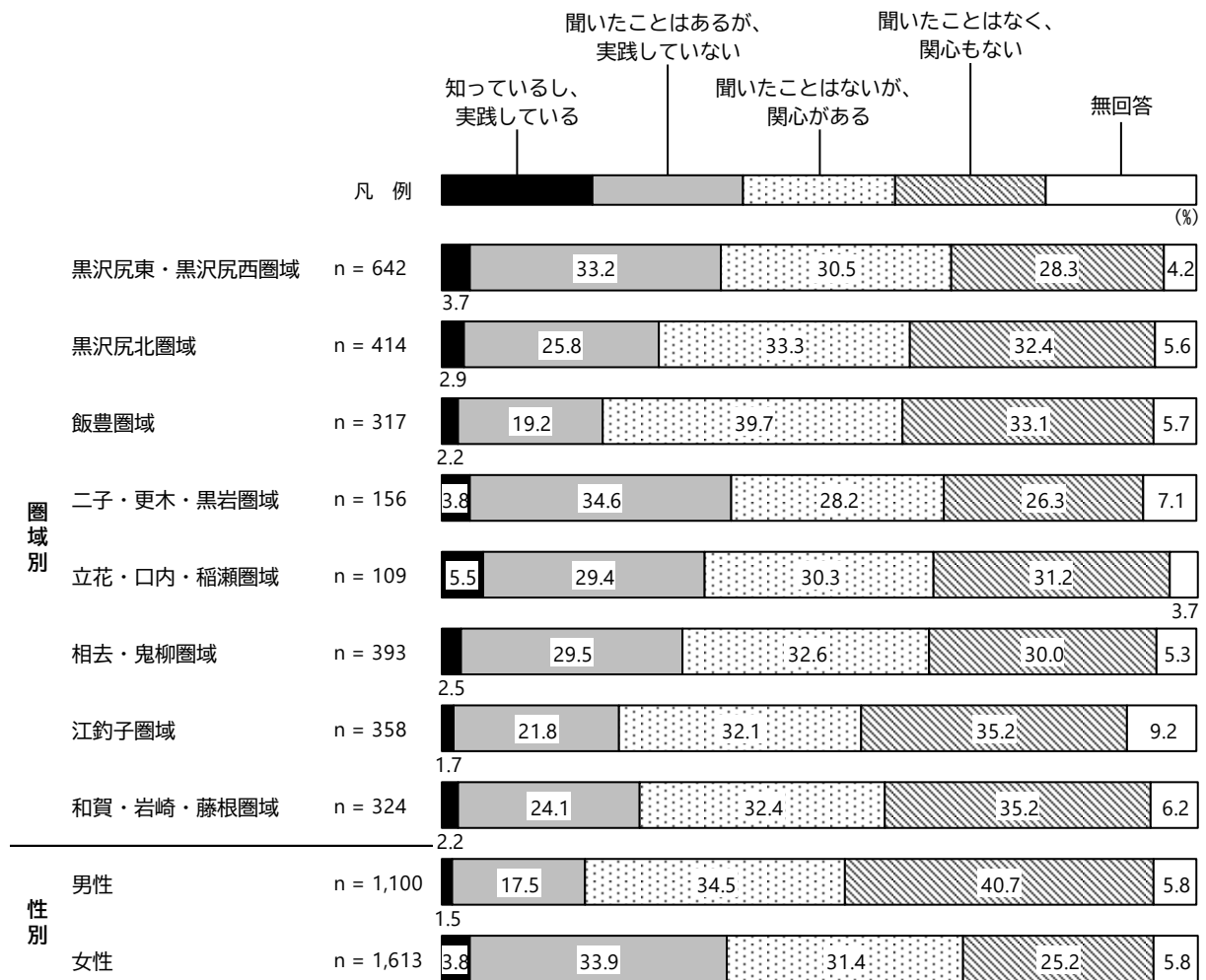
13-4 「わたしのきぼうノート」の認知度

- ▶ 「わたしのきぼうノート」の認知度については、「聞いたことはあるが、関心がある」が32.6%と最も高く、次いで「聞いたことはなく、関心もない」（31.6%）、「聞いたことはあるが、実践していない」（27.2%）となっています。
- ▶ 圏域別で見ると、飯豊圏域では「聞いたことはあるが、関心がある」が39.7%と他の圏域と比べて高くなっています。
- ▶ 性別で見ると、女性では「聞いたことはあるが、実践していない」が33.9%と男性と比べ15ポイント以上高くなっています。



II 調査結果（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

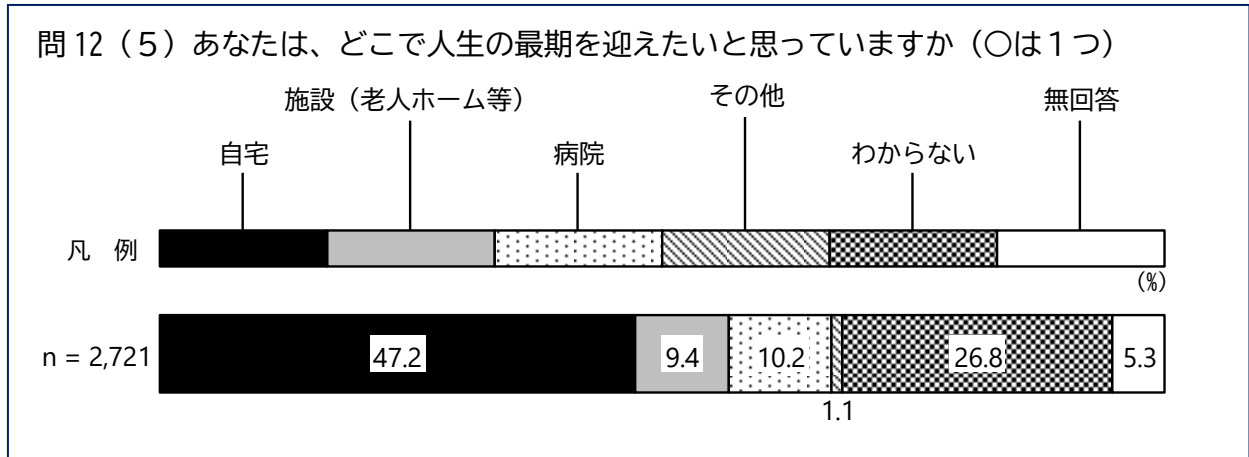
【圏域別・性別／「わたしのきぼうノート」の認知度】



II 調査結果（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

13-5 人生の最期を迎えたい場所

- ▶ 人生の最期を迎えたい場所については、「自宅」が47.2%と最も高く、次いで「病院」（10.2%）、「施設（老人ホーム等）」（9.4%）となっています。一方「わからない」が26.8%となっています。

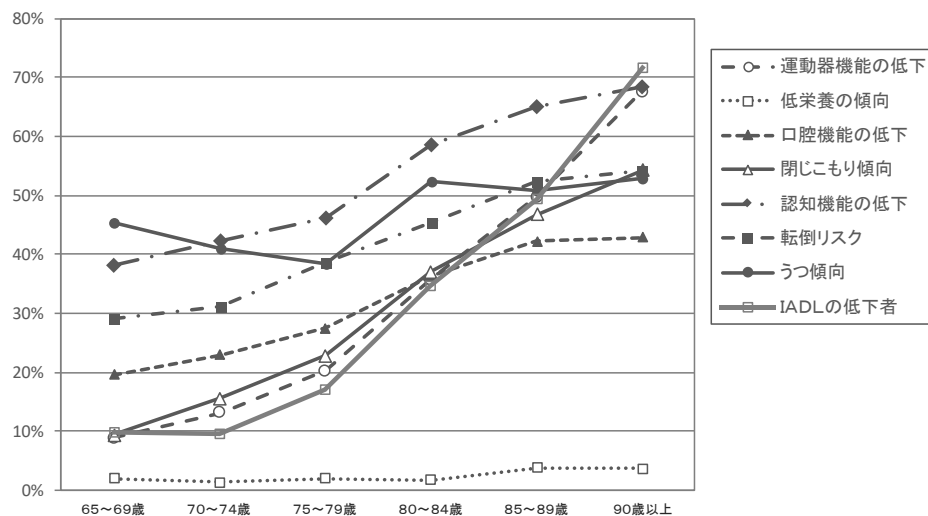


14 各種リスクを有する割合

- ▶ アンケート結果から、生活機能の評価項目ごとの該当者（リスク者）を算出しています。
- ▶ 年齢階層別でみると、「低栄養の傾向」、「うつ傾向」以外は年齢が上がるにつれてリスクが高くなっていく傾向があります。
- ▶ 圏域別でみると、ほぼ同様の傾向となっておりますが、「運動器機能の低下」と「口腔機能の低下」と「閉じこもり傾向」で『二子・更木・黒岩圏域』の割合が高くなっています。

■年齢階級別該当者割合 (%)

	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上
運動器機能の低下	8.8	13.1	20.3	35.8	49.7	67.6
低栄養の傾向	2.0	1.4	2.0	1.7	3.8	3.7
口腔機能の低下	19.6	22.9	27.5	36.3	42.2	42.9
閉じこもり傾向	9.4	15.6	22.8	37.0	46.8	54.3
認知機能の低下	38.2	42.4	46.2	58.7	65.1	68.5
うつ傾向	45.5	40.9	38.3	52.4	50.9	53.0
転倒リスク	29.0	31.2	38.7	45.4	52.3	54.3
IADLの低下者	9.9	9.6	17.0	34.6	49.4	71.7



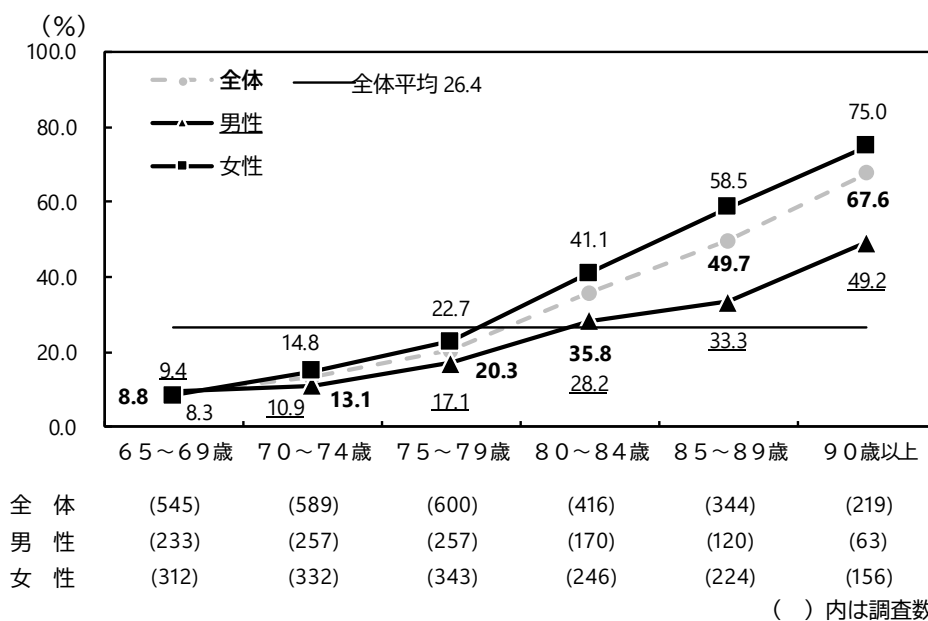
■圏域別該当者割合 (%)

	市全体	黒沢尻東・黒沢尻西	黒沢尻北	飯豊	二子・更木・黒岩	立花・口内・稲瀬	相去・鬼柳	江釣子	和賀・岩崎・藤根
運動器機能の低下	26.4	25.5	28.5	27.4	33.3	21.1	22.9	24.9	28.4
低栄養の傾向	2.2	1.9	1.4	1.3	4.5	4.6	1.0	3.4	2.8
口腔機能の低下	29.4	30.5	26.1	34.1	35.9	31.2	27.0	27.1	28.4
閉じこもり傾向	26.4	23.2	23.4	28.7	35.3	20.2	22.9	29.3	32.4
認知機能の低下	49.9	48.9	45.2	51.1	55.1	54.1	50.9	48.9	52.5
うつ傾向	45.3	44.9	47.1	45.1	48.1	45.0	44.8	43.0	45.7
転倒リスク	39.1	39.4	33.3	43.2	43.6	42.2	38.2	36.9	42.6
IADLの低下者	25.3	25.5	25.6	26.2	25.6	26.6	22.2	27.3	23.8

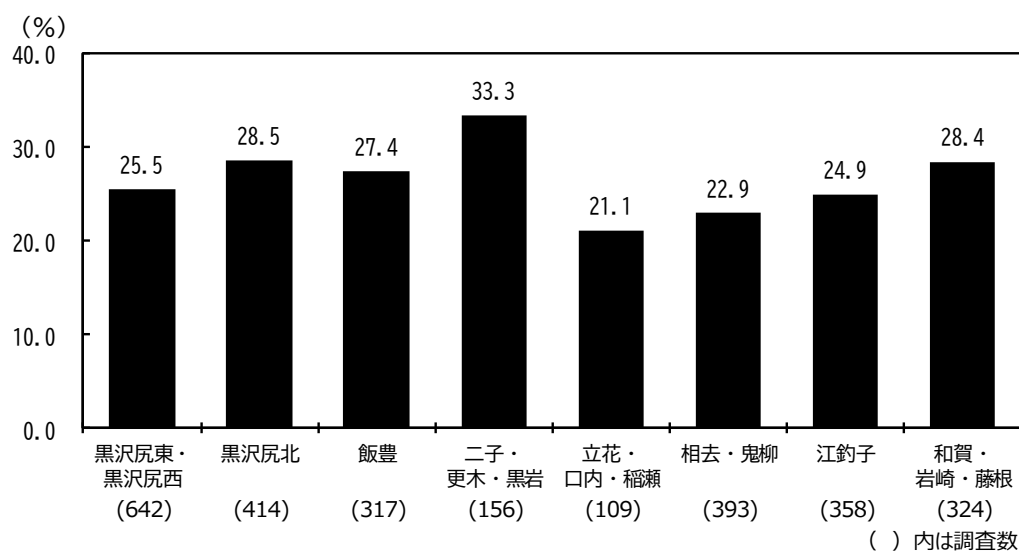
II 調査結果（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

14-1 運動器機能の低下

- ▶ 性別・年齢階級別にみると、年齢が上がるにつれて運動器機能の低下が疑われる回答者の割合が高くなる傾向があります。
- ▶ また男性、女性ともに80歳以上で全体平均の26.4%を超え、運動器機能の低下におけるリスクが顕在化しています。

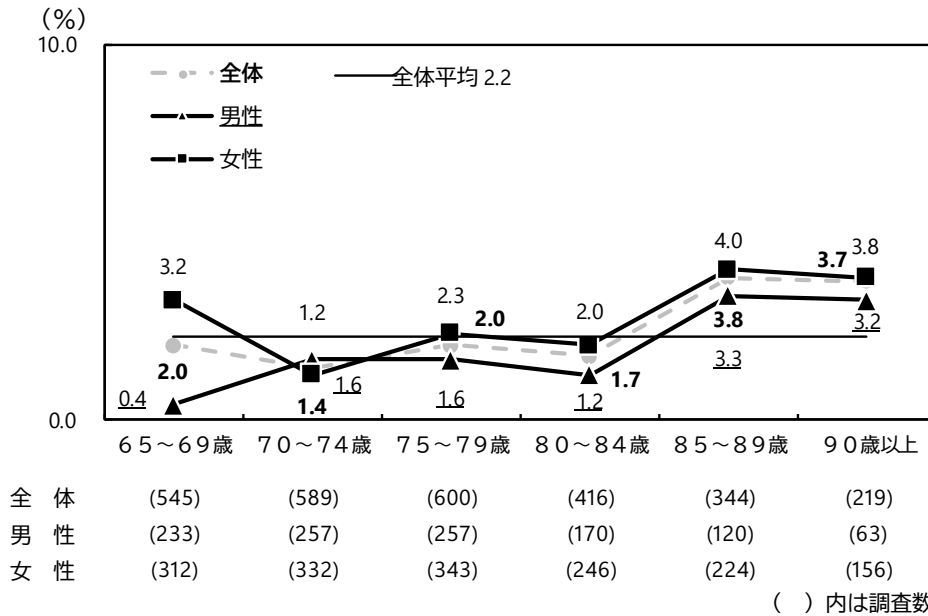


- ▶ 圏域別でみると、二子・更木・黒岩圏域で33.3%と運動器機能の低下におけるリスクが最も高くなっています。

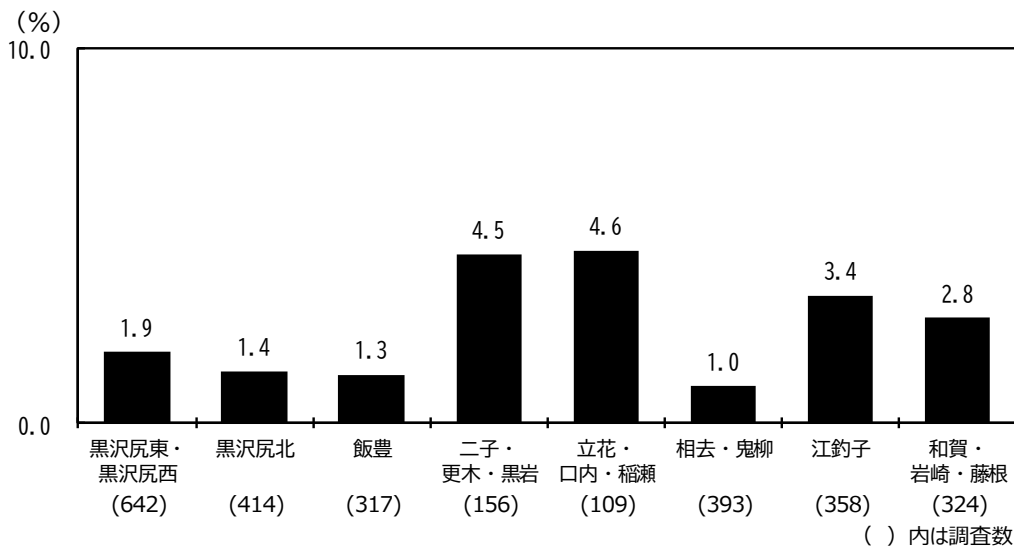


14-2 低栄養の傾向

- ▶ 性別・年齢階級別にみると低栄養状態にあると疑われる回答者の割合は概ね横ばいとなっています。
- ▶ また男性、女性ともに 85 歳以上で全体平均の 2.2% を超え、低栄養におけるリスクが高くなっています。

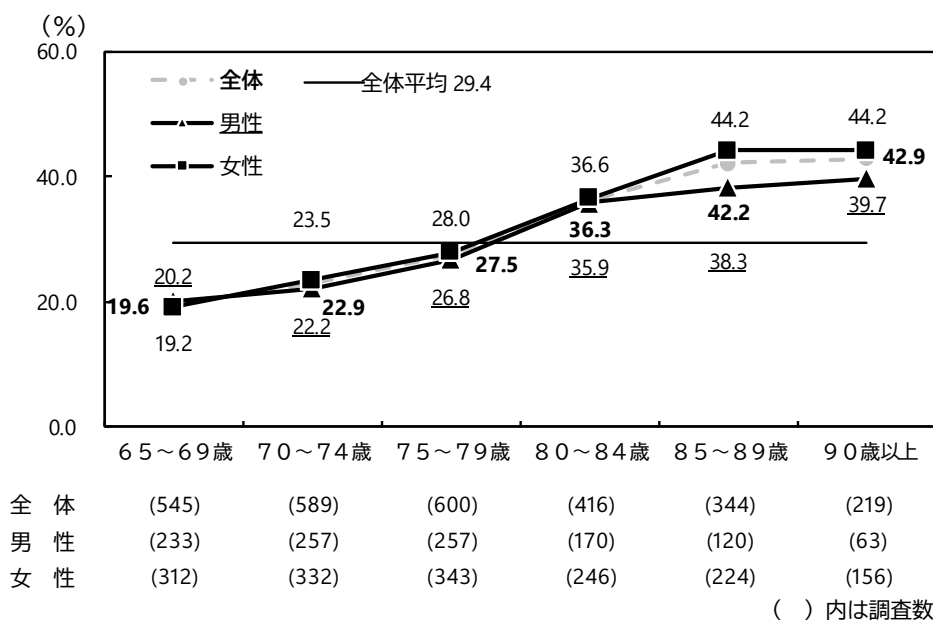


- ▶ 圏域別でみると、立花・口内・稲瀬圏域で 4.6% と低栄養におけるリスクが最も高くなっています。

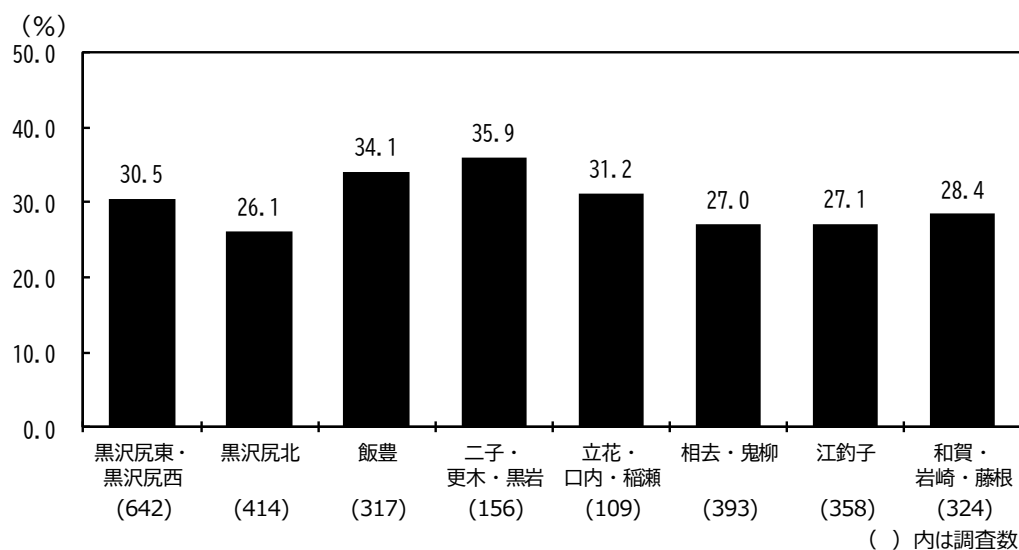


14-3 口腔機能の低下

- ▶ 性別・年齢階級別にみると、年齢が上がるにつれて口腔機能の低下が疑われる回答者の割合が高くなる傾向があります。
- ▶ また男性、女性ともに80歳以上で全体平均の29.4%を超え、口腔機能の低下におけるリスクが高くなっています。

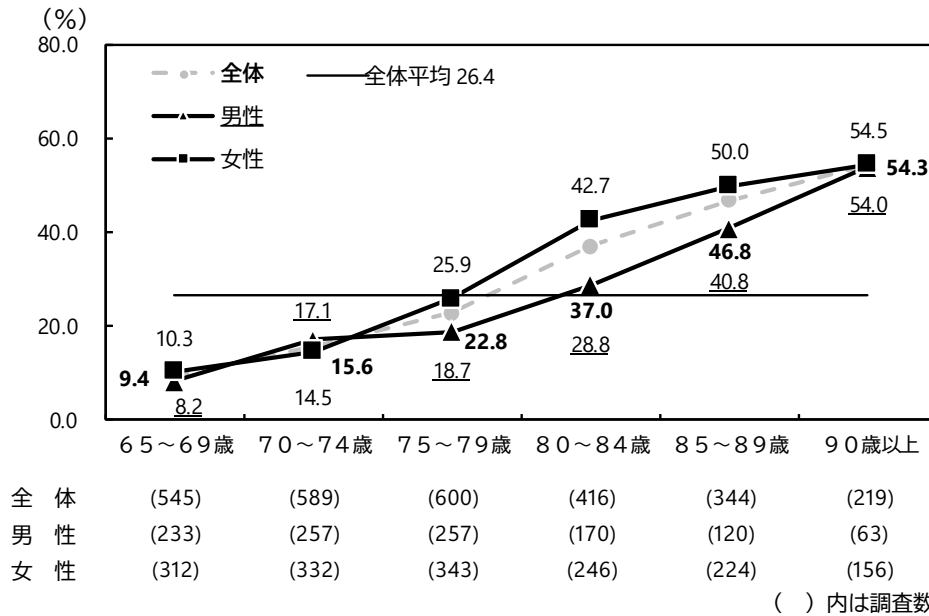


- ▶ 圏域別でみると、二子・更木・黒岩圏域で35.9%と口腔機能の低下におけるリスクが最も高くなっています。

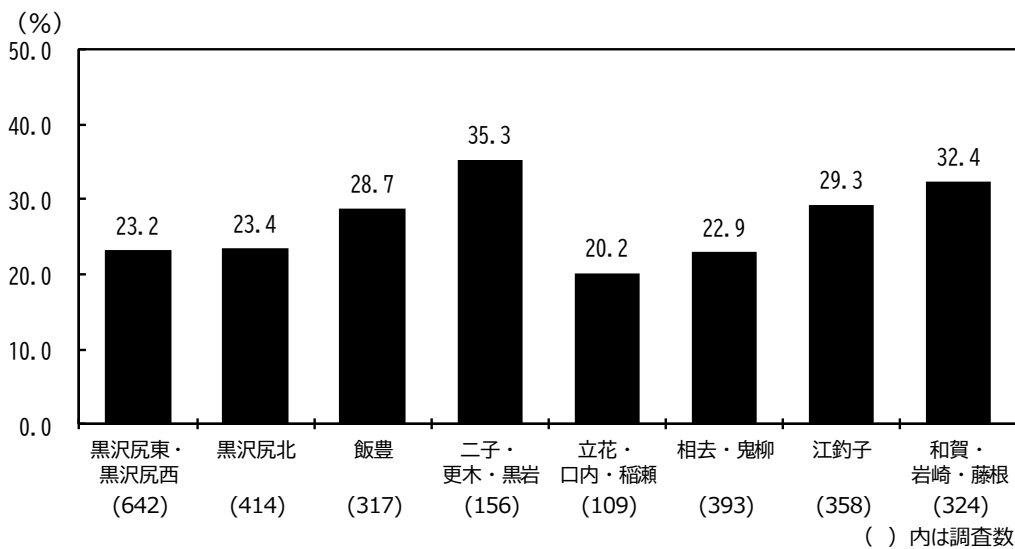


14-4 閉じこもり傾向

- ▶ 性別・年齢階級別にみると、年齢が上がるにつれて閉じこもり傾向が疑われる回答者の割合が高くなる傾向があります。
- ▶ また女性 80～84 歳では 42.7%と、男性 80～84 歳に比べ該当者の割合が 10 ポイント以上高くなっています。



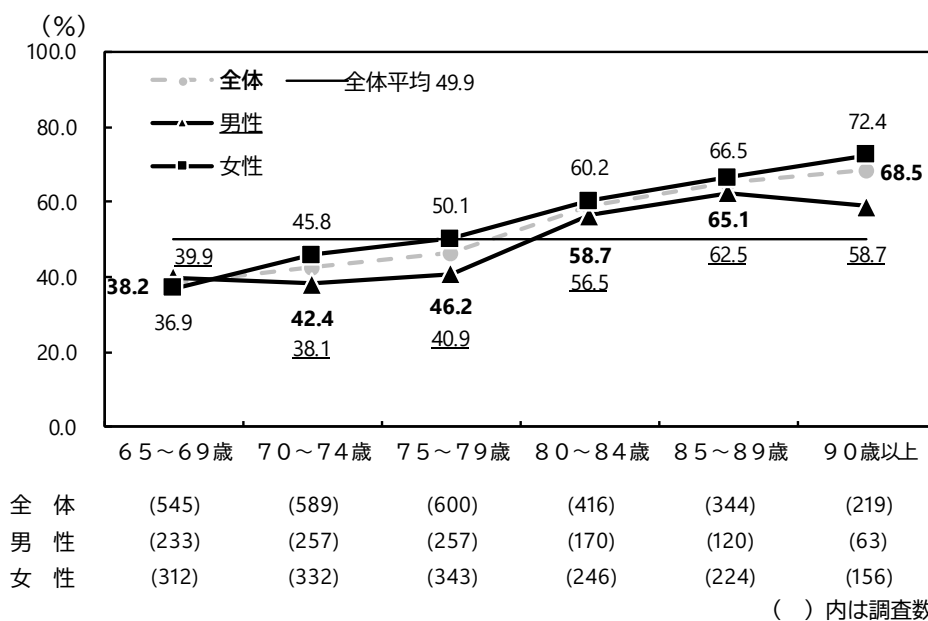
- ▶ 圏域別でみると、二子・更木・黒岩圏域で 35.3%と閉じこもり傾向におけるリスクが最も高くなっています。



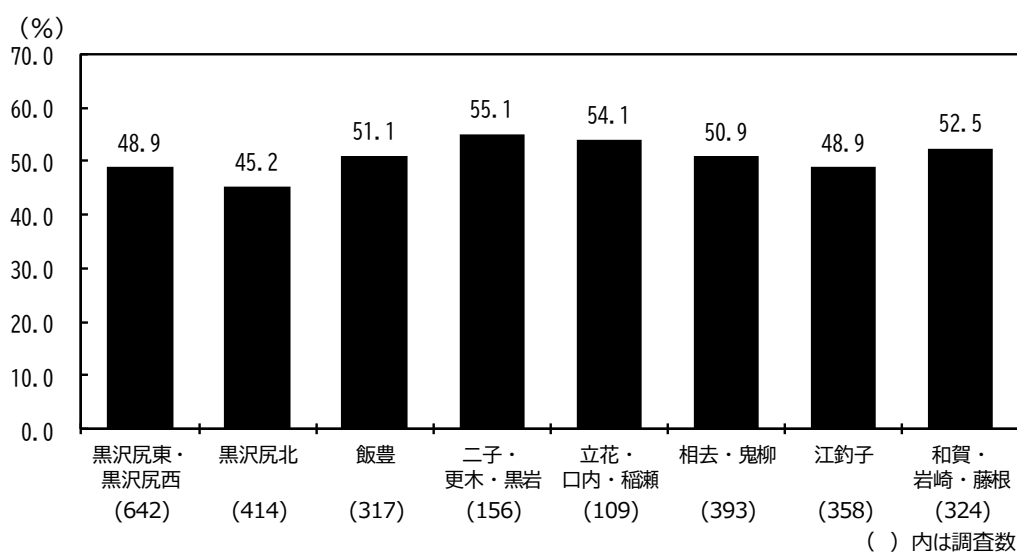
II 調査結果（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

14-5 認知機能の低下

- ▶ 性別・年齢階級別にみると、女性では、年齢が上がるにつれて認知機能の低下が疑われる回答者の割合が高くなる傾向があります。
- ▶ また男性では、80歳以上で全体平均の49.9%を超え、認知機能の低下におけるリスクが高くなっています。

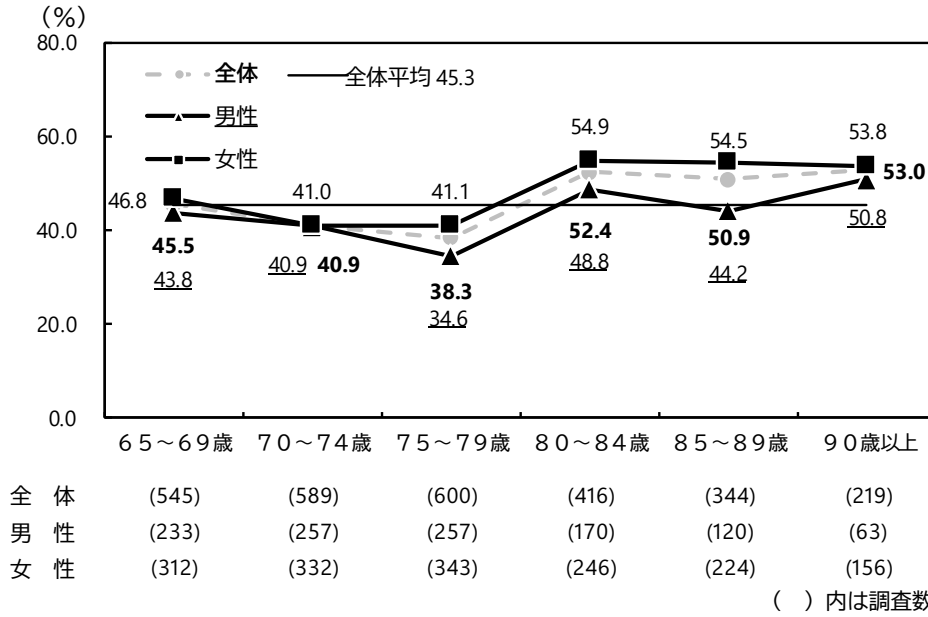


- ▶ 圏域別でみると、認知機能の低下が疑われる回答者の割合について、大きな傾向の差はみられません。

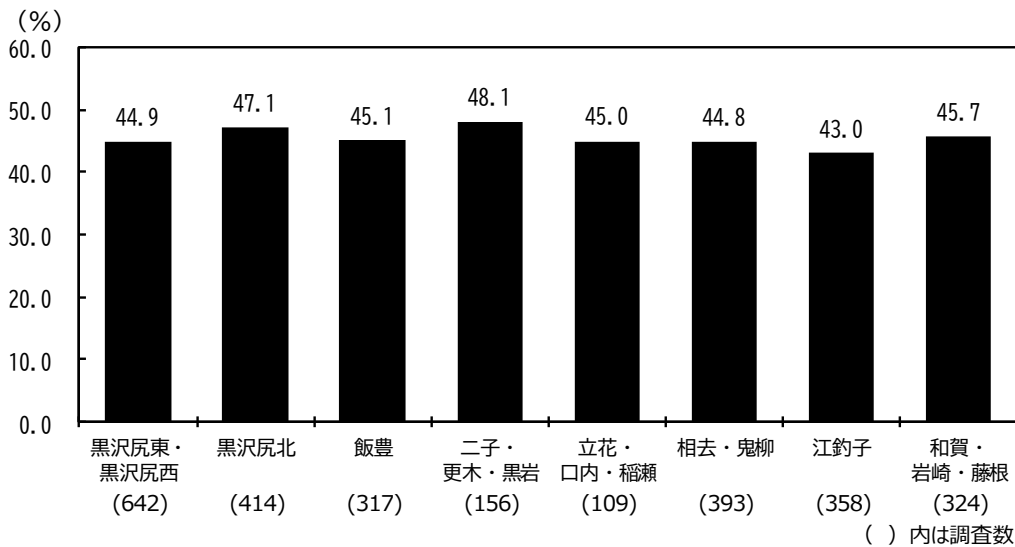


14-6 うつ傾向

- ▶ 性別・年齢階級別にみると、うつ傾向にあると疑われる回答者の割合は概ね横ばいとなっています。
- ▶ また女性では、80歳以上で全体平均の45.3%を超え、うつ傾向におけるリスクが高くなっています。

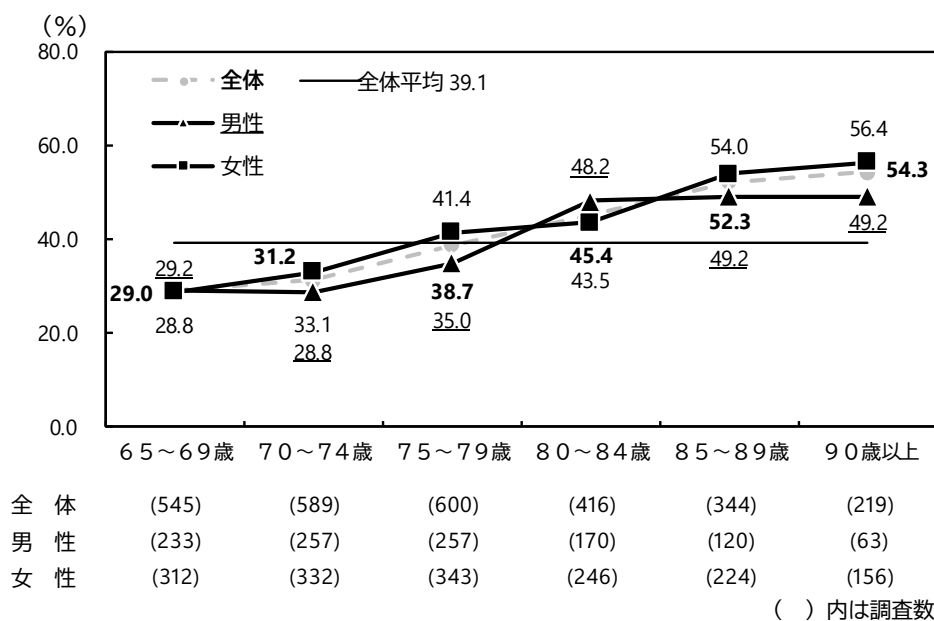


- ▶ 圏域別でみると、うつ傾向が疑われる回答者の割合について、大きな傾向の差はみられません。

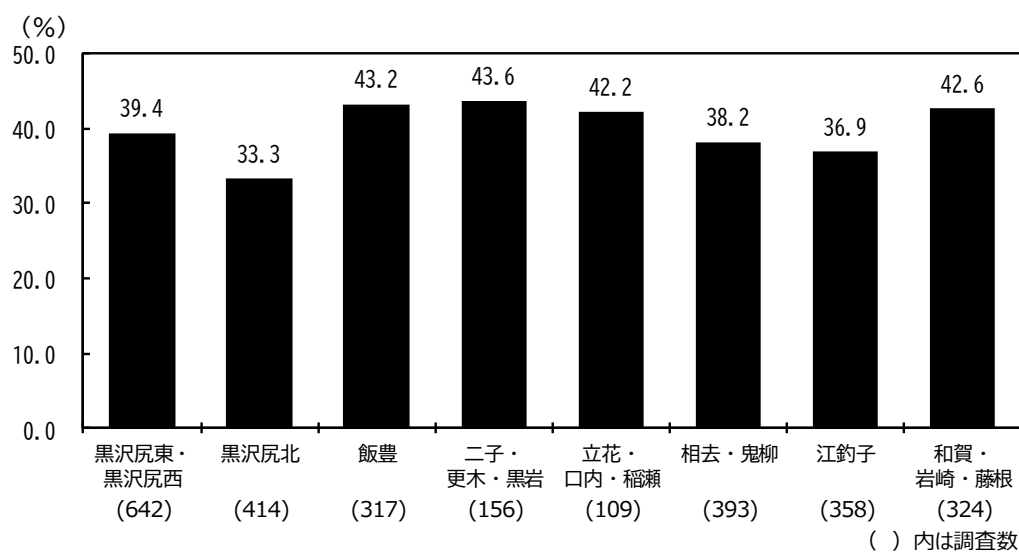


14-7 転倒リスク

- ▶ 性別・年齢階級別にみると、女性では、年齢が上がるにつれて転倒リスクが疑われる回答者の割合が高くなる傾向があります。
- ▶ また男性では、80歳以上で全体平均の39.1%を超え、転倒におけるリスクが高くなっています。

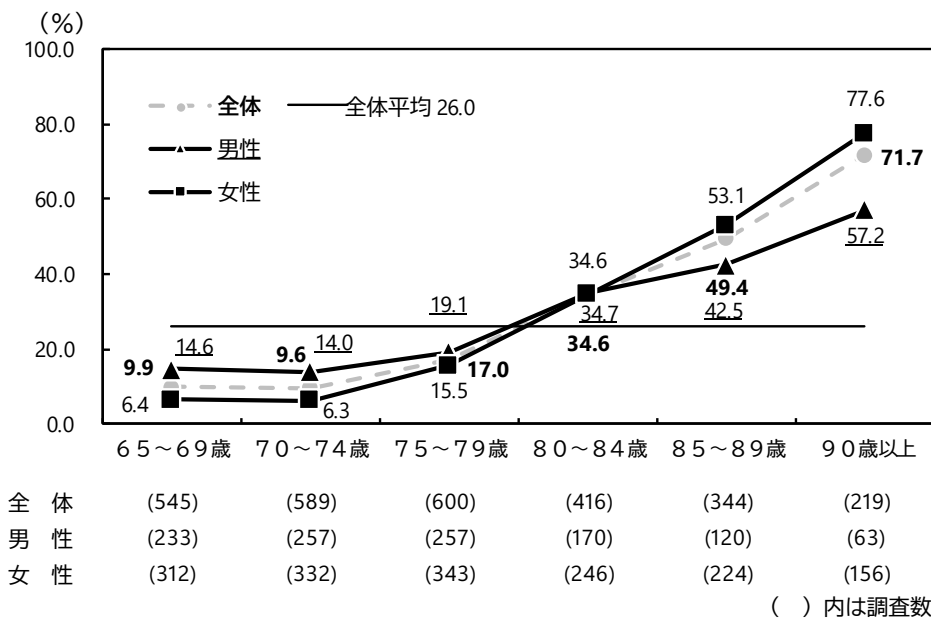


- ▶ 圏域別でみると、黒沢尻北圏域で33.3%と転倒におけるリスクが最も低くなっています。

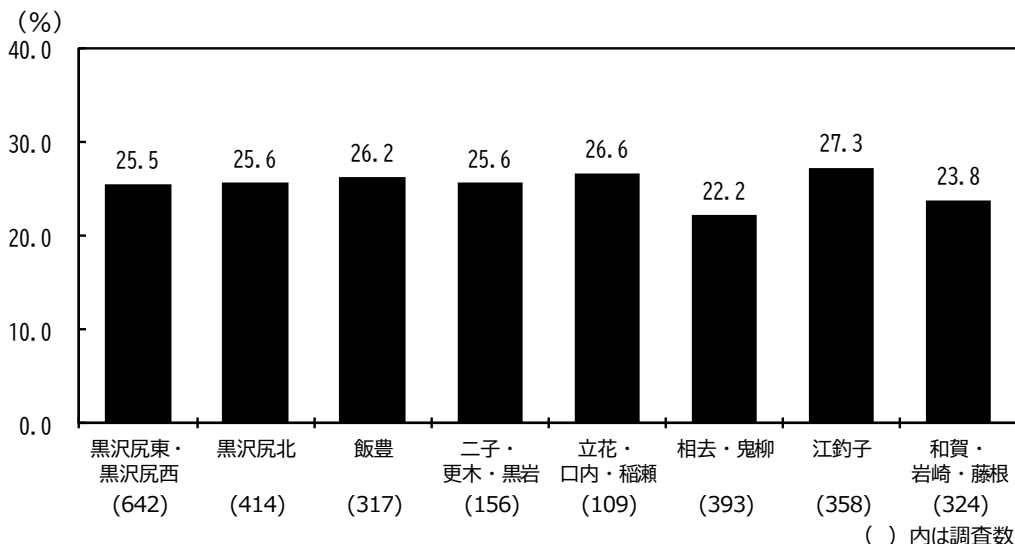


14-8 IADL（手段的自立度）の低下者

- ▶ 高齢者の比較的高次の生活機能を評価することができる老研式活動能力指標には、高齢者の手段的自立度（IADL）に関する設問が5問あり、「手段的自立度（IADL）」として尺度化されています。
- ▶ 評価は、5点満点で評価し、5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」と評価しており、4点以下をIADLの低下者としています。
- ▶ 性別・年齢階級別にみると、女性90歳以上では77.6%と、男性90歳以上に比べ該当者の割合が20ポイント以上高くなっています。
- ▶ また男性、女性ともに80歳以上で全体平均の26.0%を超え、IADLの低下におけるリスクが高くなっています。



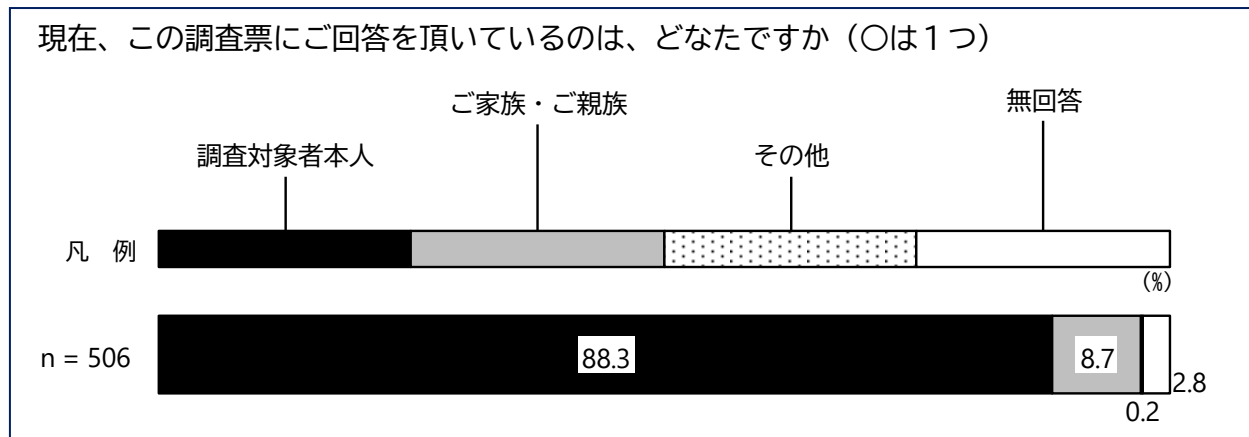
- ▶ 圏域別でみると、IADLの低下者の割合について、大きな傾向の差はみられません。



Ⅲ 調査結果（第2号被保険者調査）

1 調査票の回答者について

1-1 調査票の回答者

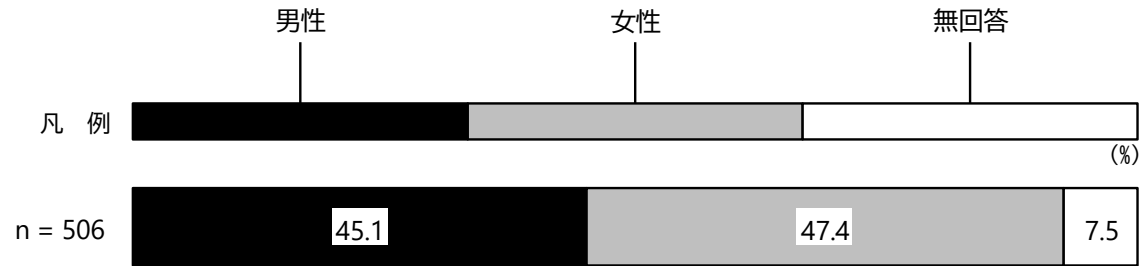


2 対象者及び家族や生活状況について

2-1 性別

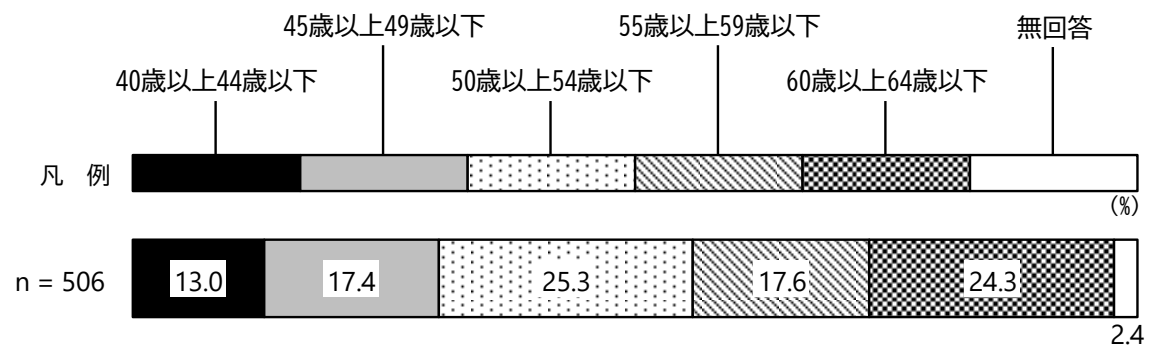
問1（1）あなた（宛名のご本人）のことについて、ご回答ください

① 性別



2-2 年齢

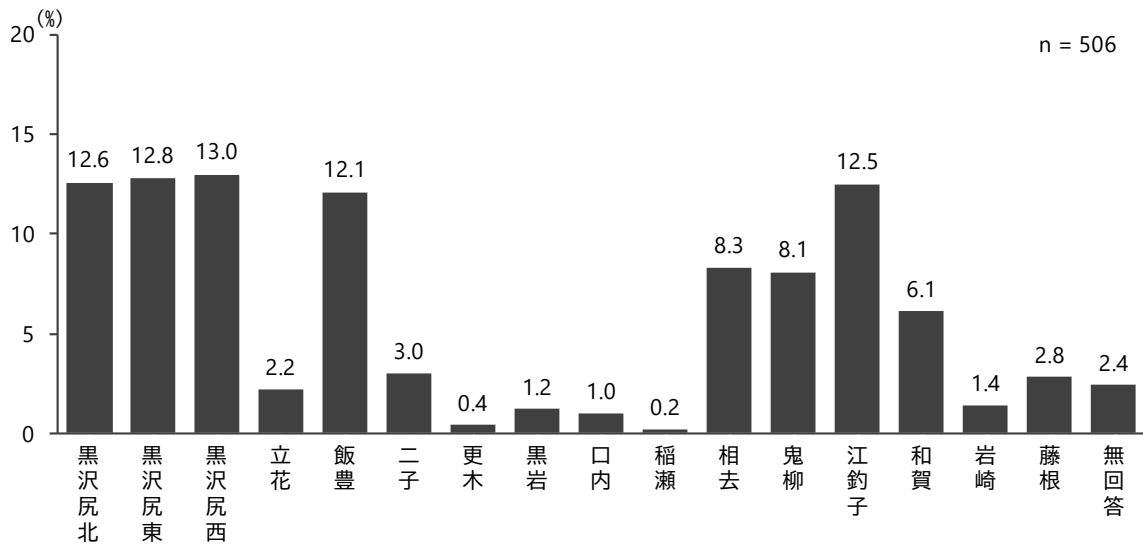
問1（1）② 年齢（○は1つ）



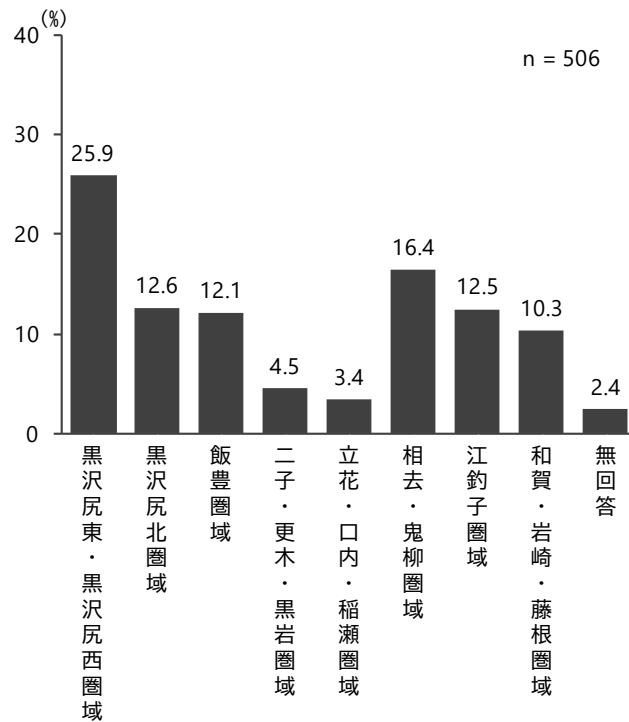
Ⅲ 調査結果（第2号被保険者調査）

2-3 居住地区・日常生活圏域

問1 (1) ③ 居住地区 (○は1つ)

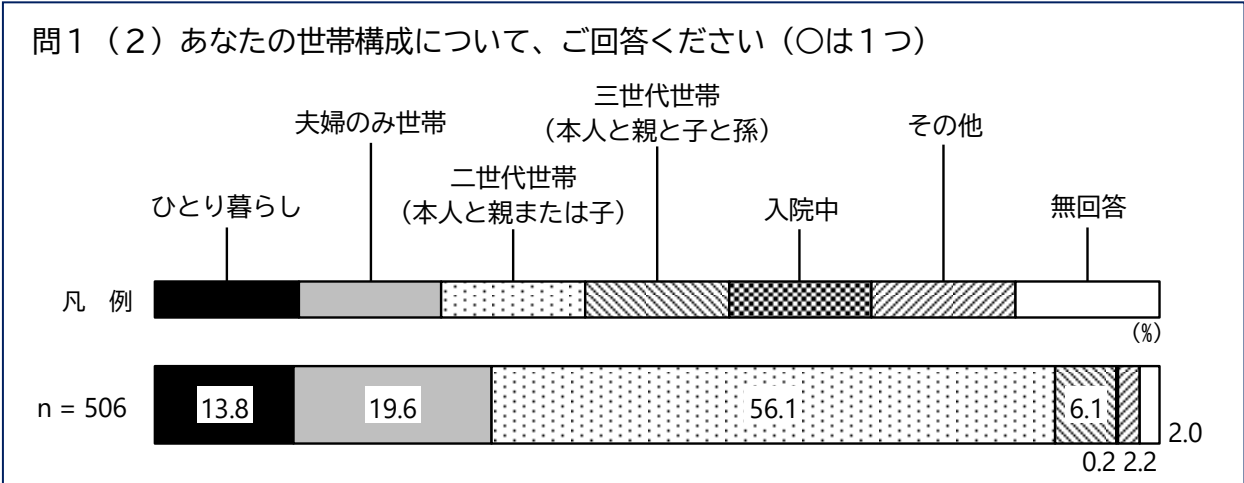


日常生活圏域



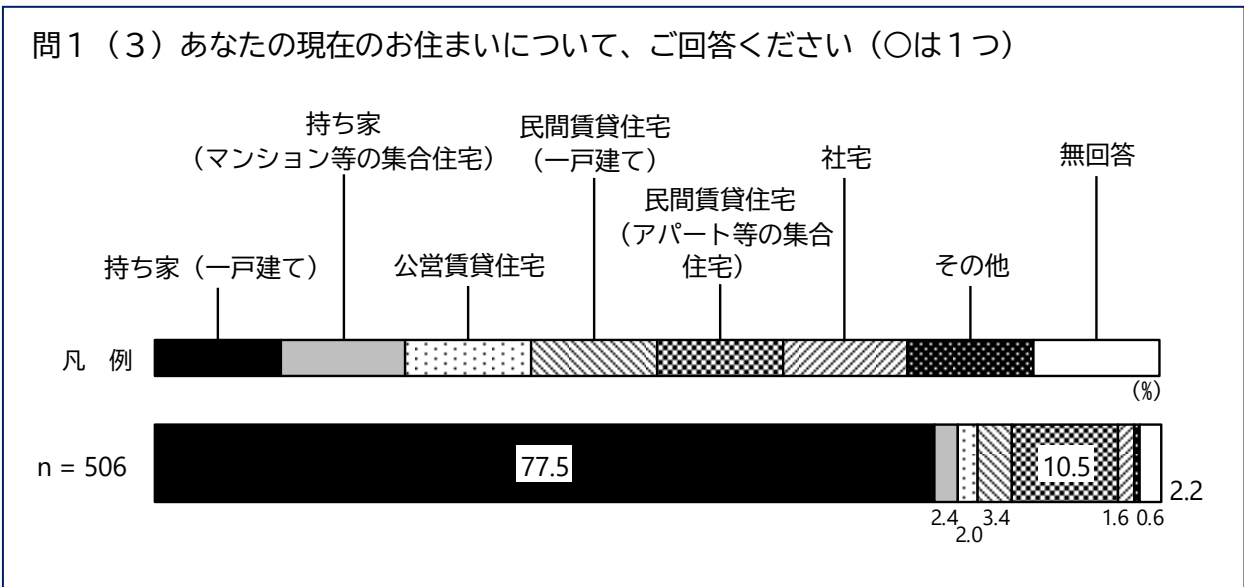
2-4 世帯構成

- ▶ 世帯構成については、「二世帯世帯（本人と親または子）」が56.1%と最も高く、次いで「夫婦のみ世帯」（19.6%）、「ひとり暮らし」（13.8%）となっています。



2-5 現在の住まい

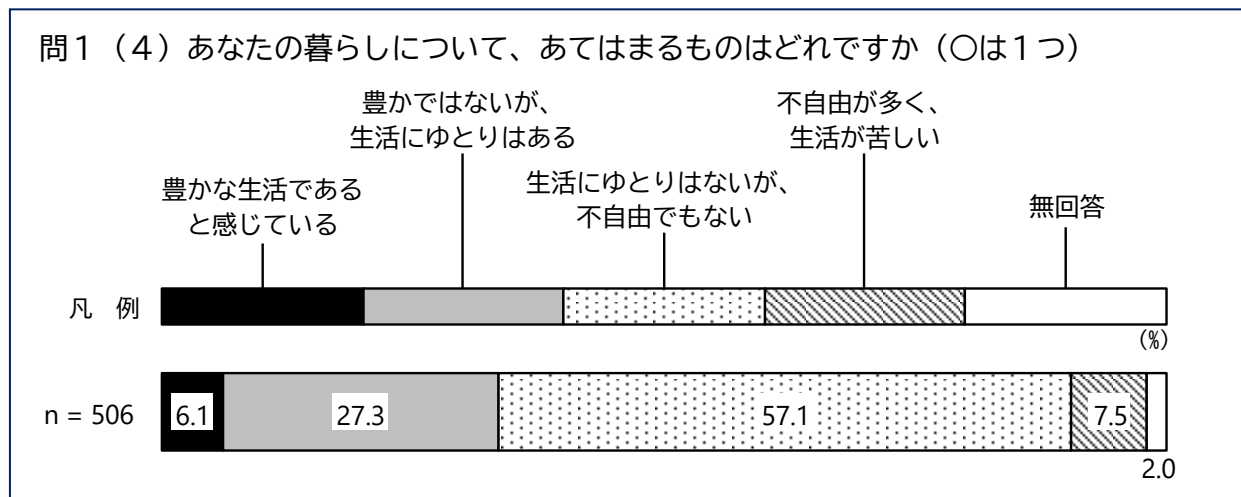
- ▶ 現在の住まいについては、「持ち家（一戸建て）」が77.5%と最も高く、次いで「民間賃貸住宅（アパート等の集合住宅）」（10.5%）、「民間賃貸住宅（一戸建て）」（3.4%）となっています。



Ⅲ 調査結果（第2号被保険者調査）

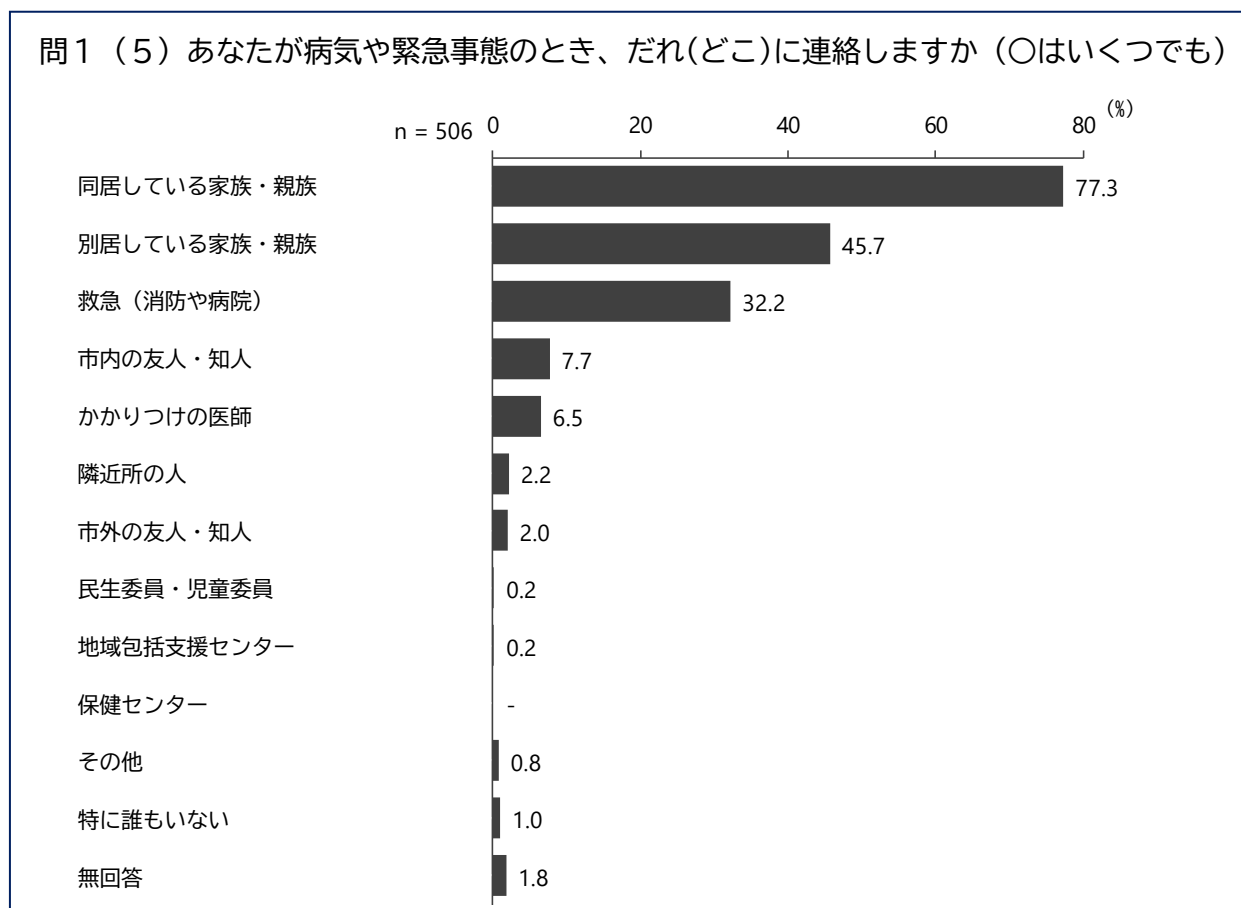
2-6 現在の暮らしの状況

- ▶ 現在の暮らしの状況については、「生活にゆとりはないが、不自由でもない」が57.1%と最も高く、次いで「豊かではないが、生活にゆとりはある」(27.3%)、「不自由が多く、生活が苦しい」(7.5%)となっています。



2-7 病気や緊急事態のときに連絡する人（場所）

- ▶ 病気や緊急事態のときに連絡する人（場所）については、「同居している家族・親族」が77.3%と最も高く、次いで「別居している家族・親族」(45.7%)、「救急（消防や病院）」(32.2%)となっています。



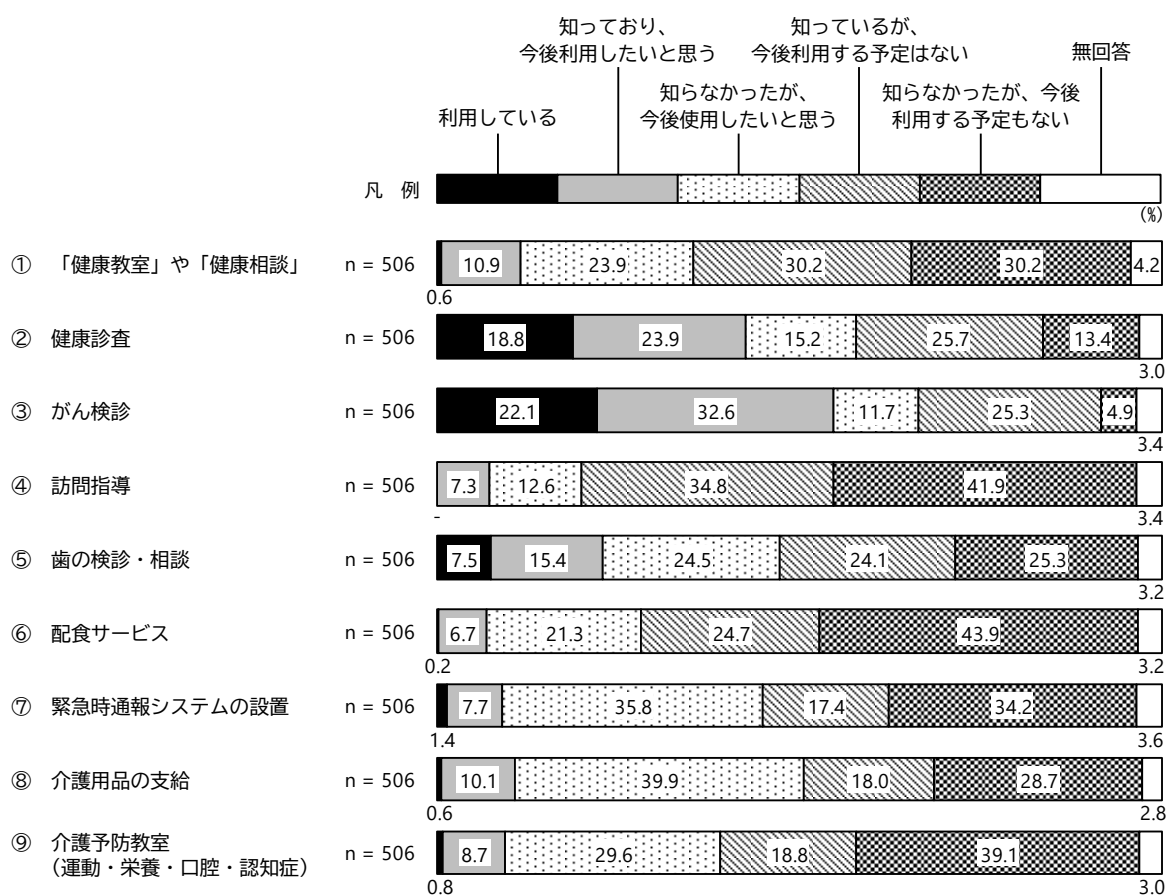
3 北上市の福祉施策について

3-1 保健福祉サービスの利用状況・利用意向

- ▶ 保健福祉サービスの利用状況・利用意向について、「利用している」サービスでは、『③がん検診』が22.1%と最も高く、次いで『②健康診査』(18.8%)、『⑤歯の検診・相談』(7.5%)となっています。
- ▶ 「知っており、今後利用したいと思う」と「知らなかったが、今後使用したいと思う」を合わせた《今後利用したい》サービスでは、『⑧介護用品の支給』が50.0%と最も高く、次いで『③がん検診』(44.3%)、『⑦緊急時通報システムの設置』(43.5%)となっています。
- ▶ 「知っているが、今後利用する予定はない」と「知らなかったが、今後利用する予定もない」を合わせた《今後利用する予定はない》サービスでは、『④訪問指導』が76.7%と最も高く、次いで『⑥配食サービス』(68.6%)、『①「健康教室」や「健康相談」』(60.4%)となっています。
- ▶ 「知らなかったが、今後使用したいと思う」と「知らなかったが、今後利用する予定もない」を合わせた《知らなかった》サービスでは、『⑨介護予防教室（運動・栄養・口腔・認知症）』が68.7%と最も高く、次いで『⑧介護用品の支給』(68.6%)、『⑥配食サービス』(65.2%)となっています。

問2（1）現在、市では以下の保健福祉サービスを実施しております。

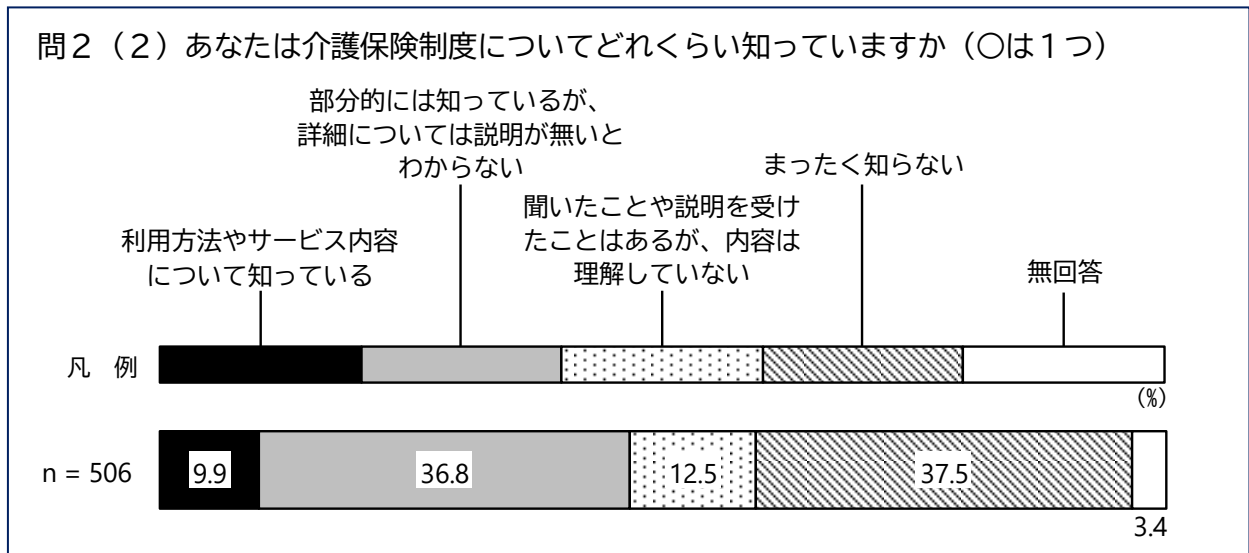
サービスそれぞれについて、ご回答ください（○はそれぞれの項目で1つ）



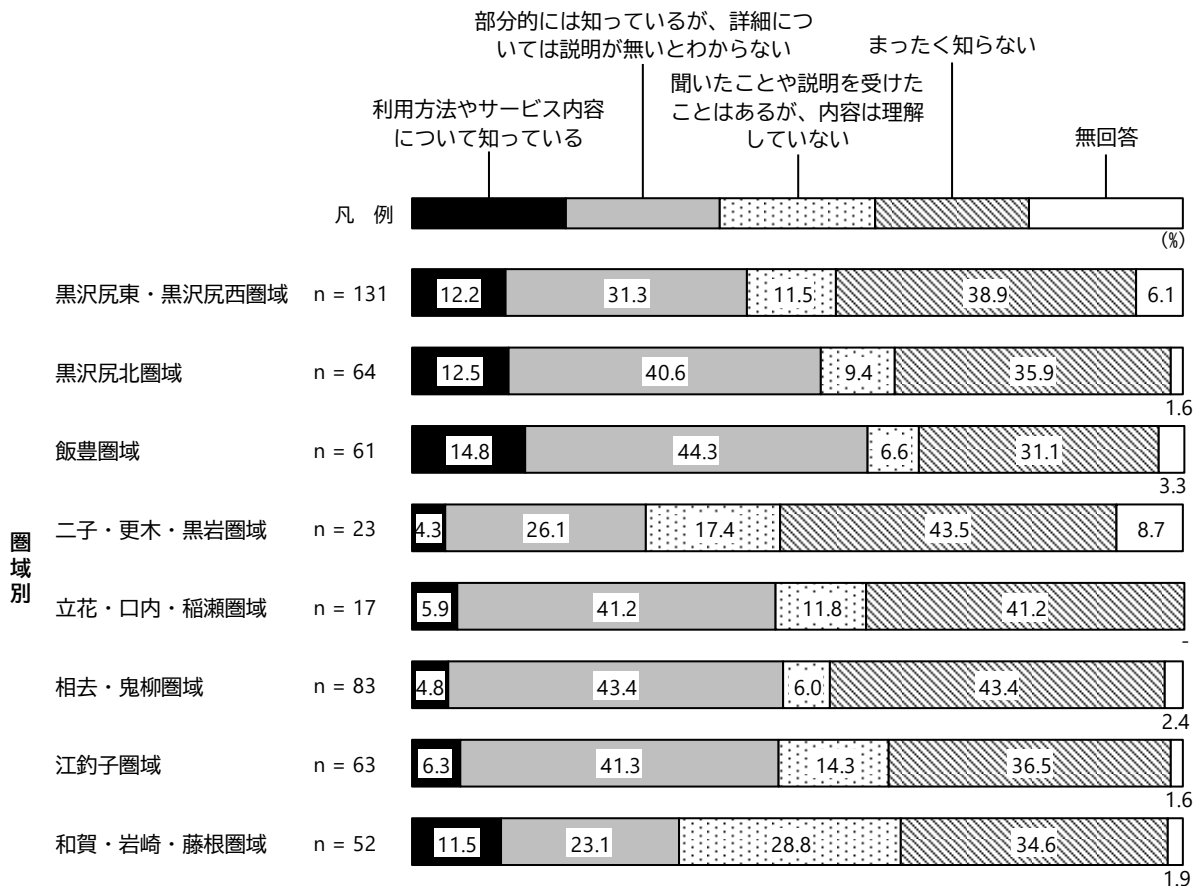
Ⅲ 調査結果（第2号被保険者調査）

3-2 介護保険制度の認知度

- ▶ 介護保険制度の認知度については、「部分的には知っているが、詳細については説明が無いとわからない」が36.8%と最も高く、次いで「聞いたことや説明を受けたことはあるが、内容は理解していない」（12.5%）、「利用方法やサービス内容について知っている」（9.9%）となっています。一方「まったく知らない」が37.5%となっています。
- ▶ 圏域別でみると、飯豊圏域では「利用方法やサービス内容について知っている」が14.8%と他の圏域と比べて高くなっています。



【圏域別／介護保険制度の認知度】

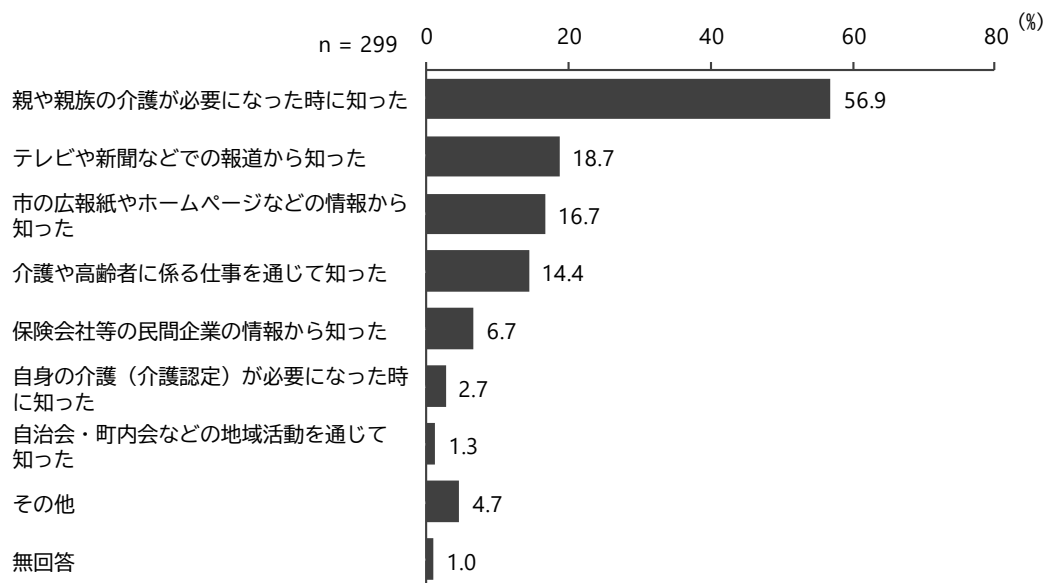


3-3 どのような場面で介護保険制度を知ったか

- ▶ どのような場面で介護保険制度を知ったかについては、「親や親族の介護が必要になった時に知った」が56.9%と最も高く、次いで「テレビや新聞などでの報道から知った」（18.7%）、「市の広報紙やホームページなどの情報から知った」（16.7%）となっています。

【問2（2）で「1.」～「3.」（「まったく知らない」以外）を選択した方のみお答えください】

問2（2）① あなたはどのような場面で介護保険制度について知りましたか
（〇はいくつでも）

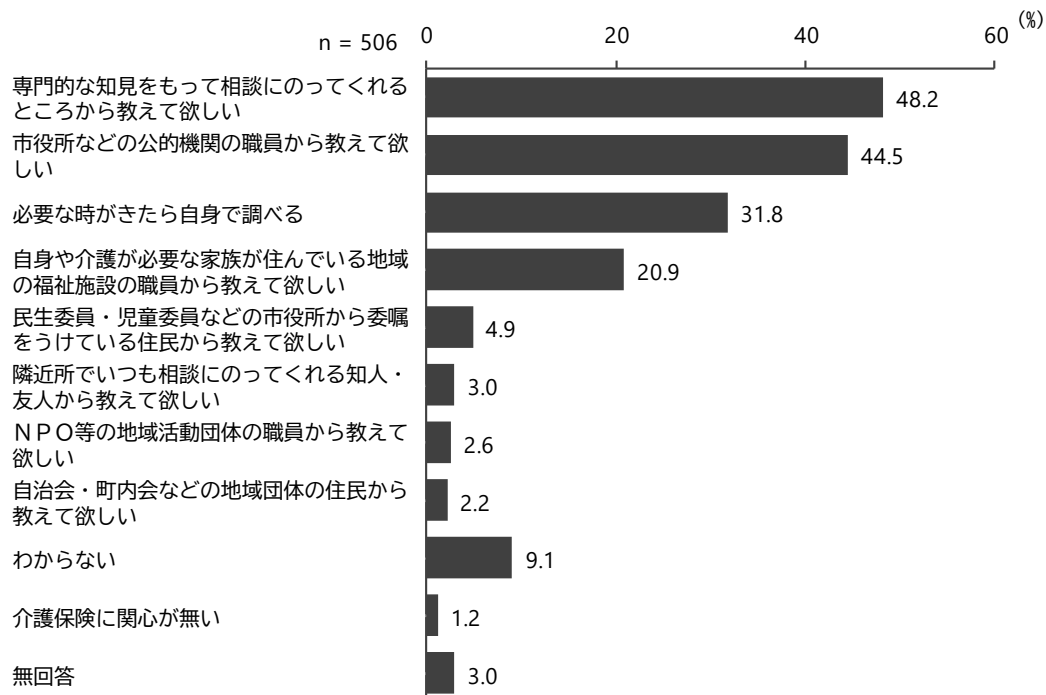


Ⅲ 調査結果（第2号被保険者調査）

3-4 介護保険に関する情報の入手方法

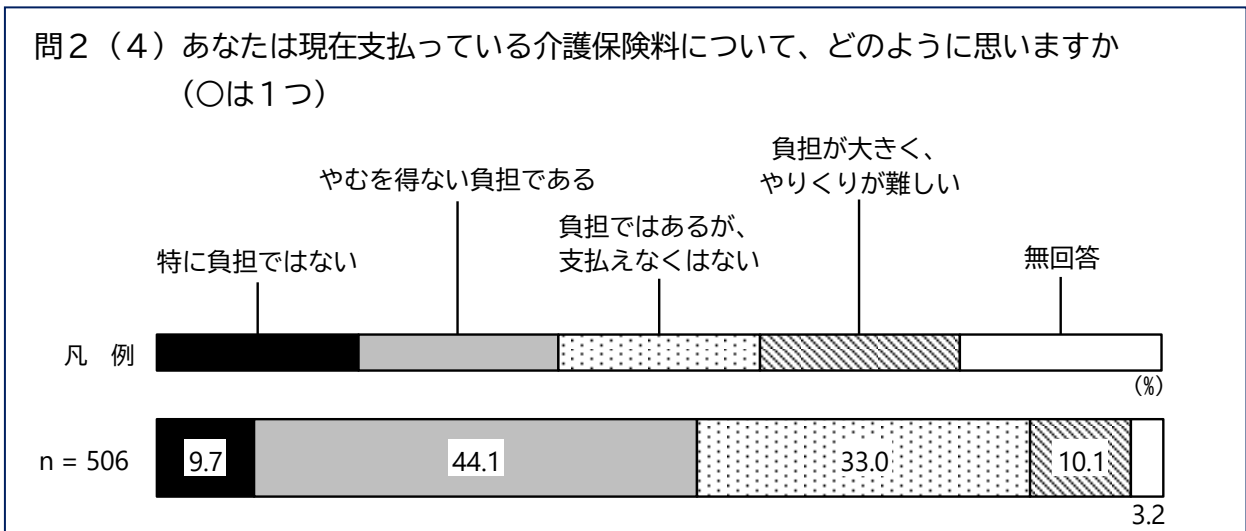
- ▶ 介護保険に関する情報の入手方法については、「専門的な知見をもって相談にのってくれるところから教えて欲しい」が48.2%と最も高く、次いで「市役所などの公的機関の職員から教えて欲しい」（44.5%）、「必要な時がきたら自身で調べる」（31.8%）となっています。

問2（3）あなたは介護保険に関する情報をどのような所から入手したいですか
（○はいくつでも）

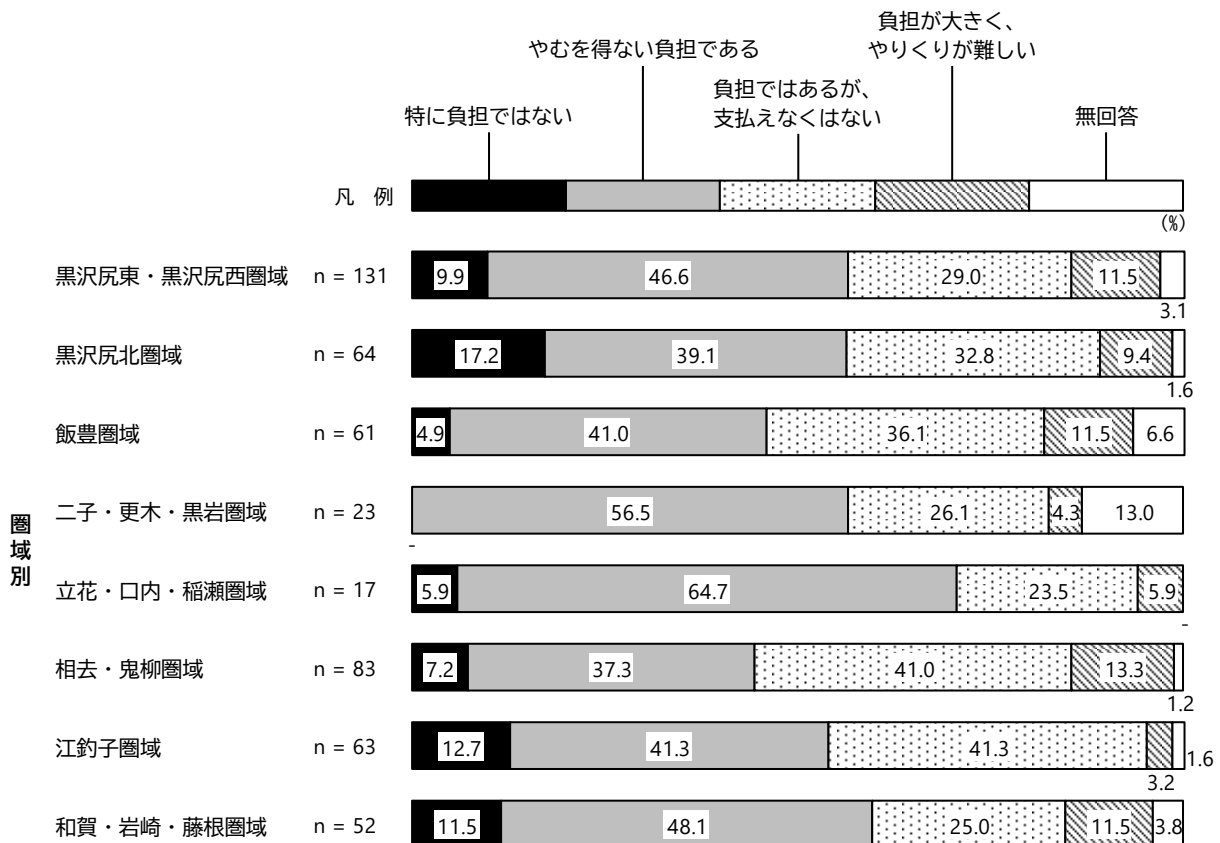


3-5 介護保険料の負担に対する考え

- ▶ 介護保険料の負担に対する考えについては、「やむを得ない負担である」が44.1%と最も高く、次いで「負担ではあるが、支払えなくはない」（33.0%）、「負担が大きく、やりくりが難しい」（10.1%）となっています。
- ▶ 圏域別でみると、黒沢尻北圏域では「特に負担ではない」が17.2%と他の圏域と比べて高くなっています。



【圏域別／介護保険料の負担に対する考え】

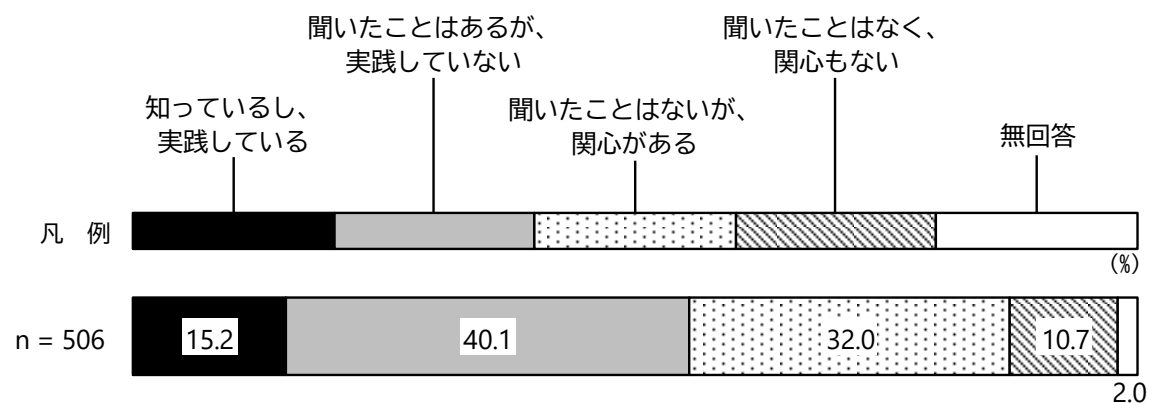


4 介護予防について

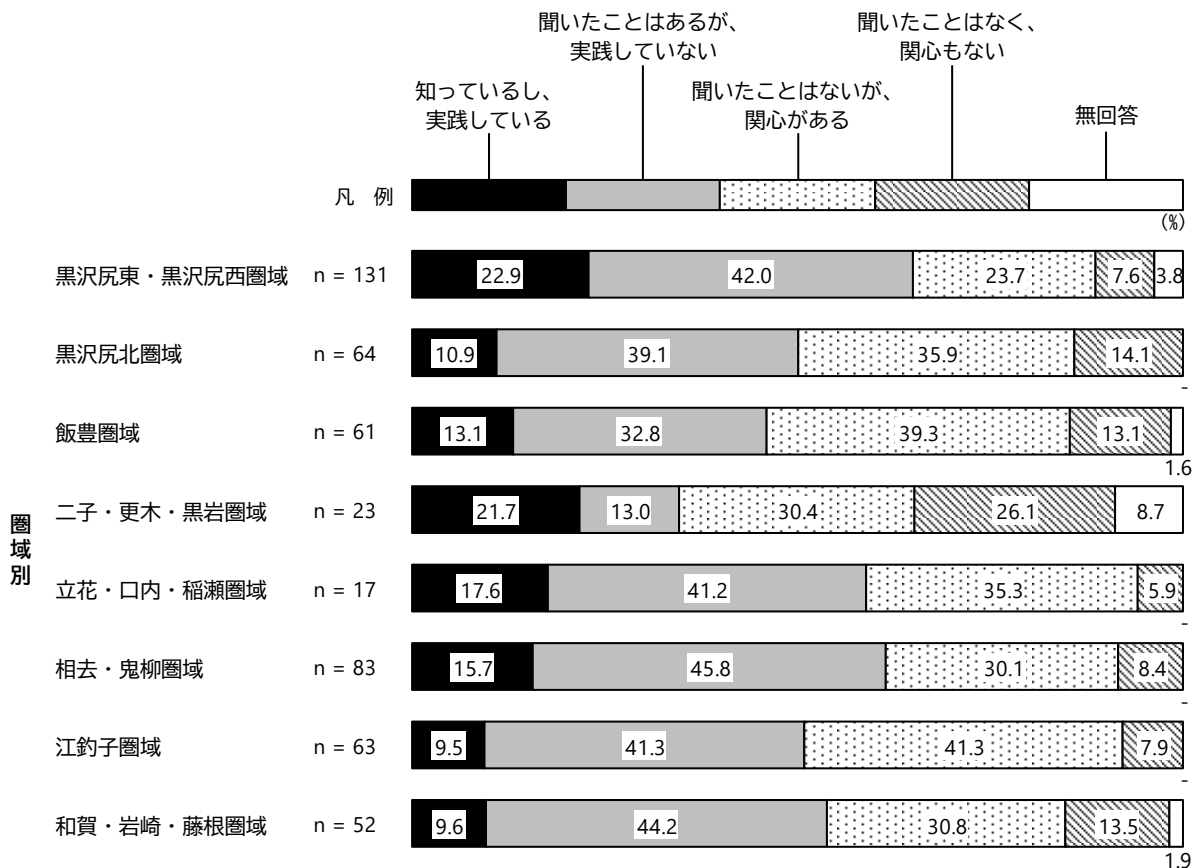
4-1 介護予防のための体づくり

- ▶ 介護予防のための体づくりについては、「聞いたことはあるが、実践していない」が40.1%と最も高く、次いで「聞いたことはないが、関心がある」(32.0%)、「知っているし、実践している」(15.2%)となっています。
- ▶ 圏域別でみると、二子・更木・黒岩圏域では「聞いたことはあるが、実践していない」が13.0%と他の圏域と比べて低くなっています。

問3（1）あなたは、適切なトレーニングを行うことで、高齢になっても、介護の支援を利用せずに生活できる体づくりができることを知っていますか（○は1つ）



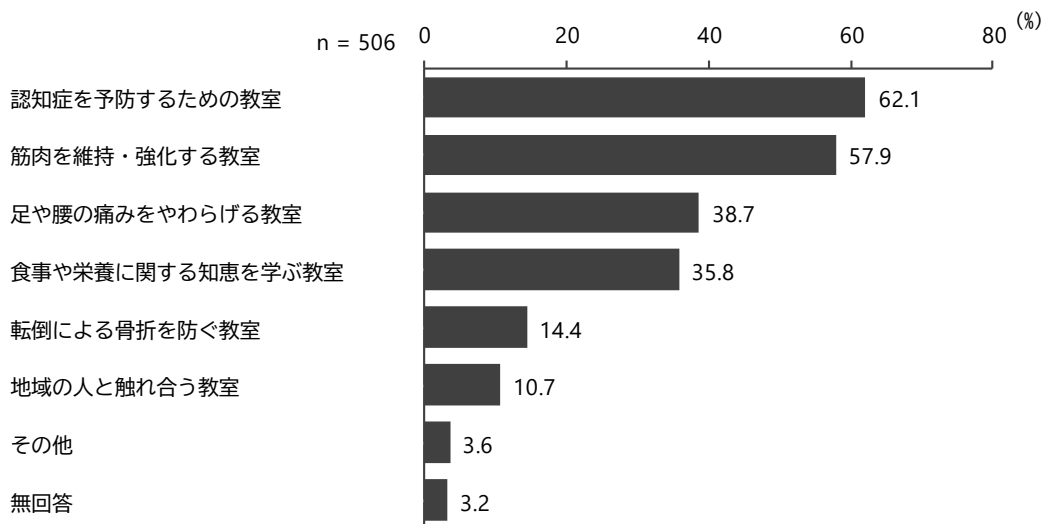
【圏域別／介護予防のための体づくり】



4-2 介護予防のためのプログラムで特に興味があるもの

▶ 介護予防のためのプログラムで特に興味があるものについては、「認知症を予防するための教室」が62.1%と最も高く、次いで「筋肉を維持・強化する教室」（57.9%）、「足や腰の痛みをやわらげる教室」（38.7%）となっています。

問3（2）市では以下の介護予防のためのプログラムを実施していますが、あなたが「特に」興味があるものをご回答ください（○は3つまで）

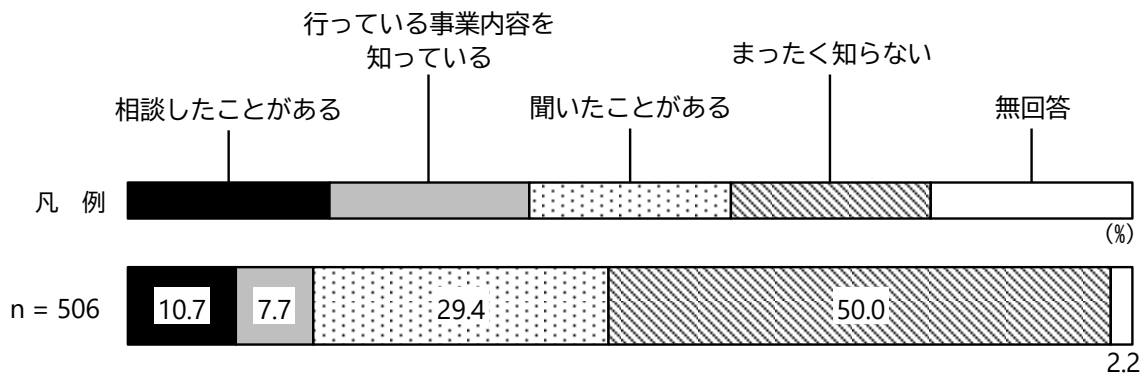


Ⅲ 調査結果（第2号被保険者調査）

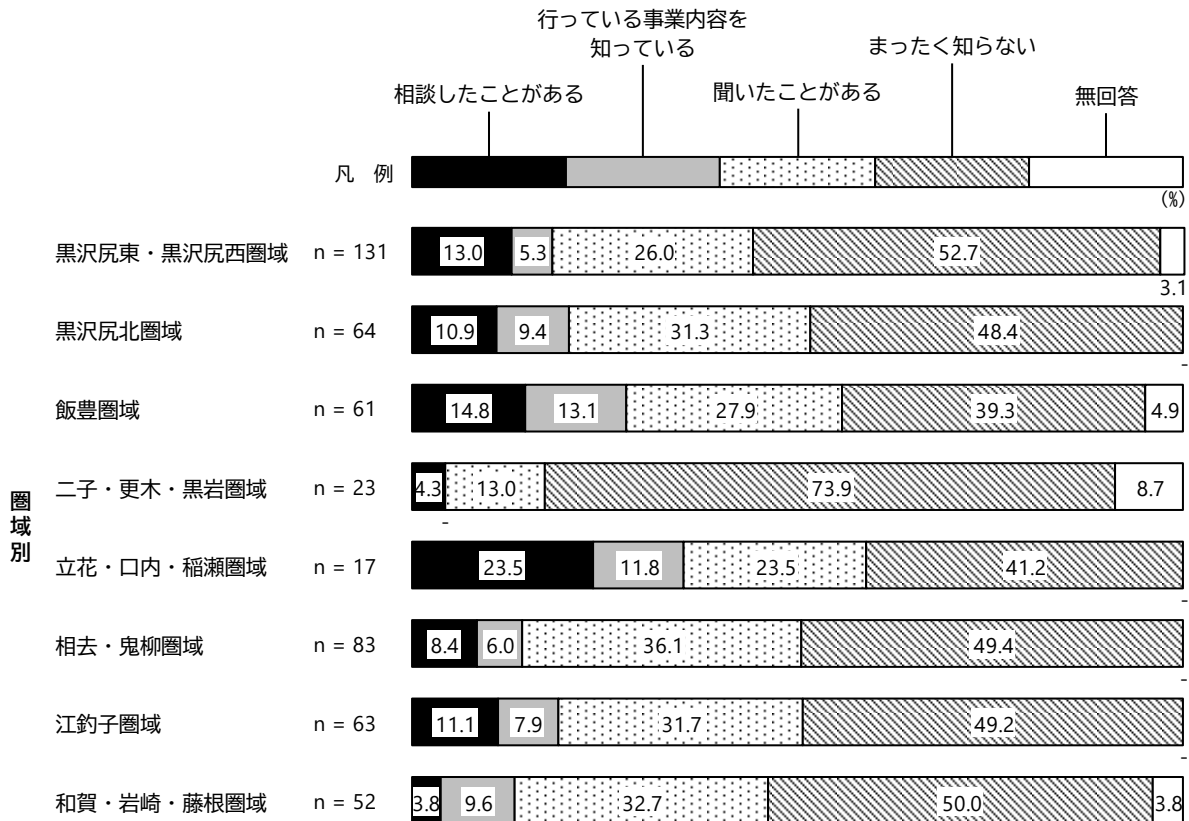
4-3 「地域包括支援センター」の認知度

- ▶ 「地域包括支援センター」の認知度については、「まったく知らない」が50.0%と最も高く、次いで「聞いたことがある」（29.4%）、「相談したことがある」（10.7%）となっています。
- ▶ 圏域別でみると、和賀・岩崎・藤根圏域では「相談したことがある」が3.8%と他の圏域と比べて低くなっています。

問3（3）市では、地域の高齢者福祉の拠点として、「地域包括支援センター」を市内5か所に設置しています。あなたはこのことについて知っていますか（○は1つ）



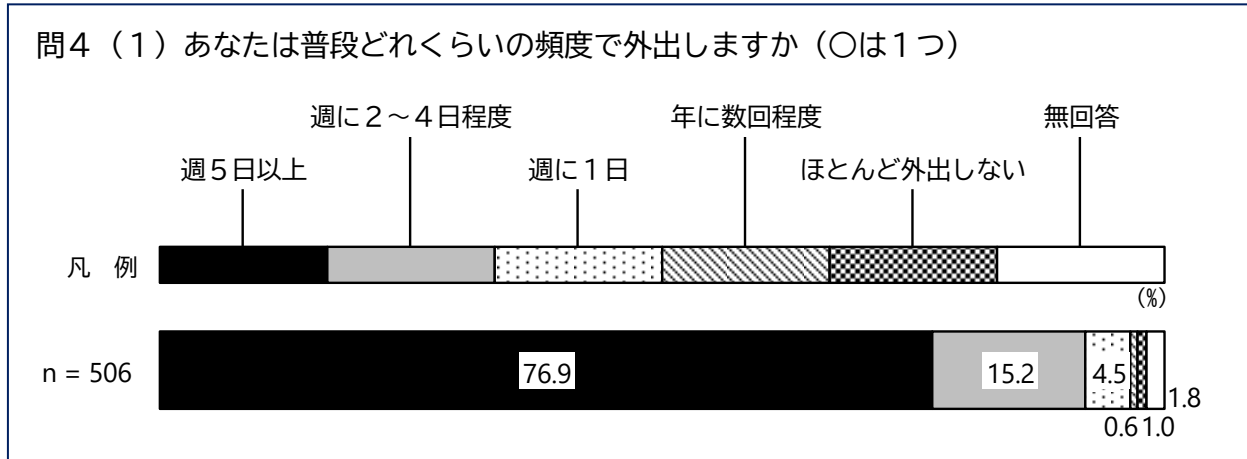
【圏域別／「地域包括支援センター」の認知度】



5 日常生活や健康状態について

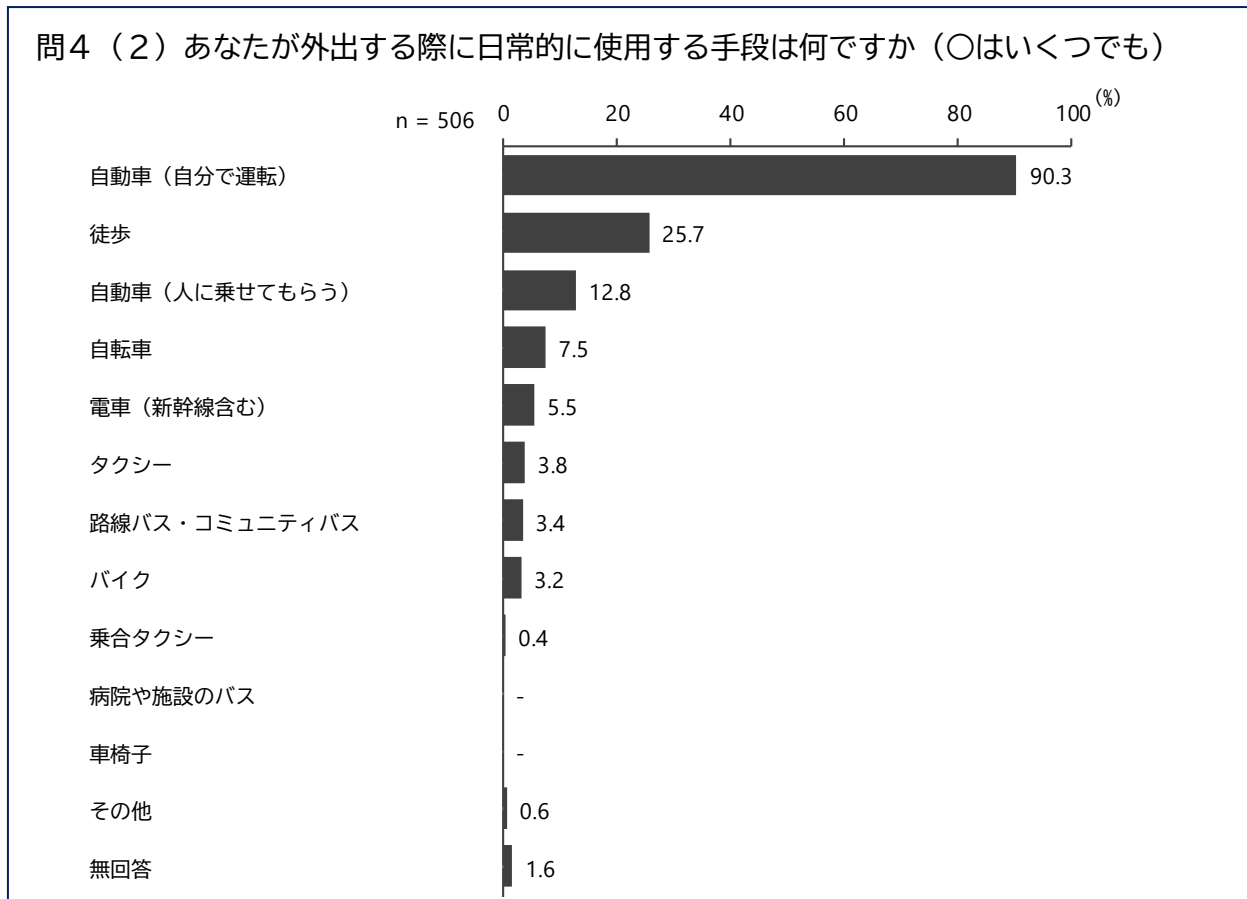
5-1 外出の頻度

- ▶ 外出の頻度については、「週5日以上」が76.9%と最も高く、次いで「週に2～4日程度」（15.2%）、「週に1日」（4.5%）となっています。



5-2 外出時の移動手段

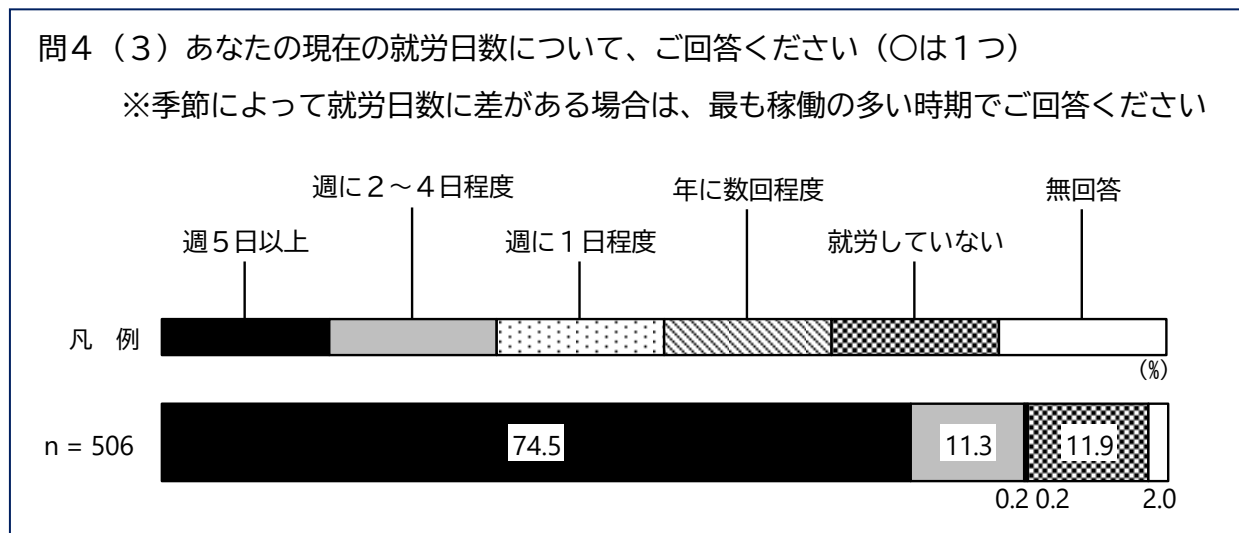
- ▶ 外出時の移動手段については、「自動車（自分で運転）」が90.3%と最も高く、次いで「徒歩」（25.7%）、「自動車（人に乗せてもらう）」（12.8%）となっています。



Ⅲ 調査結果（第2号被保険者調査）

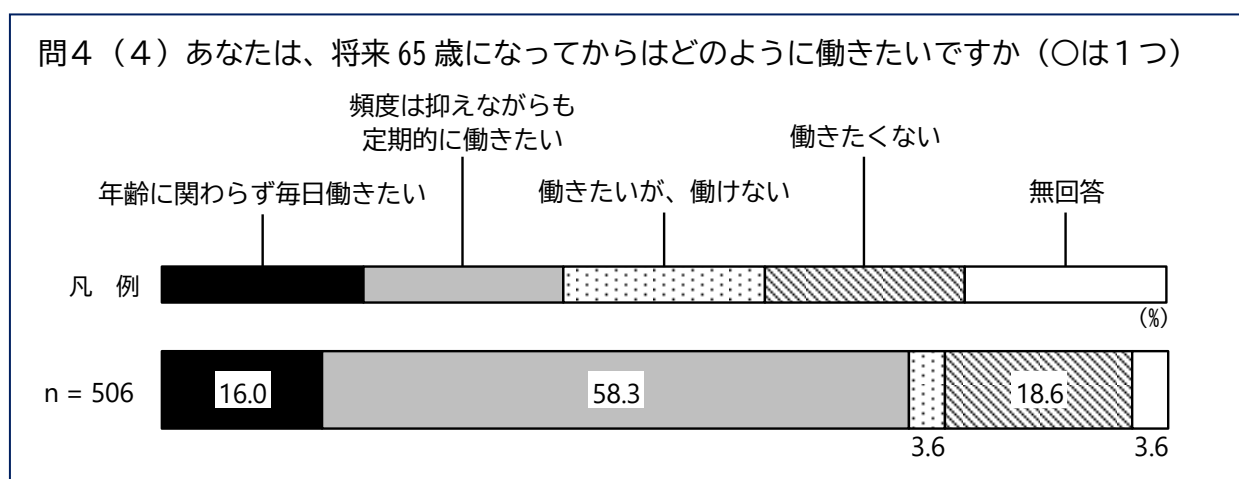
5-3 現在の就労日数

- ▶ 現在の就労日数については、「週5日以上」が74.5%と最も高く、次いで「就労していない」（11.9%）、「週に2～4日程度」（11.3%）となっています。



5-4 65歳になってからの働き方の希望

- ▶ 65歳になってからの働き方の希望については、「頻度は抑えながらも定期的に働きたい」が58.3%と最も高く、次いで「働きたくない」（18.6%）、「年齢に関わらず毎日働きたい」（16.0%）となっています。

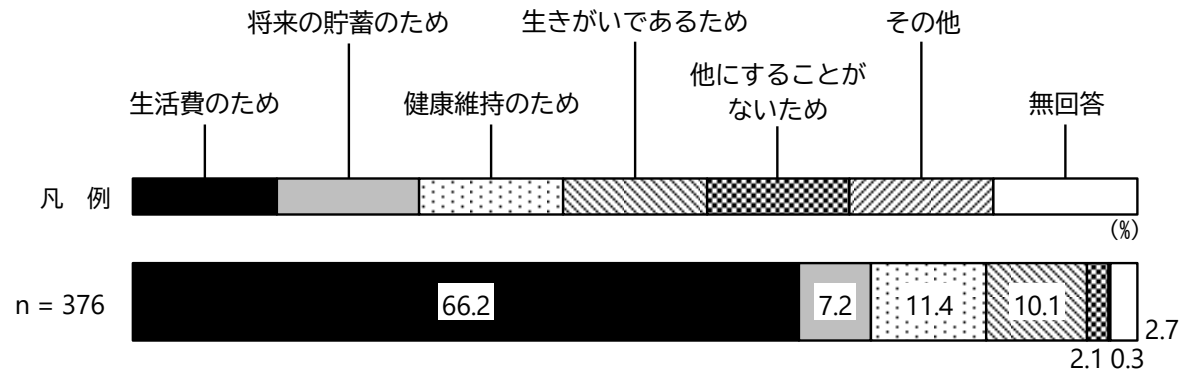


5-5 働き続ける主な理由

- ▶ 働き続ける主な理由については、「生活費のため」が66.2%と最も高く、次いで「健康維持のため」(11.4%)、「生きがいであるため」(10.1%)となっています。

【問4（4）で「年齢に関わらず毎日働きたい」または「頻度は抑えながらも定期的に働きたい」を選択した方のみお答えください】

問4（4）① あなたが働き続ける主な理由は何ですか（○は1つ）

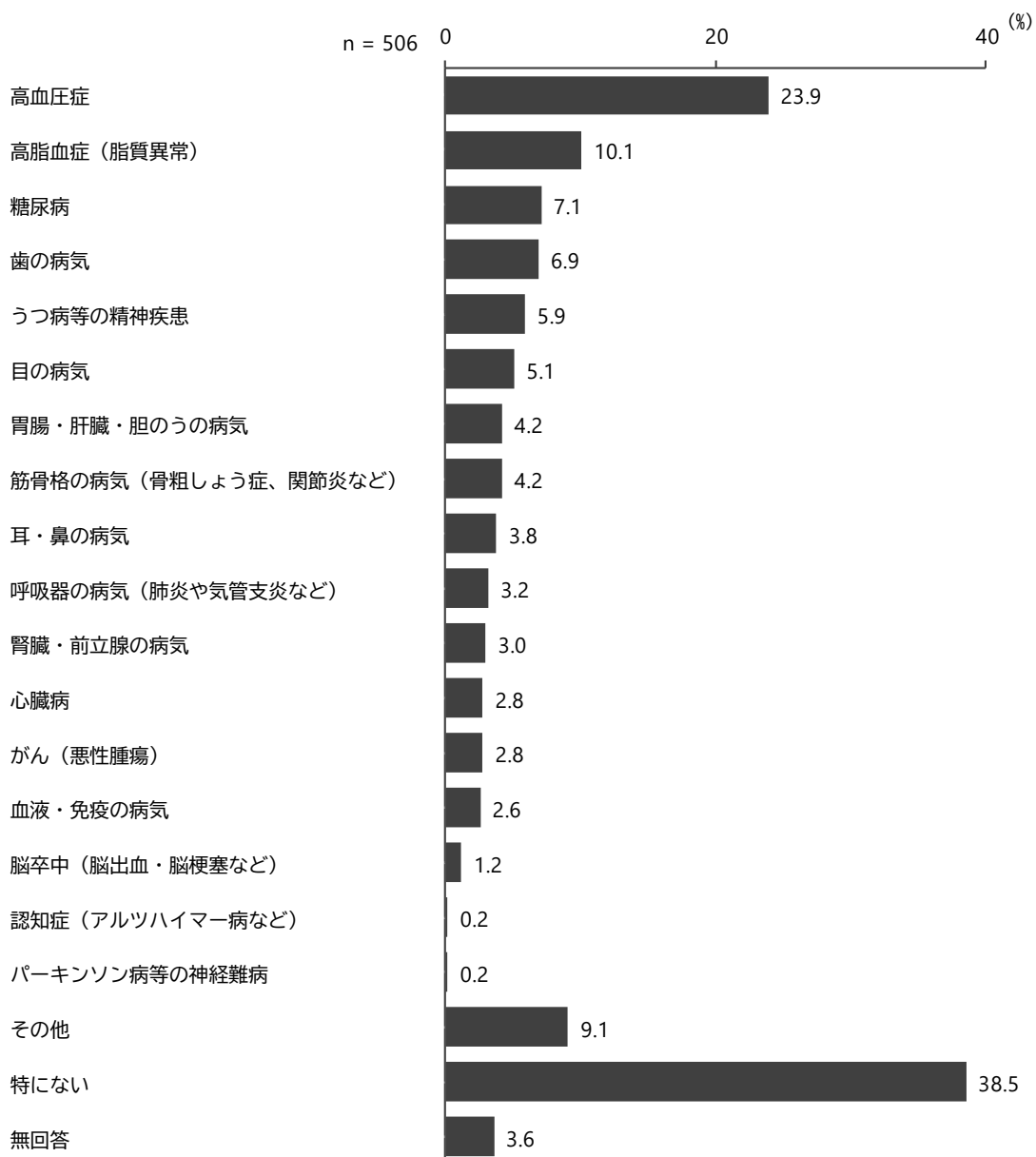


Ⅲ 調査結果（第2号被保険者調査）

5-6 治療中もしくは経過観察中の病気

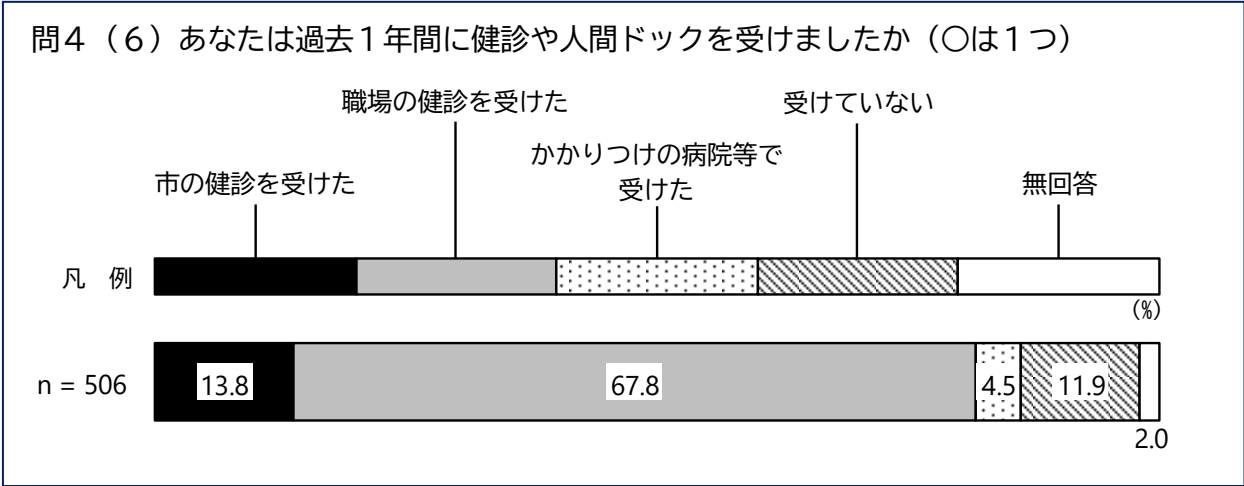
- ▶ 治療中もしくは経過観察中の病気については、「高血圧症」が23.9%と最も高く、次いで「高脂血症（脂質異常）」（10.1%）、「糖尿病」（7.1%）となっています。一方「特にない」が38.5%となっています。

問4（5）あなたは現在治療中もしくは経過観察中の病気がありますか（○はいくつでも）



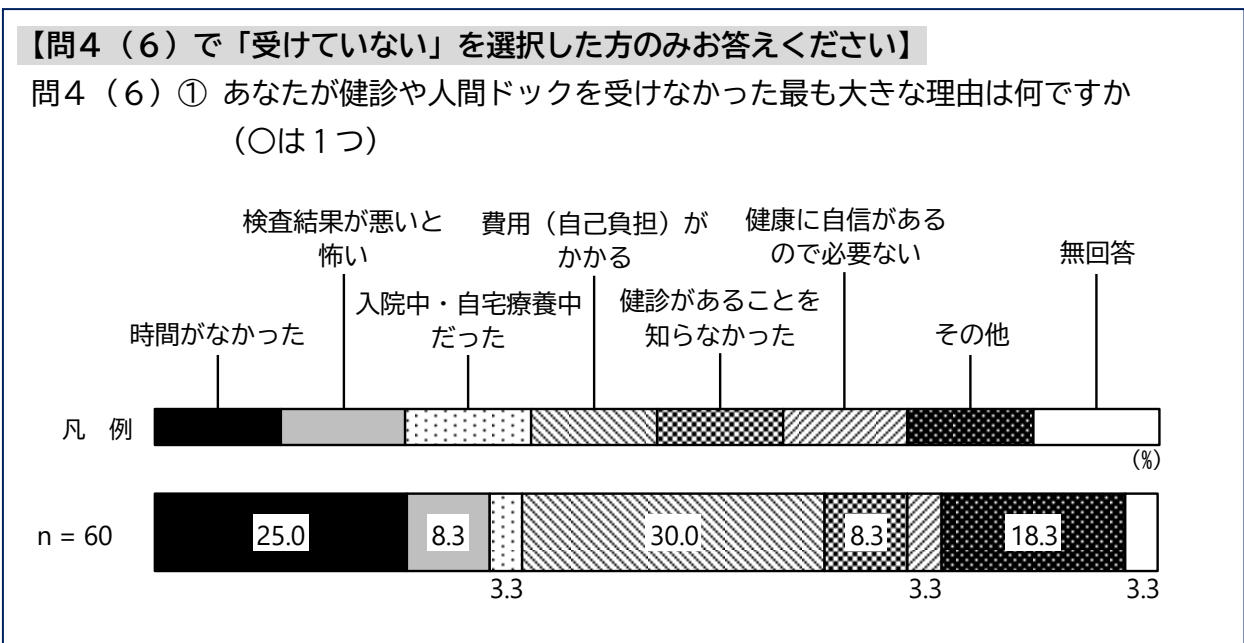
5-7 過去1年間の健診や人間ドックの受診有無

- ▶ 過去1年間の健診や人間ドックの受診有無については、「職場の健診を受けた」が67.8%と最も高く、次いで「市の健診を受けた」（13.8%）、「受けていない」（11.9%）となっています。



5-8 健診や人間ドックを受診しない理由

- ▶ 健診や人間ドックを受診しない理由については、「費用（自己負担）がかかる」が30.0%と最も高く、次いで「時間がなかった」（25.0%）、「検査結果が悪いと怖い」、「健診があることを知らなかった」（ともに8.3%）となっています。一方「その他」が18.3%となっています。

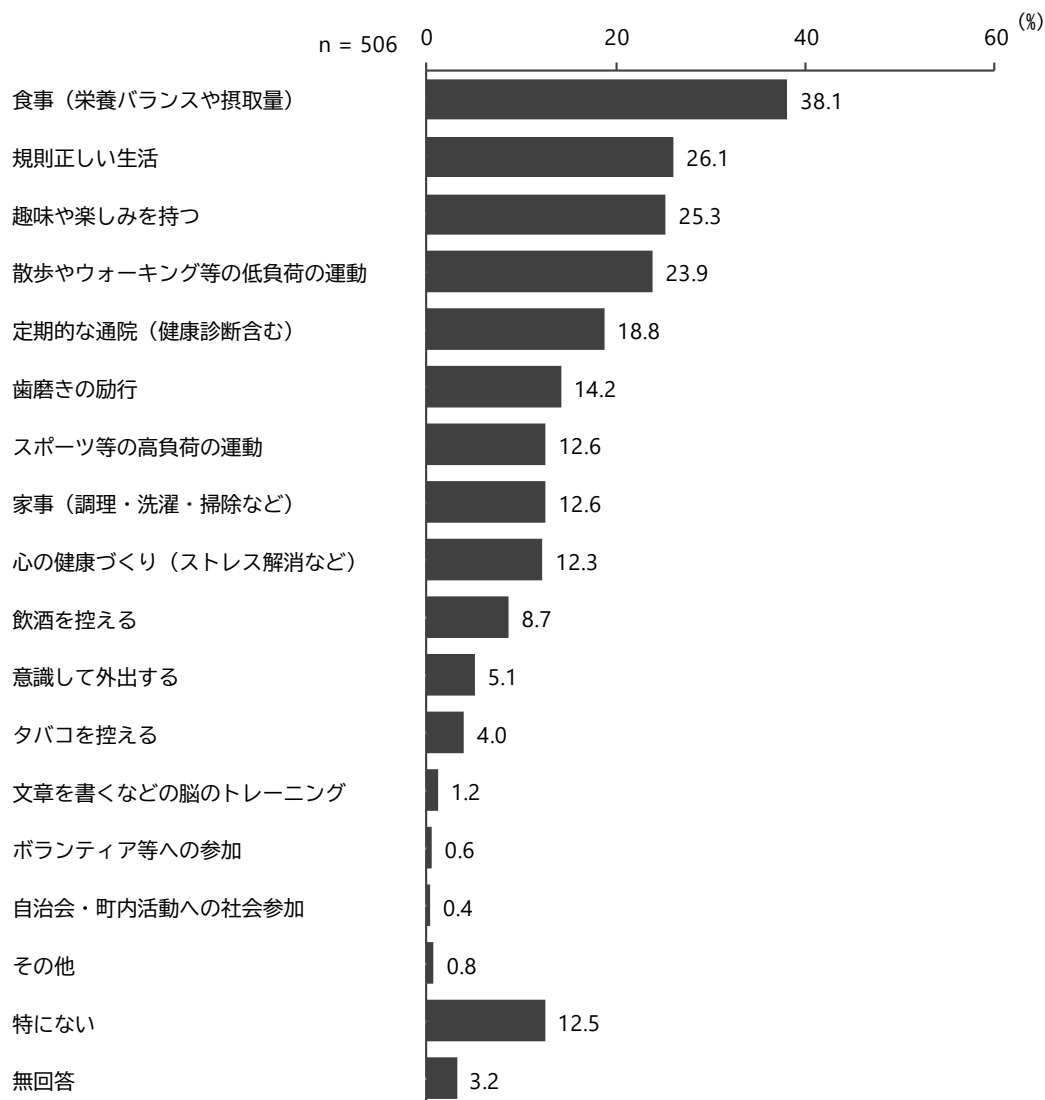


Ⅲ 調査結果（第2号被保険者調査）

5-9 健康のために特に意識して取り組んでいること

- ▶ 健康のために特に意識して取り組んでいることについては、「食事（栄養バランスや摂取量）」が38.1%と最も高く、次いで「規則正しい生活」（26.1%）、「趣味や楽しみを持つ」（25.3%）となっています。

問4（7）あなたが健康のために「特に」意識して取り組んでいることはありますか
（○は3つまで）

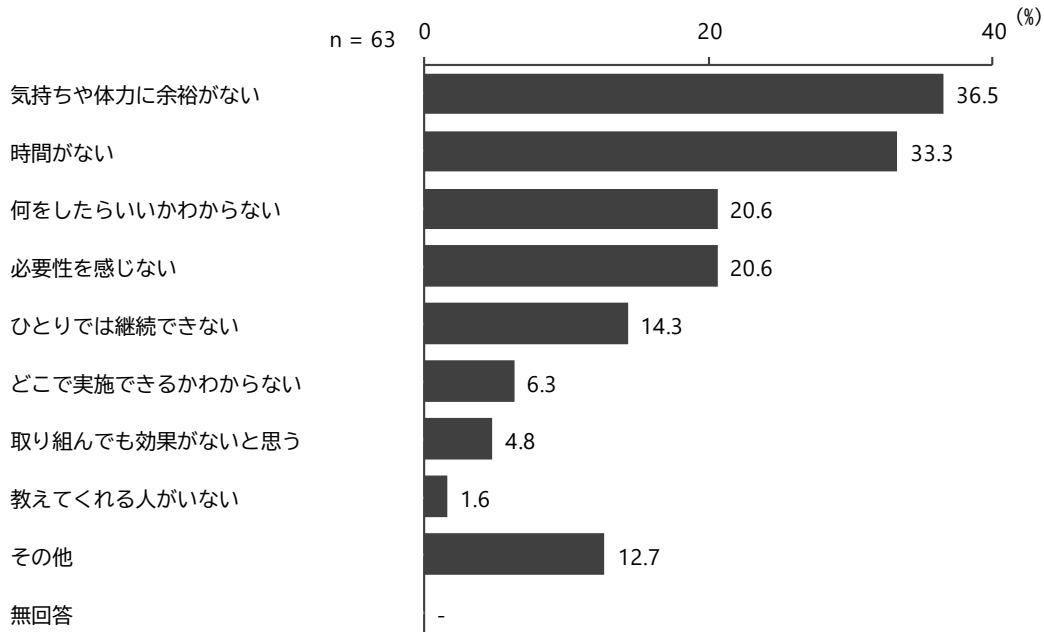


5-10 健康づくりに取り組んでいない理由

- ▶ 健康づくりに取り組んでいない理由については、「気持ちや体力に余裕がない」が36.5%と最も高く、次いで「時間がない」(33.3%)、「何をしたらいいかわからない」(20.6%)となっています。

【(7)で「特になし」を選択した方のみお答えください】

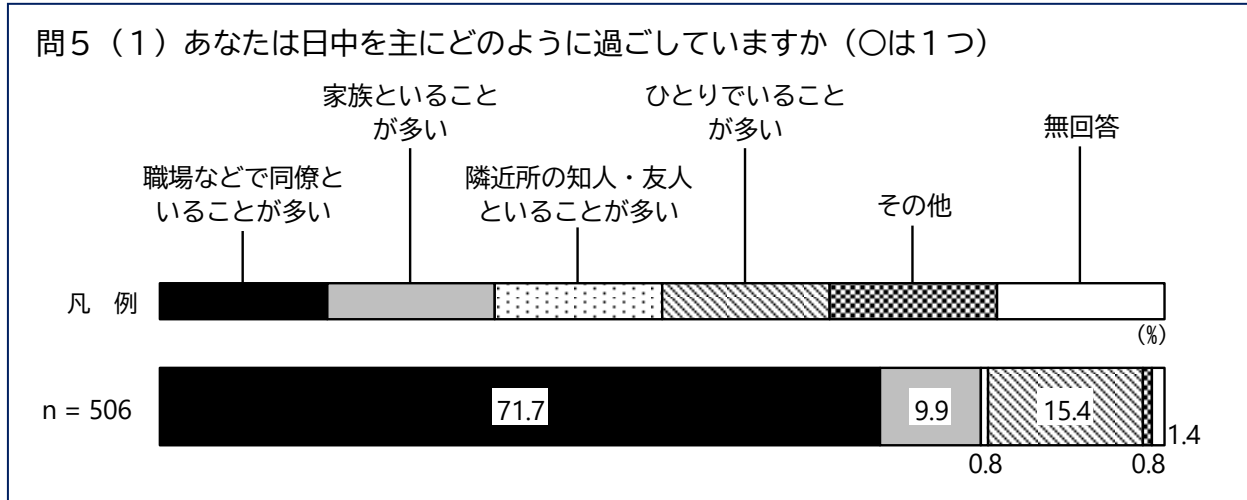
問4(7)① あなたが健康づくりに取り組んでいない理由は何ですか（〇はいくつでも）



6 生きがいや社会参加について

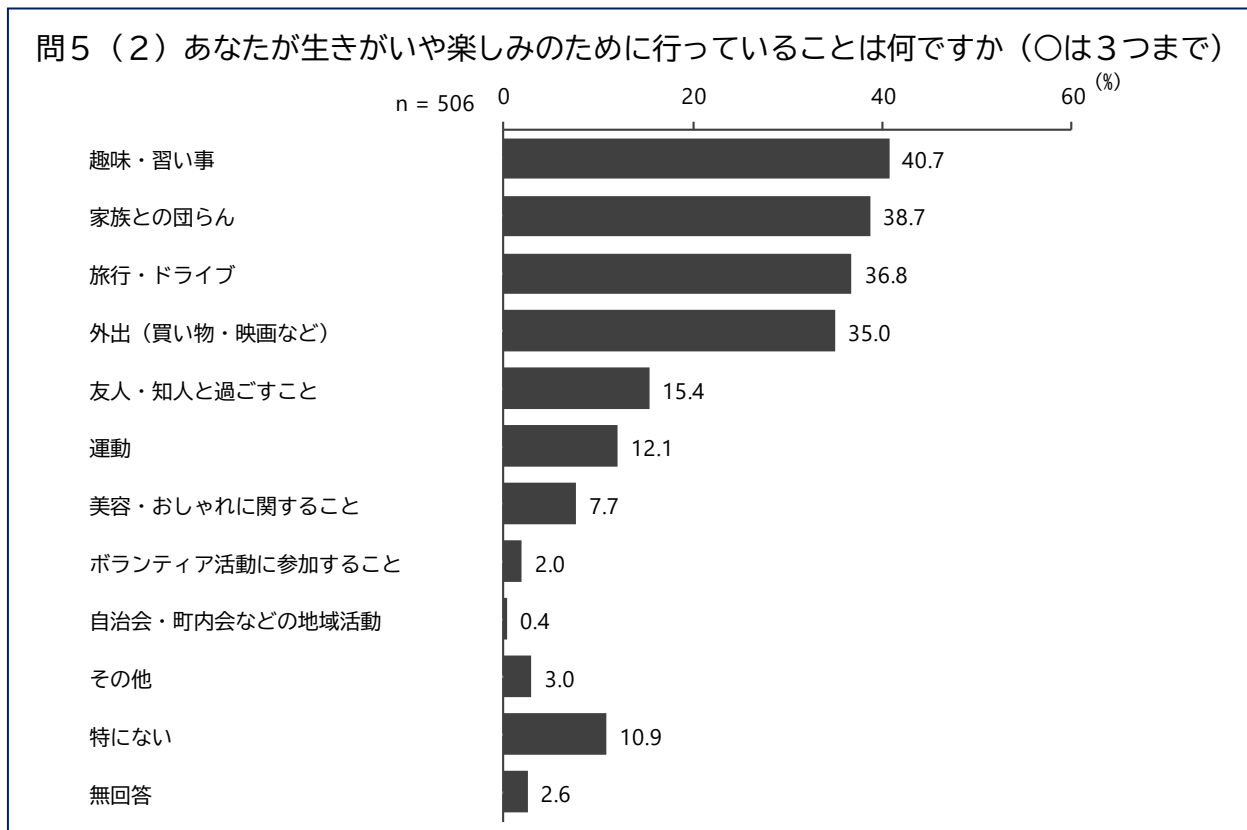
6-1 日中の過ごし方

- ▶ 日中の過ごし方については、「職場などで同僚といることが多い」が71.7%と最も高く、次いで「ひとりであることが多い」(15.4%)、「家族といることが多い」(9.9%)となっています。



6-2 生きがいや楽しみのために行っていること

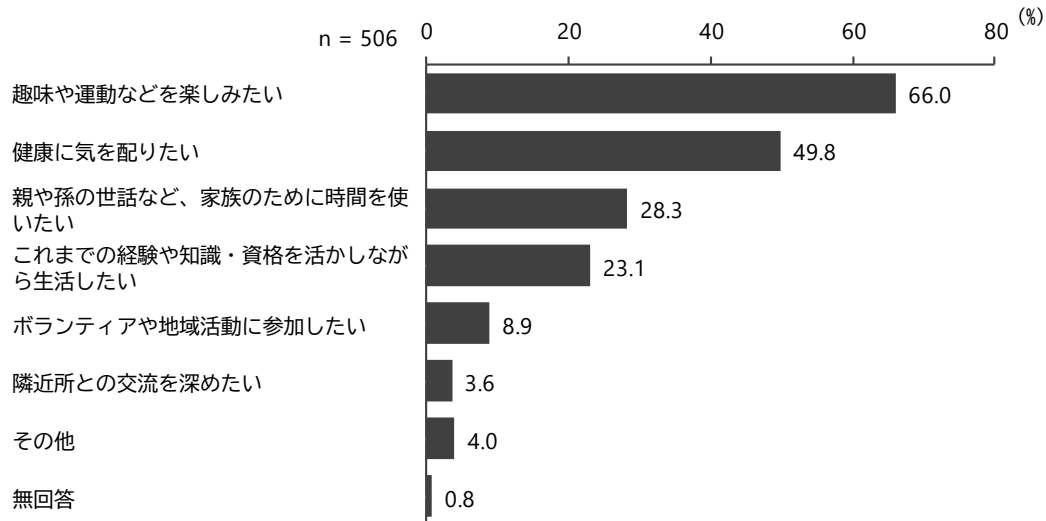
- ▶ 生きがいや楽しみのために行っていることについては、「趣味・習い事」が40.7%と最も高く、次いで「家族との団らん」(38.7%)、「旅行・ドライブ」(36.8%)となっています。



6-3 65歳以上の過ごし方

- ▶ 65歳以上の過ごし方については、「趣味や運動などを楽しみたい」が66.0%と最も高く、次いで「健康に気を配りたい」（49.8%）、「親や孫の世話など、家族のために時間を使いたい」（28.3%）となっています。

問5（3）あなたは65歳以降の生活をどのように過ごしたいと思いますか（○はいくつでも）



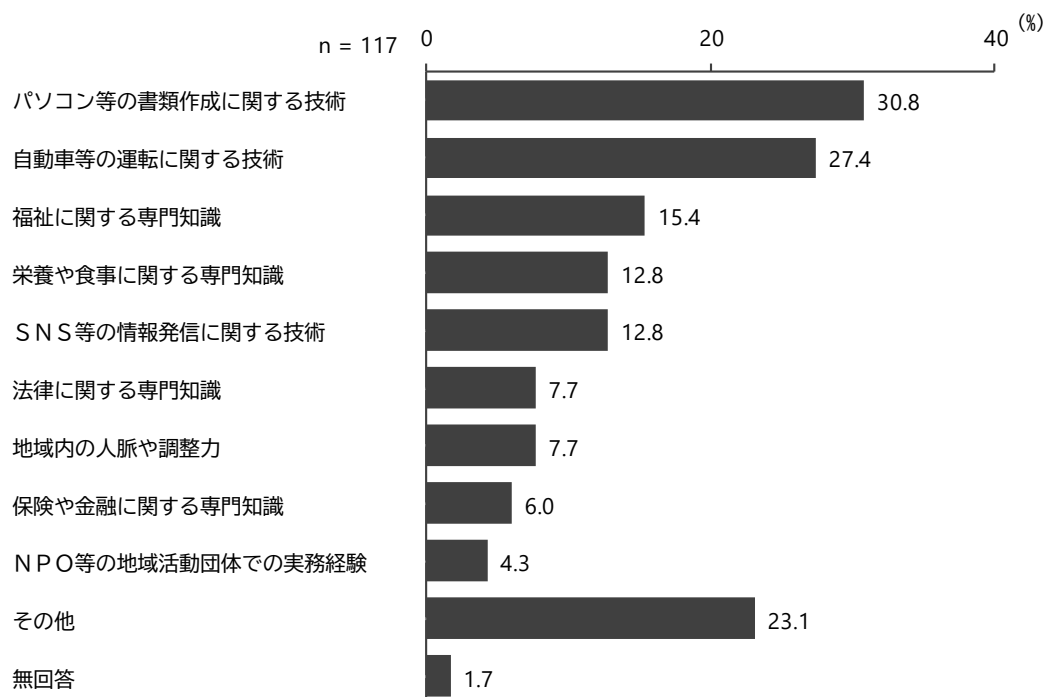
Ⅲ 調査結果（第2号被保険者調査）

6-4 65歳以上の過ごし方で活かしたい知識・資格

- ▶ 65歳以上の過ごし方で活かしたい知識・資格については、「パソコン等の書類作成に関する技術」が30.8%と最も高く、次いで「自動車等の運転に関する技術」（27.4%）、「福祉に関する専門知識」（15.4%）となっています。
- ▶ なお、「その他」については23.1%となっており、主なものとして、『教育・保育』、『スポーツ・運動』、『建設・工事』などの知識や資格があげられている。

【問5（3）で「これまでの経験や知識・資格を活かしながら生活したい」を選択した方のみお答えください】

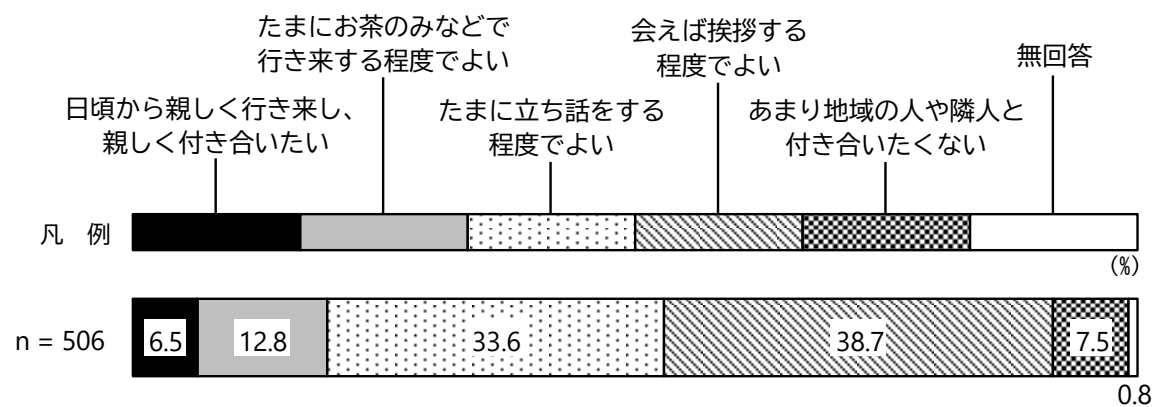
問5（3）① あなたが活かしたい知識・資格について教えてください（○はいくつでも）



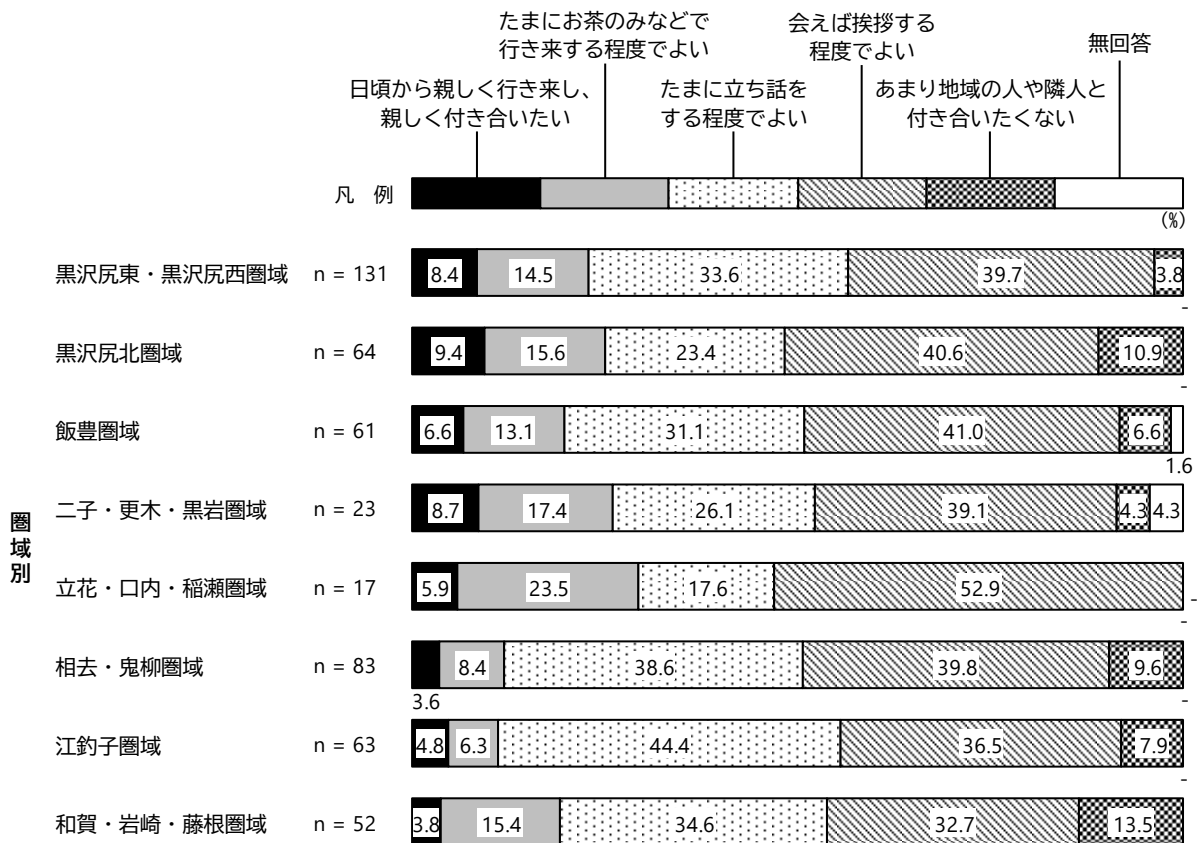
6-5 地域社会とのかかわりの考え方

- ▶ 地域社会とのかかわりの考え方については、「会えば挨拶する程度でよい」が38.7%と最も高く、次いで「たまに立ち話をする程度でよい」(33.6%)、「たまにお茶のみなどで行き来する程度でよい」(12.8%)となっています。
- ▶ 圏域別で見ると、立花・口内・稲瀬圏域では「たまにお茶のみなどで行き来する程度でよい」が23.5%と他の圏域と比べて高くなっています。

問5（4）あなたは地域における人との付き合いや、地域社会とのかかわりについてどのように考えていますか。あなたの考えに近いものをご回答ください（○は1つ）



【圏域別／地域社会とのかかわりの考え方】

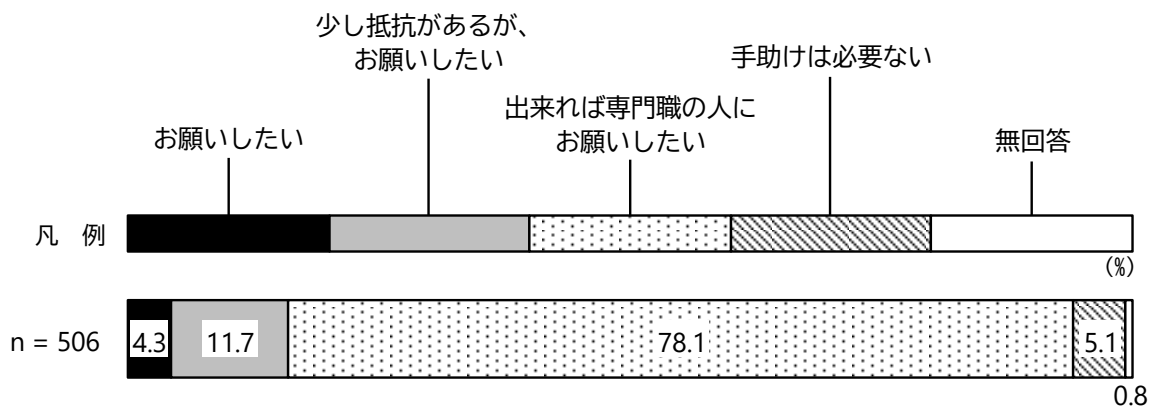


Ⅲ 調査結果（第2号被保険者調査）

6-6 隣近所からの手助けに対する考え

- ▶ 隣近所からの手助けに対する考えについては、「出来れば専門職の人をお願いしたい」が78.1%と最も高く、次いで「少し抵抗があるが、お願いしたい」（11.7%）、「手助けは必要ない」（5.1%）となっています。

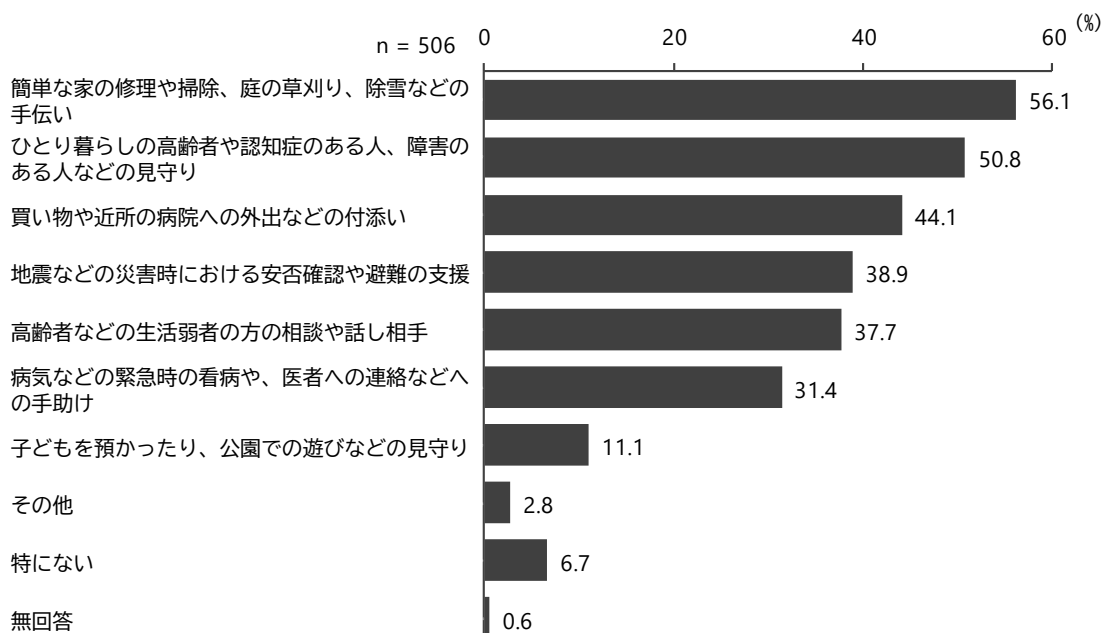
問5（5）あなたやあなたのご家族が、日常生活での介助や支援が必要になった時に、隣近所の知人から手助けをしてもらうことについてどのように思いますか（○は1つ）



6-7 今後、地域で必要になると思う手助け

- ▶ 今後、地域で必要になると思う手助けについては、「簡単な家の修理や掃除、庭の草刈り、除雪などの手伝い」が56.1%と最も高く、次いで「ひとり暮らしの高齢者や認知症のある人、障害のある人などの見守り」（50.8%）、「買い物や近所の病院への外出などの付添い」（44.1%）となっています。

問5（6）今後、あなたのお住まいの地域で必要になってくる手助けは何だと思えますか（○はいくつでも）

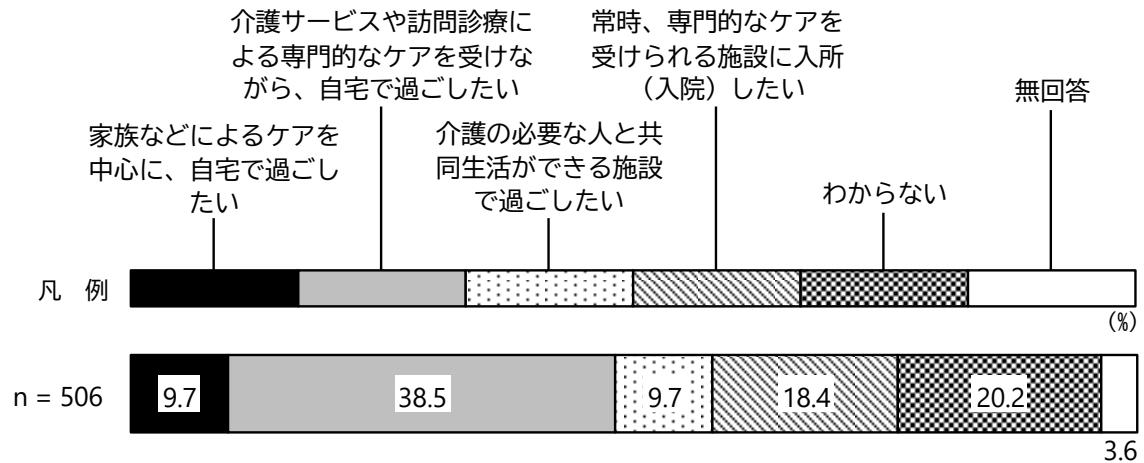


7 今後の意向について

7-1 介護や医療ケアが必要になった時に希望する暮らし方

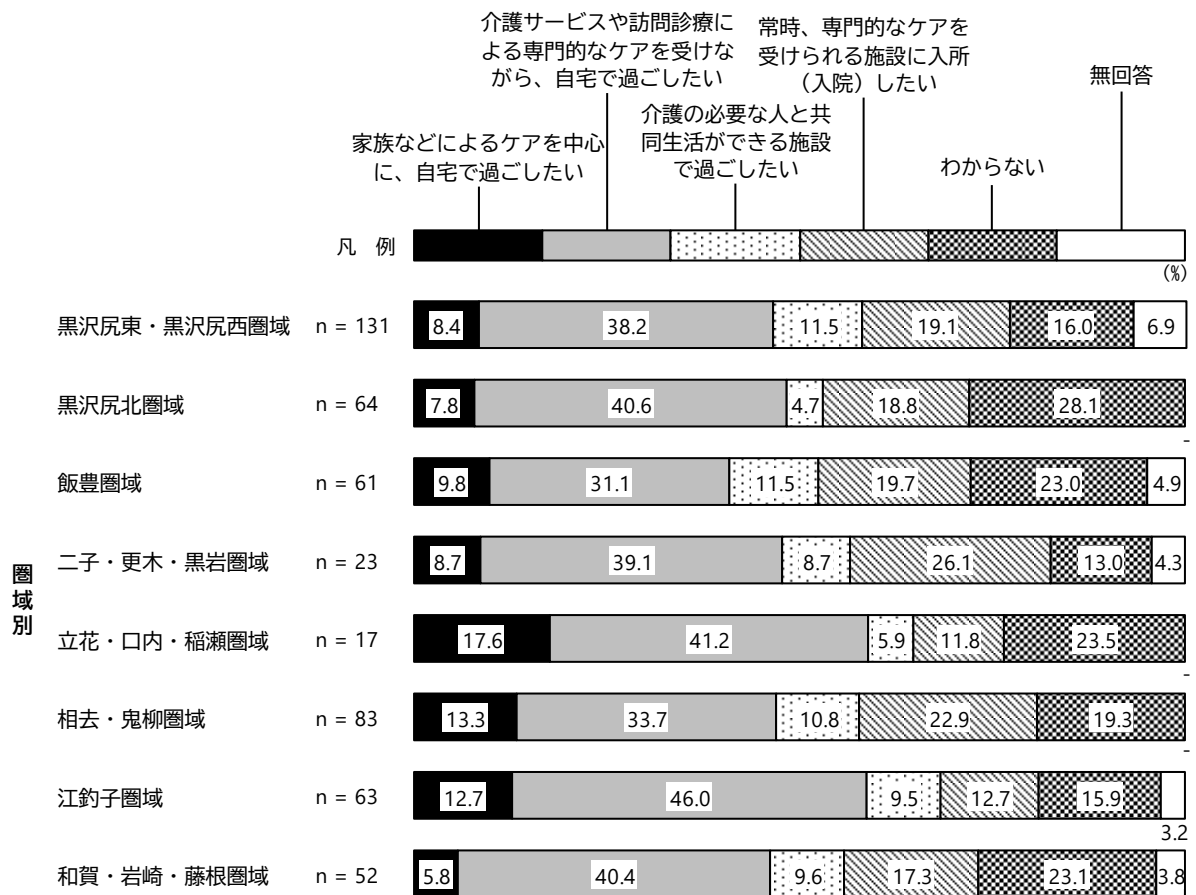
- ▶ 介護や医療ケアが必要になった時に希望する暮らし方については、「介護サービスや訪問診療による専門的なケアを受けながら、自宅で過ごしたい」が38.5%と最も高く、次いで「常時、専門的なケアを受けられる施設に入所（入院）したい」（18.4%）、「家族などによるケアを中心に、自宅で過ごしたい」、「介護の必要な人と共同生活ができる施設で過ごしたい」（ともに9.7%）となっています。一方「わからない」が20.2%となっています。
- ▶ 圏域別でみると、江釣子圏域では「介護サービスや訪問診療による専門的なケアを受けながら、自宅で過ごしたい」が46.0%と他の圏域と比べて高くなっています。

問6（1）今後、あなた自身に介護や医療ケアが必要になった時、どのように暮らしたいと思いますか（○は1つ）



Ⅲ 調査結果（第2号被保険者調査）

【性別・年齢階層別／介護や医療ケアが必要になった時に希望する暮らし方】

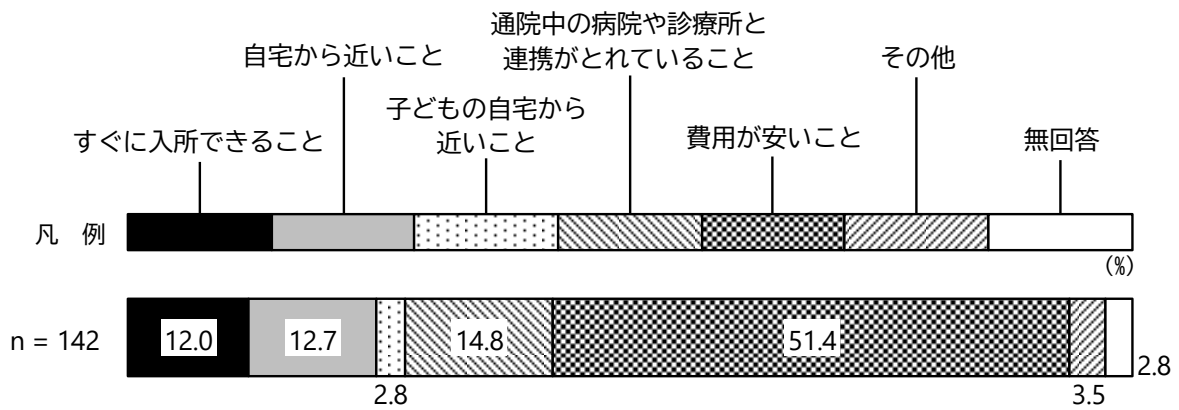


7-2 施設を選択する基準

- ▶ 施設を選択する基準については、「費用が安いこと」が51.4%と最も高く、次いで「通院中の病院や診療所と連携がとれていること」(14.8%)、「自宅から近いこと」(12.7%)となっています。

【問6(1)で「介護の必要な人と共同生活ができる施設で過ごしたい」または「常時、専門的なケアを受けられる施設に入所(入院)したい」を選択した方のみお答えください】

問6(1)① 今後、もしあなたが施設で生活、施設に入所(入院)することになった場合、どのような基準で選ぶと思いますか(○は1つ)

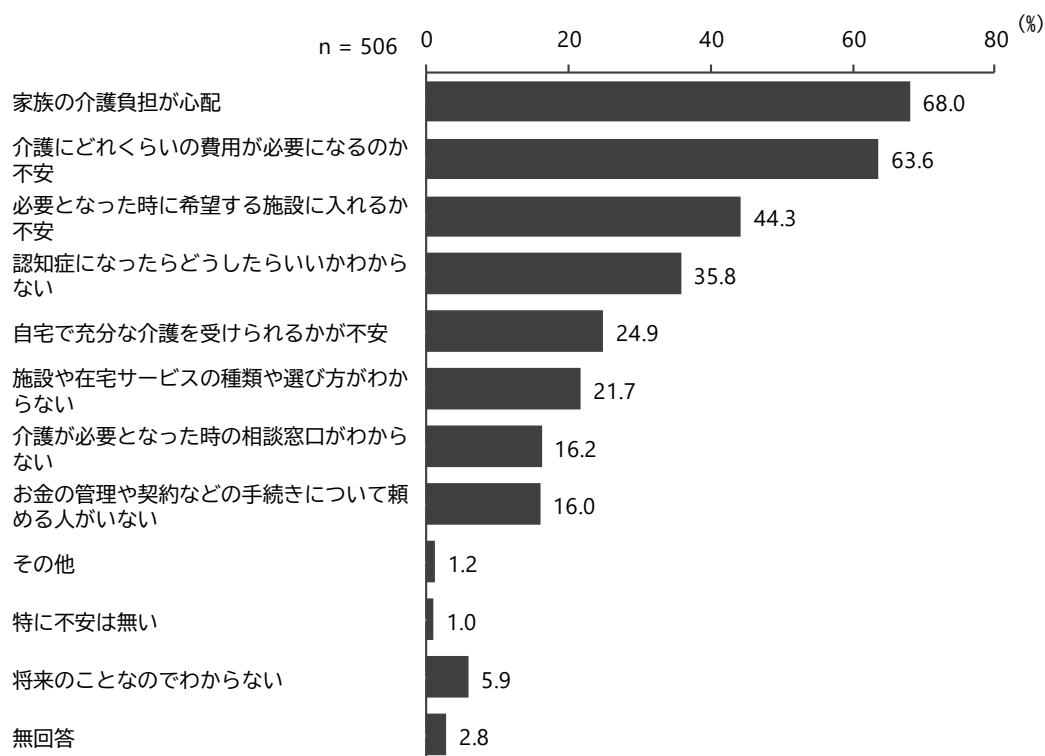


Ⅲ 調査結果（第2号被保険者調査）

7-3 介護が必要になった時の不安

- ▶ 介護が必要になった時の不安については、「家族の介護負担が心配」が68.0%と最も高く、次いで「介護にどれくらいの費用が必要になるのか不安」(63.6%)、「必要となった時に希望する施設に入れるか不安」(44.3%)となっています。

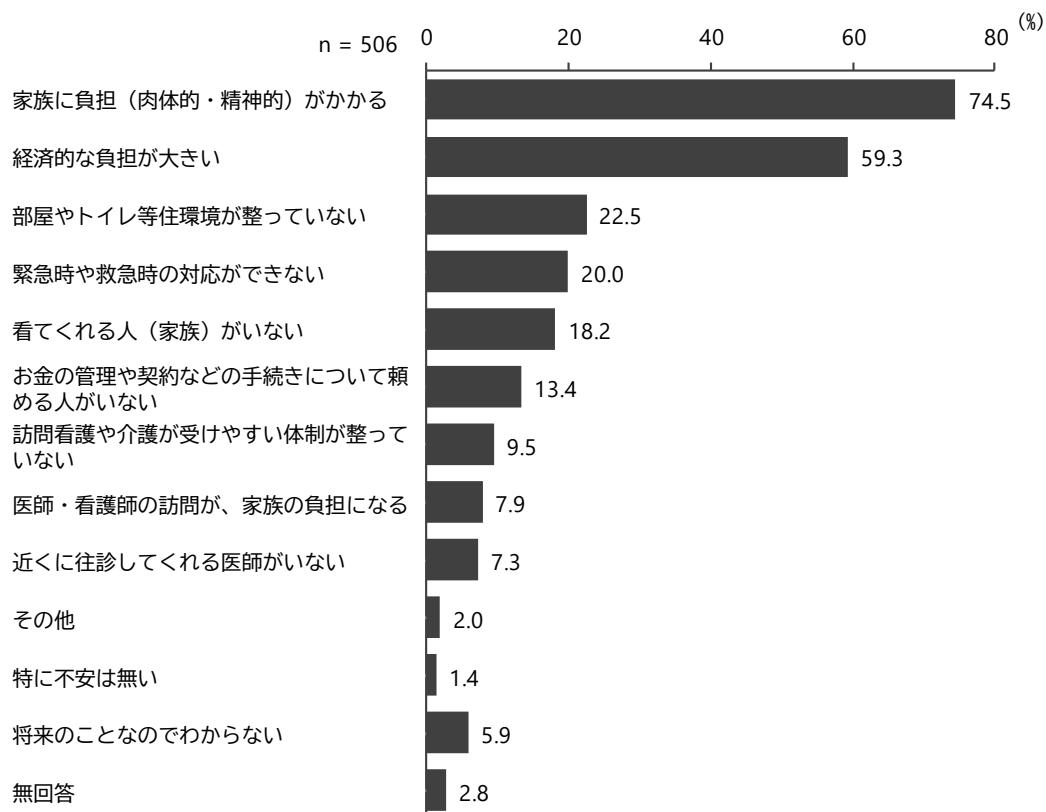
問6（2）あなたは自身に介護が必要になった時にどのようなことが不安ですか
（○はいくつでも）



7-4 在宅で医療ケアが必要になった時の不安

▶ 在宅で医療ケアが必要になった時の不安については、「家族に負担（肉体的・精神的）がかかる」が74.5%と最も高く、次いで「経済的な負担が大きい」（59.3%）、「部屋やトイレ等住環境が整っていない」（22.5%）となっています。

問6（3）あなたは在宅で医療ケアが必要になった時にどのようなことが不安ですか
（○はいくつでも）

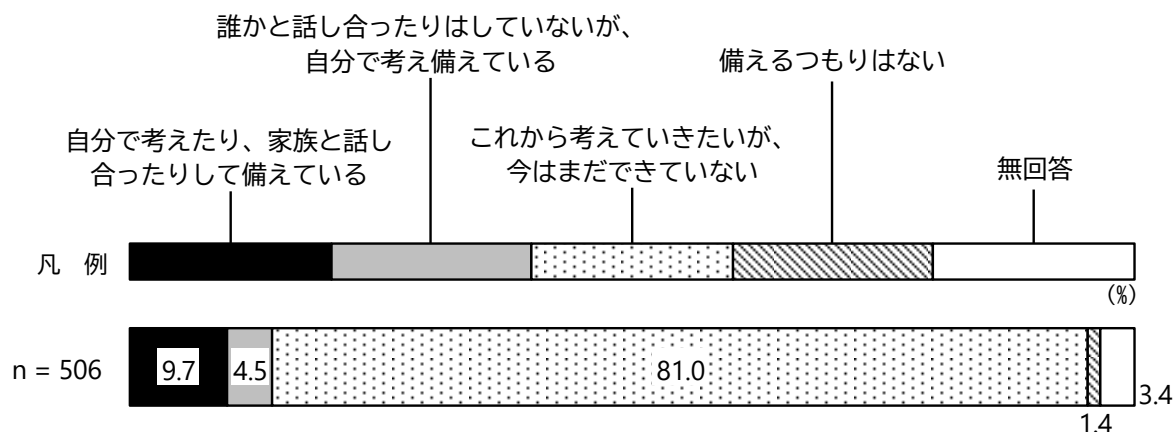


Ⅲ 調査結果（第2号被保険者調査）

7-5 判断能力が不十分になった場合の考えや話し合い

- ▶ 判断能力が不十分になった場合の考えや話し合いについては、「これから考えていきたいが、今はまだできていない」が81.0%と最も高く、次いで「自分で考えたり、家族と話し合ったりして備えている」(9.7%)、「誰かと話し合ったりはしていないが、自分で考え備えている」(4.5%)となっています。

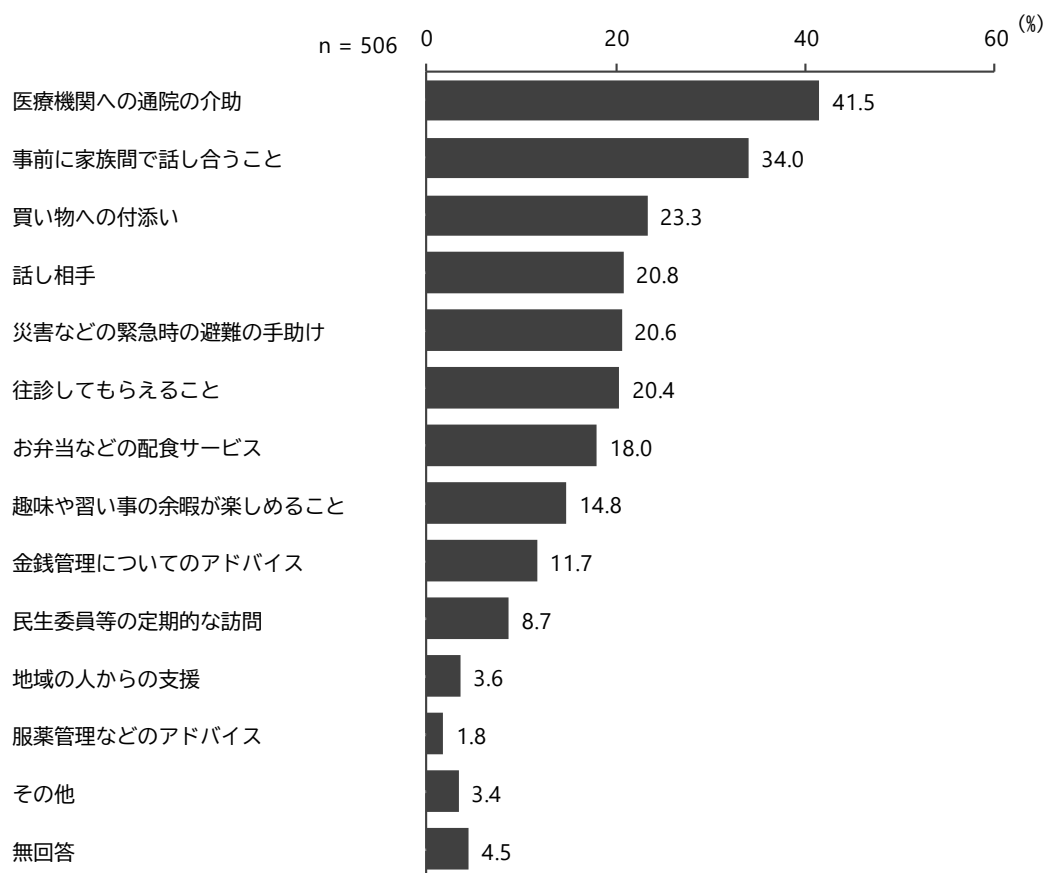
問6(4) 介護や医療ケアの選択を自分自身で判断できなくなったときに備え、考えたり話し合ったりしていますか（○は1つ）



7-6 地域で過ごし続けるために必要なこと

- ▶ 地域で過ごし続けるために必要なことについては、「医療機関への通院の介助」が41.5%と最も高く、次いで「事前に家族間で話し合うこと」（34.0%）、「買い物への付添い」（23.3%）となっています。
- ▶ 圏域別でみると、江釣子圏域では「医療機関への通院の介助」が54.0%と他の圏域と比べ5ポイント以上高くなっています。
- ▶ 性別でみると、女性では「事前に家族間で話し合うこと」が40.4%と男性と比べ10ポイント以上高くなっています。

問6（5）あなたに介護や医療ケアが必要になっても、住み慣れた地域で過ごし続けるために必要なことは何だと思えますか（○は3つまで）



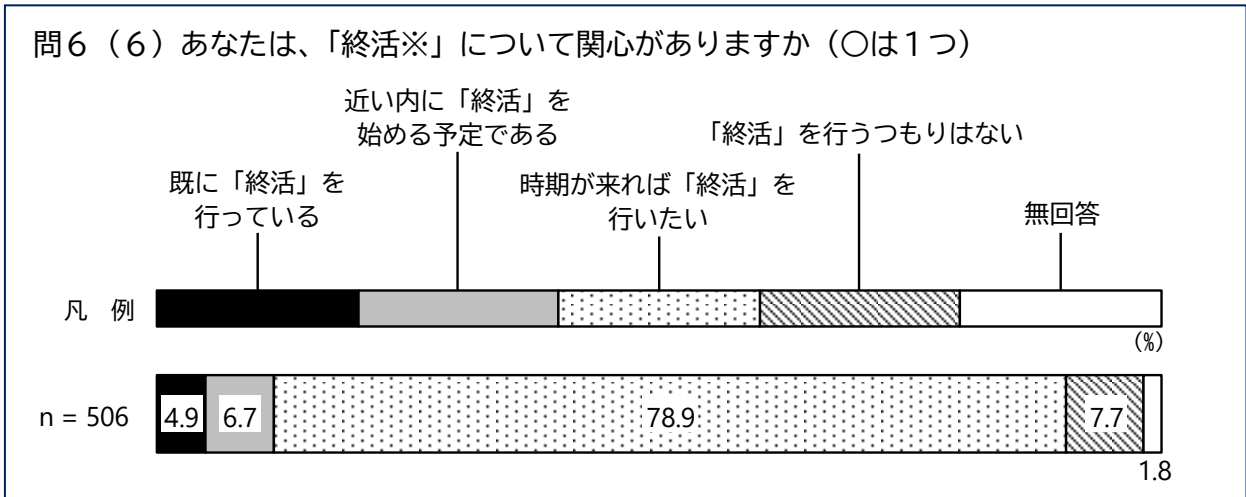
Ⅲ 調査結果（第2号被保険者調査）

【圏域別・性別／地域で過ごし続けるために必要なこと】

																		(%)
		n	話し相手	災害などの緊急時の避難の手助け	医療機関への通院の介助	買い物への付添い	趣味や習い事の余暇が楽しめること	往診してもらえること	民生委員等の定期的な訪問	地域の人からの支援	お弁当などの配食サービス	金銭管理についてのアドバイス	服薬管理などのアドバイス	事前に家族間で話し合うこと	その他	無回答		
圏域別	黒沢尻東・黒沢尻西圏域	131	20.6	18.3	38.9	22.1	18.3	19.8	14.5	6.1	18.3	8.4	2.3	28.2	3.1	6.1		
	黒沢尻北圏域	64	20.3	21.9	32.8	17.2	14.1	25.0	9.4	3.1	28.1	7.8	1.6	39.1	1.6	1.6		
	飯豊圏域	61	14.8	21.3	41.0	18.0	9.8	19.7	6.6	-	11.5	11.5	4.9	42.6	8.2	4.9		
	二子・更木・黒岩圏域	23	26.1	13.0	34.8	39.1	8.7	26.1	-	4.3	26.1	26.1	8.7	21.7	4.3	8.7		
	立花・口内・稲瀬圏域	17	17.6	11.8	47.1	47.1	5.9	23.5	-	5.9	11.8	11.8	-	23.5	5.9	5.9		
	相去・鬼柳圏域	83	26.5	26.5	42.2	27.7	10.8	22.9	9.6	2.4	18.1	13.3	-	39.8	1.2	1.2		
	江釣子圏域	63	25.4	20.6	54.0	20.6	20.6	14.3	4.8	3.2	12.7	12.7	-	38.1	1.6	3.2		
	和賀・岩崎・藤根圏域	52	11.5	17.3	46.2	25.0	17.3	19.2	7.7	3.8	17.3	11.5	-	32.7	3.8	5.8		
性別	男性	228	21.1	18.0	46.9	26.3	16.7	17.5	10.1	4.4	17.5	14.9	0.9	28.5	3.1	3.9		
	女性	240	18.8	23.8	38.3	20.8	13.3	24.2	7.9	3.3	17.9	7.9	1.7	40.4	2.9	4.2		

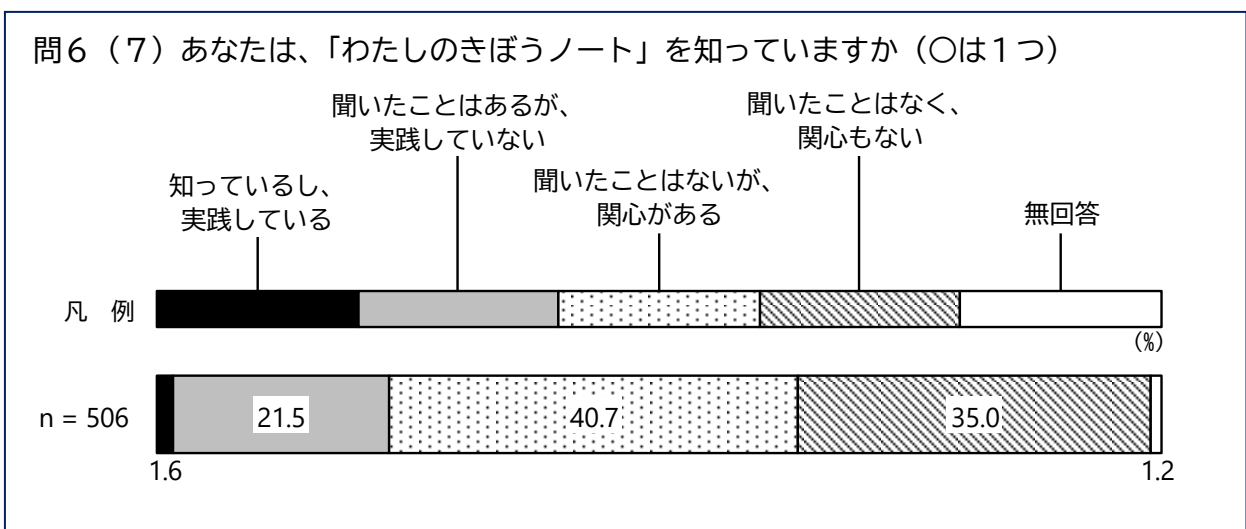
7-7 「終活」への関心の有無

- ▶ 「終活」への関心の有無については、「時期が来れば「終活」を行いたい」が78.9%と最も高く、次いで「終活」を行うつもりはない（7.7%）、「近い内に「終活」を始める予定である」（6.7%）となっています。



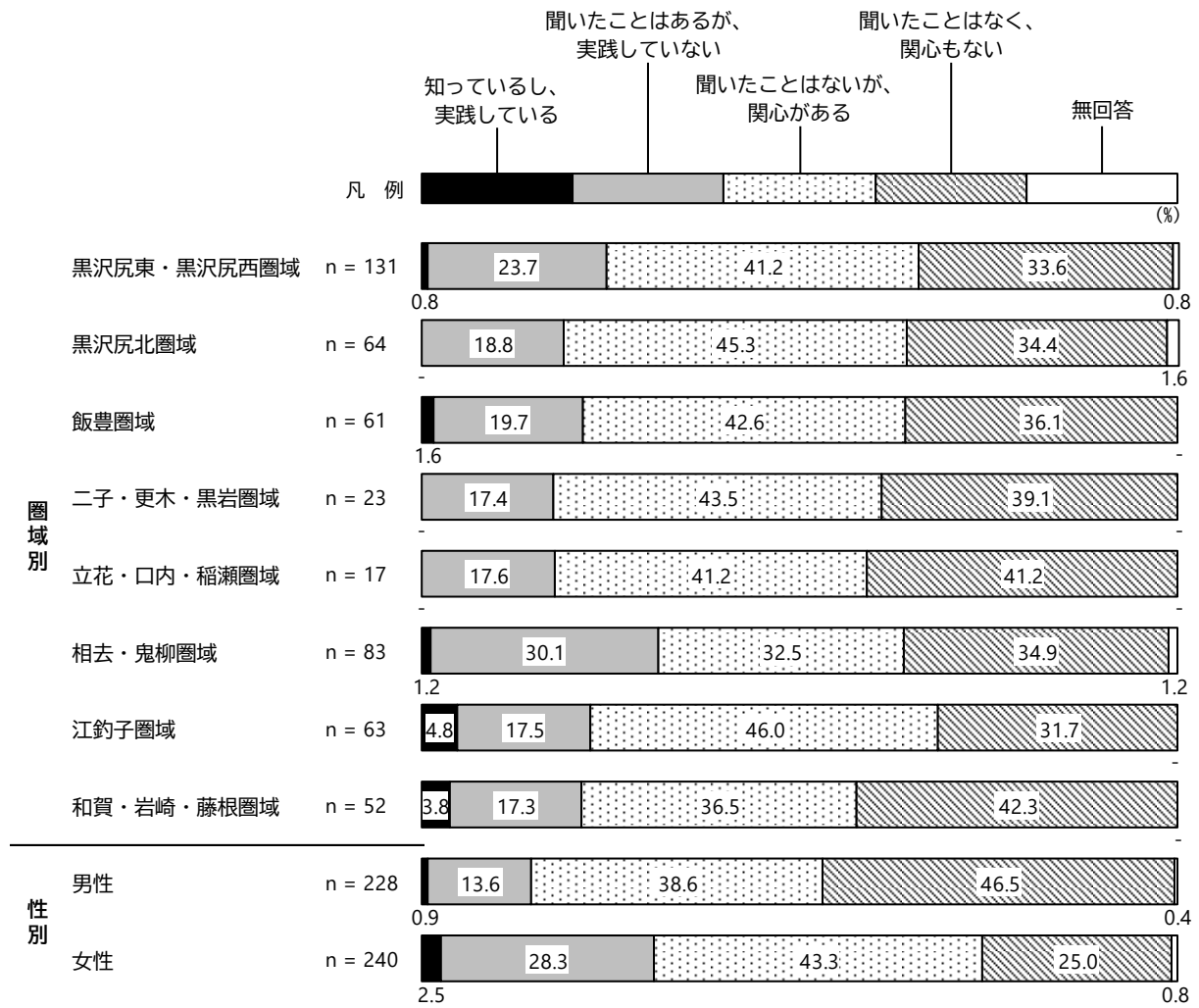
7-8 「わたしのきぼうノート」の認知度

- ▶ 「わたしのきぼうノート」の認知度については、「聞いたことはあるが、関心がある」が40.7%と最も高く、次いで「聞いたことはなく、関心もない」（35.0%）、「聞いたことはあるが、実践していない」（21.5%）となっています。
- ▶ 圏域別でみると、相去・鬼柳圏域では「聞いたことはあるが、実践していない」が30.1%と他の圏域と比べて高くなっています。
- ▶ 性別でみると、男性では「聞いたことはなく、関心もない」が46.5%と女性と比べ20ポイント以上高くなっています。



Ⅲ 調査結果（第2号被保険者調査）

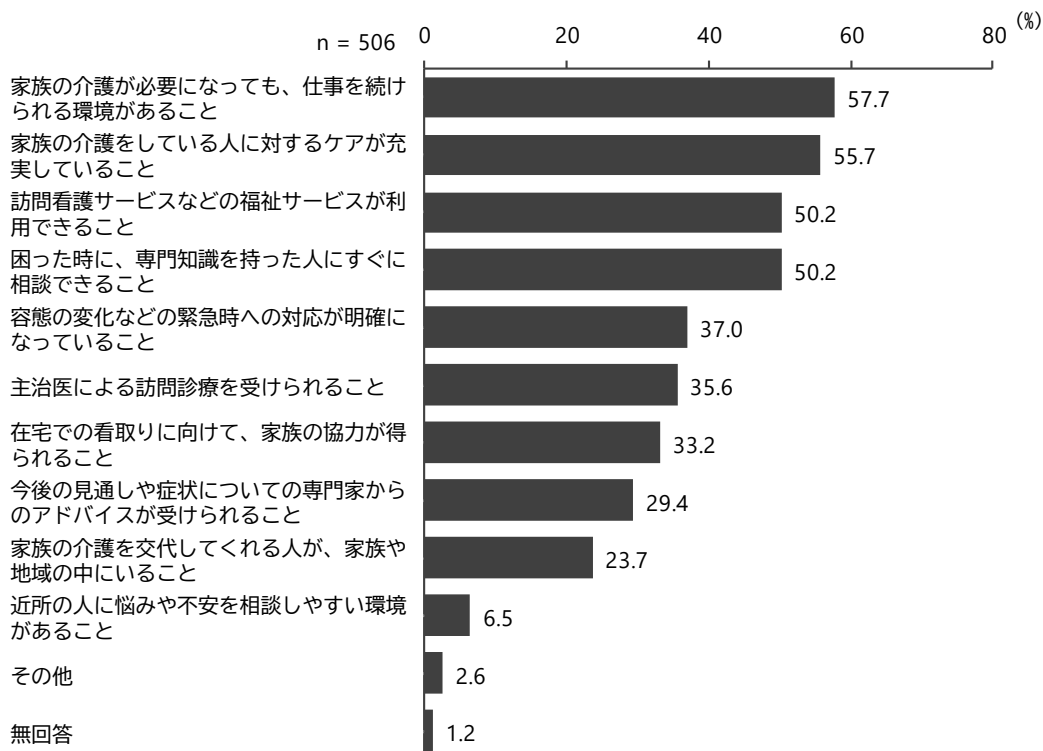
【圏域別・性別／「わたしのきぼうノート」の認知度】



7-9 在宅で看取るために必要な環境や支援

- ▶ 在宅で看取るために必要な環境や支援については、「家族の介護が必要になっても、仕事を続けられる環境があること」が57.7%と最も高く、次いで「家族の介護をしている人に対するケアが充実していること」（55.7%）、「訪問看護サービスなどの福祉サービスが利用できること」、「困った時に、専門知識を持った人にすぐに相談できること」（ともに50.2%）となっています。

問6（8）あなた自身や家族を、在宅で看取るために必要な環境や支援は何だと思えますか
（〇はいくつでも）

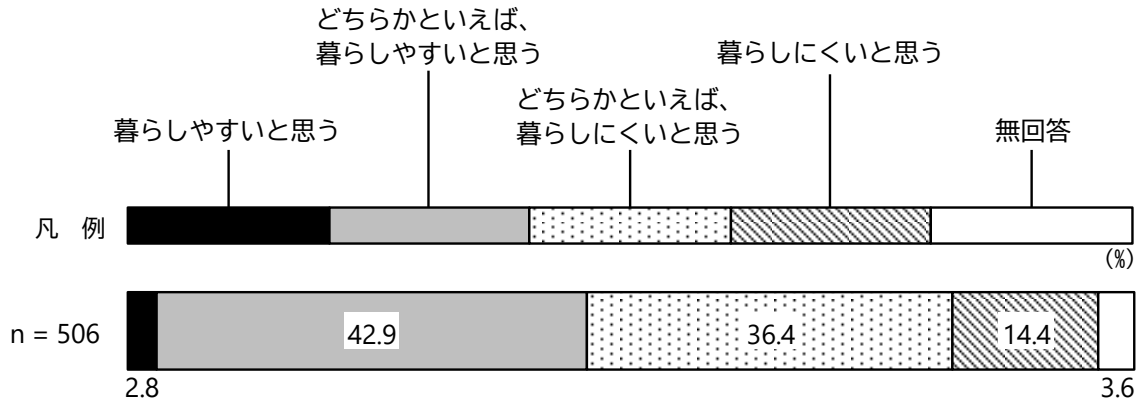


Ⅲ 調査結果（第2号被保険者調査）

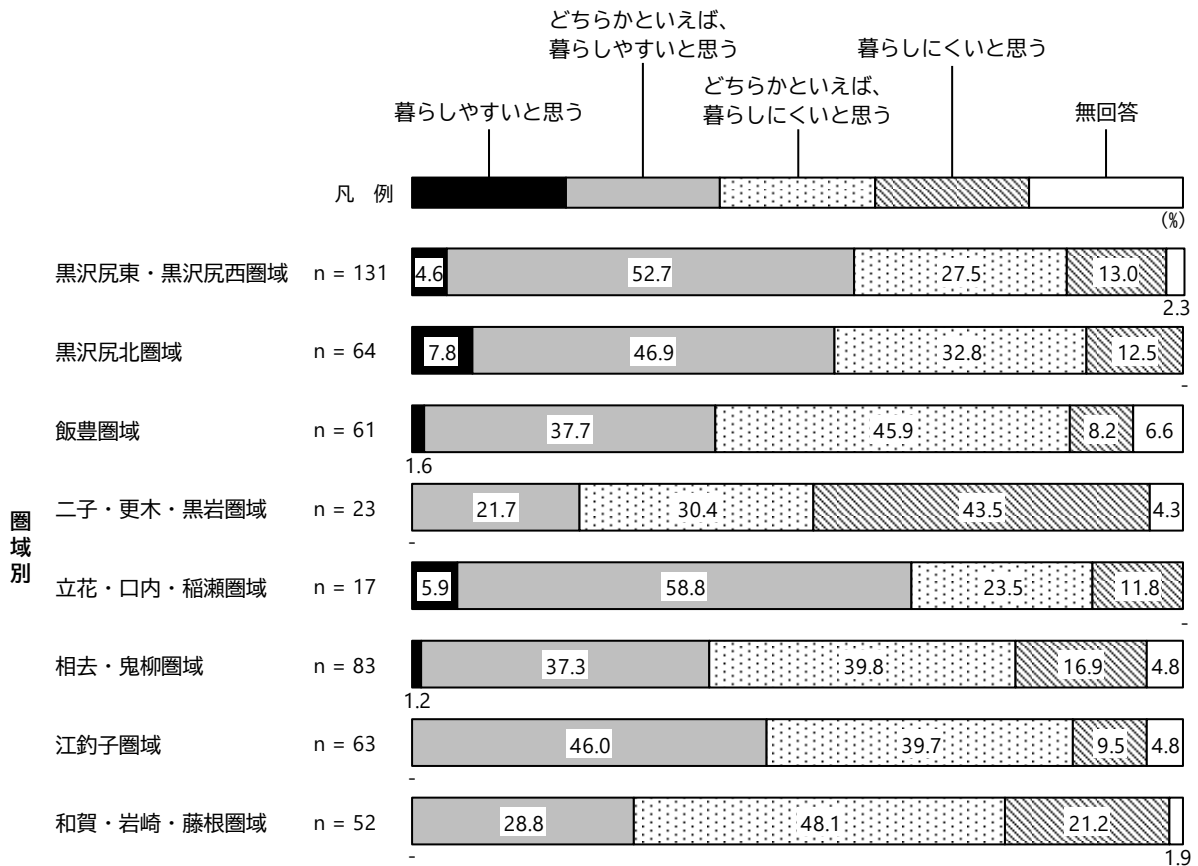
7-10 北上市は高齢者が暮らしやすいまちだと思うか

- ▶ 北上市は高齢者が暮らしやすいまちだと思うかについては、「どちらかといえば、暮らしやすいと思う」が42.9%と最も高く、次いで「どちらかといえば、暮らしにくいと思う」（36.4%）、「暮らしにくいと思う」（14.4%）となっています。
- ▶ 圏域別でみると、黒沢尻北圏域では「暮らしやすいと思う」が7.8%と他の圏域と比べて高くなっています。

問6（9）北上市は高齢者が暮らしやすいまちだと思いますか（○は1つ）



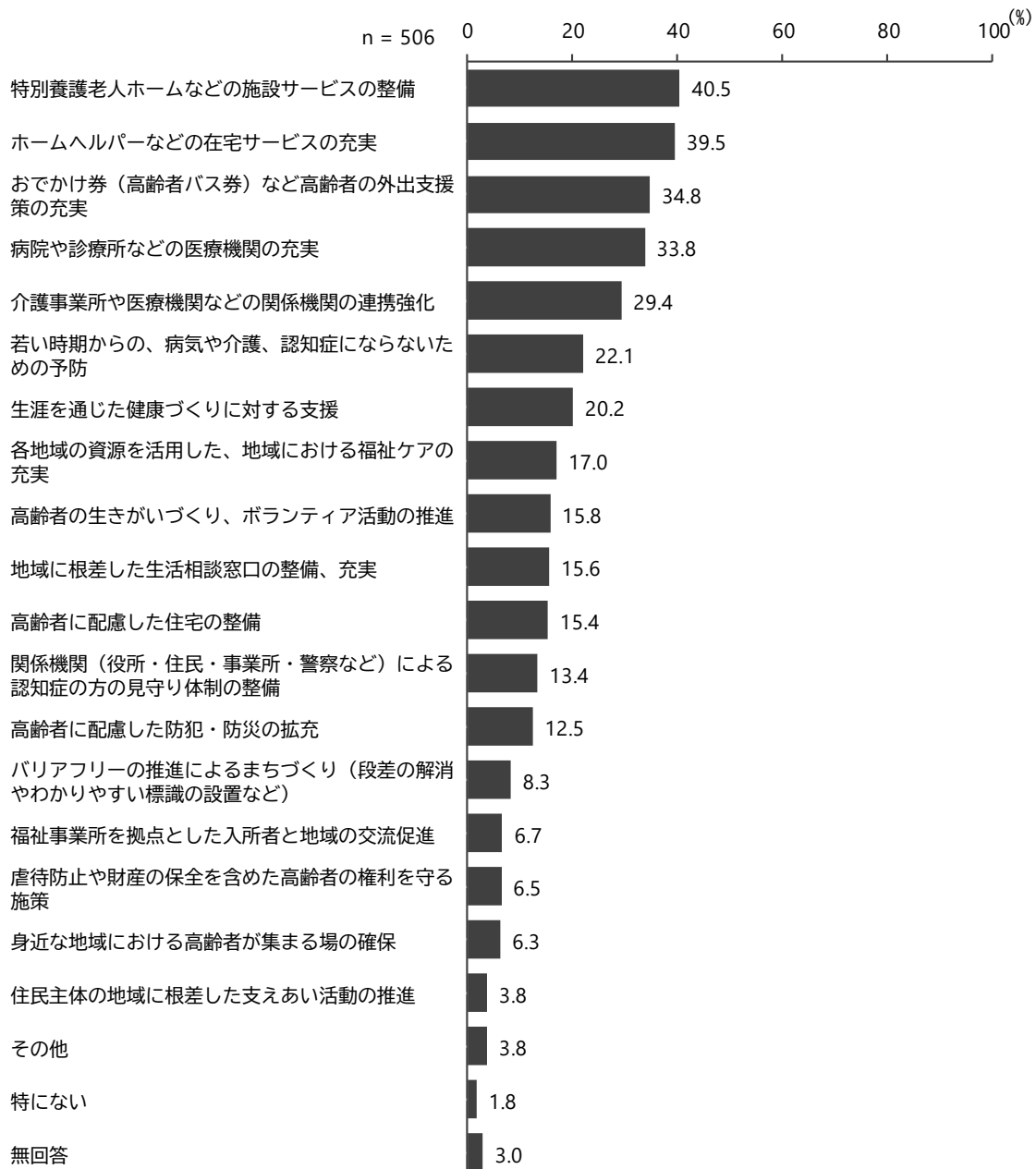
【圏域別／北上市は高齢者が暮らしやすいまちだと思うか】



7-11 今後、市が重点を置くべきだと思う、高齢者に対する施策

- ▶ 今後、市が重点を置くべきだと思う、高齢者に対する施策については、「特別養護老人ホームなどの施設サービスの整備」が40.5%と最も高く、次いで「ホームヘルパーなどの在宅サービスの充実」(39.5%)、「おでかけ券（高齢者バス券）など高齢者の外出支援策の充実」(34.8%)となっています。

問6（10） 今後の高齢者に対する施策として、市はどのような点に重点を置くべきだと思いますか（○は5つまで）

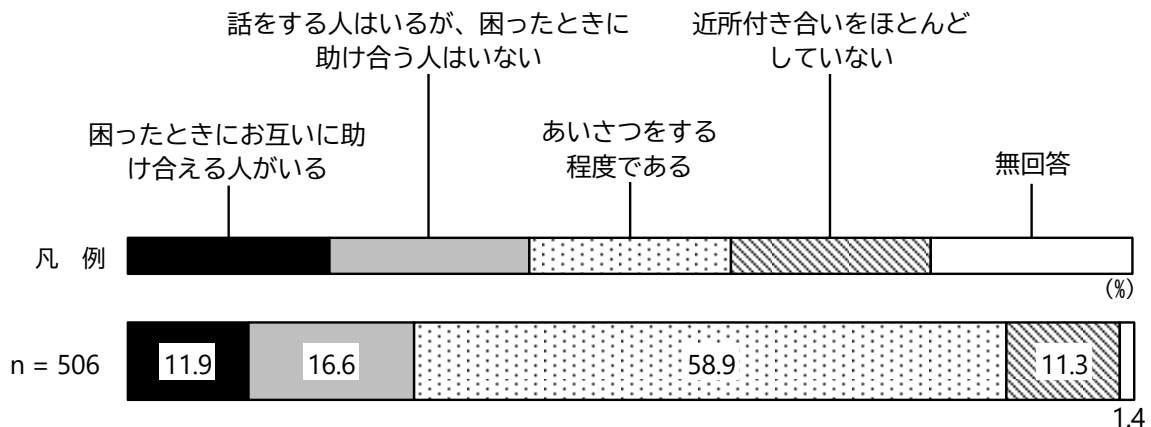


8 地域とのかかわりについて

8-1 近所付き合いの状況

- ▶ 近所付き合いの状況については、「あいさつをする程度である」が58.9%と最も高く、次いで「話をする人はいるが、困ったときに助け合う人はいない」（16.6%）、「困ったときにお互いに助け合える人がある」（11.9%）となっています。

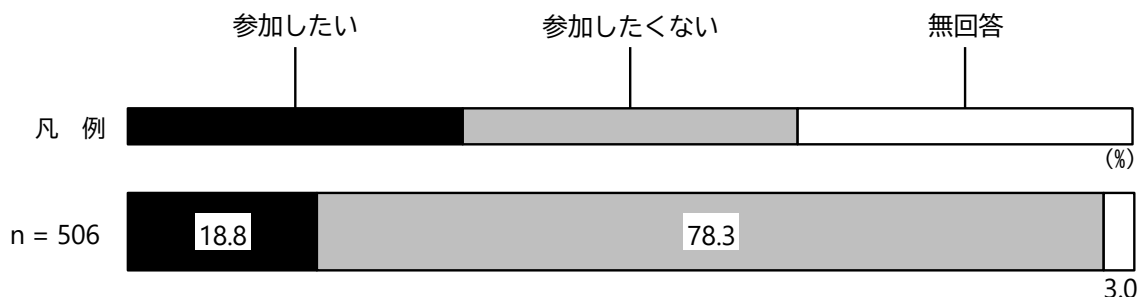
問7（1）あなたは、近所付き合いをどの程度していますか（○は1つ）



8-2 高齢者の見守り活動への参加意向

- ▶ 高齢者の見守り活動への参加意向については、「参加したくない」が78.3%、「参加したい」が18.8%となっています。

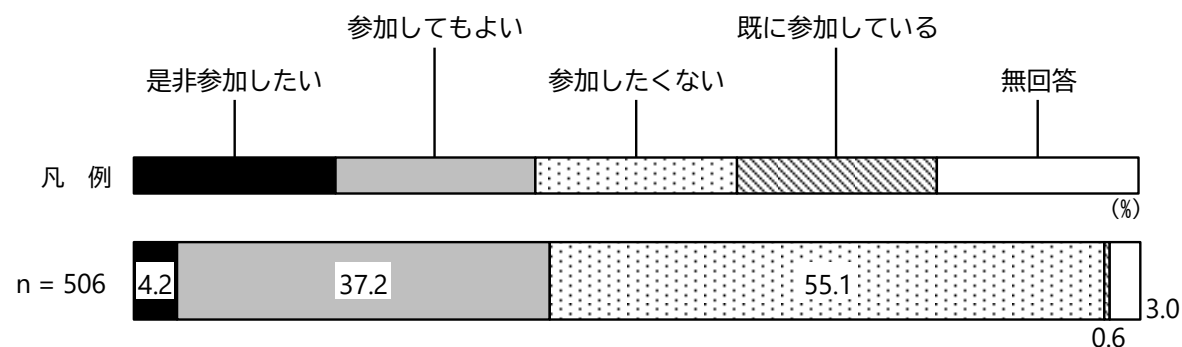
問7（2）お住まいの地域での高齢者への声かけや訪問などの活動に参加したいと思いますか（○は1つ）



8-3 地域活動等への参加意向（参加者として）

- ▶ 地域活動等への参加意向（参加者として）については、「参加したくない」が55.1%と最も高く、次いで「参加してもよい」（37.2%）、「是非参加したい」（4.2%）となっています。

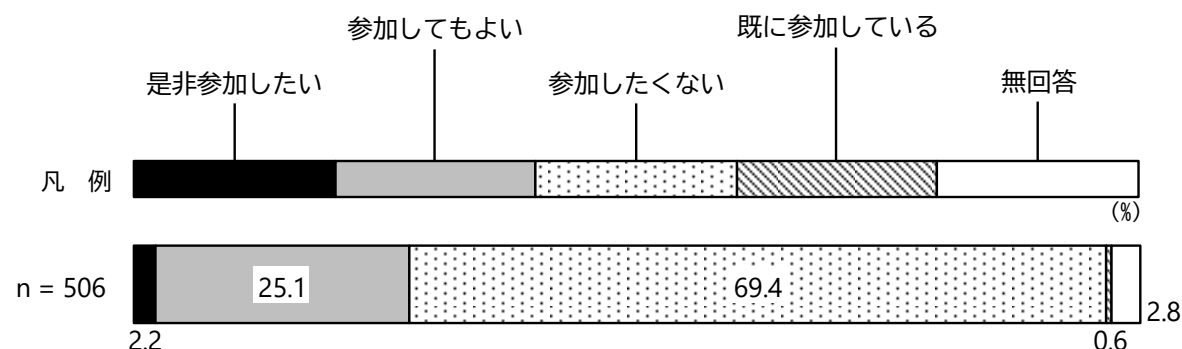
問7（3）地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか（○は1つ）



8-4 地域活動等への参加意向（企画・運営として）

- ▶ 地域活動等への参加意向（企画・運営として）については、「参加したくない」が69.4%と最も高く、次いで「参加してもよい」（25.1%）、「是非参加したい」（2.2%）となっています。

問7（4）地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか（○は1つ）

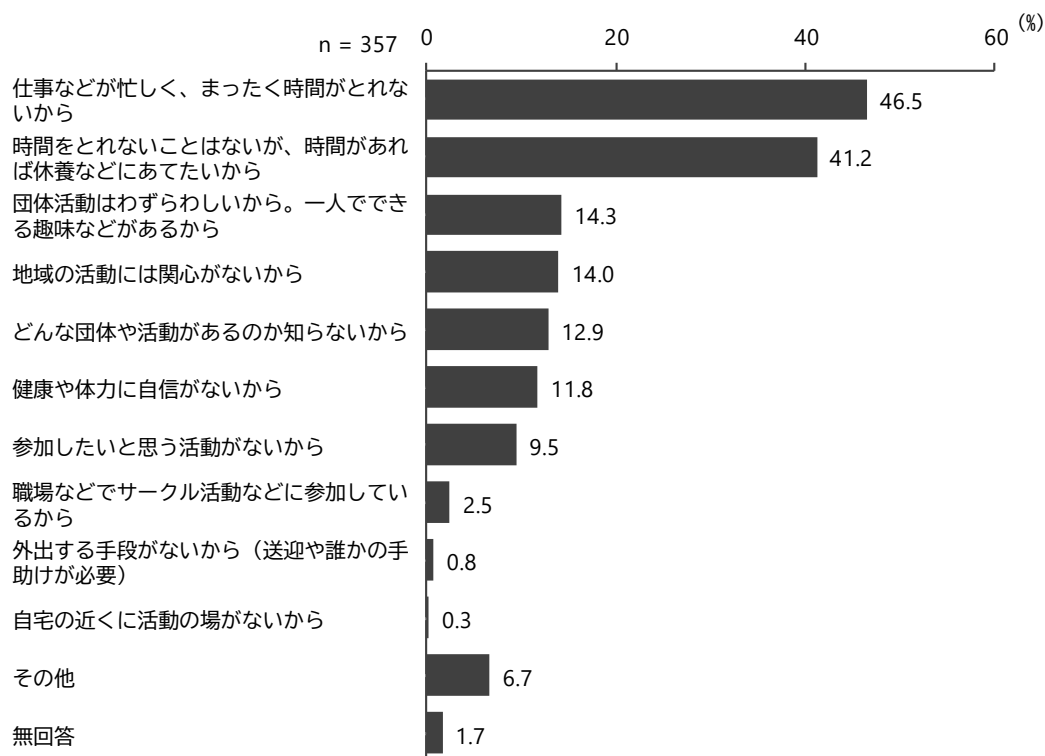


8-5 地域活動等に参加したくない理由

- ▶ 地域活動等に参加したくない理由については、「仕事などが忙しく、まったく時間がとれないから」が46.5%と最も高く、次いで「時間をとれないことはないが、時間があれば休養などにあてたいから」（41.2%）、「団体活動はわずらわしいから。一人のできる趣味などがあるから」（14.3%）となっています。

【問7（3）または（4）で「参加したくない」と回答した方のみお答えください】

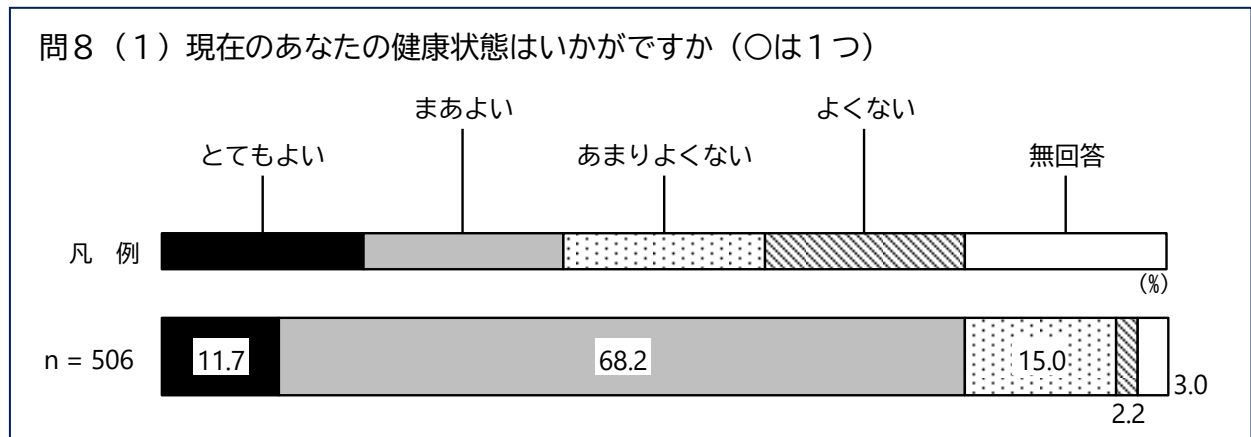
問7（4）① 地域での活動に参加したくない理由を教えてください（〇はいくつでも）



9 健康について

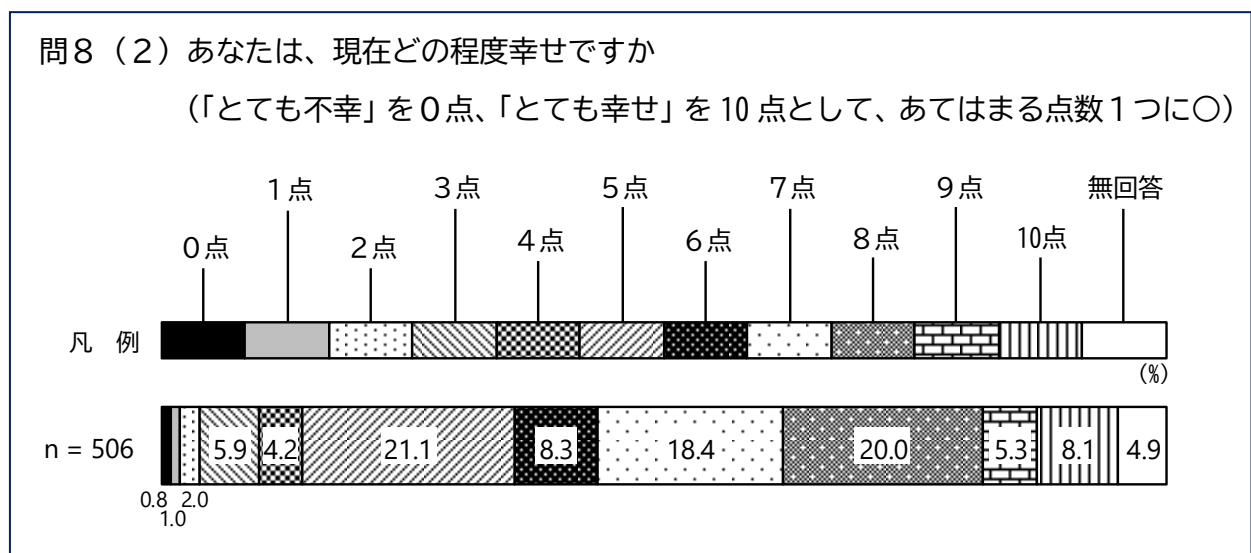
9-1 現在の主観的健康感

- ▶ 現在の主観的健康感については、「まあよい」が68.2%と最も高く、次いで「あまりよくない」（15.0%）、「とてもよい」（11.7%）となっています。



9-2 幸福度

- ▶ 幸福度については、「5点」が21.1%と最も高く、次いで「8点」（20.0%）、「7点」（18.4%）となっています。
- ▶ 回答結果より平均点を算出したところ、市全体での幸福度の平均点は6.44点という結果となっています。

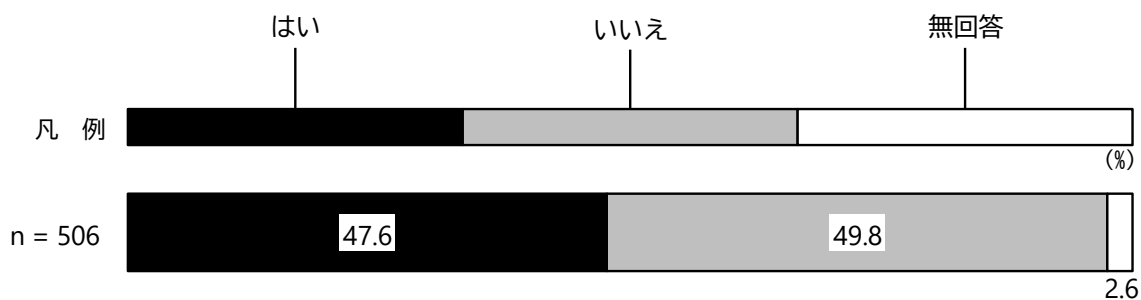


Ⅲ 調査結果（第2号被保険者調査）

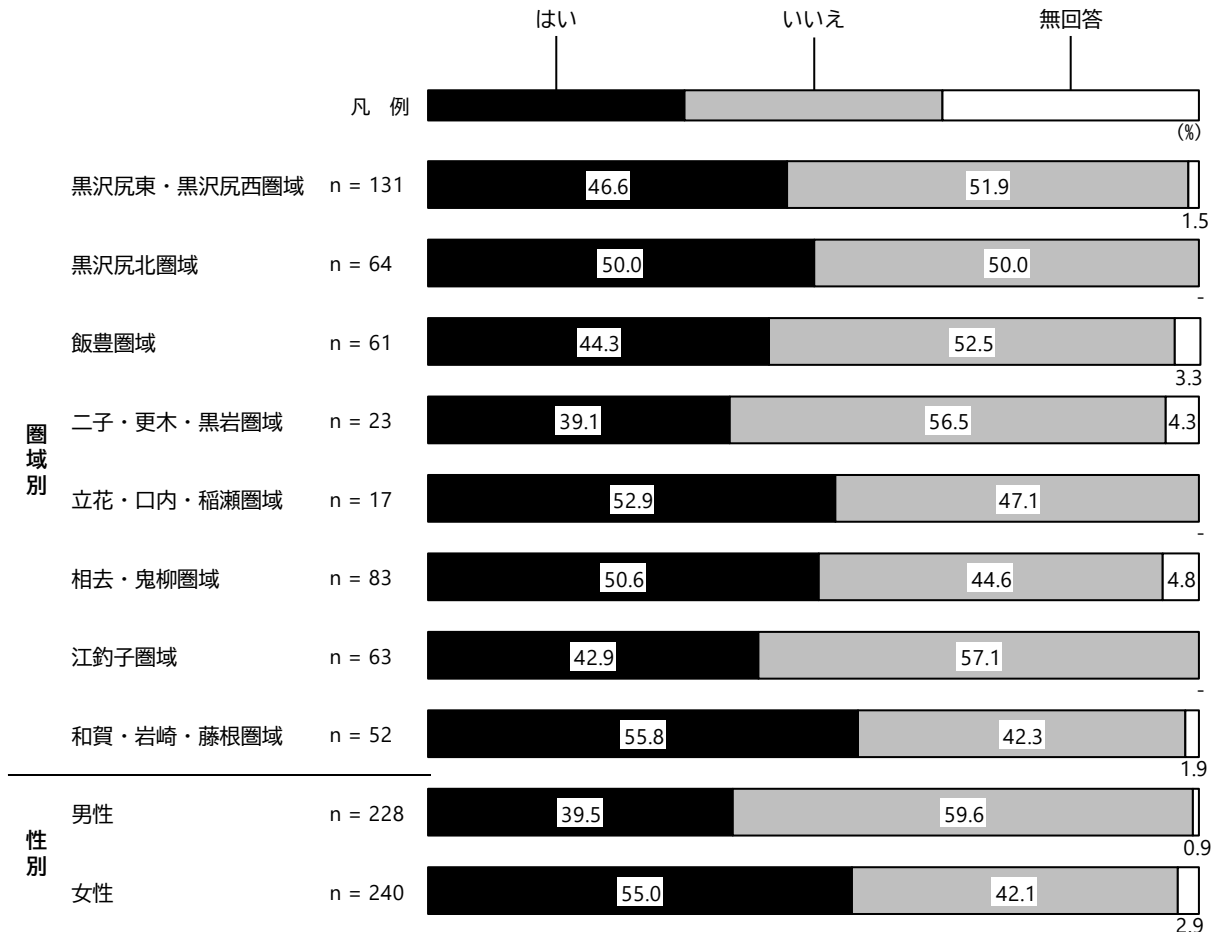
9-3 気分のゆううつや落ち込みの有無

- ▶ 気分のゆううつや落ち込みの有無については、「いいえ」が49.8%、「はい」が47.6%となっています。
- ▶ 圏域別でみると、和賀・岩崎・藤根圏域では「はい」が55.8%と他の圏域と比べて高くなっています。
- ▶ 性別でみると、女性では「はい」が55.0%と男性と比べ15ポイント以上高くなっています。

問8（3）この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか（○は1つ）

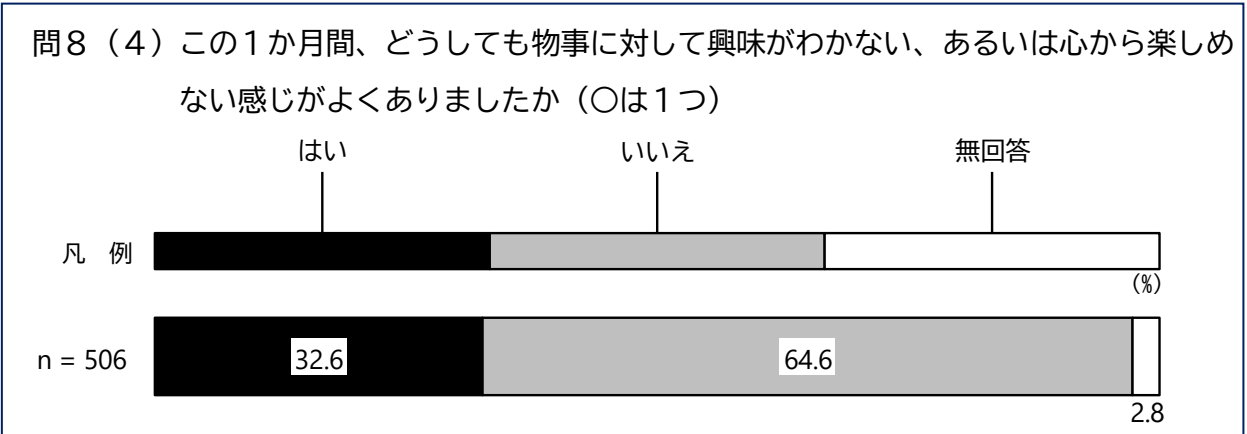


【圏域別・性別／気分のゆううつや落ち込みの有無】

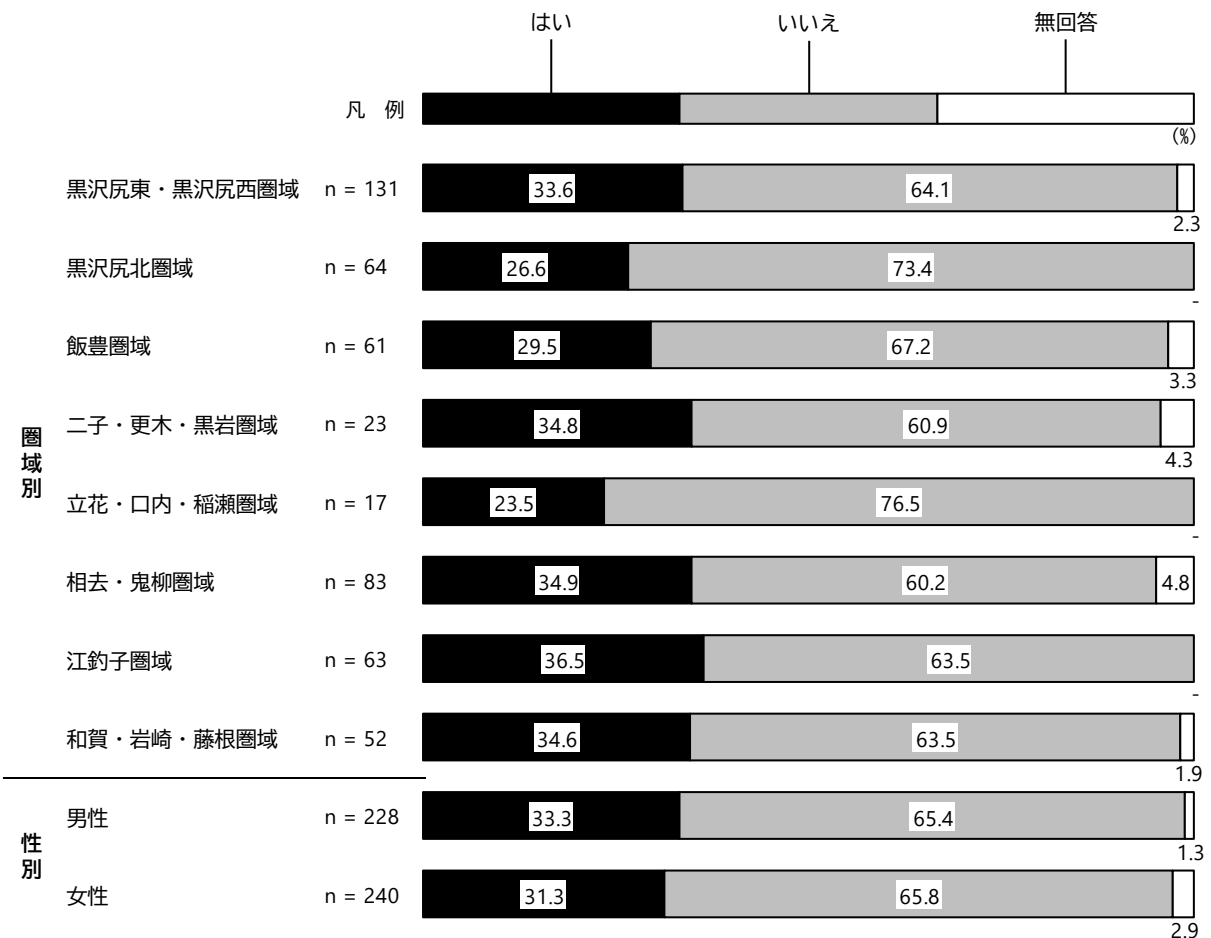


9-4 物事への興味、楽しさの欠如の有無

- ▶ 物事への興味、楽しさの欠如の有無については、「いいえ」が64.6%、「はい」が32.6%となっています。
- ▶ 圏域別でみると、立花・口内・稲瀬圏域では「はい」が23.5%と他の圏域と比べて低くなっています。
- ▶ 性別でみると、女性と男性では、概ね同様の傾向となっています。



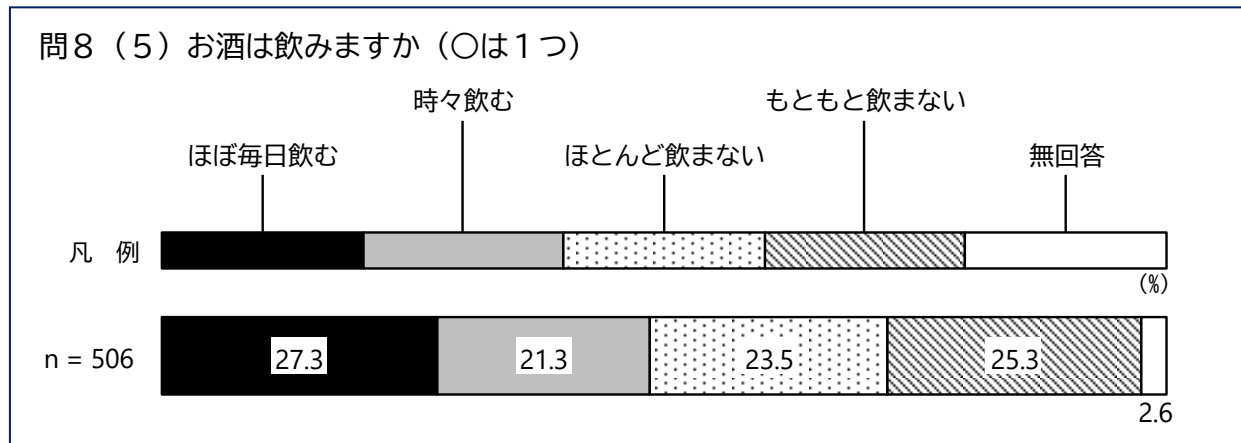
【圏域別・性別／物事への興味、楽しさの欠如の有無】



Ⅲ 調査結果（第2号被保険者調査）

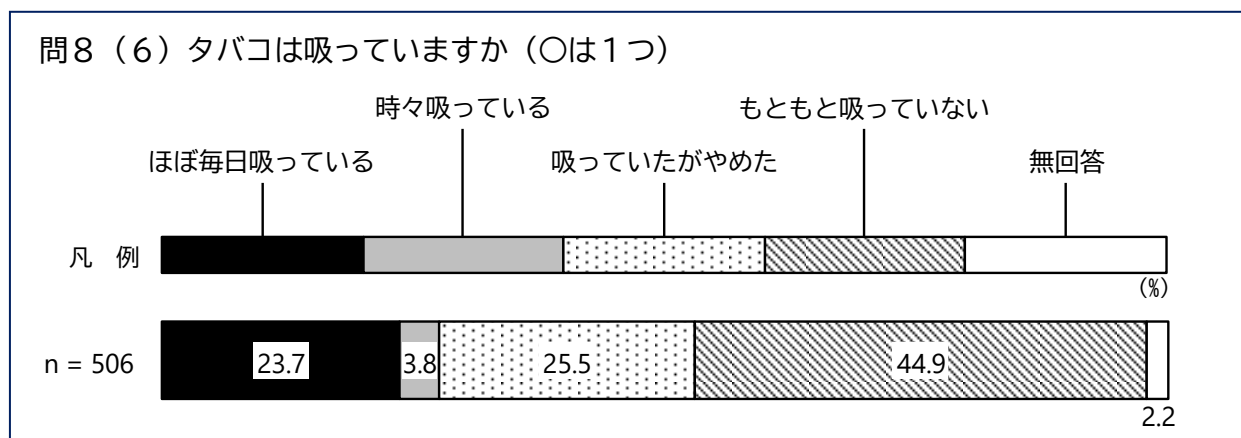
9-5 飲酒の状況

- ▶ 飲酒の状況については、「ほぼ毎日飲む」が27.3%と最も高く、次いで「もともと飲まない」(25.3%)、「ほとんど飲まない」(23.5%)となっています。



9-6 喫煙の状況

- ▶ 喫煙の状況については、「もともと吸っていない」が44.9%と最も高く、次いで「吸っていたがやめた」(25.5%)、「ほぼ毎日吸っている」(23.7%)となっています。

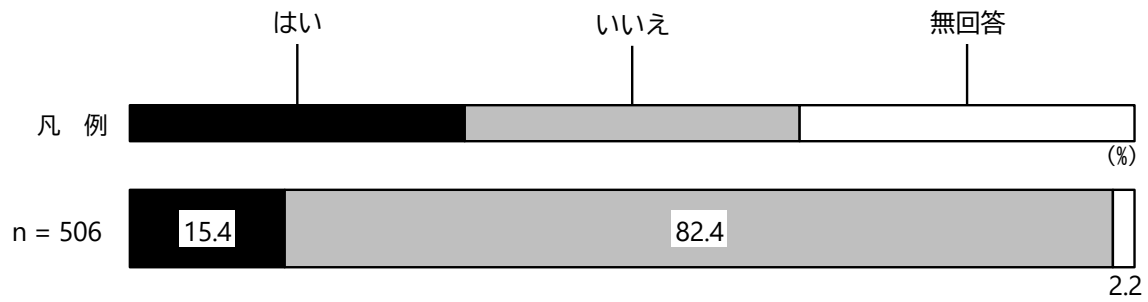


10 認知症について

10-1 認知症の症状の有無

- ▶ 認知症の症状の有無については、「いいえ」が82.4%、「はい」が15.4%となっています。

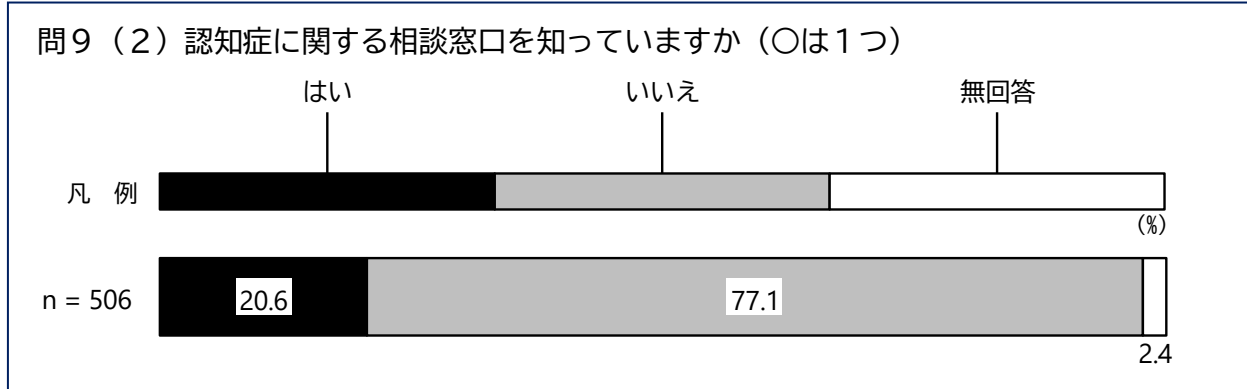
問9（1）認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいますか（○は1つ）



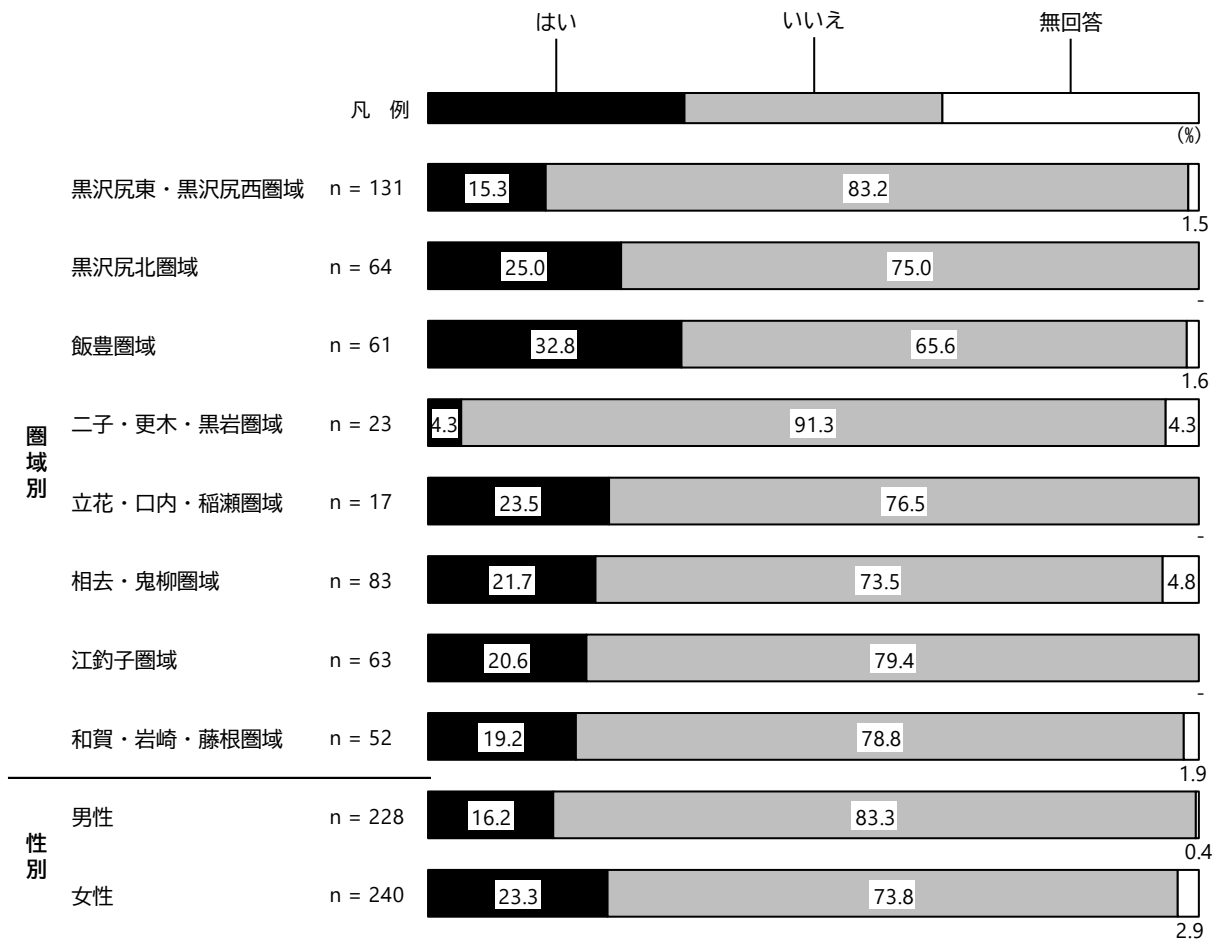
Ⅲ 調査結果（第2号被保険者調査）

10-2 認知症に関する相談窓口の認知度

- ▶ 認知症に関する相談窓口の認知度については、「いいえ」が77.1%、「はい」が20.6%となっています。
- ▶ 圏域別で見ると、飯豊圏域では「はい」が32.8%と他の圏域と比べて高くなっています。
- ▶ 性別で見ると、女性では「はい」が23.3%と男性と比べて高くなっています。



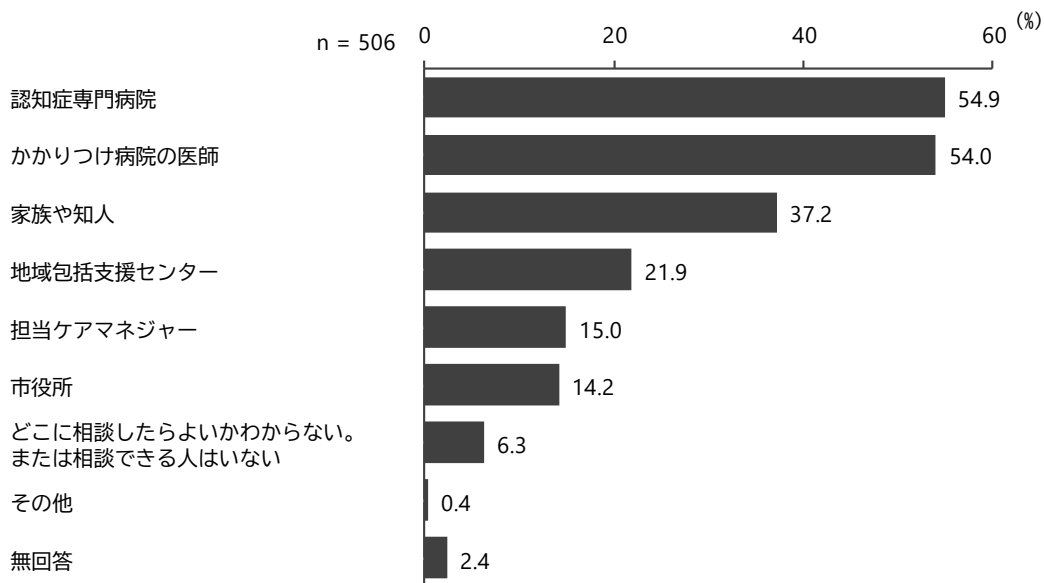
【圏域別・性別／認知症に関する相談窓口の認知度】



10-3 認知症が心配になった時の相談相手・場所

▶ 認知症が心配になった時の相談場所・相手については、「認知症専門病院」が54.9%と最も高く、次いで「かかりつけ病院の医師」（54.0%）、「家族や知人」（37.2%）となっています。

問9（3）認知症が心配になった時、どこ・誰に相談するとよいと思いますか
（○はいくつでも）

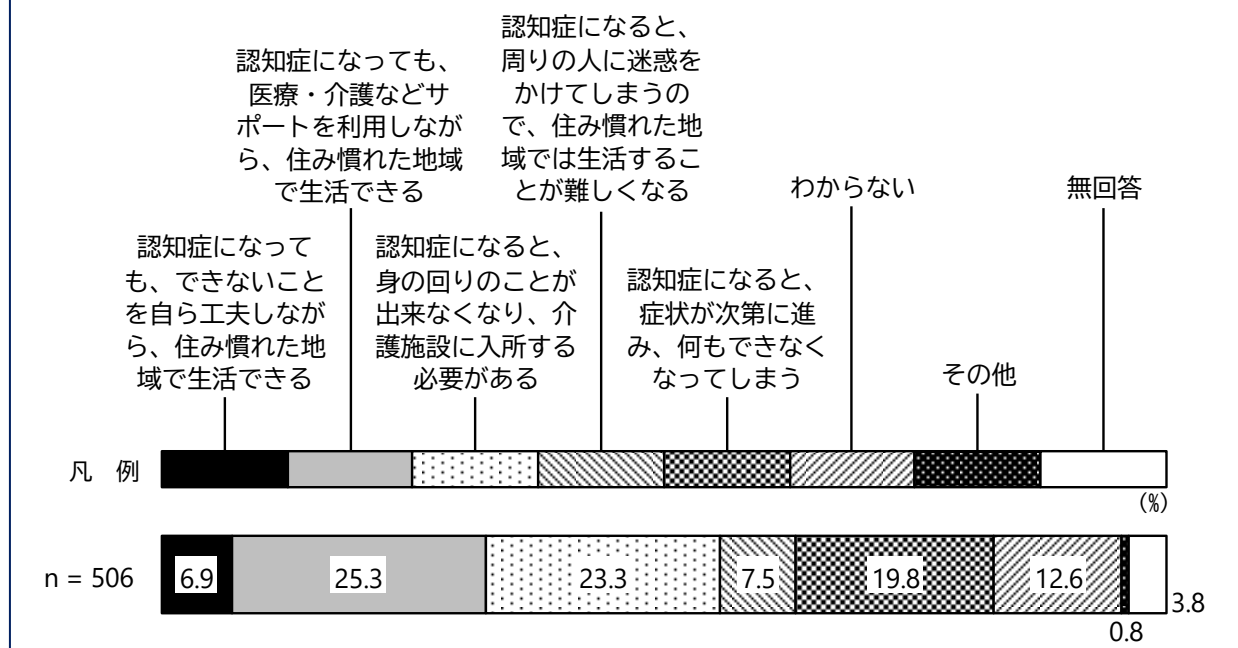


Ⅲ 調査結果（第2号被保険者調査）

10-4 認知症のイメージ

- ▶ 認知症のイメージについては、「認知症になっても、医療・介護などサポートを利用しながら、住み慣れた地域で生活できる」が25.3%と最も高く、次いで「認知症になると、身の回りのことが出来なくなり、介護施設に入所する必要がある」（23.3%）、「認知症になると、症状が次第に進み、何もできなくなってしまう」（19.8%）となっています。

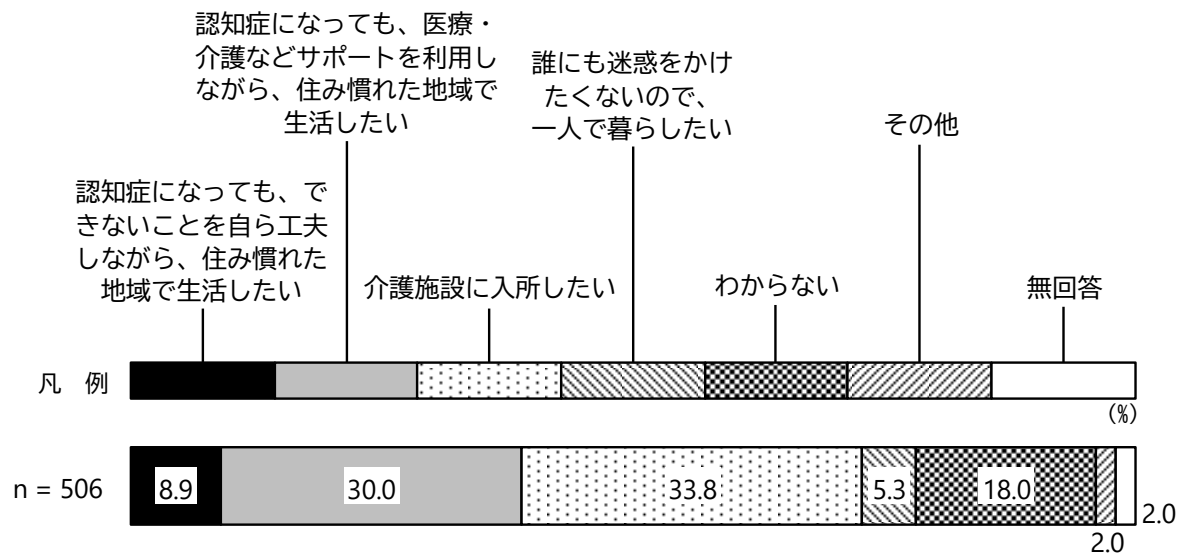
問9（4）あなたは認知症に対してどのようなイメージを持っていますか（○は1つ）



10-5 認知症になった時に希望する暮らし方

▶ 認知症になった時に希望する暮らし方については、「介護施設に入所したい」が33.8%と最も高く、次いで「認知症になっても、医療・介護などサポートを利用しながら、住み慣れた地域で生活したい」（30.0%）、「認知症になっても、できないことを自ら工夫しながら、住み慣れた地域で生活したい」（8.9%）となっています。一方「わからない」が18.0%となっています。

問9（5）もし、あなたが認知症になったとしたら、どのように暮らしたいと思いますか
（○は1つ）

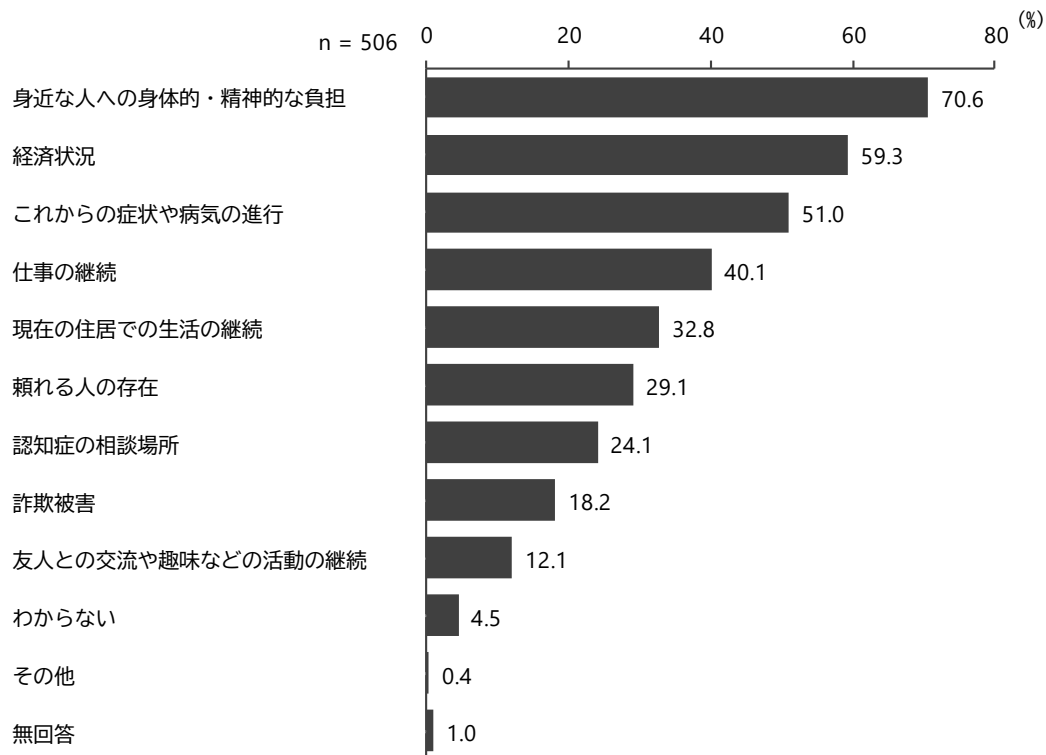


Ⅲ 調査結果（第2号被保険者調査）

10-6 自分や大切な人が認知症になった場合に心配なことや不安に感じるこ と

- ▶ 自分や大切な人が認知症になった場合に心配なことや不安に感じることについては、「身近な人への身体的・精神的な負担」が70.6%と最も高く、次いで「経済状況」（59.3%）、「これからの症状や病気の進行」（51.0%）となっています。

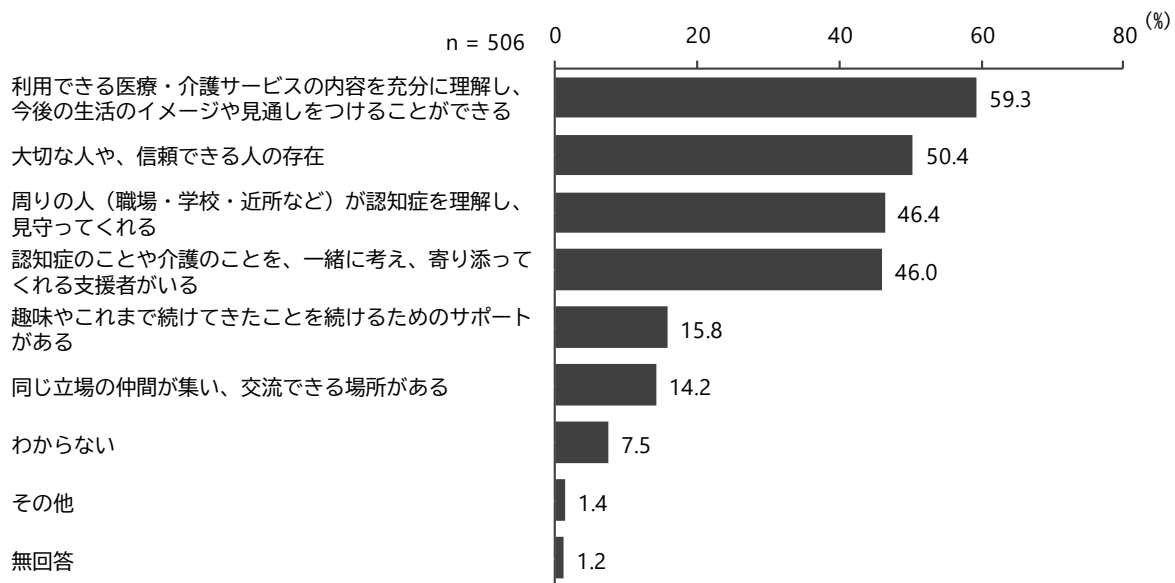
問9（6）自分や大切な人が認知症になったとしたら、心配なことや不安に感じることは何ですか（○はいくつでも）



10-7 認知症になった場合に、安心して、希望をもって暮らしていくために大切だと思うこと

- ▶ 認知症になった場合に、安心して、希望をもって暮らしていくために大切だと思うことについては、「利用できる医療・介護サービスの内容を十分に理解し、今後の生活のイメージや見通しをつけることができる」が59.3%と最も高く、次いで「大切な人や、信頼できる人の存在」(50.4%)、「周りの人（職場・学校・近所など）が認知症を理解し、見守ってくれる」(46.4%)となっています。

問9（7）自分や大切な人が認知症になったとしても、安心して、希望をもって暮らしていくために大切だと思うことは何ですか（〇はいくつでも）

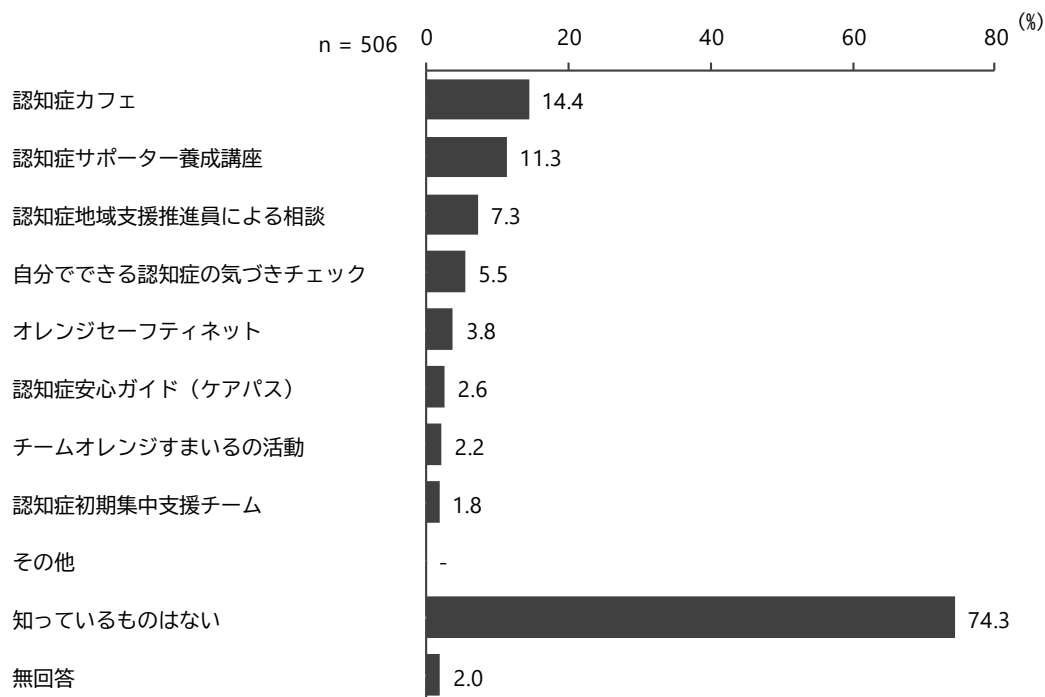


Ⅲ 調査結果（第2号被保険者調査）

10-8 北上市の認知症に関する取り組みの認知状況

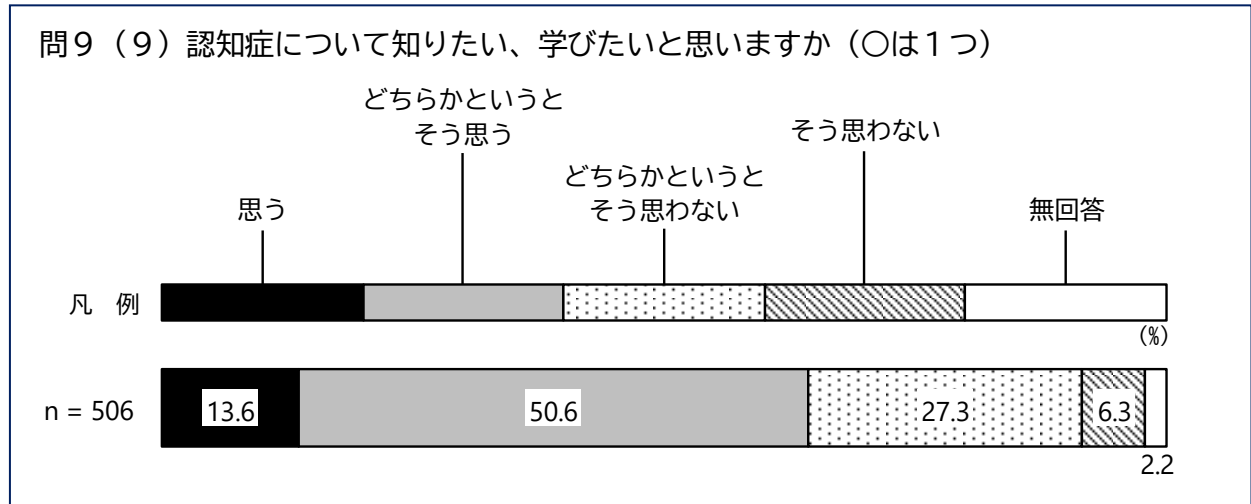
- ▶ 北上市の認知症に関する取り組みの認知状況については、「認知症カフェ」が14.4%と最も高く、次いで「認知症サポーター養成講座」(11.3%)、「認知症地域支援推進員による相談」(7.3%)となっています。一方「知っているものはない」が74.3%となっています。

問9（8）北上市が実施する認知症に関する取り組みの中で、知っているものを教えてください（〇はいくつでも）



10-9 認知症について知りたい、学びたいと思うか

▶ 認知症について知りたい、学びたいと思うかについては、「どちらかというと思う」が50.6%と最も高く、次いで「どちらかというと思わない」（27.3%）、「思う」（13.6%）となっています。

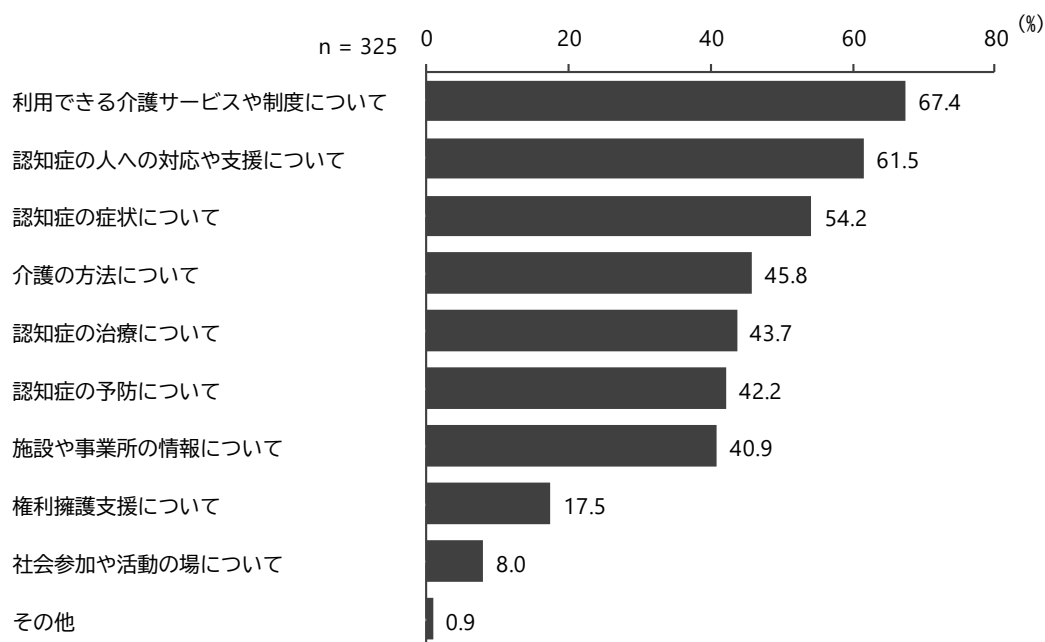


10-10 認知症について学びたいこと

▶ 認知症について学びたいことについては、「利用できる介護サービスや制度について」が67.4%と最も高く、次いで「認知症の人への対応や支援について」（61.5%）、「認知症の症状について」（54.2%）となっています。

【問9（9）で「思う」「どちらかというと思う」と回答した方のみお答えください】

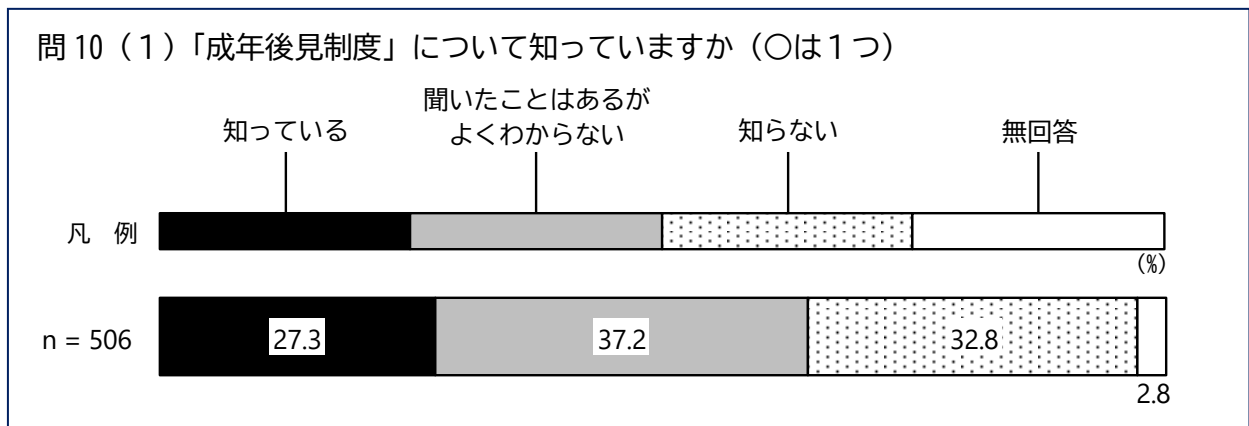
問9（9）① どのようなことを学びたいと思いますか（○はいくつでも）



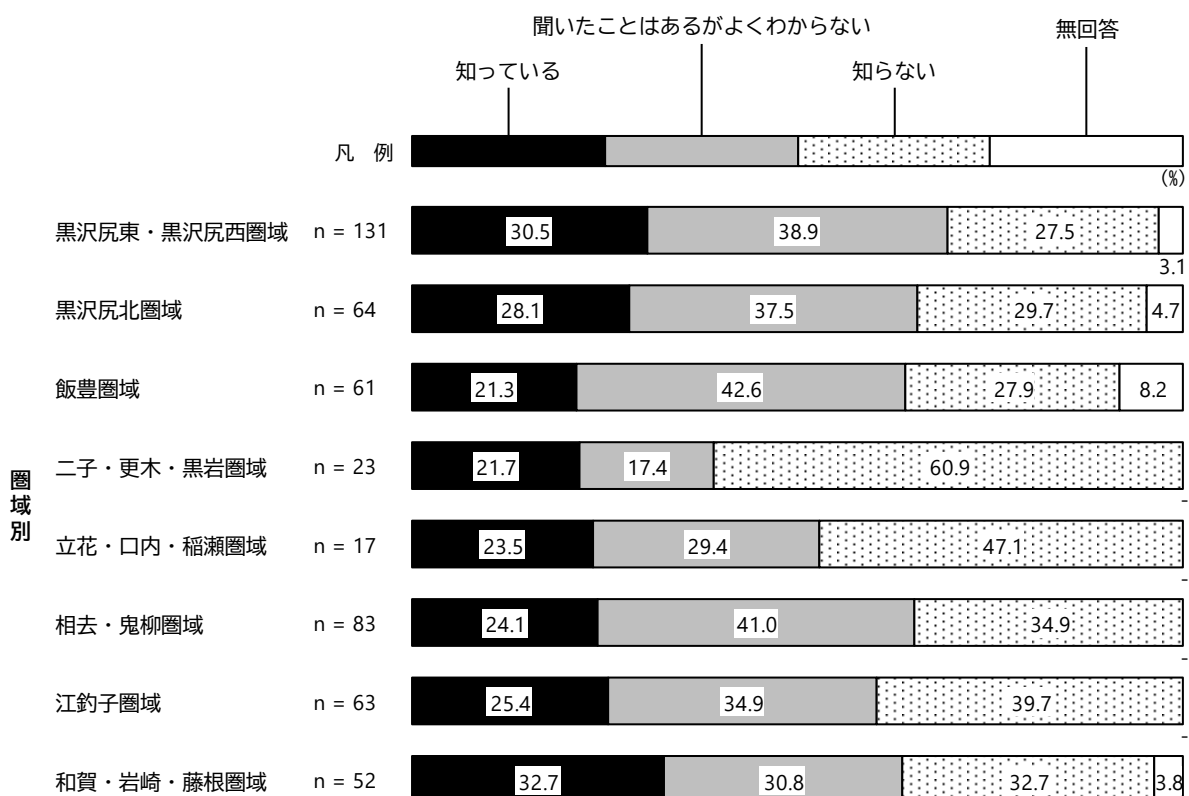
11 成年後見制度の認識について

11-1 「成年後見制度」の認知度

- ▶ 「成年後見制度」の認知度については、「聞いたことはあるがよくわからない」が37.2%と最も高く、次いで「知らない」(32.8%)、「知っている」(27.3%)となっています。
- ▶ 圏域別でみると、黒沢尻東・黒沢尻西圏域と和賀・岩崎・藤根圏域では「知っている」が3割以上と他の圏域と比べて高くなっています。

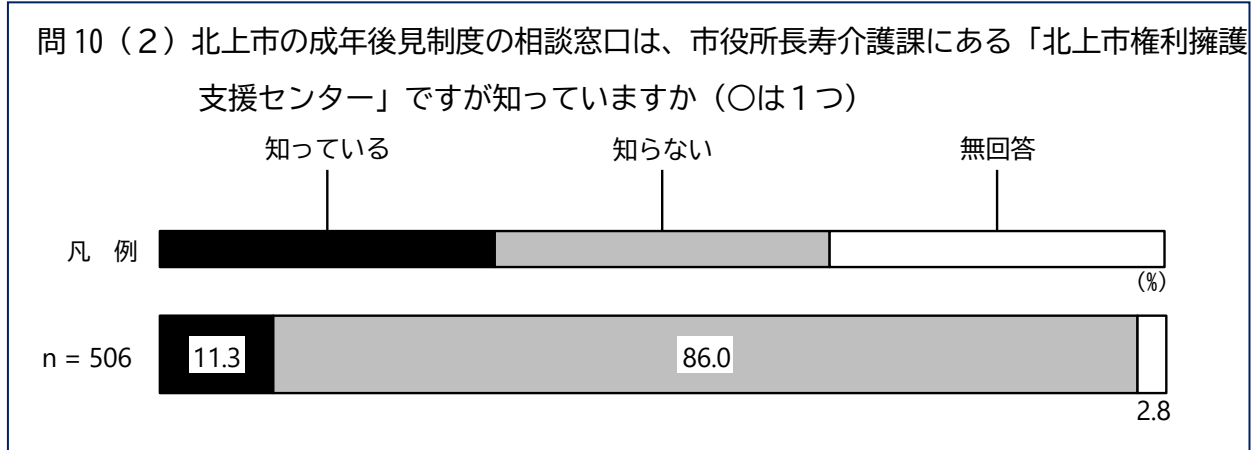


【圏域別／「成年後見制度」の認知度】



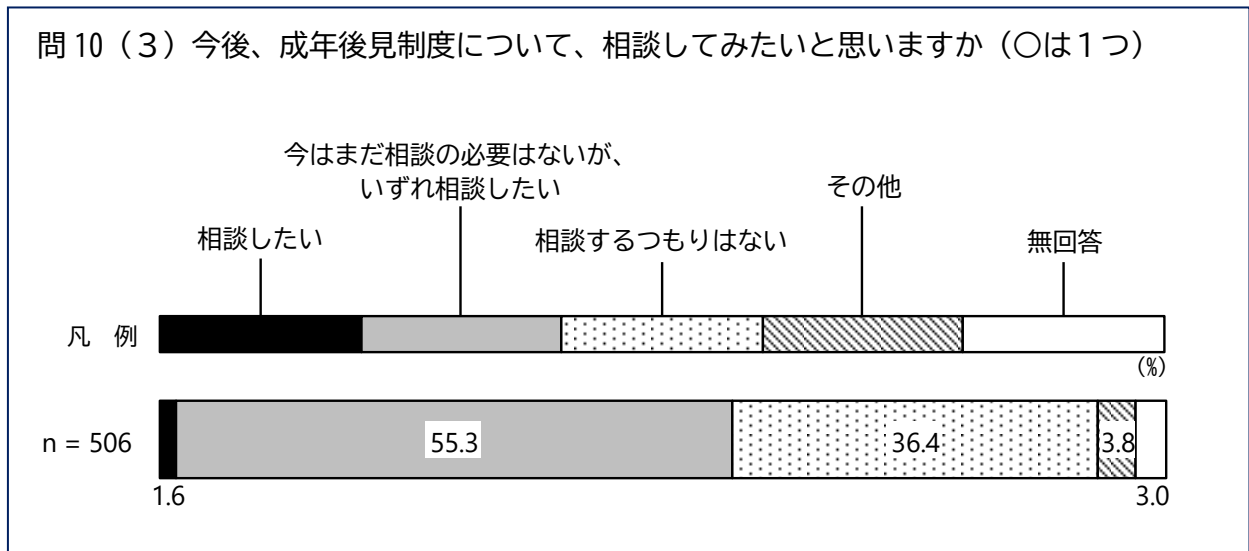
11-2 「北上市権利擁護支援センター」の認知度

- ▶ 「北上市権利擁護支援センター」の認知度については、「知らない」が86.0%、「知っている」が11.3%となっています。



11-3 成年後見制度の相談希望

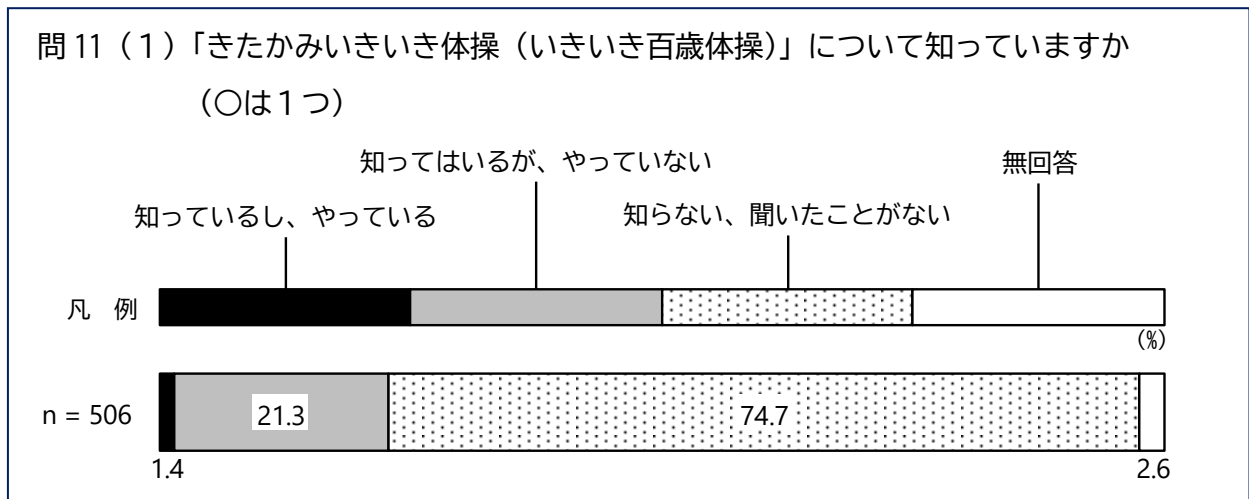
- ▶ 成年後見制度の相談希望については、「今はまだ相談の必要はないが、いずれ相談したい」が55.3%と最も高く、次いで「相談するつもりはない」(36.4%)、「相談したい」(1.6%)となっています。



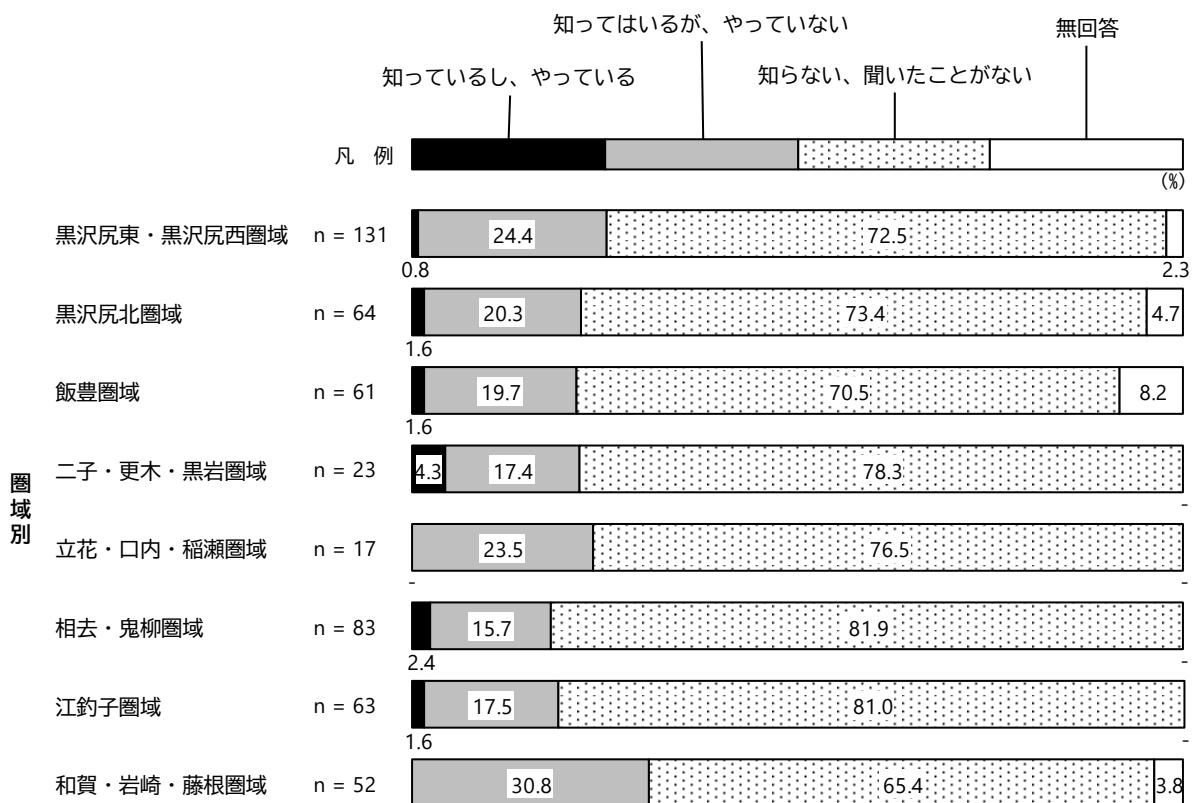
12 北上市の独自の施策について

12-1 「きたかみいきいき体操」の認知度

- ▶ 「きたかみいきいき体操」の認知度については、「知らない、聞いたことがない」が74.7%と最も高く、次いで「知っているし、やっている」(1.4%)となつています。
- ▶ 圏域別でみると、相去・鬼柳圏域と江釣子圏域では「知らない、聞いたことがない」が8割以上と他の圏域と比べて高くなつています。



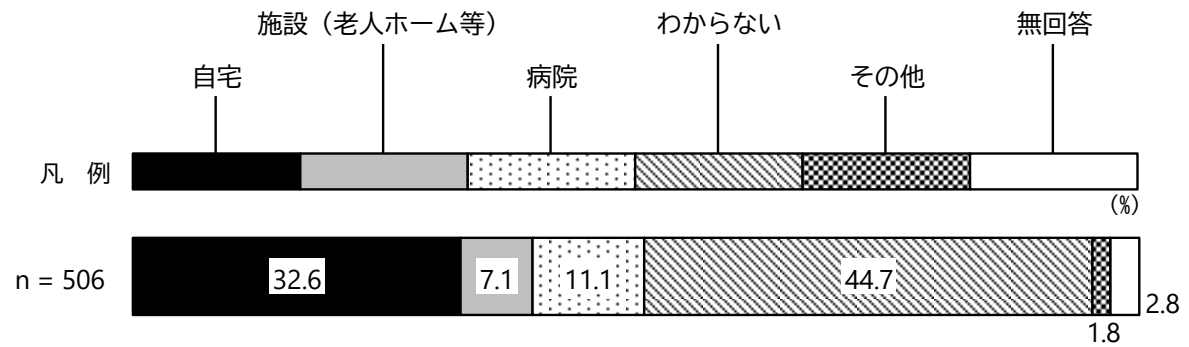
【圏域別／「きたかみいきいき体操」の認知度】



12-2 人生の最期を迎えたい場所

▶ 人生の最期を迎えたい場所については、「自宅」が32.6%と最も高く、次いで「病院」（11.1%）、「施設（老人ホーム等）」（7.1%）となっています。一方「わからない」が44.7%となっています。

問 11（2）あなたは、どこで人生の最期を迎えたいと思っていますか（○は1つ）



Ⅲ 調査結果（第2号被保険者調査）

12-3 市への要望や意見について

- ▶ 市への要望や意見については、「介護保険制度について」が15件と最も多く、次いで「行政について」（10件）、「高齢者施策について」（9件）となっています。

問11（3）市の保健福祉サービスや介護保険事業などの取組に対して、ご意見やご要望などがございましたら、お聞かせください

No	内容	件数
1	介護保険制度について	15
2	行政について	10
3	高齢者施策について	9
4	地域交流・ふれあいデイサービスについて	7
5	介護者の負担について	6
6	アンケートについて	6
7	交通について	5
8	介護施設について	5
9	相談先について	2
10	経済的負担について	2
11	これからの暮らし・将来について	2
12	医療について	1
13	その他	11
	合計	81

※回答者数：60人（「特になし」などの回答は除く）

※1人の回答内容が複数の項目に該当する場合は、それぞれの項目に分類しています

【主な意見（上位5項目・一部抜粋）】

1. 介護保険制度について

- 知らないことが多過ぎるのでもっとPRが必要。
- 介護保険の認定調査にて更新する場合、サービス利用施設の情報も共有して審査していただくと、より充実したサービスの利用や相談がしやすくなるのではないかと思います。また、認知症の予備軍の方の日中の交流の場があると安心して生活できる自信に繋がると思います。
- 子どものいない夫婦が、何かしらの介護が必要になった場合に、相談できる窓口や利用できる制度などを学習できる場があると嬉しいです。

2. 行政について

- 市で何台か車を管理して、市が面談した人を何名か地区ごとにアルバイト採用し、採用された人は、自分の都合の良い日時を登録しておき、高齢者の病院や買い物先に連れていくのはどうか？退職したけど年金をもらうにはもう少し先の方や主婦（夫）の方、副業したい方が登録して、雇用がうまれ利用者も1時間に1本のバスを待たなくて済むようになる。タクシーは高いし、バスを運転する人も減ってきている。ただ、資格が無いので少し安く利用できるようにしてほしい。
- 困った時に検索できる、QR等を利用した情報提供をしてほしい。
- 関係事業所の連携の強化をお願いします。

3. 高齢者施策について

- 家族がタクシー券を配布されていますが、混んでいて使えないことがほとんどで、使ったことがありません（使いたくても使えない）。タクシー会社の問題もあると思いますが、もう少しなんとかならないものかと思います。
- 私のような無知で受け身で興味のない人間が大半だと思うので、自分で調べてくださいではなく、市から積極的に発信して頂いて、頭の片隅にでも市の福祉サービスのことが残っていれば、いざというときに頼る場所があることがわかって安心できるし、興味を持って調べることもできると思う。
- 車がなければスーパーにも行けない場所が多いので、免許返納した場合の補助的なものを充実させて欲しい。

4. 地域交流・ふれあいデイサービスについて

- 高齢者が気軽に集うことができるカフェがもっとあれば良いと思う。おしゃべりを楽しんだり、本を読む、話を聞く、音楽（楽器演奏）を聴いたり、受け身型の方が参加しやすいと思う。
- 地域と近所との関わり合い方が重要になってくる。特に、若い世代は仕事・子育てで忙しいが、その中でも（少しでも）地域の活動に関わってほしい。※定年後に地域や近所との付き合いは難しい結果、いきいきした老後を過ごせる事に繋がると思います。
- 引きこもり高齢者を定期的に家の外に出る機会を作って欲しい。どの程度で相談できるのか…も周知して欲しい。

5. 介護者の負担について

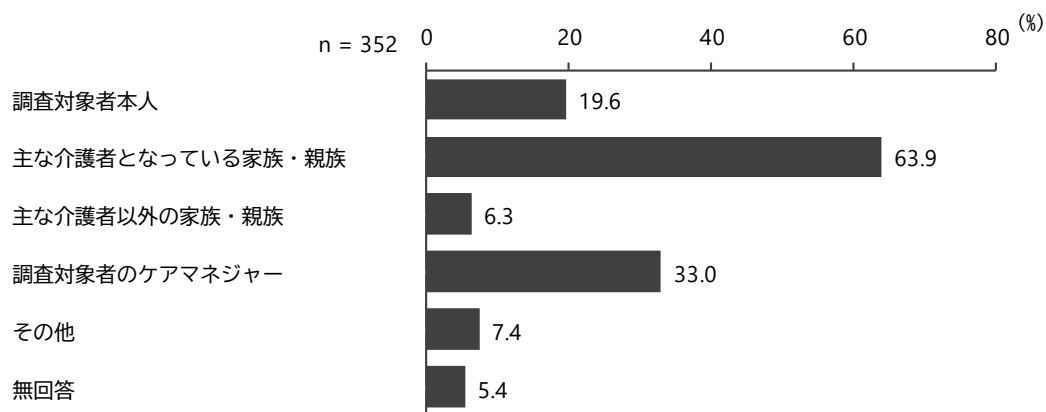
- 福祉サービスは人員が不足していると思う。母が以前お世話になっていた。
- 家族（親など）の介護をする方（本人）への精神的ケアを充実させて欲しいです（自身が若いうちから親の介護がはじまり、周りに相談できる詳しい人がいなかった）。
- 今後さらに需要が増えると思うので、施設、スタッフ、サービスの向上を期待します。

IV 調査結果（在宅介護実態調査）

1 調査票の回答者について

1-1 調査票の回答者

A票の聞き取りを行った相手の方は、どなたですか（複数選択可）

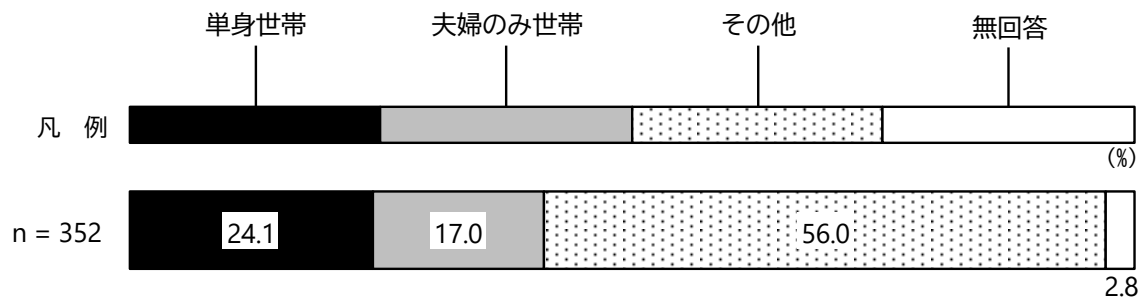


2 対象者について

2-1 世帯類型

- ▶ 世帯類型については、「単身世帯」が 24.1%、「夫婦のみ世帯」が 17.0%となっています。

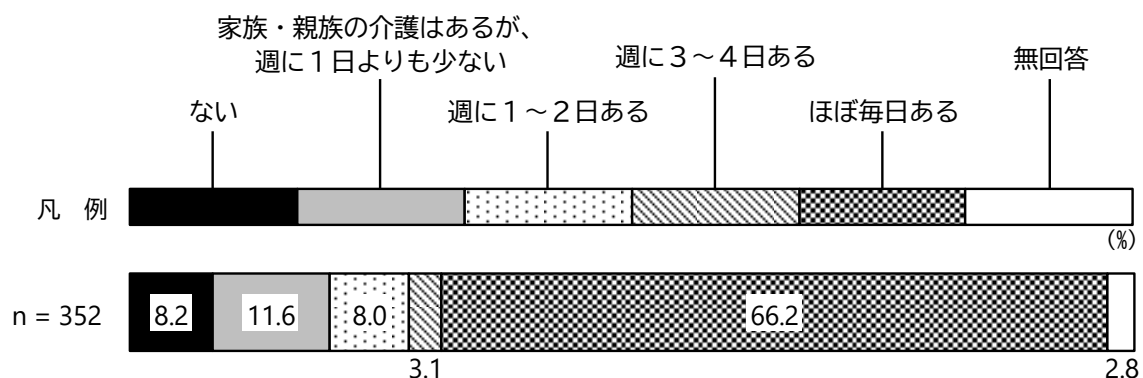
【A票】問1 世帯類型について、ご回答ください（1つを選択）



2-2 家族等からの介護の頻度

- ▶ 家族等からの介護の頻度については、「ほぼ毎日ある」が 66.2%と最も高く、次いで「家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」（11.6%）、「ない」（8.2%）となっています。

【A票】問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（1つを選択）

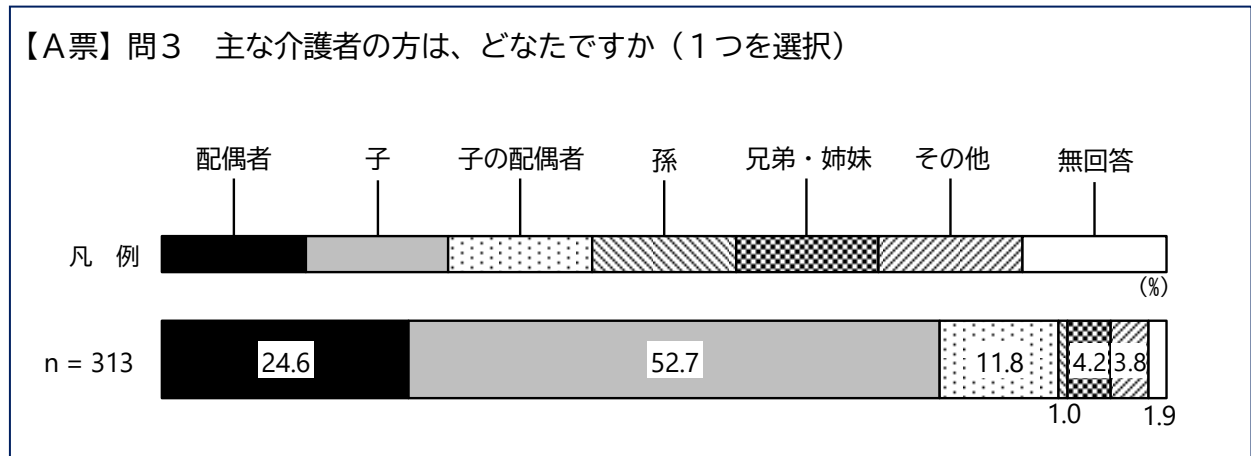


IV 調査結果（在宅介護実態調査）

【A票】問3～問7については、【A票】問2で「家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない」「週に1～2日ある」「週に3～4日ある」「ほぼ毎日ある」と回答した方が対象

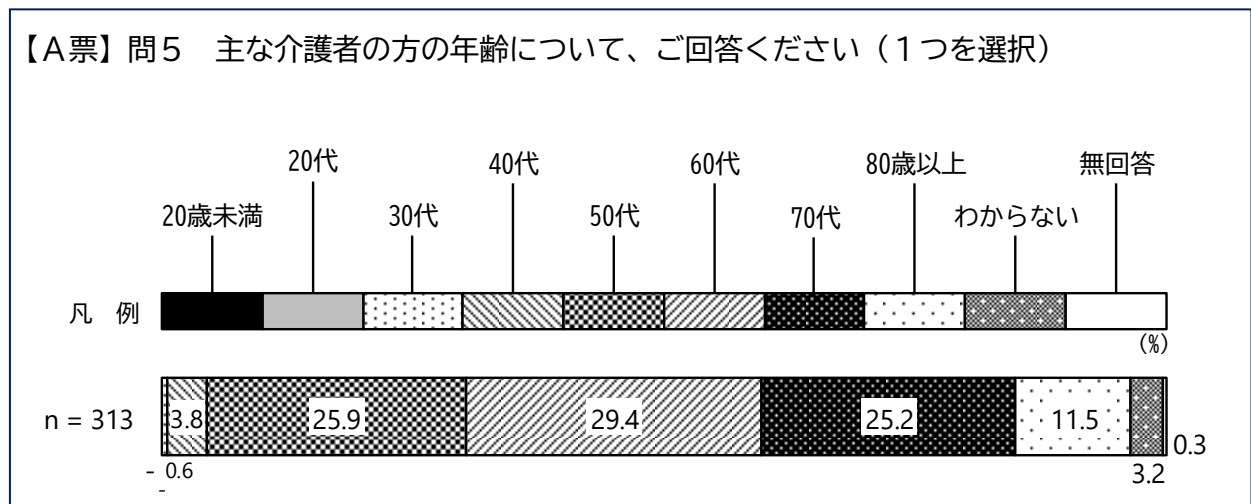
2-3 主な介護者

- ▶ 主な介護者については、「子」が52.7%と最も高く、次いで「配偶者」（24.6%）、「子の配偶者」（11.8%）となっています。



2-4 主な介護者の年齢

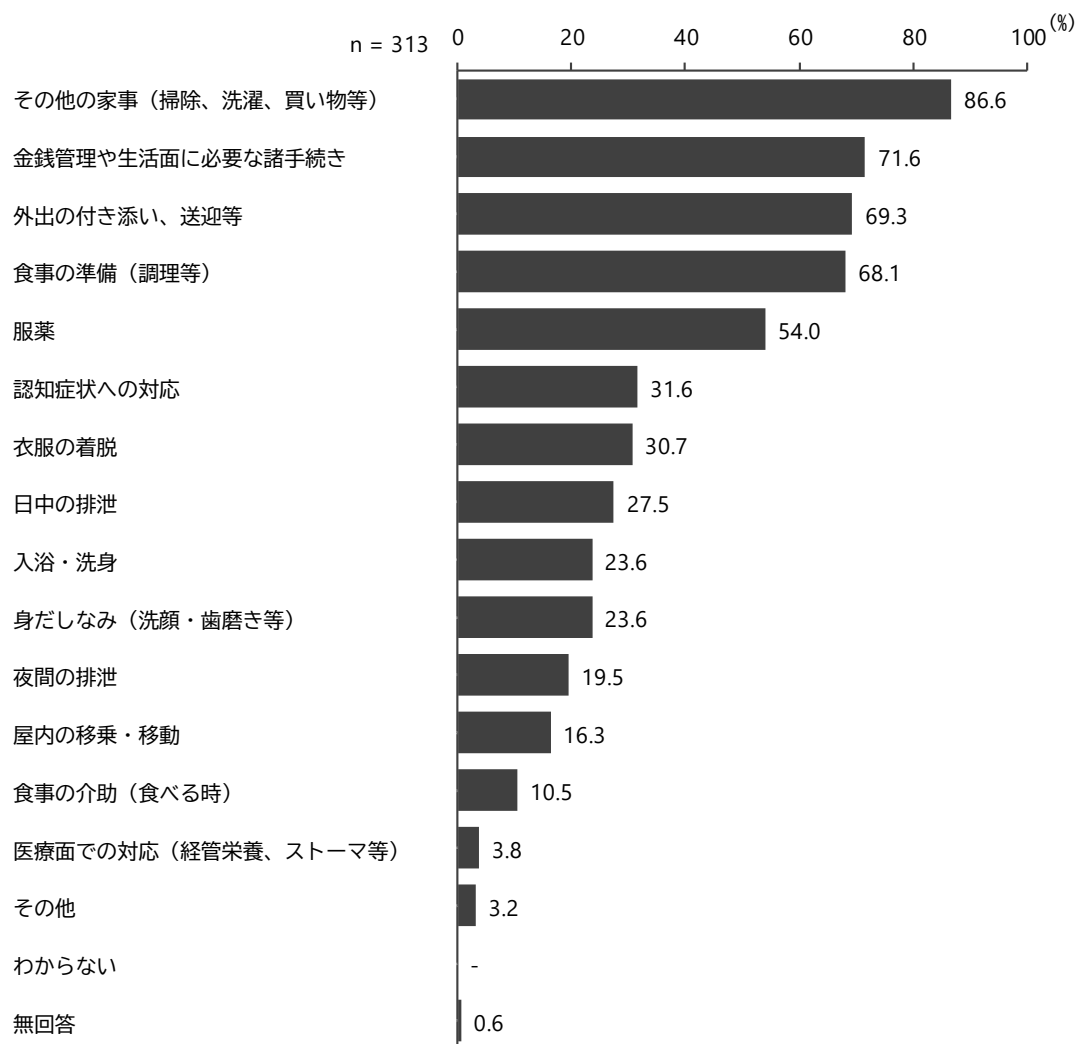
- ▶ 主な介護者の年齢については、「60代」が29.4%と最も高く、次いで「50代」（25.9%）、「70代」（25.2%）となっています。



2-5 主な介護者が行っている介護等

- ▶ 介護者が行っている介護については、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が86.6%と最も高く、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」（71.6%）、「外出の付き添い、送迎等」（69.3%）となっています。

【A票】問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください
（複数選択可）

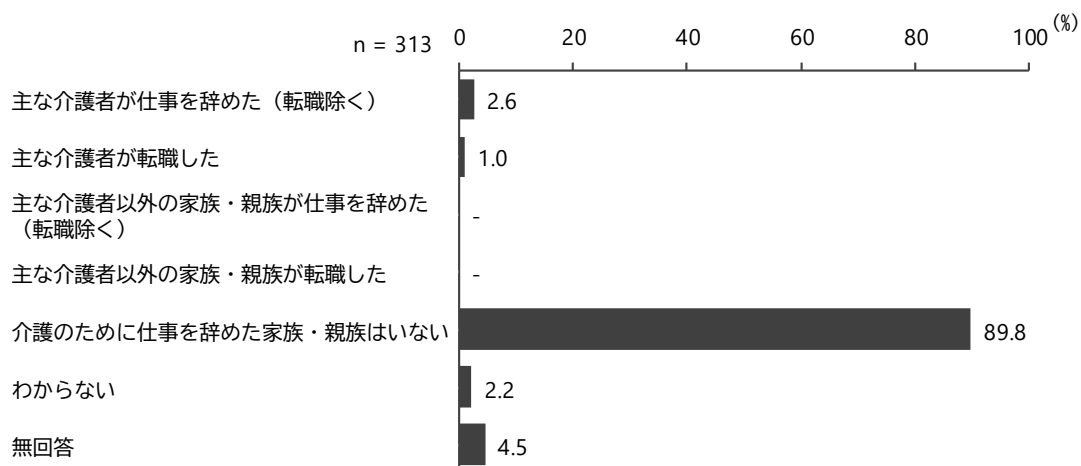


IV 調査結果（在宅介護実態調査）

2-6 介護のための離職の有無

- ▶ 介護のための離職の有無については、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が89.8%と最も高くなっています。

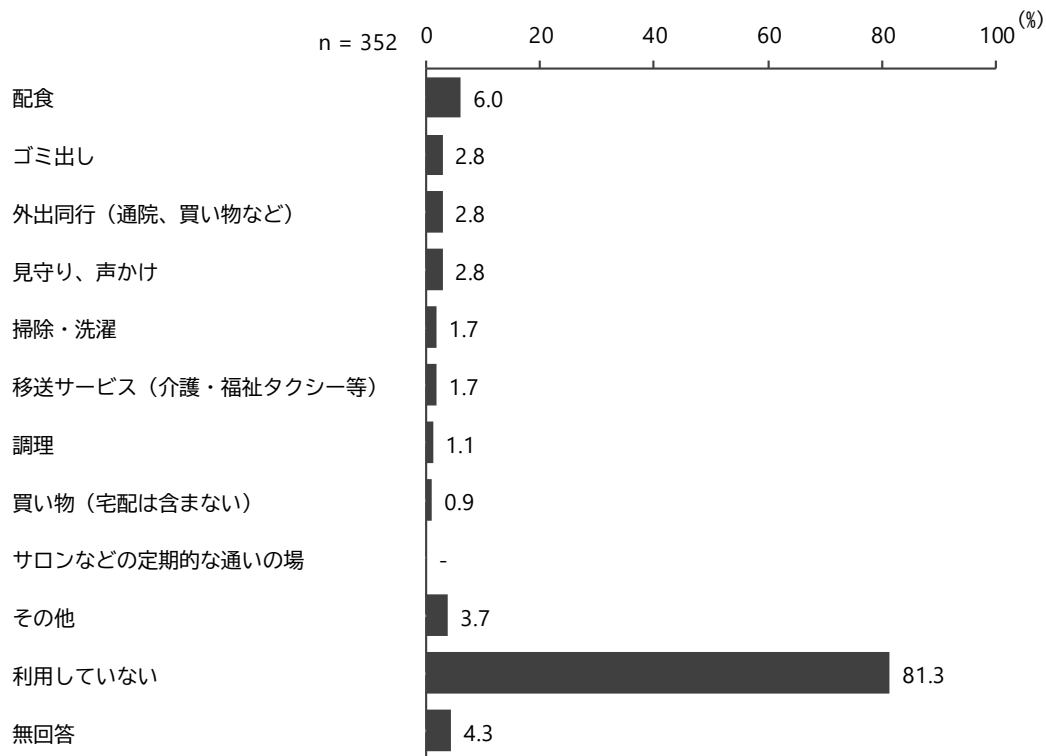
【A票】問7 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（複数選択可）



2-7 介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況

- ▶ 介護保険以外の支援・サービスの利用状況については、「配食」が6.0%と最も高く、次いで「ゴミ出し」、「外出同行（通院、買い物など）」、「見守り、声かけ」（ともに2.8%）、「掃除・洗濯」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」（ともに1.7%）となっています。一方「利用していない」が81.3%となっています。

【A票】問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（複数選択可）

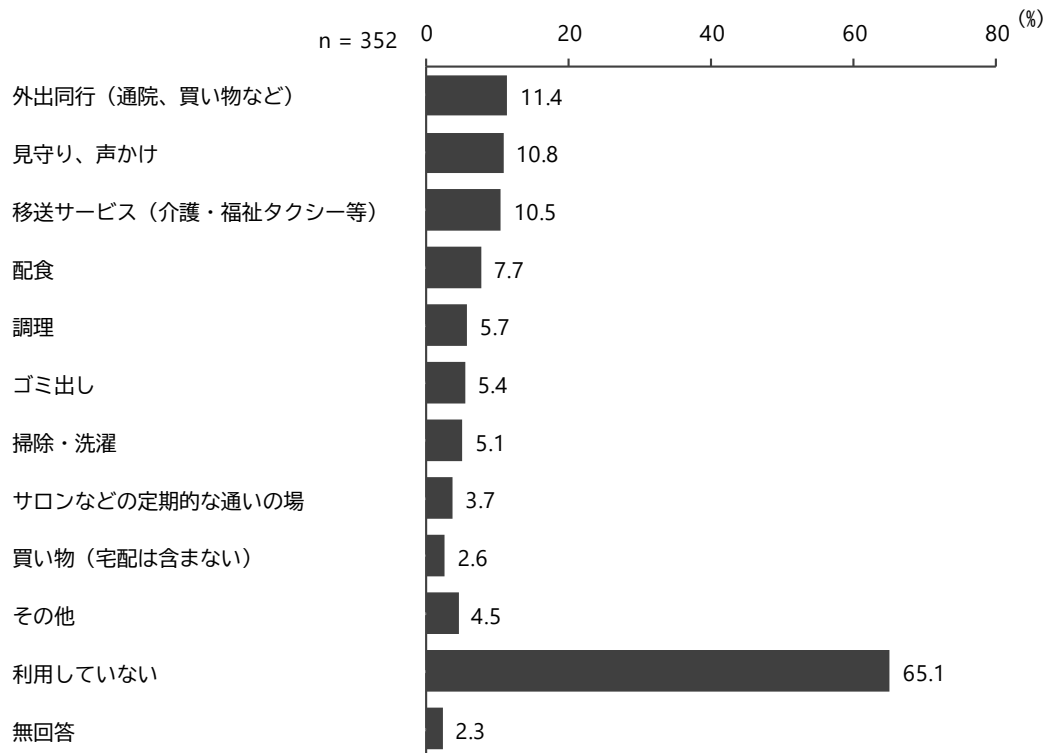


IV 調査結果（在宅介護実態調査）

2-8 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

- ▶ 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについては、「外出同行（通院、買い物など）」が11.4%と最も高く、次いで「見守り、声かけ」（10.8%）、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」（10.5%）となっています。一方「利用していない」が65.1%となっています。

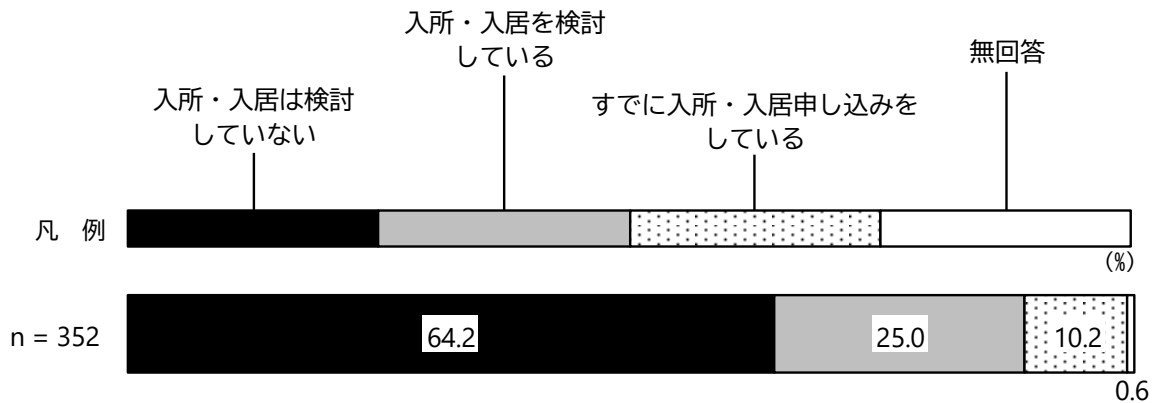
【A票】問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（複数選択可）



2-9 施設等への入所・入居の検討状況

- ▶ 施設等への入所・入居の検討状況については、「入所・入居は検討していない」が 64.2%と最も高く、次いで「入所・入居を検討している」(25.0%)、「すでに入所・入居申し込みをしている」(10.2%)となっています。

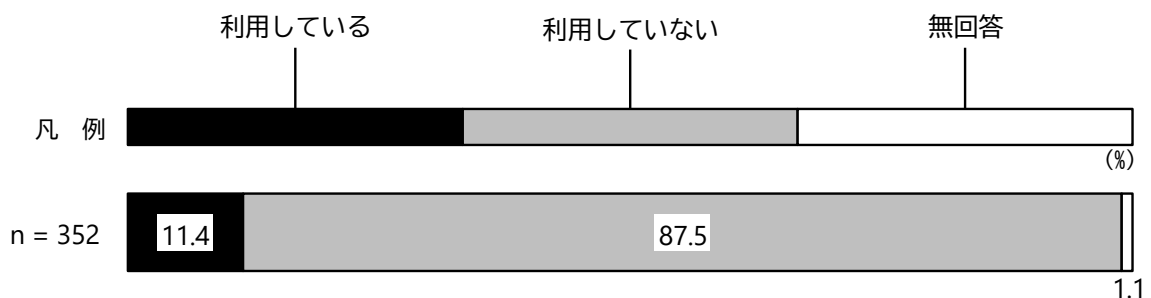
【A票】問 10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください
(1つを選択)



2-10 訪問診療の利用の有無

- ▶ 訪問診療の利用の有無については、「利用していない」が 87.5%、「利用している」が 11.4%となっています。

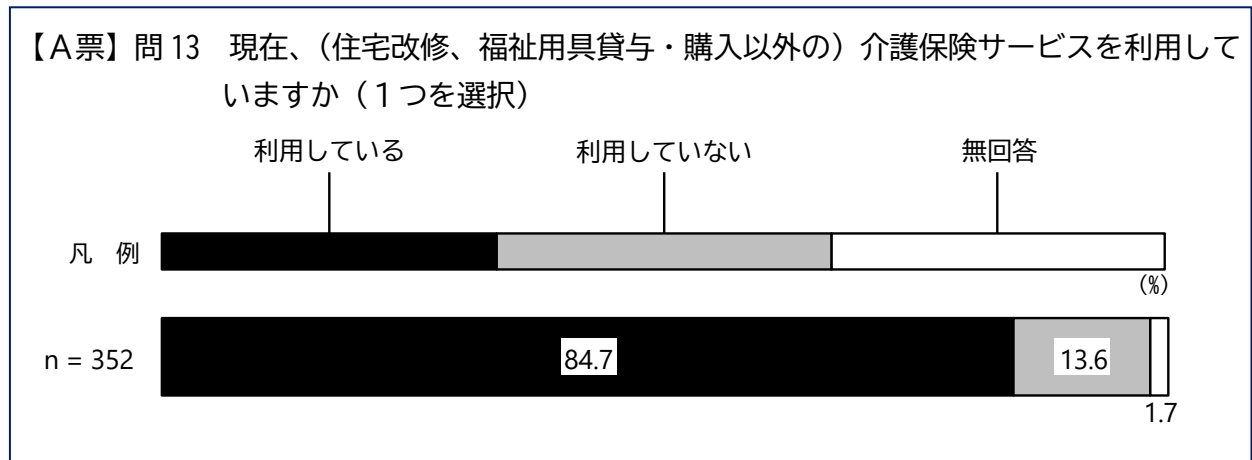
【A票】問 12 ご本人（認定調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか
(1つを選択)



IV 調査結果（在宅介護実態調査）

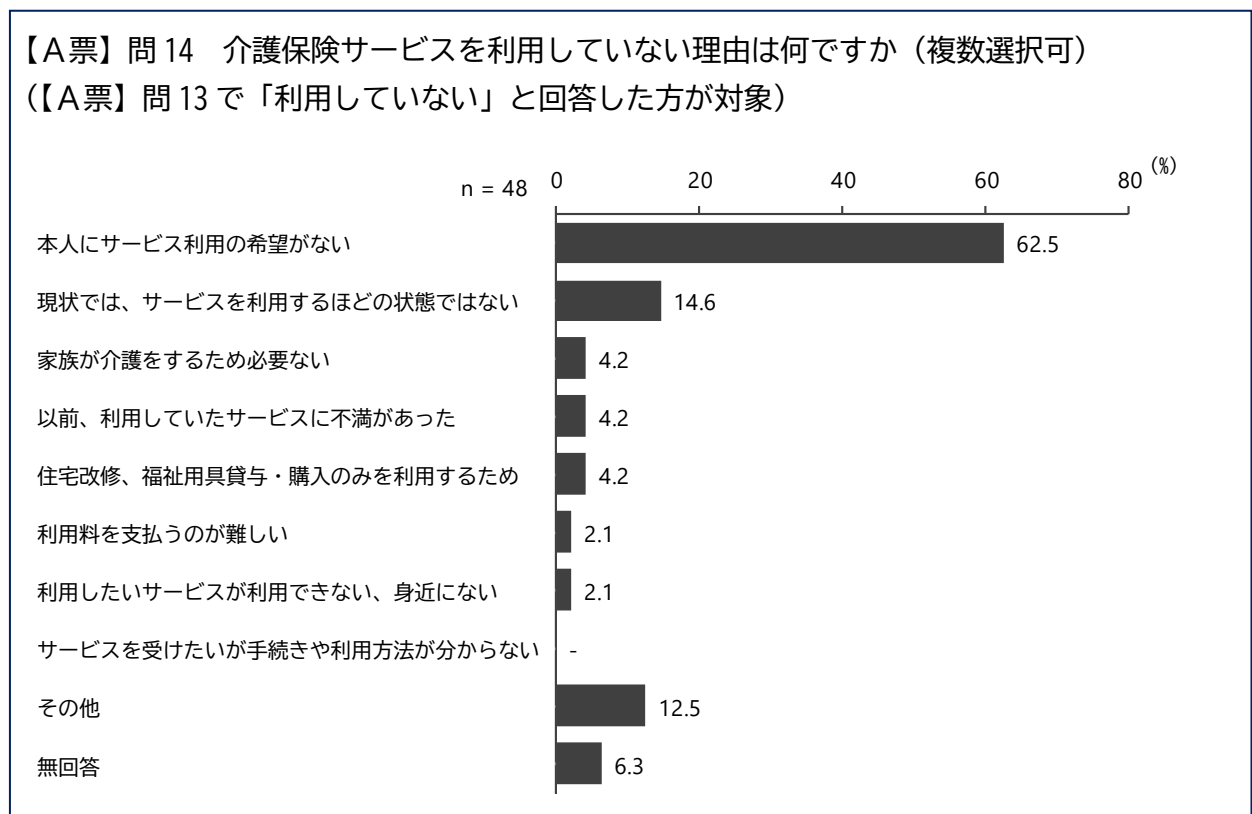
2-11 介護保険サービスの利用の有無

- ▶ 介護保険サービスの利用の有無については、「利用している」が84.7%、「利用していない」が13.6%となっています。



2-12 介護保険サービスを利用していない理由

- ▶ 介護保険サービスを利用していない理由については、「本人にサービス利用の希望がない」が62.5%と最も高く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」(14.6%)、「家族が介護をするため必要ない」、「以前、利用していたサービスに不満があった」、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」(ともに4.2%)となっています。



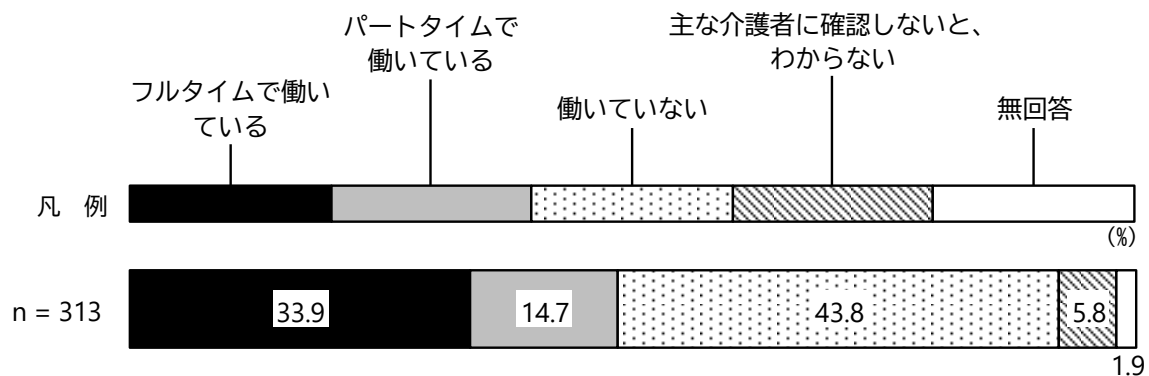
3 主な介護者について

【B票】については、【A票】問2で「家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」「週に1～2日ある」「週に3～4日ある」「ほぼ毎日ある」と回答した方が対象

3-1 主な介護者の現在の勤務形態

- ▶ 主な介護者の勤務形態については、「働いていない」が43.8%と最も高く、次いで「フルタイムで働いている」(33.9%)、「パートタイムで働いている」(14.7%)となっています。

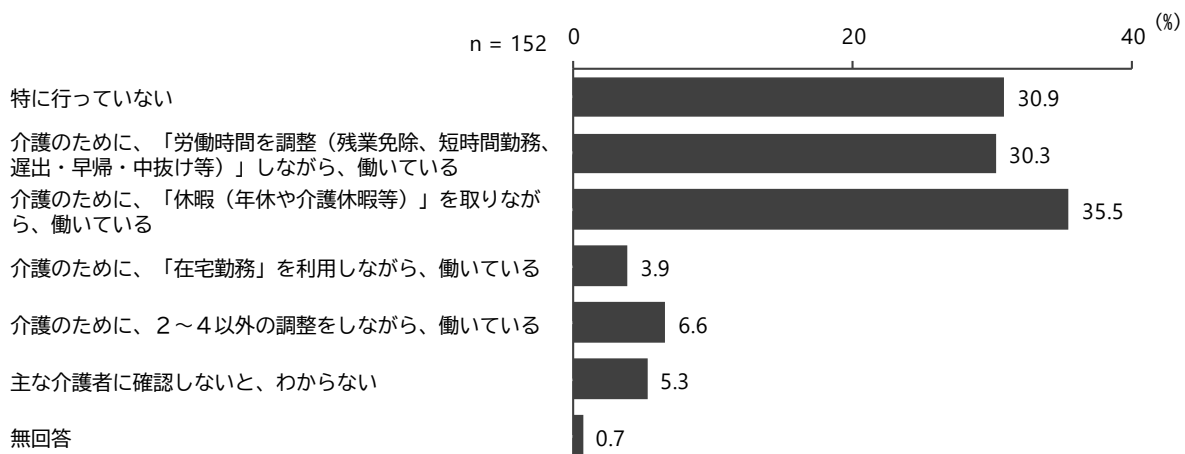
【B票】問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（1つを選択）



3-2 主な介護者の働き方の調整の状況

- ▶ 介護者の働き方の調整の状況については、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が35.5%と最も高く、次いで、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」(30.3%)となっています。一方「特に行っていない」が30.9%となっています。

【B票】問2 問1で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか（複数選択可）

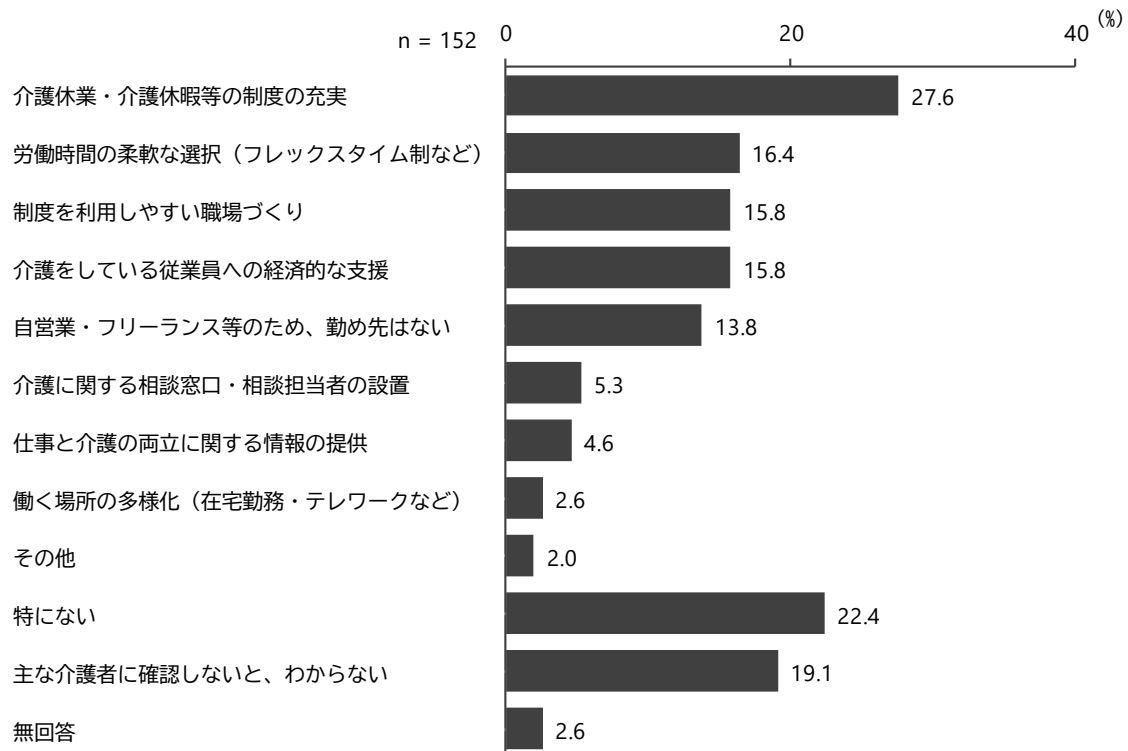


IV 調査結果（在宅介護実態調査）

3-3 効果的な勤め先からの支援

- ▶ 効果的な勤め先からの支援については、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が27.6%と最も高く、次いで「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」（16.4%）、「制度を利用しやすい職場づくり」（15.8%）となっています。一方「特にない」が22.4%、「主な介護者に確認しないと、わからない」が19.1%となっています。

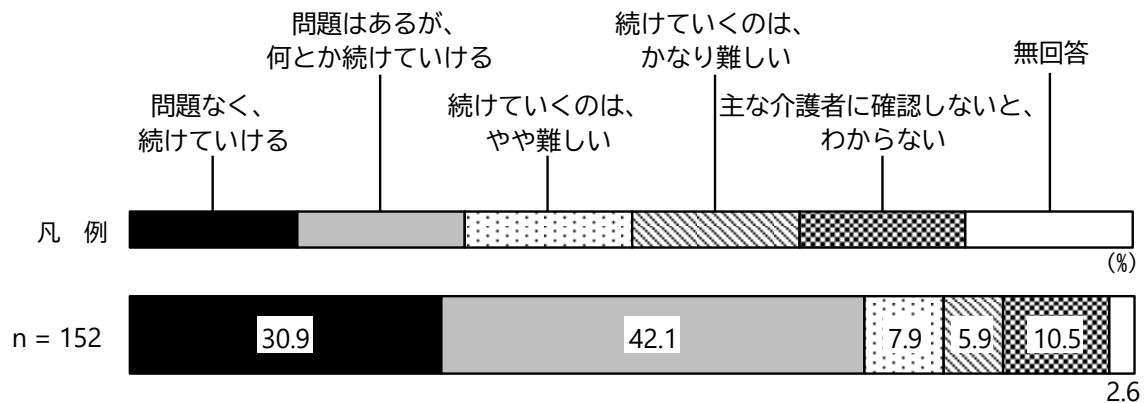
【B票】問3 問1で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（3つまで選択可）



3-4 介護者の就労継続の可否に係る意識

- ▶ 介護者の就労継続の可否に係る意識については、「問題はあるが、何とか続けていける」が42.1%と最も高く、次いで「問題なく、続けていける」(30.9%)、「続けていくのは、やや難しい」(7.9%)となっています。一方「主な介護者に確認しないと、わからない」が10.5%となっています。

【B票】問4 問1で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（1つを選択）

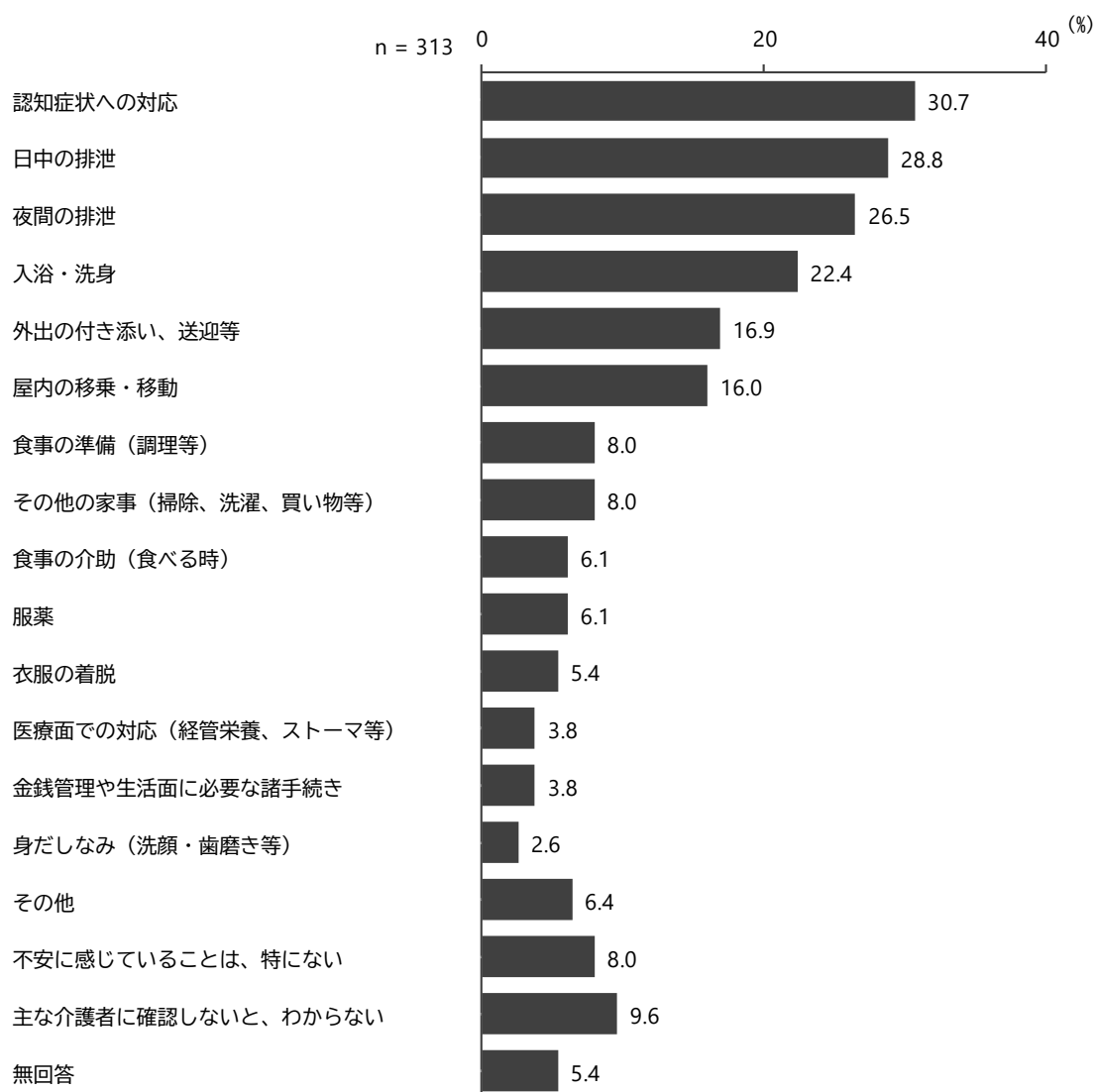


IV 調査結果（在宅介護実態調査）

3-5 介護者が不安に感じる介護

- ▶ 介護者が不安に感じる介護については、「認知症状への対応」が30.7%と最も高く、次いで「日中の排泄」(28.8%)、「夜間の排泄」(26.5%)となっています。

【B票】問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）
（3つまで選択可）



V 調査結果からみえる課題

1 介護予防・重度化防止の推進

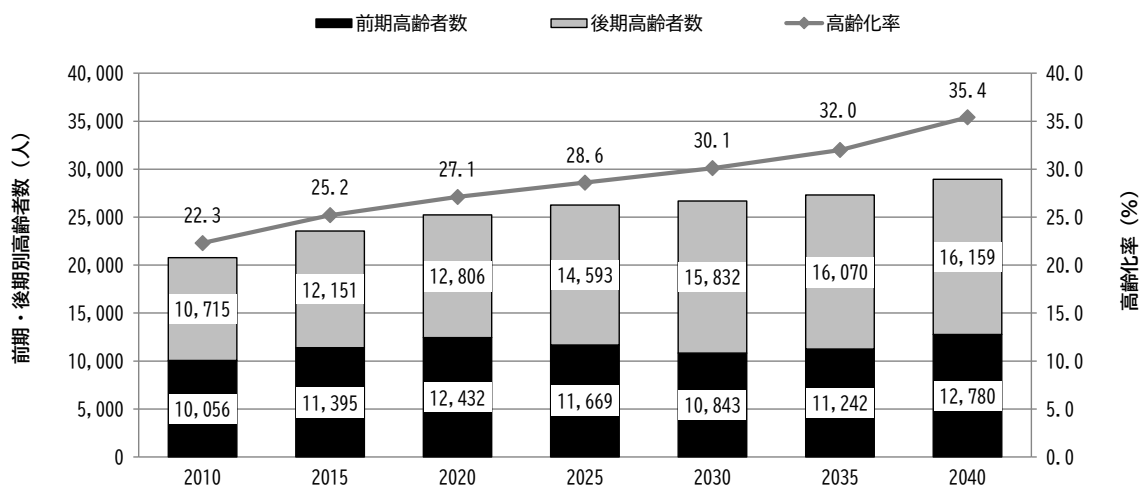
1-1 生活機能評価

- ▶ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（以下「ニーズ調査」と言います）の回答から、各種リスクの該当者を年齢階層別でみると、「低栄養の傾向」、「うつ傾向」以外は年齢が上がるにつれてリスクが高くなっている傾向があります。
- ▶ 北上市の人口については、総人口の減少・高齢者人口の増加により、高齢化率は上昇を続けると人口推計において予測されています。また、高齢者人口における後期高齢者の割合が今後増えていくことも予測されており、各種リスクの該当者数も増大していく可能性があることから、介護予防・重度化防止の推進が重要な課題であると考えられます。

【ニーズ調査：年齢階層別リスク該当者割合】

	市全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上
運動器機能の低下	26.4	8.8	13.1	20.3	35.8	49.7	67.6
低栄養の傾向	2.2	2.0	1.4	2.0	1.7	3.8	3.7
口腔機能の低下	29.4	19.6	22.9	27.5	36.3	42.2	42.9
閉じこもり傾向	26.4	9.4	15.6	22.8	37.0	46.8	54.3
認知機能の低下	49.9	38.2	42.4	46.2	58.7	65.1	68.5
うつ傾向	45.3	45.5	40.9	38.3	52.4	50.9	53.0
転倒リスク	39.1	29.0	31.2	38.7	45.4	52.3	54.3
IADLの低下者	25.3	9.9	9.6	17.0	34.6	49.4	71.7

【統計データ：人口推計】



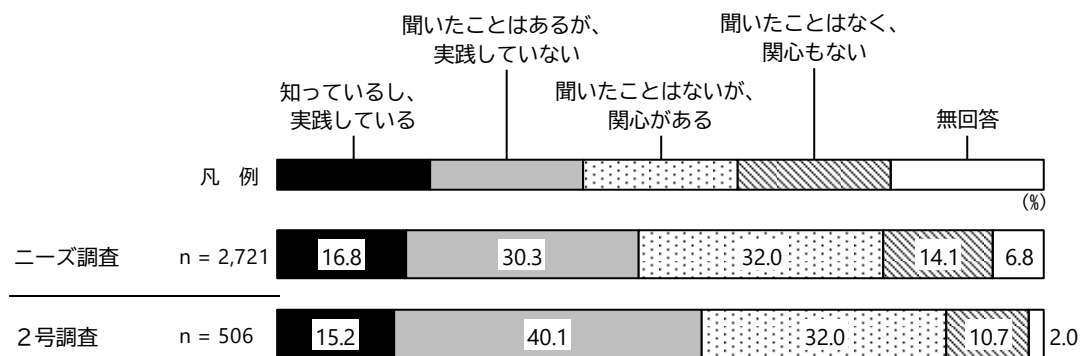
※出典：第10次北上市高齢者福祉計画・第9期北上市介護保険事業計画（令和6年）

V 調査結果からみえる課題

1-2 介護予防の実践状況

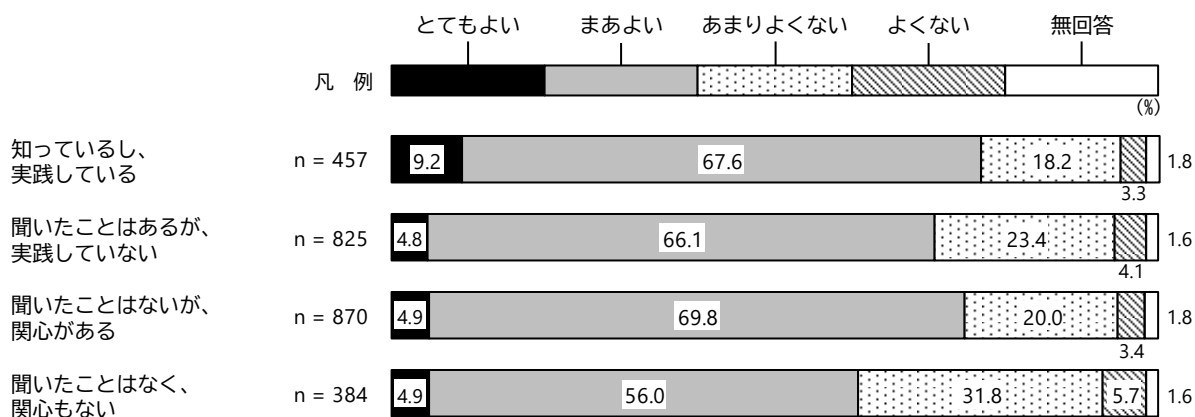
- ▶ 介護予防のための体づくりについて、「知っているし、実践している」の割合をみると、ニーズ調査では16.8%、第2号被保険者調査（以下「2号調査」と言います）では15.2%となっています。

【ニーズ調査・2号調査：介護予防のための体づくり】



- ▶ ニーズ調査において、「介護予防のための体づくり」の実践状況別に健康状態をみると、『健康状態がよい』（「とてもよい」 + 「まあよい」）割合が最も高いのは介護予防の体づくりを“知っているし、実践している”方となっています。
- ▶ また、前期高齢者と後期高齢者に分けて、「介護予防のための体づくり」の実践状況別に各種リスクの該当者割合をみると、前期高齢者と後期高齢者のどちらにおいても、介護予防のための体づくりを実践している場合、全体的に各種リスクの該当割合が低い結果となっています。

【ニーズ調査：介護予防実践状況別の健康状態】



【ニーズ調査：高齢者区分別・介護予防実践状況別のリスク該当割合】

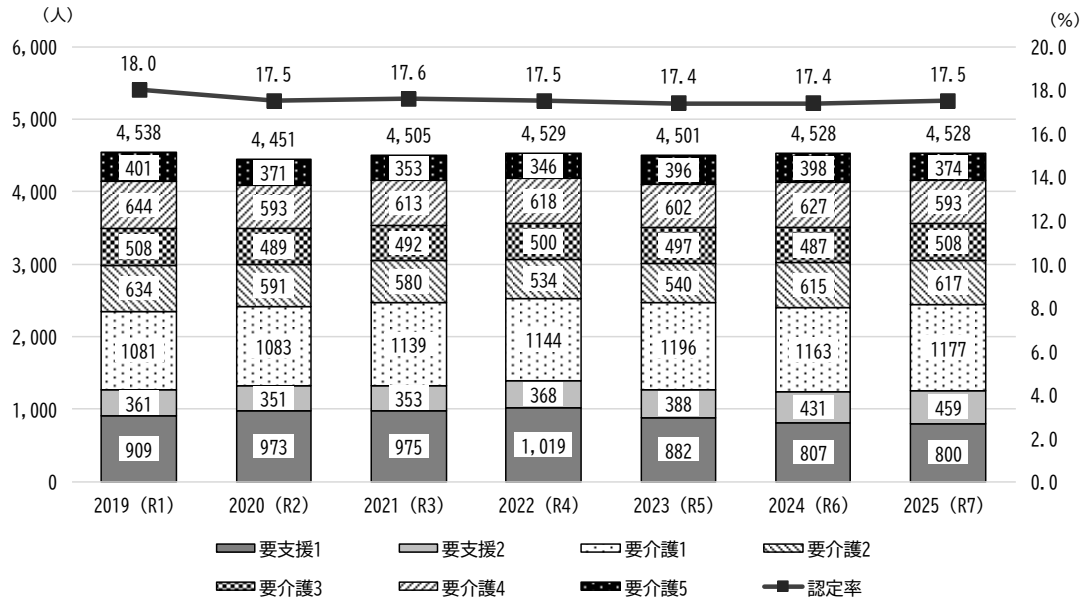
		運動器	低栄養	口腔機能	閉じこもり	認知機能	うつ傾向	転倒リスク	IADL低下
前期高齢者	実践あり	8.0	1.1	12.6	9.1	33.1	41.1	20.6	9.7
	実践なし	11.3	1.9	23.3	13.3	42.0	44.0	31.9	9.5
後期高齢者	実践あり	32.6	1.4	31.2	27.0	51.4	43.6	40.8	27.0
	実践なし	39.1	2.5	36.3	38.4	57.3	47.5	47.5	38.2

※実践あり…「知っているし、実践している」

実践なし…「聞いたことはあるが、実践していない」 + 「聞いたことはないが、関心がある」 + 「聞いたことはなく、関心もない」

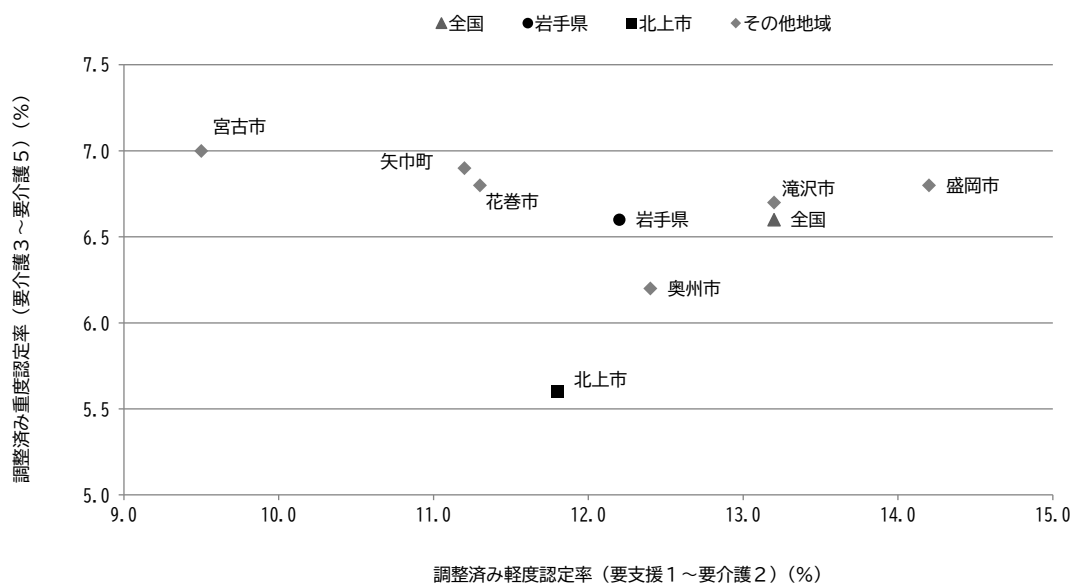
- ▶ 統計データからみると、北上市の第1号被保険者の要支援・要介護認定者数は、近年は横ばいで推移しています。他自治体に比べ重度認定率が低いことが特徴です。
- ▶ 一方、今後は後期高齢者の増加も見込まれる中では、認定率増加や重度化のリスクもあることから、介護予防・重度化防止の推進を図るため、引き続き関係機関等を通じた事業周知や広報等を通じた啓発を推進することが必要であると考えられます。

【統計データ：要支援・要介護認定者数・認定率の推移】



※出典：地域包括ケア「見える化」システム

【統計データ：調整済認定率比較（令和6年度）】



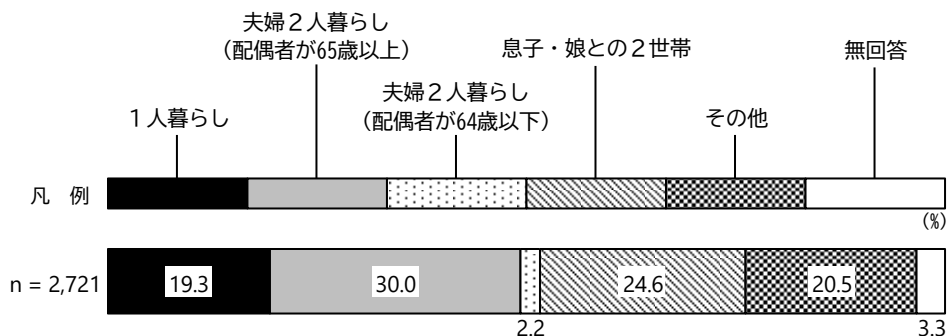
※出典：地域包括ケア「見える化」システム

2 1人暮らし高齢者への支援

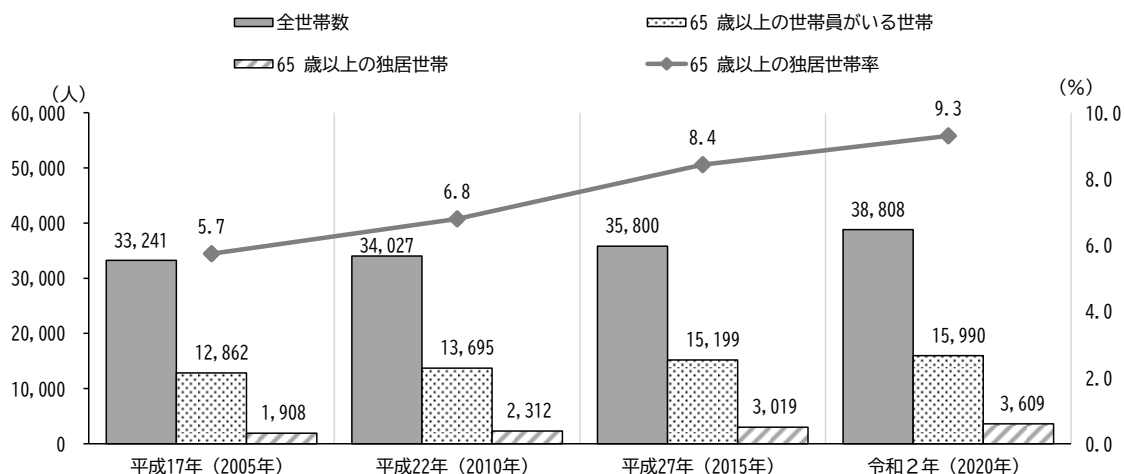
2-1 高齢者を含む世帯の状況

- ▶ ニーズ調査回答者の世帯構成については、「1人暮らし」(19.3%)と「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」(30.0%)を合わせた『高齢者のみ世帯』は49.3%となっています。
- ▶ 統計データからみると、高齢者数の増加に伴い、高齢者のいる世帯は増加しています。平成17年(2005年)では12,862世帯であったのに対し、令和2年(2020年)では15,990世帯と24.3%の増加となっています。
- ▶ 併せて、高齢者の独居世帯数・独居世帯率も増加傾向にあります。今回のアンケート結果で30.0%となっている「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」は、今後配偶者死別等による「1人暮らし」に変化していくことが想定されます。

【ニーズ調査：世帯構成】



【統計データ：高齢者を含む世帯の推移】

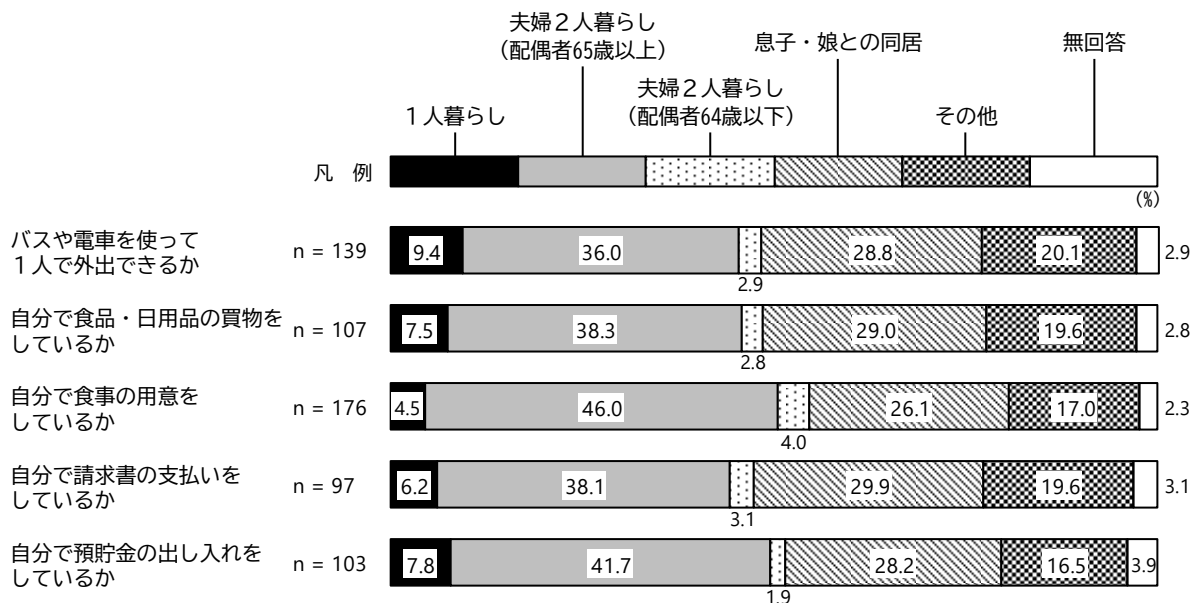


※出典：国勢調査(各年10月1日)

2-2 高齢者の生活状況

- ▶ ニーズ調査において、各日常活動を「できない」と回答した男性の世帯構成を分析したところ、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」の割合も一定数を占めています。これらの男性が単身世帯となったときに備えた支援体制の強化がとりわけ必要と考えられます。
- ▶ また、世帯構成別に、病気の際に看病や世話をしてくれる人の状況をみると、1人暮らしの高齢者のうち25.1%が「そのような人はいない」と回答しています。今後、さらなる増加が見込まれる単身高齢者の生活について、相談支援体制や地域住民の見守り体制の強化等、社会全体でどのようにして支えていくかが課題であると考えられます。

【ニーズ調査：各日常活動について、「できない」男性の世帯構成】



【ニーズ調査：世帯構成別・病気の際に看病や世話をしてくれる人がいない人の割合】

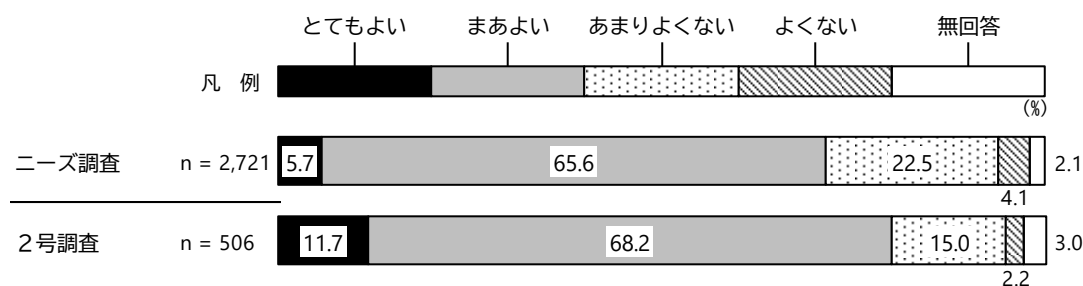
世帯構成	割合 (%)
1人暮らし	25.1
夫婦2人暮らし（配偶者が65歳以上）	3.4
夫婦2人暮らし（配偶者が64歳以下）	3.3
息子・娘との2世帯	1.6
その他	4.3

3 健康づくりの推進

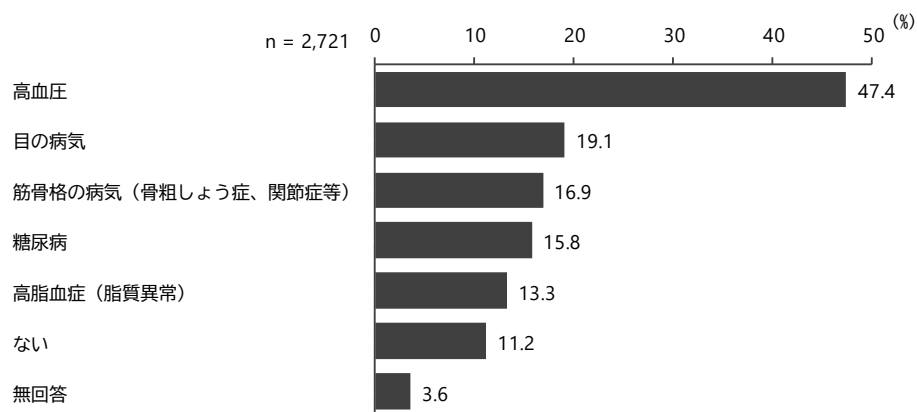
3-1 健康課題

- ▶ 主観的健康感について、「まあよい」と「とてもよい」を合わせた『健康状態がよい』割合をみると、ニーズ調査では71.3%、2号調査では79.9%となっています。
- ▶ 一方、現在治療中、または後遺症のある病気は、ニーズ調査では「高血圧」が47.4%と最も高く、次いで「目の病気」(19.1%)、「筋骨格の病気」(16.9%)となっており、何らかの病気、または後遺症のある高齢者は85.2%となっています。また、2号調査においても、現在治療中または経過観察中の病気で「高血圧症」が2割を超えています。高血圧は、脳血管疾患などの要介護状態の原因となる主要な生活習慣病であり、予防・重症化防止の重点項目となります。生活習慣病予防のための健診の受診勧奨や、健康づくりの意識向上、知識の普及啓発を図る必要があると考えられます。

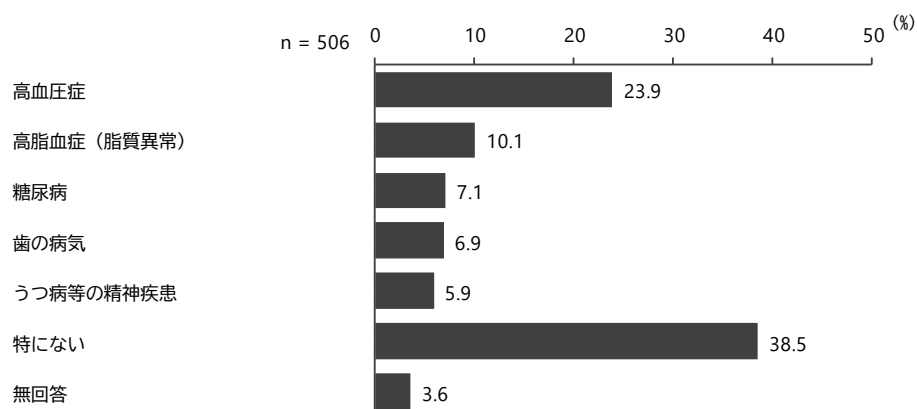
【ニーズ調査・2号調査：現在の主観的健康感】



【ニーズ調査：現在治療中、または後遺症のある病気】 ※上位5位+「ない」「無回答」



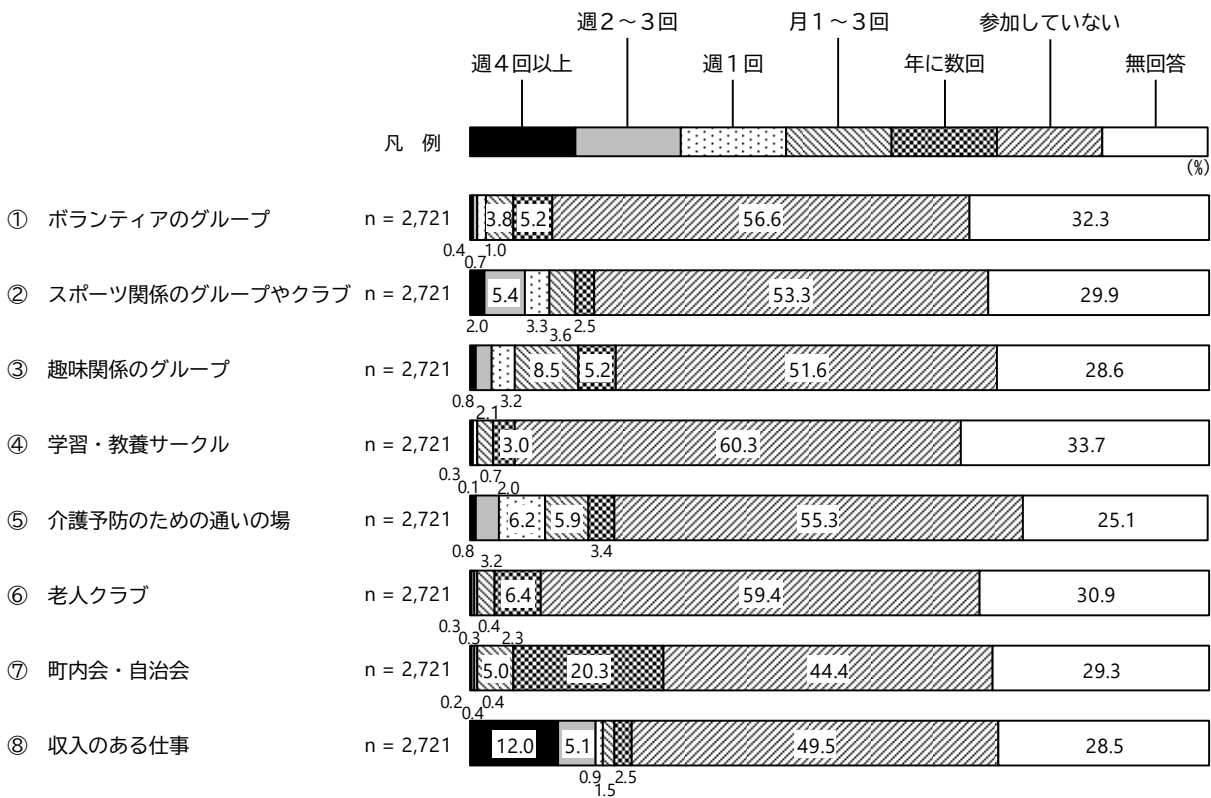
【2号調査：現在治療中、または経過観察中の病気】 ※上位5位+「ない」「無回答」



3-2 地域活動への参加状況

- ▶ 健康づくりの推進にあたっては、生きがいつくりや社会との関わりも重要となります。高齢者の地域における会・グループ等の参加状況について、“⑤介護予防のための通いの場”や“⑧収入のある仕事”は月1回以上の参加者の割合が比較的高くなっています。
- ▶ 調査結果において「参加していない」割合が高くなっている“④学習・教養サークル”や“⑥老人クラブ”も、高齢者の健康づくりや生きがいつくりへの支援を行っていくうえでは重要な役割を担っていることから、引き続き支援を継続していく必要があると考えられます。

【ニーズ調査：会・グループ等の参加状況】



月1回以上の参加割合

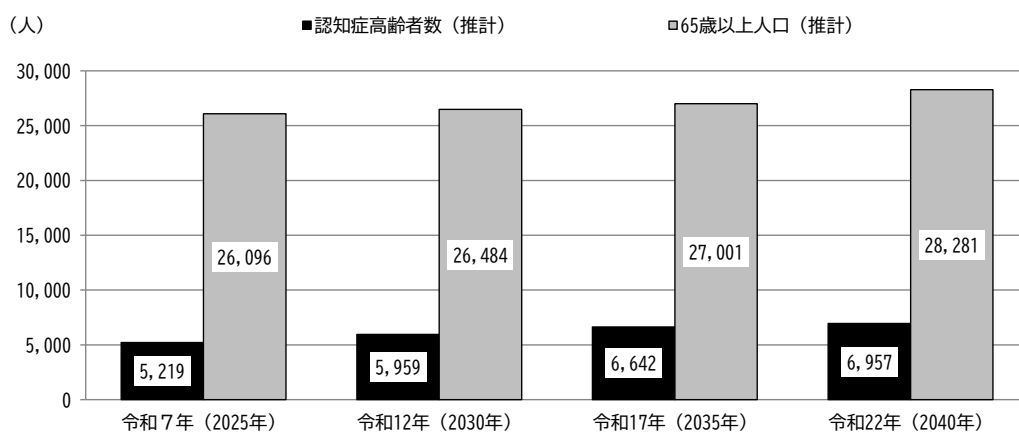
会・グループ	割合 (%)
① ボランティアのグループ	6.0
② スポーツ関係のグループやクラブ	14.3
③ 趣味関係のグループ	14.6
④ 学習・教養サークル	3.1
⑤ 介護予防のための通いの場	16.1
⑥ 老人クラブ	3.3
⑦ 町内会・自治会	6.0
⑧ 収入のある仕事	19.5

4 認知症施策の充実

4-1 認知症高齢者の現状

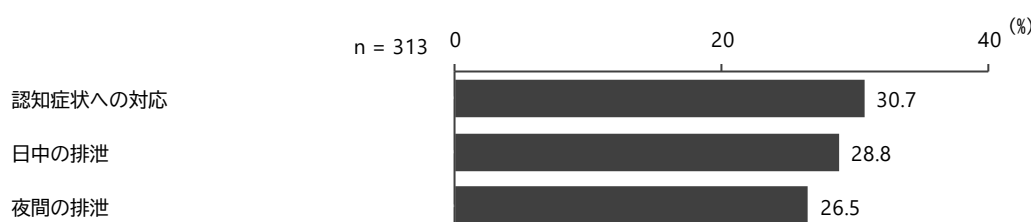
- ▶ 高齢になるほど認知症の発症リスクは高まるといわれています。第10次北上市高齢者福祉計画・第9期北上市介護保険事業計画策定時の推計では、北上市の認知症高齢者数（65歳以上）は令和12年（2030年）に5,959人、令和22年（2040年）には6,957人になると予測されています。
- ▶ 在宅介護実態調査においては、介護者が不安に感じる介護として、「認知症状への対応」が30.7%と最も高くなっています。今後、認知症高齢者数の増加が見込まれる中で、認知症になっても地域で安心して暮らし続けられるよう、認知症の人や家族の意見を踏まえた支援体制の整備をさらに進める必要があると考えられます。
- ▶ また、ニーズ調査においては、認知症に対するイメージとして、「認知症になっても、医療・介護などサポートを利用しながら、住み慣れた地域で生活できる」が25.3%と最も高いものの、「認知症になると、身の回りのことが出来なくなり、介護施設に入所する必要がある」、「認知症になると、症状が次第に進み、何もできなくなってしまう」といった、認知症は直ちに重度化し、在宅生活が困難になるという印象が認識されている現状もみられます。認知症の人やその家族が孤立することのない地域社会の実現に向けて、認知症は誰もがなり得る身近なものであること、適切な支援により地域での生活が可能であること等について、広報・啓発活動を推進することも重要であると考えられます。

【統計データ：認知症者高齢者数の推計】

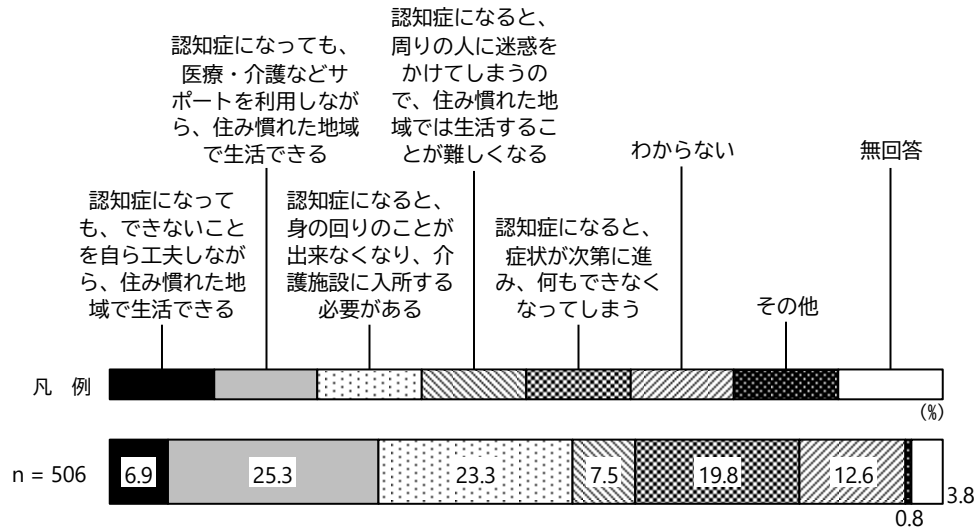


※出典：第10次北上市高齢者福祉計画・第9期北上市介護保険事業計画（令和6年）

【在宅介護実態調査：介護者が不安に感じる介護】 ※上位3位



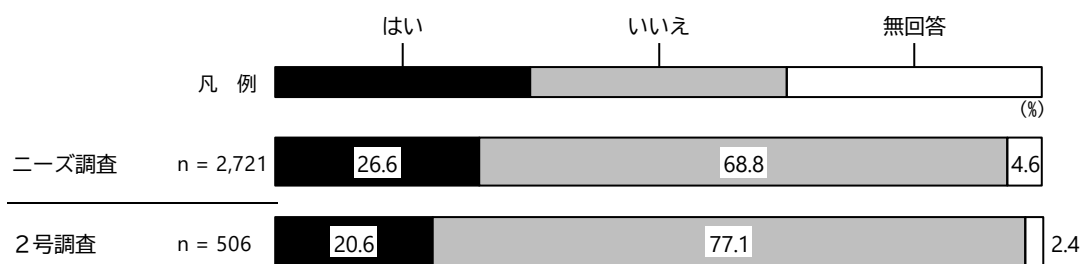
【ニーズ調査：認知症に対するイメージ】



4-2 市の認知症施策に対する認識

- ▶ 認知症に関する相談窓口の認知度について、ニーズ調査、2号調査ともに「いいえ」が「はい」を大きく上回っています。
- ▶ 認知症は早期の気づきと適切な相談・支援につなげることが、その後の生活の質の維持や家族の負担軽減に大きく影響すると考えられることを踏まえ、地域包括支援センターをはじめとする認知症相談窓口の役割や機能について、市広報紙やホームページ、出前講座、関係機関との連携を通じた情報発信を強化し、市民にとって身近で分かりやすい相談体制の周知に一層取り組む必要があります。

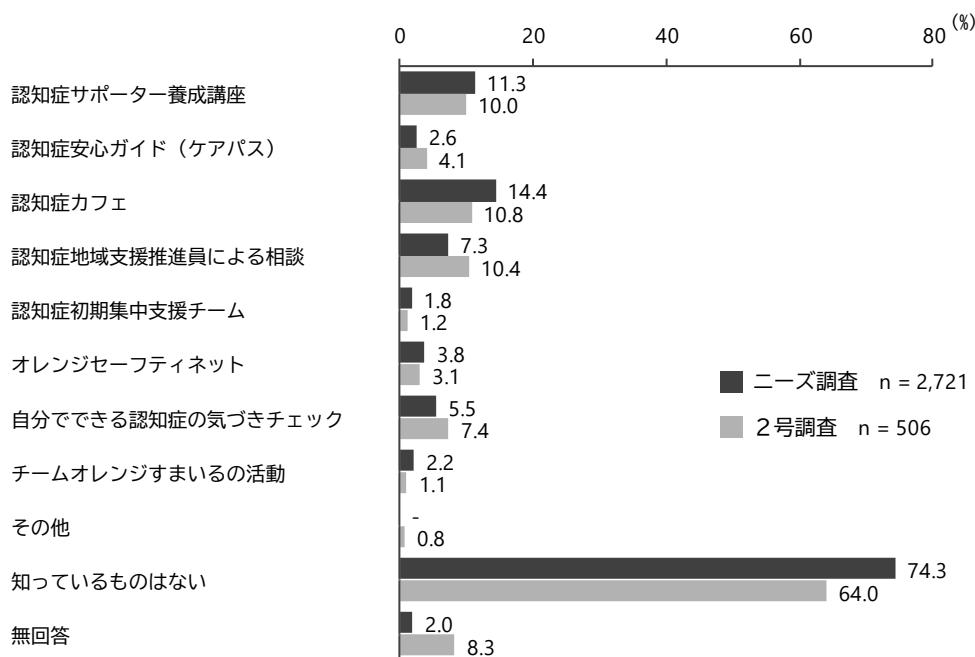
【ニーズ調査・2号調査：認知症に関する相談窓口の認知度】



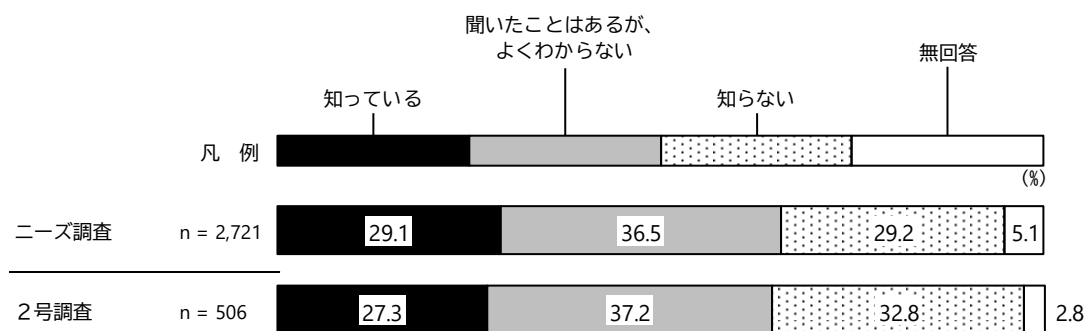
V 調査結果からみえる課題

- ▶ また、北上市の認知症施策の認知状況についてみると、ニーズ調査、2号調査ともに「知っているものはない」が6割以上となっています。
- ▶ 併せて、判断能力が不十分となった高齢者や障がいのある方の権利擁護に関連する成年後見制度についても、ニーズ調査、2号調査ともに認知度が低い状況がみられます。
- ▶ 認知症は高齢期に限った問題ではなく、40～64歳の世代は親世代の介護を担う立場となる可能性が高いことを踏まえ、将来的な介護負担の軽減や早期相談の促進の観点からも、認知症に関する基礎的理解や支援制度の認知を高めることが必要であると考えられます。

【ニーズ調査・2号調査：北上市の認知症施策の認知状況】



【ニーズ調査・2号調査：成年後見制度の認知度】

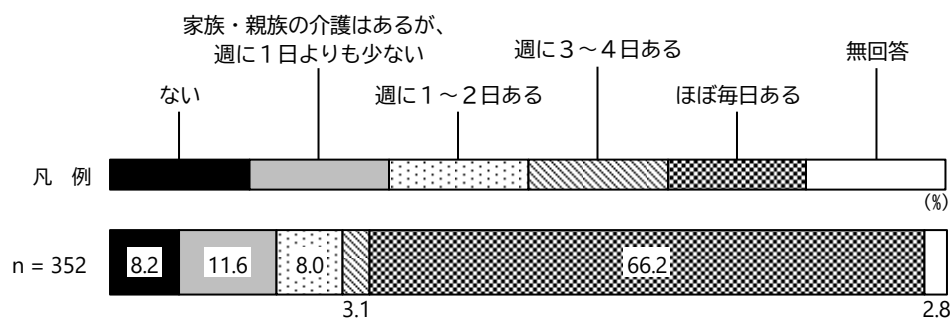


5 在宅生活の継続と介護者への支援

5-1 在宅生活の継続

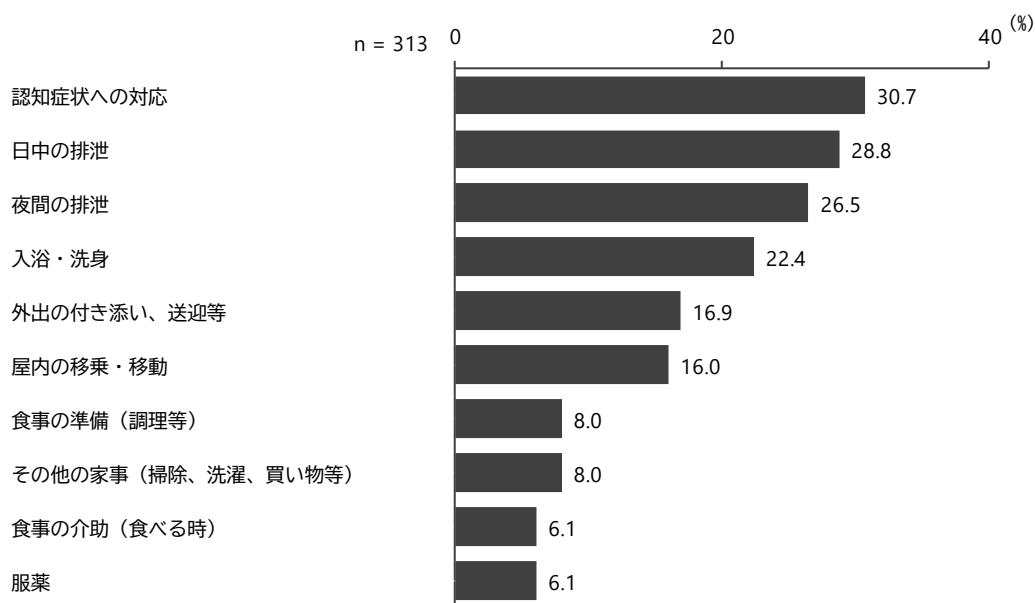
- ▶ 在宅介護実態調査における、家族等からの介護の頻度については、対象者の6割以上がほぼ毎日介護を受けられている状況です。現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等については、先述した「認知症状への対応」のほか、排泄や入浴などのお世話、移動に関する支援など、様々な内容で介護に不安を抱えていることがわかります。
- ▶ 今後の在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービスとしては、「外出同行（通院、買い物など）」や「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」の移動支援に関する項目が上位となっています。また、ニーズ調査において、外出を控えている高齢者が、外出を控えている理由の第2位として「交通手段がない」ことが挙げられており、在宅介護を支える視点と高齢者の社会参加を促進する視点の双方から、外出・移動に関する支援の充実が求められていると考えられます。
- ▶ 在宅生活の継続における課題は、身体機能の低下、認知機能の変化、外出や社会参加の制約といった複合的な要因によって構成されていることを踏まえ、各種ニーズを踏まえながら、訪問系サービスや通所系サービスの充実、認知症支援体制の強化、移動支援の確保など、多様なニーズに対応できるサービス基盤の整備を検討していくとともに、相談支援機能の強化を図り、本人と家族双方を支える体制づくりを推進していく必要があると考えられます。

【在宅介護実態調査：家族等からの介護頻度】

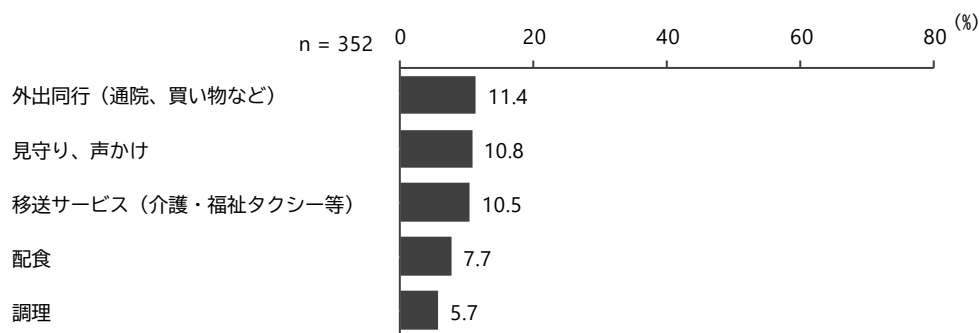


V 調査結果からみえる課題

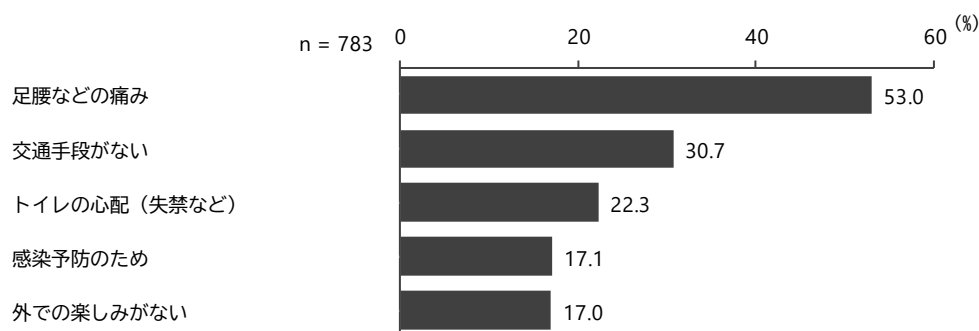
【在宅介護実態調査：現在の生活を継続していくにあたって、
主な介護者の方が不安に感じる介護等】※上位 10 位



【在宅介護実態調査：今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス
（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）】※上位 5 位

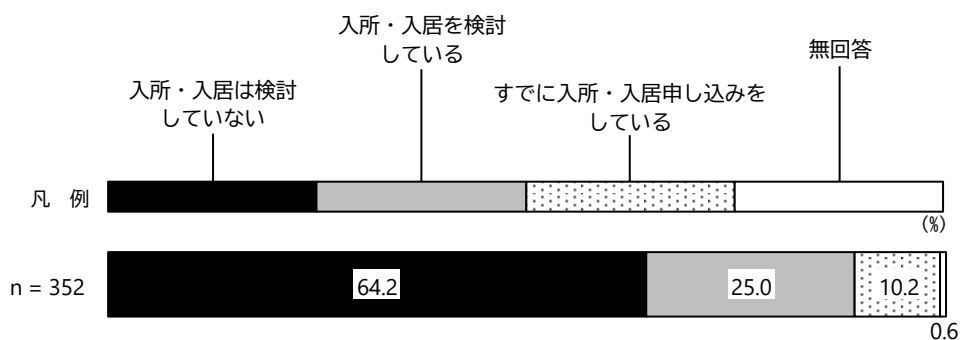


【ニーズ調査：外出を控えている方が、外出を控える理由】※上位 5 位

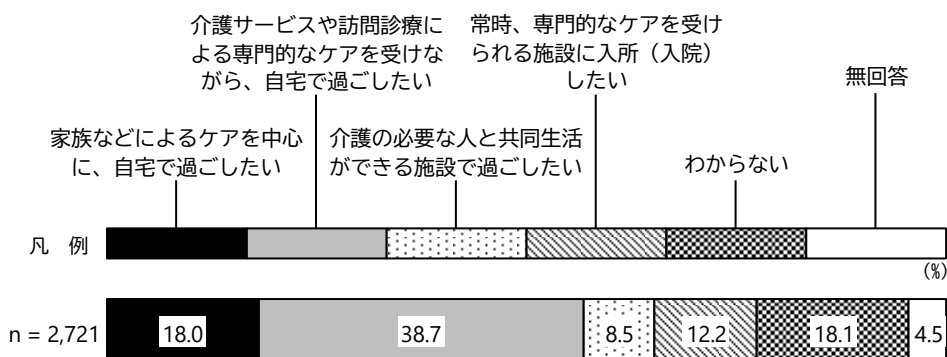


- ▶ 在宅介護実態調査における、施設等への入所・入居の検討状況については、「入所・入居を検討していない」が64.2%と最も高いものの、「入所・入居を検討している」(25.0%)、「すでに入所・入居申し込みをしている」(10.2%)が合わせて35.2%となっています。
- ▶ また、ニーズ調査においては、介護や医療ケアが必要になった時の暮らし方の希望については、「介護サービスや訪問診療による専門的なケアを受けながら、自宅で過ごしたい」が38.7%と最も高いものの、次いで「家族などによるケアを中心に、自宅で過ごしたい」(18.0%)、「常時、専門的なケアを受けられる施設に入所(入院)したい」(12.2%)となっています。多くの方が可能な限り住み慣れた自宅での生活継続を望んでいることがうかがえる一方で、一定割合の方は施設での生活を希望している状況もみられます。
- ▶ 統計データから、北上市の要支援・要介護者1人あたりの定員をみると、県内市町村や岩手県全体、全国に比べて、「通所系サービス」は地域の要支援・要介護者に対する提供可能な量が多く、「施設サービス」は少ない状況です。在宅生活の継続支援と併せて、今後も施設サービスの需要動向を的確に把握しながら、本人及び家族の状況や意向に応じた選択が可能となるよう、介護サービス基盤の整備を進めていく必要があると考えられます。

【在宅介護実態調査：施設等への入所・入居の検討状況】



【ニーズ調査：自身に介護や医療ケアが必要になった時、どのように暮らしたいと思うか】



V 調査結果からみえる課題

【統計データ：要支援・要介護者1人あたりの定員比較（令和6年時点）】

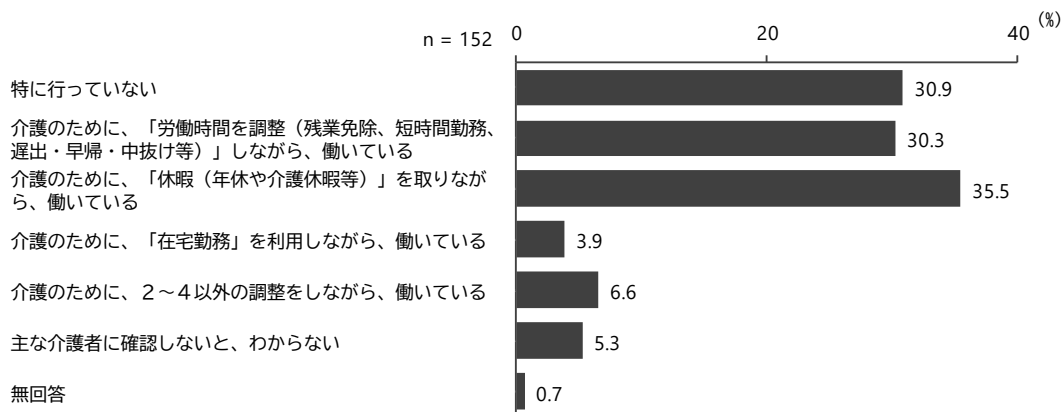
	全国	岩手県	北上市	盛岡市	宮古市	花巻市	奥州市	滝沢市	矢巾町	
施設サービス	(人)	0.154	0.186	0.151	0.155	0.192	0.234	0.185	0.194	0.319
介護老人福祉施設	(人)	0.085	0.093	0.085	0.087	0.114	0.100	0.093	0.077	0.076
介護老人保健施設	(人)	0.052	0.071	0.042	0.052	0.060	0.087	0.054	0.117	0.219
介護療養型医療施設	(人)	0.001	-	-	-	-	-	-	-	-
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	(人)	0.009	0.02	0.024	0.007	0.018	0.047	0.038	-	0.023
介護医療院	(人)	0.007	0.002	-	0.009	-	-	-	-	-
居住系サービス	(人)	0.081	0.051	0.059	0.076	0.059	0.060	0.036	0.045	0.034
特定施設入居者生活介護	(人)	0.047	0.017	0.007	0.047	-	0.027	0.006	0.020	-
認知症対応型共同生活介護	(人)	0.032	0.033	0.046	0.029	0.053	0.034	0.029	0.025	0.034
地域密着型特定居住系入居者生活介護	(人)	0.001	0.002	0.006	-	0.006	-	-	-	-
通所系サービス	(人)	0.215	0.204	0.244	0.248	0.220	0.198	0.200	0.231	0.215
通所介護	(人)	0.112	0.108	0.127	0.138	0.097	0.115	0.117	0.164	0.120
地域密着型通所介護	(人)	0.036	0.031	0.018	0.044	0.045	0.021	0.021	0.019	0.050
通所リハビリテーション	(人)	0.041	0.036	0.055	0.049	0.033	0.034	0.038	0.031	0.018
認知症対応型通所介護	(人)	0.005	0.003	0.003	0.002	0.003	0.004	0.004	-	0.009
小規模多機能型居宅介護（宿泊）	(人)	0.006	0.008	0.008	0.004	0.014	0.007	0.005	0.004	0.006
小規模多機能型居宅介護（通い）	(人)	0.012	0.015	0.018	0.008	0.029	0.013	0.012	0.014	0.012
看護小規模多機能型居宅介護（宿泊）	(人)	0.001	0.001	0.005	0.001	-	0.001	0.001	-	-
看護小規模多機能型居宅介護（通い）	(人)	0.002	0.002	0.009	0.002	-	0.003	0.002	-	-

※出典：地域包括ケア「見える化」システム

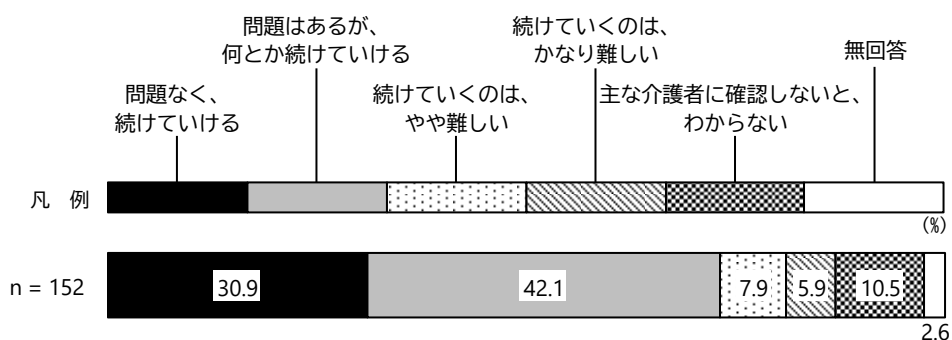
5-2 家族介護者の就労状況

- ▶ 主な介護者の働き方の調整状況については、多くの方が短時間勤務や休暇取得など何らかの調整を行っています。また、今後の仕事の継続については、「続けていくのは、やや難しい」と「続けていくのは、かなり難しい」と回答した方が合わせて13.8%となっており、在宅生活の継続を支えるにあたっては、要介護者本人への支援の充実に加え、介護者の身体的・精神的負担の軽減及び就労継続を支える支援体制が今後も必要であると考えられます。

【在宅介護実態調査：主な介護者の働き方の調整の状況】



【在宅介護実態調査：今後の仕事の継続について】



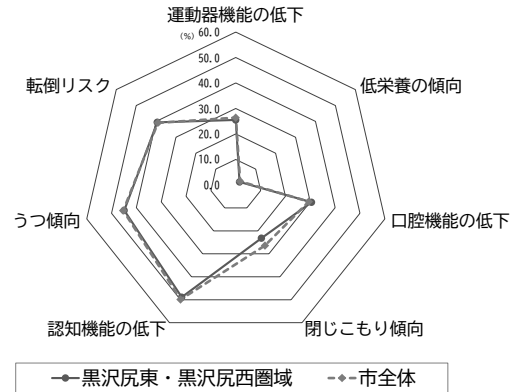
6 圏域別の状況

▶ 日常生活圏域別に、生活機能のリスク該当割合と、「第10次北上市高齢者福祉計画・第9期北上市介護保険事業計画」のビジョン指標に該当する回答結果を以下に整理しました。

6-1 黒沢尻東・黒沢尻西圏域の状況

【ニーズ調査：生活機能リスク該当者】

	市全体	黒沢尻東・黒沢尻西圏域
運動器機能の低下	26.4%	25.5%
低栄養の傾向	2.2%	1.9%
口腔機能の低下	29.4%	30.5%
閉じこもり傾向	26.4%	23.2%
認知機能の低下	49.9%	48.9%
うつ傾向	45.3%	44.9%
転倒リスク	39.1%	39.4%



【ニーズ調査：第10次計画ビジョン指標】

	市全体	黒沢尻東・黒沢尻西圏域	順位／8圏域中
主観的幸福感が高い人の割合(8点以上)	33.8%	32.9%	5番目
健康と感じている人の割合	71.3%	71.5%	3番目
暮らしやすいと感じている人の割合	63.8%	70.3%	1番目
生きがいがある人の割合	50.9%	52.6%	3番目

6-2 黒沢尻北圏域の状況

【ニーズ調査：生活機能リスク該当者】

	市全体	黒沢尻北圏域
運動器機能の低下	26.4%	28.5%
低栄養の傾向	2.2%	1.4%
口腔機能の低下	29.4%	26.1%
閉じこもり傾向	26.4%	23.4%
認知機能の低下	49.9%	45.2%
うつ傾向	45.3%	47.1%
転倒リスク	39.1%	33.3%



【ニーズ調査：第10次計画ビジョン指標】

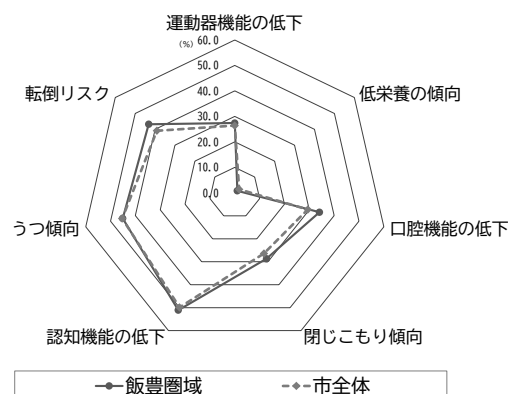
	市全体	黒沢尻北圏域	順位／8圏域中
主観的幸福感が高い人の割合(8点以上)	33.8%	35.7%	2番目
健康と感じている人の割合	71.3%	70.0%	5番目
暮らしやすいと感じている人の割合	63.8%	67.1%	2番目
生きがいがある人の割合	50.9%	51.9%	5番目

V 調査結果からみえる課題

6-3 飯豊圏域の状況

【ニーズ調査：生活機能リスク該当者】

	市全体	飯豊圏域
運動器機能の低下	26.4%	27.4%
低栄養の傾向	2.2%	1.3%
口腔機能の低下	29.4%	34.1%
閉じこもり傾向	26.4%	28.7%
認知機能の低下	49.9%	51.1%
うつ傾向	45.3%	45.1%
転倒リスク	39.1%	43.2%



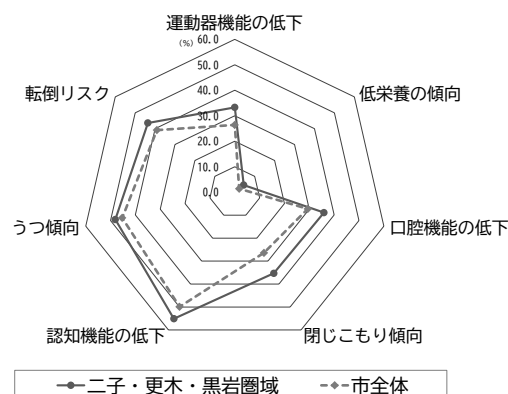
【ニーズ調査：第10次計画ビジョン指標】

	市全体	飯豊圏域	順位 / 8圏域中
主観的幸福感が高い人の割合(8点以上)	33.8%	31.2%	7番目
健康と感じている人の割合	71.3%	69.7%	7番目
暮らしやすいと感じている人の割合	63.8%	60.9%	6番目
生きがいがある人の割合	50.9%	48.6%	7番目

6-4 二子・更木・黒岩圏域の状況

【ニーズ調査：生活機能リスク該当者】

	市全体	二子・更木・黒岩圏域
運動器機能の低下	26.4%	33.3%
低栄養の傾向	2.2%	4.5%
口腔機能の低下	29.4%	35.9%
閉じこもり傾向	26.4%	35.3%
認知機能の低下	49.9%	55.1%
うつ傾向	45.3%	48.1%
転倒リスク	39.1%	43.6%



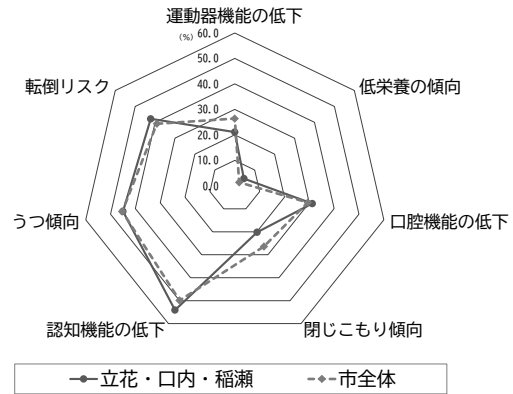
【ニーズ調査：第10次計画ビジョン指標】

	市全体	二子・更木・黒岩圏域	順位 / 8圏域中
主観的幸福感が高い人の割合(8点以上)	33.8%	30.8%	8番目
健康と感じている人の割合	71.3%	69.9%	6番目
暮らしやすいと感じている人の割合	63.8%	64.7%	4番目
生きがいがある人の割合	50.9%	52.6%	3番目

6-5 立花・口内・稲瀬圏域の状況

【ニーズ調査：生活機能リスク該当者】

	市全体	立花・口内・ 稲瀬圏域
運動器機能の低下	26.4%	21.1%
低栄養の傾向	2.2%	4.6%
口腔機能の低下	29.4%	31.2%
閉じこもり傾向	26.4%	20.2%
認知機能の低下	49.9%	54.1%
うつ傾向	45.3%	45.0%
転倒リスク	39.1%	42.2%



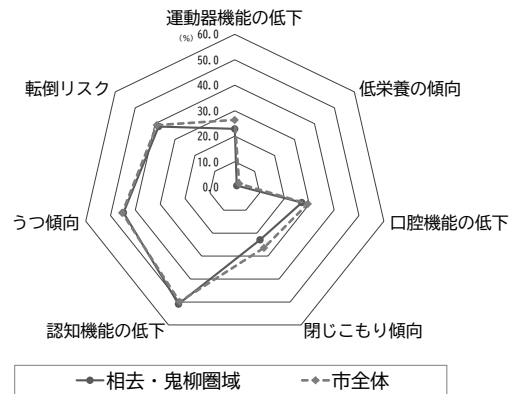
【ニーズ調査：第10次計画ビジョン指標】

	市全体	立花・口内・ 稲瀬圏域	順位／8圏域中
主観的幸福感が高い人の割合(8点以上)	33.8%	34.0%	4番目
健康と感じている人の割合	71.3%	67.9%	8番目
暮らしやすいと感じている人の割合	63.8%	61.5%	5番目
生きがいがある人の割合	50.9%	57.8%	1番目

6-6 相去・鬼柳圏域の状況

【ニーズ調査：生活機能リスク該当者】

	市全体	相去・鬼柳 圏域
運動器機能の低下	26.4%	22.9%
低栄養の傾向	2.2%	1.0%
口腔機能の低下	29.4%	27.0%
閉じこもり傾向	26.4%	22.9%
認知機能の低下	49.9%	50.9%
うつ傾向	45.3%	44.8%
転倒リスク	39.1%	38.2%



【ニーズ調査：第10次計画ビジョン指標】

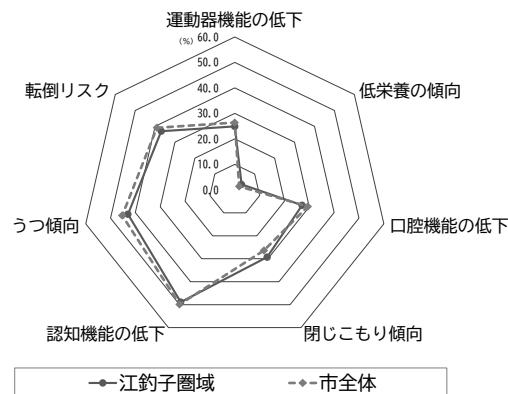
	市全体	相去・鬼柳圏域	順位／8圏域中
主観的幸福感が高い人の割合(8点以上)	33.8%	35.1%	3番目
健康と感じている人の割合	71.3%	73.2%	2番目
暮らしやすいと感じている人の割合	63.8%	59.6%	7番目
生きがいがある人の割合	50.9%	50.9%	6番目

V 調査結果からみえる課題

6-7 江釣子圏域の状況

【ニーズ調査：生活機能リスク該当者】

	市全体	江釣子圏域
運動器機能の低下	26.4%	24.9%
低栄養の傾向	2.2%	3.4%
口腔機能の低下	29.4%	27.1%
閉じこもり傾向	26.4%	29.3%
認知機能の低下	49.9%	48.9%
うつ傾向	45.3%	43.0%
転倒リスク	39.1%	36.9%



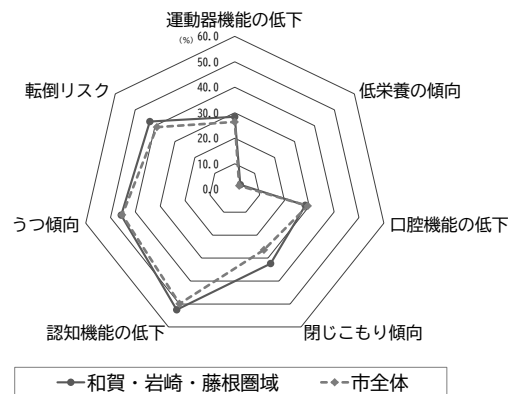
【ニーズ調査：第10次計画ビジョン指標】

	市全体	江釣子圏域	順位 / 8圏域中
主観的幸福感が高い人の割合(8点以上)	33.8%	37.4%	1番目
健康と感じている人の割合	71.3%	74.3%	1番目
暮らしやすいと感じている人の割合	63.8%	65.4%	3番目
生きがいがある人の割合	50.9%	53.1%	2番目

6-8 和賀・岩崎・藤根圏域の状況

【ニーズ調査：生活機能リスク該当者】

	市全体	和賀・岩崎・藤根圏域
運動器機能の低下	26.4%	28.4%
低栄養の傾向	2.2%	2.8%
口腔機能の低下	29.4%	28.4%
閉じこもり傾向	26.4%	32.4%
認知機能の低下	49.9%	52.5%
うつ傾向	45.3%	45.7%
転倒リスク	39.1%	42.6%



【ニーズ調査：第10次計画ビジョン指標】

	市全体	和賀・岩崎・藤根圏域	順位 / 8圏域中
主観的幸福感が高い人の割合(8点以上)	33.8%	32.4%	6番目
健康と感じている人の割合	71.3%	70.6%	4番目
暮らしやすいと感じている人の割合	63.8%	54.0%	8番目
生きがいがある人の割合	50.9%	43.8%	8番目

VI 参考資料

1

調査票（介護予防・日常生活圏域二一ズ調査）

介護保険に関する実態把握調査 （介護予防・日常生活圏域二一ズ調査）

調査への協力をお願いします

日頃より、北上市の行政にご理解とご協力をいただきありがとうございます。
このたびは北上市では、高齢者の方が在宅で自暮らし、安心して暮らすことのできるまちづくりの一層の推進に向けて、「第11次北上市高齢者福祉計画・第10期北上市介護保険事業計画」を策定するにあたり、今後の高齢者保健福祉施策を推進していくための基礎資料を作成することを目的として、本調査を行うこととなりました。
皆さまにおかれましては、大変ご多忙のこと存じますが、本調査の趣意をご理解いただき、調査にご協力いただけますようお願い申し上げます。
なお、ご記入いただいた内容については、統計処理をした上で計画策定以外の目的には利用いたしませんので、率直なご回答をご意見をお聞かせください。

令和7年10月

北上市長 八重樫 浩文

ご回答にあたってのお願い

- この調査は、市内にお住まい（令和7年8月1日現在）の65歳以上（第1号被保険者）で「要介護認定を受けていない方」、または、「要支援1・2認定を受けている方」のうち、無作為に抽出した4,000人を対象としています。
- この調査には、あて名のご本人が回答ください。
- （ご本人が回答：記入できない場合は、ご家族・ご親族などの方が回答してください）
- このアンケートは、無記名（氏名や住所の記入をしない）でお答えください。
- 次の、①と②どちらか1つの方法で、**11月20日（木）**までにご回答をお願いします。

① アンケート調査票（この冊子）に直接記入し、郵送で回答

- ▶ ホールパン等で記入ください。「Oは1つ」「Oはいくつでも」等の表記に従って、該当する番号にOをつけてください。一部、数字等を記入いただく欄もございます。
- ▶ 「その他」にOをつけた場合は、その後の（ ）内に具体的な内容を記入してください。
- ▶ 回答終了後、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、郵便ポストにご投函ください。

② インターネット（スマートフォン・PC等）で回答

- ▶ 右の二次元コードまたは下記URLより回答画面にアクセスし、画面の指示に従ってご回答ください。

URL

<https://i090form.jp/form/1t1q/1244469>



※アクセスしたら、
【管理番号（数字5ケタ）】
を入力してください。

【この調査に関する質問・お問い合わせ先】 北上市 福祉部 長寿介護課
電話番号：0197-72-8221（直通） FAX番号：0197-64-0287

本調査に係る個人情報の取扱いについて

本調査に係る個人情報の取扱いについて、以下の事項を必ずご確認ください。
なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものとさせていただきますのでご了承ください。

【個人情報の保護及び使用目的について】

- 本調査で得られた情報を使用するにあたり、被保険者台帳データを利用して集計・分析することがありますのでご了承ください。情報は、北上市における高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定や高齢者等支援施策の検討、介護予防・生活支援の検討の際の基礎資料とすることを目的に使用させていただきます。本人の許可なく、目的以外の使用はいたしません。また、当該情報については、北上市及び当市指定の委託先において適切に管理させていただきます。
- ただし、本調査で得られた情報を使用するにあたり、厚生労働省の管理するデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析するなど、個人が識別されないかたちで利用することがあります。

○以下、記入をお願いします。

記 入 日	令和 7 年 月 日
現在、この調査票にご回答を伺っているのは、どなたですか（Oは1つ）	
1. 調査対象者本人	2. ご家族・ご親族
	3. その他

【②. ご家族・ご親族】にOをつけた方にかかいます】

あて名のご本人からみた続柄にOをつけてください（Oは1つ）

1. 配偶者
2. 子ども（息子・娘）
3. 子ども（息子・娘）の配偶者
4. 孫
5. 兄弟・姉妹（夫または妻の兄弟含む）
6. 親（夫または妻の親含む）

問1 あなたのご家族や生活状況について

- (1) 家族構成を教えてください（Oは1つ）
1. 1人暮らし
 2. 夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）
 3. 夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）
 4. 息子・娘との2世帯
 5. その他（ ）
- (2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか（Oは1つ）
1. 介護・介助は必要ない ⇒ (3) A
 2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない ⇒ 次の(2) ①A
 3. 現在、何らかの介護を受けている ⇒ 次の(2) ②A
(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)

【(2) で「2. 何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない」

「3. 現在、何らかの介護を受けている」を選択した方のみお答えください】

(2) ① 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか (Oはいくつでも)

- | | |
|----------------------|-------------|
| 1. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等) | 9. 腎疾患 (透析) |
| 2. 心臓病 | 10. 視覚・聴覚障害 |
| 3. がん (悪性新生物) | 11. 骨折・転倒 |
| 4. 呼吸器の病変 (肺炎腫・肺気腫等) | 12. 骨粗鬆症 |
| 5. 関節の病変 (リウマチ等) | 13. 高齢による衰弱 |
| 6. 認知症 (アルツハイマー病等) | 14. その他 () |
| 7. パーキンソン病 | 15. 不明 |
| 8. 糖尿病 | |

【(2) で「3. 現在、何らかの介護を受けている」を選択した方のみお答えください】

(2) ② 主にどなたの介護、介助を受けていますか (Oはいくつでも)

- | | | |
|-------------|----------|-----------------|
| 1. 配偶者(夫・妻) | 4. 子の配偶者 | 7. 介護サービスの人(パー) |
| 2. 息子 | 5. 孫 | 8. その他 () |
| 3. 娘 | 6. 兄弟・姉妹 | |

【ここからは、貴ひ全員の状況をお答えください】

(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか (Oは1つ)

- | | | |
|----------|-------------|-------------|
| 1. 大変苦しい | 3. ぶつう | 5. 大変ゆとりがある |
| 2. やや苦しい | 4. ややゆとりがある | |

問2 からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか (Oは1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(2) いすに座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか (Oは1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(3) 15分位続けて歩いていますか (Oは1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか (Oは1つ)

- | | | |
|----------|---------|-------|
| 1. 何度もある | 2. 1度ある | 3. ない |
|----------|---------|-------|

(5) 転倒に対する不安は大きいですか (Oは1つ)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. とても不安である | 3. あまり不安でない |
| 2. やや不安である | 4. 不安でない |

(6) 週に1回以上は外出していますか (Oは1つ)

- | | |
|--------------|----------|
| 1. ほとんど外出しない | 3. 週2~4回 |
| 2. 週1回 | 4. 週5回以上 |

(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか (Oは1つ)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. とても減っている | 3. あまり減っていない |
| 2. 減っている | 4. 減っていない |

(8) 外出を控えていますか (Oは1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

【(8) で「1. はい」(外出を控えている)を選択した方のみお答えください】

(8) ① 外出を控えている理由は、次のどれですか (Oはいくつでも)

- | | |
|--------------------|--------------|
| 1. 病氣 | 7. 外での楽しみがない |
| 2. 障害 (脳卒中の後遺症など) | 8. 経済的に出られない |
| 3. 足腰などの痛み | 9. 交通手段がない |
| 4. トイレの心配(失禁など) | 10. 感染症予防のため |
| 5. 耳の障害 (聞こえの問題など) | 11. その他 () |
| 6. 目の障害 | |

【ここからは、再び全員の方がお答えください】

(9) 外出する際の移動手段は何ですか (Oはいいくつでも)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. 徒歩 | 8. 病院や施設のバス |
| 2. 自転車 | 9. 車いす |
| 3. バイク | 10. 電動車いす (カート) |
| 4. 自動車 (自分で運転) | 11. 歩行器・シルバーカー |
| 5. 自動車 (人に乗せてもらう) | 12. タクシー |
| 6. 列車 (電車) | 13. その他 () |
| 7. 路線バス | |

問3 食べることにについて

(1) 身長・体重を教えてください (数字を記入 小数点以下は不要です)

身長 _____ cm 体重 _____ kg

(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか (Oは1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(3) お茶や汁物等でむせることがありますか (Oは1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(4) 口の渾きが気になりますか (Oは1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(5) 歯の数と入れ歯の利用状況を教えてください (Oは1つ)

(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用 | 3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用 |
| 2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし | 4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし |

(6) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか (Oは1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(7) どなたかと食事をともにする機会がありますか (Oは1つ)

- | | | |
|------------|------------|-----------|
| 1. 毎日ある | 3. 月に何度かある | 5. ほとんどない |
| 2. 週に何度かある | 4. 年に何度かある | |

4

問4 毎日の生活について

(1) 物忘れが多いと感じますか (Oは1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(2) 今日が何月何日かわからない時がありますか (Oは1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(3) バスや列車 (電車) を使って1人で外出していますか (自家用車でも可) (Oは1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(4) 自分で食品・日用品の買物をしていますか (Oは1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(5) 自分で食事の用意をしていますか (Oは1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(6) 自分で請求書の支払いをしていますか (Oは1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(7) 自分で預貯金の出し入れをしていますか (Oは1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(8) 生きがいがありますか (Oは1つ、ある場合は生きがいを記入)

- | | |
|-----------|------|
| 1. 生きがいあり | →() |
| 2. 思いつかない | |

5

問5 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にとのくらの頻度で参加していますか

(①～⑧それぞれあてはまるもの1つに○)

	週4回 以上	週2～ 3回	週1回	月1～ 3回	年に 数回	参加して いない
① ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
② スポーツ関係のグループや クラブ	1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④ 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤ 「ふれあいデイサービス」 「いきいき百歳体操」などの 介護予防のための通いの場	1	2	3	4	5	6
⑥ 老人クラブ・婦人会等の 団体	1	2	3	4	5	6
⑦ 町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧ 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

(2) 近所付き合いをどの程度していますか (○は1つ)

1. 困ったときお互いに助け合える人がいる
2. 話をする人はいるが、困ったときに助け合う人はいない
3. あいさつをする程度である
4. 近所付き合いをほとんどしていない

(3) お住まいの地域での高齢者への声かけや訪問などの活動に参加したいと思いますか

(○は1つ)

1. 参加したい
2. 参加したくない

(4) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか (○は1つ)

1. ぜひ参加したい
2. 参加してもよい
3. 参加したくない
4. 既に参加している

6

(5) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営 (お世話役) として参加してみたいと思いますか (○は1つ)

1. ぜひ参加したい
2. 参加してもよい
3. 参加したくない
4. 既に参加している

【(4) または (5) で「3. 参加したくない」と回答した方のみお答えください】

(5) ① 地域での活動に参加したくない理由を教えてください (○はいくつでも)

1. 仕事などが忙しく、まったく時間がとれないから
2. 時間をとれないことはないが、時間があれば休養などにあてたいから
3. 参加したいと思う活動がないから
4. 自宅の近くに活動の場がないから
5. 団体活動はわずらわしいから、一人でできる趣味などがあるから
6. どんな団体や活動があるのかわからないから
7. 職場などでサークル活動などに参加しているから
8. 職場などでサークル活動などに参加しているから
9. 健康や体力に自信がないから
10. 地域の活動には関心がないから (送迎や誰かの手助けが必要)
11. その他 ()

問6 就労について

(1) 現在のあなたの就労状態はどれですか (○はいくつでも)

1. 職に就いたことがない
2. 引退した
3. 常勤 (フルタイム)
4. 非常勤 (パート・アルバイト等)
5. 自営業
6. 求職中
7. その他

【(1) で「2. 引退した」を選択された方のみお答えください】

(1) ① あなたはいつ引退しましたか (引退した年を数字で記入)

1. 昭和 _____ 年
2. 平成 _____ 年
3. 令和 _____ 年

7

問7 たすけあいについて
あなたとまわりの人の「たすけあい」についてお答えください

- (1) あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人 (Oはいくつでも)
- | | | |
|-----------|----------------|---------------|
| 1. 配偶者 | 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 7. その他 () |
| 2. 同居の子ども | 5. 近隣 | 8. そのような人はいない |
| 3. 別居の子ども | 6. 友人 | |
- (2) 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人 (Oはいくつでも)
- | | | |
|-----------|----------------|---------------|
| 1. 配偶者 | 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 7. その他 () |
| 2. 同居の子ども | 5. 近隣 | 8. そのような人はいない |
| 3. 別居の子ども | 6. 友人 | |
- (3) あなたが病気で数日間寝込んだ時に、看病や世話をしてくれる人 (Oはいくつでも)
- | | | |
|-----------|----------------|---------------|
| 1. 配偶者 | 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 7. その他 () |
| 2. 同居の子ども | 5. 近隣 | 8. そのような人はいない |
| 3. 別居の子ども | 6. 友人 | |
- (4) 反対に、看病や世話をしてくれる人 (Oはいくつでも)
- | | | |
|-----------|----------------|---------------|
| 1. 配偶者 | 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 7. その他 () |
| 2. 同居の子ども | 5. 近隣 | 8. そのような人はいない |
| 3. 別居の子ども | 6. 友人 | |
- (5) 家族や友人・知人以外で、何かあった時に相談する相手を教えてください (Oはいくつでも)
- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 自治会・町内会・老人クラブ | 5. 地域包括支援センター・市役所 |
| 2. 社会福祉協議会・民生委員 | 6. その他 |
| 3. ケアマネジャー | 7. そのような人はいない |
| 4. 医師・歯科医師・看護師 | |
- (6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか (Oは1つ)
- | | | |
|------------|------------|-----------|
| 1. 毎日ある | 3. 月に何度かある | 5. ほとんどない |
| 2. 週に何度かある | 4. 年に何度かある | |

問8 健康について

- (1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか (Oは1つ)
- | | | | |
|----------|---------|------------|---------|
| 1. とてもよい | 2. まあよい | 3. あまりよくない | 4. よくない |
|----------|---------|------------|---------|
- (2) あなたは、現在どの程度幸せですか
 「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、あてはまる点数1つにO)
 とても不幸 ←————→ とても幸せ
- | | | | | | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 0点 | 1点 | 2点 | 3点 | 4点 | 5点 | 6点 | 7点 | 8点 | 9点 | 10点 |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
- (3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか (Oは1つ)
- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|
- (4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか (Oは1つ)
- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|
- (5) お酒は飲みますか (Oは1つ)
- | | |
|-----------|-------------|
| 1. ほぼ毎日飲む | 3. ほとんど飲まない |
| 2. 時々飲む | 4. もともと飲まない |
- (6) タバコは吸っていますか (Oは1つ)
- | | |
|--------------|---------------|
| 1. ほぼ毎日吸っている | 3. 吸っていたがやめた |
| 2. 時々吸っている | 4. もともと吸っていない |

(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (〇はいくつでも)

1. ない	11. 外傷 (転倒・骨折等)
2. 高血圧	12. がん (悪性新生物)
3. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	13. 血液・免疫の病気
4. 心臓病	14. うつ病
5. 糖尿病	15. 認知症 (アルツハイマー病等)
6. 高脂血症 (脂質異常症)	16. パーキンソン病
7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)	17. 目の病気
8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気	18. 耳の病気
9. 腎臓・前立腺の病気	19. その他 ()
10. 筋骨格の病気 (骨粗しょう症・関節症等)	

(8) 今後、あなた自身に介護や医療ケアが必要になった時、どのように暮らしたいと思いますか (〇は1つ)

1. 家族などによるケアを中心に、自宅で過ごしたい
2. 介護サービスや訪問診療による専門的なケアを受けながら、自宅で過ごしたい
3. 介護が必要な人と共同生活ができる施設で過ごしたい
4. 常時、専門的なケアを受けられる施設に入所 (入居) したい
5. わからない

→ 【(8) で「3.」「4.」を選択された方のみお答えください】

(8) ① 今後、もしあなたが施設で生活、施設に入所 (入院) することになった場合、どのような基準で選ぶと思いますか (〇は1つ)

1. すぐに入所できること	4. 通所中の病院や診療所と連携がとれていること
2. 自宅から近いこと	5. 費用が安いこと
3. 子どもの自宅から近いこと	6. その他 ()

【ここからは、再び全員の方がお答えください】

(9) 介護や医療ケアの選択を自分自身で判断できなくなった時に備え、考えたり話し合ったりしていますか (〇は1つ)

1. 自分で考えたり、家族と話し合ったりして備えている
2. 誰かと話し合ったりはしていないが、自分で考え備えている
3. これから考えたいが、今はまだできていない
4. 備えるつもりはない

(10) 今後、もしあなたに介護や医療ケアが必要になった場合、住み慣れた地域で暮らし続けるため必要になりそうだと思うものは何ですか (〇は3つまで)

1. 話し相手	7. 民生委員等の地域での見守り
2. 災害などの緊急時の避難の手助け	8. 地域の人からの支援
3. 医療機関への通院の介助	9. お弁当などの配達サービス
4. 買い物への付添い	10. 金銭管理についてのアドバイス
5. 趣味や習い事の余暇が楽しめること	11. 服薬管理などのアドバイス
6. 住診してもらえること	12. 事前に家族間で話し合うこと
13. その他 ()	

問9 認知症について

(1) 認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいますか (〇は1つ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか (〇は1つ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

(3) 認知症が心配になった時、どこ・誰に相談するとよいと思いますか (〇はいくつでも)

1. かかりつけ病院の医師
2. 家族や知人
3. 認知症専門病院 (脳神経外科、脳神経内科、精神科等)
4. 市役所
5. 地域包括支援センター
6. 担当ケアマネジャー
7. どこに相談したらよいかわからない。または相談できる人はいない
8. その他 ()

(4) あなたは認知症に対してどのようなイメージを持っていますか (Oは1つ)

1. 認知症になっても、できないことを自ら工夫しながら、住み慣れた地域で生活できる
2. 認知症になっても、医療・介護などサポートを利用しながら、住み慣れた地域で生活できる
3. 認知症になると、身の回りのことが出来なくなり、介護施設に入所する必要がある
4. 認知症になると、周りの人に迷惑をかけてしまうので、住み慣れた地域では生活することが難しくなる
5. 認知症になると、症状が次第に進み、何もできなくなってしまう
6. わからない
7. その他()

(5) もし、あなたが認知症になったらしたら、どのように暮らしたいと思いますか (Oは1つ)

1. 認知症になっても、できないことを自ら工夫しながら、住み慣れた地域で生活したい
2. 認知症になっても、医療・介護などサポートを利用しながら、住み慣れた地域で生活したい
3. 介護施設に入所したい
4. 誰にも迷惑をかけたくないで、一人で暮らしたい
5. わからない
6. その他()

(6) 自分や大切な人が認知症になったらしたら、心配なことや不安に感じることは何ですか (Oはいくつでも)

1. 身近な人への身体的・精神的な負担
2. 頼れる人の存在
3. 認知症の相談場所
4. 友人との交流や趣味などの活動の継続
5. 経済状況
6. 仕事の継続
7. 現在の住居での生活の継続
8. これからの症状や病気の進行
9. 詐欺被害
10. わからない
11. その他()

(7) 自分や大切な人が認知症になったらとしても、安心して、希望をもって暮らしていくために大切なことは何ですか (Oはいくつでも)

1. 周りの人(隣近所、学校・近所など)が認知症を理解し、見守ってくれる
2. 大切な人や、信頼できる人の存在
3. 利用できる医療・介護サービスの内容を十分に理解し、今後の生活のイメージや見通しをつけることができる
4. 認知症のことや介護のことを、一緒に考え、寄り添ってくれる支援者がいる
5. 同じ立場の仲間が集い、交流できる場所がある
6. 趣味やこれまで続けてきたことを続けるためのサポートがある
7. わからない
8. その他()

(8) 北上市が実施する認知症に関する取り組みの中で、知っているものを教えてください (Oはいくつでも)

- | | |
|--------------------|--------------------------------------|
| 1. 認知症サポーター養成講座 | 6. オンラインセミナーネット
(高齢者の行方不明者捜索システム) |
| 2. 認知症安心カード(ケアパス) | 7. 自分でできる認知症の気づきチェック |
| 3. 認知症カフェ | 8. チームオンラインするまいるの活動 |
| 4. 認知症地域支援推進員による相談 | 9. その他() |
| 5. 認知症初期集中支援チーム | 10. 知っているものはない |

(9) 認知症について知りたい、学びたいと思いますか (Oは1つ)

1. 思う
2. どちらかというところ思う
3. どちらかというところ思わない
4. そう思わない

【(9)で「1. 思う」「2. どちらかというところ思う」と回答した方のみお答えください】

- (9) ① どのようなことを学びたいと思いますか (Oはいくつでも)
- | | |
|-----------------------|------------------|
| 1. 認知症の症状について | 6. 権利擁護支援について |
| 2. 認知症の人への対応や支援について | 7. 認知症の予防について |
| 3. 介護の方法について | 8. 社会参加や活動の場について |
| 4. 利用できる介護サービスや制度について | 9. 認知症の治療について |
| 5. 施設や事業所の情報について | 10. その他() |

問 10 北上市の高齢者施策について

(1) 北上市では、高齢者の総合相談窓口として「地域包括支援センター」を開設しています。あなたは、地域包括支援センターを知っていますか (Oは1つ)

- 1. 知っているし、相談したことがある
- 2. 知っているが、相談したことはない
- 3. 知らない

(2) あなたは介護保険制度についてどれくらい知っていますか (Oは1つ)

- 1. 利用方法やサービス内容について知っている
- 2. 部分的には知っているが、詳細については説明がないとわからない
- 3. 聞いたことや説明を受けたことはあるが、内容は理解していない
- 4. まったく知らない

(3) 北上市の高齢者を対象としたサービスや施設に満足していますか (Oは1つ)

- 1. 満足している
- 2. やや満足している
- 3. やや不満足である
- 4. 不満足である

(4) 北上市は、あなたや同世代にとって暮らしやすいと思いますか (Oは1つ)

- 1. 暮らしやすいと思う
- 2. どちらかといえば、暮らしやすいと思う
- 3. どちらかといえば、暮らしにくいと思う
- 4. 暮らしにくいと思う

(5) 日常生活で困っていることはありますか (Oは3つまで)

- | | |
|----------------------|---------------------------------|
| 1. 大掃除や布団干しなどの力仕事 | 9. 花壇の水やりや電球の交換などの家の手入れ |
| 2. 除雪や雪下ろし | 10. 自動車や電車、バスを利用して遠出をすること |
| 3. 友人や知人とのつなかりの減少 | 11. 病院から処方されている薬の管理 |
| 4. 余暇を過ごすための趣味や楽しみ不足 | 12. 預貯金の管理や、公共料金の支払いなどのお金に関すること |
| 5. 買物や通院などの近所への外出 | 13. 猫や犬などのペットの世話 |
| 6. 田んぼや畑などの管理 | 14. その他 () |
| 7. 掃除や炊事などの日常的な家事 | 15. 特になし |
| 8. コミの分別やゴミ出し | |

【(5) ①と (5) ②は、(5) で「1.」～「14.」を選択された方のみお答えください】

(5) ① 日常生活で困っていることの原因は何だと思いますか (Oは3つまで)

- 1. 体が思うように動かない
- 2. 新しいことが覚えられない
- 3. 自宅や周囲の環境がバリアフリーになっていない
- 4. 身近に相談できる人がいない
- 5. 何をすることも面倒だから
- 6. やったことがないから
- 7. その他 ()

(5) ② 日常生活で困っていることは、普段どのように解決していますか (Oは3つまで)

- 1. 解決できずに困っている
- 2. 自分でできる範囲で何とかしている
- 3. 家族や親族の手助けを受けている
- 4. 友人や地域の人の手助けを受けている
- 5. ホウソクケアの手助けを受けている
- 6. 介護サービスなどのサービスを利用している
- 7. その他 ()

【ここからは、再び全員の方がお答えください】

(6) 高齢者にとって暮らしやすいまちになるために、北上市が重点的に進めるべきことは何だ
と思いますか (Oは3つまで)

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 1. 地域のつながりの活性化 | 8. 生きがいづくりや就労支援の充実 |
| 2. 気軽に相談できる窓口の充実 | 9. 高齢者向け住宅の整備 |
| 3. 健康づくりや医療面の充実 | 10. 高齢者が利用しやすい設備・施設の整備 |
| 4. ホームヘルパー等の訪問介護・サービスの充実 | 11. 住民同士で支え合う生活支援サービスの充実 |
| 5. ティサービス等の通所介護サービスの充実 | 12. その他 () |
| 6. 入所する介護施設数の増加 | 13. 特になし |
| 7. ヘルパーやボランティアの育成 | 14. わからない |

問 11 成年後見制度の認知について

(1) 「成年後見制度」について知っていますか (Oは1つ)

1. 知っている
2. 聞いたことはあるがよくわからない
3. 知らない

■成年後見制度
認知症などによって判断能力が低下した場合に、その人をサポートする成年後見人を家庭裁判所が選任、選ばれた成年後見人に財産などの管理や、施設等入居の契約、市役所での各種手続き等をしてもらう制度です。

(2) 北上市の成年後見制度の相談窓口は、市役所長兼介護課にある「北上市権利擁護支援センター」ですが、知っていますか (Oは1つ)

1. 知っている
2. 知らない

(3) 今後、成年後見制度について、相談してみたいと思いますか (Oは1つ)

1. 相談したい
2. 今はまだ相談の必要はないが、いずれ相談したい
3. 相談するつもりはない
4. その他 ()

問 12 北上市の独自の施策について

(1) あなたは、適切なトレーニングを行うことで、高齢になっても、介護の支援を利用せずに生活できる体づくりができることを知っていますか (Oは1つ)

1. 知っているし、実践している
2. 聞いたことはあるが、実践していない
3. 聞いたことはないが、関心がある
4. 聞いたことはなく、関心もない

(2) 「きたかみいきいき体操 (いきいき百歳体操)」について知っていますか (Oは1つ)

1. 知っているし、やっている
2. 知っているが、やっていない
3. 知らない、聞いたことがない

<p>■北上ケーブルテレビで放送中 毎日1回 9時00分～9時30分</p> 	<p>■YouTube 北上市公式チャンネル https://www.youtube.com/watch?v=NQW1B8Gh8Q8k</p> 
--	---

(3) あなたは、「総活※」について関心がありますか (Oは1つ)



1. 既に「総活」を行っている
2. 近い内に「総活」を始める予定である
3. 時期が来れば「総活」を行いたい
4. 「総活」を行うつもりはない

※総活とは、人生の最期を迎えるにあたってのさまざまな準備や人生の総括のことです

(4) あなたは、「わたしのきぼうノート」を知っていますか (Oは1つ)

1. 知っているし、実践している
2. 聞いたことはあるが、実践していない
3. 聞いたことはないが、関心がある
4. 聞いたことはなく、関心もない

■わたしのきぼうノート
北上市が独自に作成している、
生き方について話し合うためのノートです。

(5) あなたは、どこで人生の最期を迎えたいと思いますか (Oは1つ)

- | | |
|----------------|----------|
| 1. 自宅 | 4. その他 (|
| 2. 施設 (老人ホーム等) | 5. わからない |
| 3. 病院 | |

■■■■以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました■■■■

- ・長時間のご協力ありがとうございました。記入もれがないか、再度お確かめください
- ・郵送で回答いただく場合、記入した調査票は切りの雑すことなく、同封した返信用封筒に入れて、**11月20日(木)**までに投函してください
- ・返信用封筒に、この調査票のみを入れてご投函ください

2 調査票（第2号被保険者調査）

令和7年度 北上市 介護保険に関する実態把握調査

調査へのご協力をお願いします

日頃より、北上市の行政に、ご理解・ご協力を賜り、心から御礼申し上げます。
このたび北上市では、高齢者の方が在宅で自分らしく、安心して暮らすことのできるまちづくりの一層の推進に向けて、「第11次北上市高齢者福祉計画・第10期北上市介護保険事業計画」を策定するにあたり、今後の高齢者保健福祉施策を推進していくための基礎資料を作成することを目的として、本調査を行うこととなりました。

なお、ご回答いただいた内容は、皆様の大切な個人情報であるという認識に立ち、北上市個人情報保護条例に基づき適切な管理を行うとともに、すべて統計的に処理し、調査目的以外に使用することはありません。
つきましては、ご多用中、恐縮ではありますが、調査趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。

令和7年10月

北上市長 八重樫 浩文

ご回答にあたってのお願い

- この調査は、市内にお住まい（令和7年8月1日現在）の40歳から64歳までの医療保険加入者（第2号被保険者）の方のうち、無作為に抽出した1,000人を対象に行います。
- この調査には、あて名のご本人が回答ください。
- （ご本人が回答・記入できない場合は、ご家族・ご親族などの方が回答してください）
- このアンケートは、無記名（ほ名や住所の記入をしない）でお答えください。
- 次の、①②どちらか1つの方法で、**11月20日（木）**までにご回答をお願いします。

① アンケート調査票（この冊子）に直接記入し、郵送で回答

- ▶ ポールペン等でご記入ください。IOは1つ IOはいくつでも、等の表記に従って、該当する番号に○をつけてください。一部、数字等をご記入いただく質問もございます。
- ▶ 「その他」に○をつけた場合は、その後の（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
- ▶ 回答終了後、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、郵便ポストにご投函ください。

② インターネット（スマートフォン・パソコン等）で回答

- ▶ 右の二次元コードまたは下記 URL より
回答画面にアクセスし、画面の指示に従ってご回答ください。

URL
<https://1090form.jp/form/1tyq/1244474>



※7桁の暗証番号（上記の
欄に記入してください）
を入力してください。

【この調査に関するご質問・お問い合わせ先】 北上市 福祉部 長寿介護課
電話番号：0197-72-8221（直通） FAX番号：0197-64-0287

○以下、記入をお願いします。

記入日	令和7年	月	日
現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか（○は1つ）			
1. 調査対象者本人	2. ご家族・ご親族	3. その他	

問1 あなた及びご家族について

（1）あなた（宛名のご本人）のことについて、ご回答ください

① 性別	1. 男性	2. 女性	
② 年齢 (○は1つ)	1. 40歳以上44歳以下	4. 55歳以上59歳以下	
	2. 45歳以上49歳以下	5. 60歳以上64歳以下	
	3. 50歳以上54歳以下		
③ 居住地区 (○は1つ)	1. 黒沢尻北	7. 更木	13. 江釣子
	2. 黒沢尻東	8. 黒岩	14. 和賀
	3. 黒沢尻西	9. 口内	15. 岩崎
	4. 立花	10. 稲藪	16. 藤原
	5. 飯豊	11. 相去	
	6. 二子	12. 鬼柳	

（2）あなたの世帯構成について、ご回答ください（○は1つ）

1. ひとりの暮らし	4. 三世帯世帯（本人と親と子と孫）
2. 夫婦のみ世帯	5. 入寮中
3. 二世帯世帯（本人と親または子）	6. その他

（3）あなたの現在のお住まいについて、ご回答ください（○は1つ）

1. 持ち家（一戸建て）	5. 民間賃貸住宅（アパート等の集合住宅）
2. 持ち家（マンション等の集合住宅）	6. 社宅
3. 公営賃貸住宅	7. その他（ ）
4. 民間賃貸住宅（一戸建て）	

（4）あなたの暮らしについて、あてはまるものはどれですか（○は1つ）

1. 豊かな生活であると感じている	3. 生活にゆとりはないが、不自由でもない
2. 豊かではないが、生活にゆとりはある	4. 不自由が多く、生活が苦しい

- (5) あなたが病気や緊急事態のとき、だれ(どこ)に連絡しますか (○はいくつでも)
- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 同居している家族・親族 | 7. 救急 (消防や病院) |
| 2. 別居している家族・親族 | 8. 民生委員・児童委員 |
| 3. 隣近所の人 | 9. 保健センター |
| 4. 市内の友人・知人 | 10. 地域包括支援センター |
| 5. 市外の友人・知人 | 11. その他 () |
| 6. かかりつけの医師 | 12. 特に誰もいない |

問2 北上市の福祉施策について

(1) 現在、市では以下の保健福祉サービスを実施しております。
サービスそれぞれについて、ご回答ください (○はそれぞれの項目で1つ)

サービスの種類	利用している	今後利用したいと思う	今後利用したいと思うが、知らなかつたが、今後利用する予定はない	知っているが、今後利用する予定もない	知らなかつたが、今後利用する予定もない
記入例	1	②	3	4	5
① 「健康教室」や「健康相談」	1	2	3	4	5
② 健康診査	1	2	3	4	5
③ かん検診	1	2	3	4	5
④ 訪問指導	1	2	3	4	5
⑤ 歯の検診・相談	1	2	3	4	5
⑥ 配食サービス	1	2	3	4	5
⑦ 緊急時通報システムの設置	1	2	3	4	5
⑧ 介護用品の支給	1	2	3	4	5
⑨ 介護予防教室 (運動・栄養・口腔・認知症)	1	2	3	4	5

※ サービスの詳細については、巻末の用語の説明を参照ください。

- (2) あなたは介護保険制度についてどれくらい知っていますか (○は1つ)
- | |
|-----------------------------------|
| 1. 利用方法やサービス内容について知っている |
| 2. 部分的には知っているが、詳細については説明が無いとわからない |
| 3. 聞いたことや説明を受けたことはあるが、内容は理解していない |
| 4. まったく知らない |

【(2)で「1.」～「3.」を選択した方のみお答えください】
(2)① あなたはどのような場面で介護保険制度について知りましたか (○はいくつでも)

- | |
|------------------------------|
| 1. 親や親族の介護が必要になった時に知った |
| 2. 自身の介護 (介護認定) が必要になった時に知った |
| 3. 市の広報紙やホームページなどの情報から知った |
| 4. テレビや新聞などの報道から知った |
| 5. 介護や高齢者に係る仕事を通じて知った |
| 6. 自治会・町内会などの地域活動を通じて知った |
| 7. 保険会社等の民間企業の情報から知った |
| 8. その他 (具体的に:) |

(3) あなたは介護保険に関する情報をどのような所から入手したいですか (○はいくつでも)

- | |
|--|
| 1. 市役所などの公的機関の職員から教えて欲しい |
| 2. 専門的な知識をもって相談のつてくれるところから教えて欲しい |
| 3. 自身や介護が必要な家族が住んでいる地域の福祉施設の職員から教えて欲しい |
| 4. 民生委員・児童委員などの市役所から委嘱をうけている住民から教えて欲しい |
| 5. 自治会・町内会などの地域団体の住民から教えて欲しい |
| 6. NPO等の地域活動団体の職員から教えて欲しい |
| 7. 隣近所でも相談のつてくれる知人・友人から教えて欲しい |
| 8. 必要な時きたら自身で調べる |
| 9. わからない |
| 10. 介護保険に関心が無い |

(4) あなたは現在支払っている介護保険料について、どのように思っていますか (○は1つ)

- | | |
|----------------|---------------------|
| 1. 特に負担ではない | 3. 負担ではあるが、支払えなくはない |
| 2. やむを得ない負担である | 4. 負担が大きく、やりくりが難しい |

問3 介護予防について

(1) あなたは、適切なトレーニングを行うことで、高齢になっても、介護の支援を利用せずに生活できる体づくりができていますか (○は1つ)

- 1. 知っているし、実践している
- 2. 聞いたことはあるが、実践していない
- 3. 聞いたことはないが、関心がある
- 4. 聞いたことはなく、関心もない

(2) 市では以下の介護予防のためのプログラムを実施していますが、あなたが「特に」関心があるものをご回答ください (○は3つまで)

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. 筋肉を維持・強化する教室 | 5. 食事や栄養に関する知識を学ぶ教室 |
| 2. 足や腰の痛みをやわらげる教室 | 6. 地域の人と触れ合う教室 |
| 3. 認知症を予防するための教室 | 7. その他 () |
| 4. 転倒による骨折を防ぐ教室 | |

(3) 市では、地域の高齢者福祉の拠点として、「地域包括支援センター」を市内5か所に設置しています。あなたはこれについて知っていますか (○は1つ)

- 1. 相談したことがある
- 2. 行っている事業内容を知っている
- 3. 聞いたことがある
- 4. まったく知らない

問4 日常生活や健康状態について

(1) あなたは普段どれくらいの頻度で外出しますか (○は1つ)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. 週5日以上 | 4. 年に数回程度 |
| 2. 週に2〜4日程度 | 5. ほとんど外出しない |
| 3. 週に1日 | |

(2) あなたが外出する際に日常的に使用する手段は何ですか (○はいくつでも)

- | | |
|-------------------|---------------|
| 1. 徒歩 | 7. 乗合タクシー |
| 2. 自転車 | 8. 電車 (新幹線含む) |
| 3. バイク | 9. 病院や施設のバス |
| 4. 自動車 (自分で運転) | 10. 車椅子 |
| 5. 自動車 (人に乗せてもらう) | 11. タクシー |
| 6. 路線バス・コミュニティバス | 12. その他 () |

(3) あなたの現在の就労日数について、ご回答ください (○は1つ)

※季節によって就労日数に差がある場合は、最も稼働の多い時期でご回答ください

- | | |
|-------------|------------|
| 1. 週5日以上 | 4. 年に数回程度 |
| 2. 週に2〜4日程度 | 5. 就労していない |
| 3. 週に1日程度 | |

(4) あなたは、将来65歳になってからはどのように働きたいですか (○は1つ)

- | | |
|----------------------|---------------|
| 1. 年齢に関わらず毎日働きたい | 3. 働きたいが、働けない |
| 2. 頻度は抑えながらも定期的に働きたい | 4. 働きたくない |

【(4) で「1.」または「2.」を選択した方のみお答えください】

- (4) ① あなたが働き続ける主な理由は何ですか (○は1つ)
- | | |
|-------------|----------------|
| 1. 生活費のため | 4. 生きがいであるため |
| 2. 将来の貯蓄のため | 5. 他にすることがないため |
| 3. 健康維持のため | 6. その他 () |

(5) あなたは現在治療中もしくは経過観察中の病気がありますか (○はいくつでも)

- | | |
|--------------------------|-------------------|
| 1. 高血圧症 | 11. がん (悪性腫瘍) |
| 2. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞など) | 12. 血液・免疫の病気 |
| 3. 心臓病 | 13. うつ病等の精神疾患 |
| 4. 糖尿病 | 14. パーキンソン病等の神経難病 |
| 5. 高脂血症 (脂質異常症) | 15. 目の病気 |
| 6. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎など) | 16. 耳・鼻の病気 |
| 7. 胃腸・肝臓・胆のうの病気 | 17. 歯の病気 |
| 8. 腎臓・前立腺の病気 | 18. その他 () |
| 9. 筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節炎など) | 19. 特になし |
| 10. 認知症 (アルツハイマー病など) | |

(6) あなたは過去 1 年間に健診や人間ドックを受けましたか (○は 1 つ)

- | | |
|--------------|------------------|
| 1. 市の健診を受けた | 3. かかりつけの病院等で受けた |
| 2. 職場の健診を受けた | 4. 受けていない |

【(6) で「4. 受けていない」を選択した方のお答えください】

(6) ① あなたが健診や人間ドックを受けなかった最も大きな理由は何ですか (○は 1 つ)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 時間がなかった | 5. 健診があることを知らなかった |
| 2. 検査結果が悪いと怖い | 6. 健康に自信があるので必要ない |
| 3. 入院中・自宅療養中だった | 7. その他 () |
| 4. 費用 (自己負担) がかかる | |

(7) あなたが健康のために「特に」意識して取り組んでいることはありますか (○は 3 つまで)

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1. スポーツ等の高負荷の運動 | 10. 趣味や楽しみを持つ |
| 2. 散歩やウォーキング等の低負荷の運動 | 11. 自治会・町内活動への社会参加 |
| 3. 食事 (栄養バランスや摂取量) | 12. 園路きの励行 |
| 4. 規則正しい生活 | 13. 文章を書くなどの脳のトレーニング |
| 5. 心の健康づくり (ストレッチ解消など) | 14. 家事 (調理・洗濯・掃除など) |
| 6. 飲酒を控える | 15. 意識して外出する |
| 7. タバコを控える | 16. その他 () |
| 8. ホンテレアプ等への参加 | 17. 特にない |
| 9. 定期的な通院 (健康診断含む) | |

【(7) で「17. 特にない」を選択した方のお答えください】

(7) ① あなたが健康づくりに取り組んでいない理由は何ですか (○はいくつでも)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 何をしたらいいかわからない | 6. 気持ちや体力に余裕がない |
| 2. どこで実施できるかわからない | 7. 取り組んでも効果がないと思う |
| 3. 時間がない | 8. 必要性を感じない |
| 4. 教えてくれる人がいない | 9. その他 () |
| 5. ひどいでは継続できない | |

問5 生きがいや社会参加について

(1) あなたは日中を主にどのように過ごしていますか (○は 1 つ)

- | | |
|----------------------|-------------|
| 1. 職場などで同僚といることが多い | 4. ひどいことが多い |
| 2. 家族といることが多い | 5. その他 () |
| 3. 隣近所の知人・友人といることが多い | |

(2) あなたが生きがいや楽しみのためにやっていることは何ですか (○は 3 つまで)

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 家族との団らん | 7. 友人・知人と過ごすこと |
| 2. 趣味・習い事 | 8. 自治会・町内会などの地域活動 |
| 3. 運動 | 9. ホンテレアプ活動に参加すること |
| 4. 旅行・ドライブ | 10. その他 () |
| 5. 実習・おしゃべりに関すること | 11. 特にない |
| 6. 外出 (買い物・映画など) | |

(3) あなたは 65 歳以降の生活をどのように過ごしたいと思いますか (○はいくつでも)

- | |
|------------------------------|
| 1. これまでの経験や知識・資格を活かしながら生活したい |
| 2. 親や孫の世話など、家族のために時間を使いたい |
| 3. 趣味や運動などを楽しみたい |
| 4. ホンテレアプや地域活動に参加したい |
| 5. 健康に気を配りたい |
| 6. 隣近所との交流を深めたい |
| 7. その他 () |

【(3) で「1.」を選択した方のお答えください】

(3) ① あなたが活かしたい知識・資格について教えてください (○はいくつでも)

- | | |
|------------------|------------------------|
| 1. 福祉に関する専門知識 | 6. 栄養や食事に関する専門知識 |
| 2. 法律に関する専門知識 | 7. パソコン等の書類作成に関する技術 |
| 3. 保険や金融に関する専門知識 | 8. SNS等の情報発信に関する技術 |
| 4. 地域内の人脈や調整力 | 9. NPO等の地域活動団体での実務経験 |
| 5. 自動車等の運転に関する技術 | 10. その他 ※下段に具体的に記入ください |
| 具体的に () | |

(4) あなたは地域における人との付き合いや、地域社会とのかわりについてどのように考えていますか。あなたの考えに近いものをご回答ください (○は1つ)

1. 日頃から親しく行き来し、親しく付き合いたい
2. たまにお茶のみなどで行き来する程度でよい
3. たまに立ち話をする程度でよい
4. 会えば挨拶する程度でよい
5. あまり地域の人や隣人と付き合いたくない

(5) あなたやあなたのご家族が、日常生活での介助や支援が必要になった時に、隣近所の知人から手助けをしてもらうことについてどのように思いますか (○は1つ)

1. お願いしたい
2. 少し抵抗があるが、お願いしたい
3. 出来れば専門職の人をお願いしたい
4. 手助けは必要ない

(6) 今後、あなたのお住まいの地域で必要になってくる手助けは何だと思いますか (○はいくつでも)

1. 高齢者などの生活弱者の方の相談や話し相手
2. 買い物や近所の病院への外出などの付添い
3. 簡単な家の修理や掃除、庭の草刈り、除雪などの手伝い
4. 病気などの緊急時の看病や、医者への連絡などへの手助け
5. ひとり暮らしの高齢者や認知症のある人、障害のある人などの見守り
6. 地震などの災害時における安全確認や避難の支援
7. 子どもを預かったり、公園での遊びなどの見守り
8. その他 ()
9. 特にない

問6 今後の意向について

(1) 今後、あなた自身に介護や医療ケアが必要になった時、どのように暮らしたいと思いますか (○は1つ)

1. 家族などによるケアを中心に、自宅で過ごしたい
2. 介護サービスや訪問診療による専門的なケアを受けながら、自宅で過ごしたい
3. 介護の必要な人と共同生活ができる施設で過ごしたい
4. 常時、専門的なケアを受けられる施設に入所 (入院) したい
5. わからない

【(1) で「3.」または「4.」を選択した方のみお答えください】

(1) ① 今後、もしあなたが施設で生活、施設に入所 (入院) することになった場合、どのような基準で選ぶと思いますか (○は1つ)

1. すぐに入所できること
2. 自宅から近いこと
3. 子どもの自宅から近いこと
4. 通院中の病院や診療所と連携がとれていること
5. 費用が安いこと
6. その他 ()

(2) あなたは自身に介護が必要になった時にどのようなことが不安ですか (○はいくつでも)

1. 家族の介護負担が心配
2. 自宅で充分な介護を受けられるかが不安
3. 介護が必要となった時の相談窓口がわからない
4. 施設や在宅サービスの種類や選び方がわからない
5. 必要となった時に希望する施設には入れるかが不安
6. 介護にどれくらいの費用が必要になるかが不安
7. 認知症になったらどうしたらいいかわからない
8. お金の管理や契約などの手続きについて頼める人がいない
9. その他 ()
10. 特に不安は無い
11. 将来のことなのでわからない

(3) あなたは在宅で医療ケアが必要になった時にどのようなことが不安ですか
(Oはいくつでも)

1. 家族に負担（肉体的・精神的）がかかる
2. 緊急時や救急時の対応ができない
3. 部屋やトイレ等住環境が整っていない
4. 経済的な負担が大きい
5. 見てくれる人（家族）がいない
6. 近くに往診してくれる医師がいない
7. 訪問看護や介護を受けやすい体制が整っていない
8. 医師・看護士の訪問が、家族の負担になる
9. お金の管理や契約などの手続きについて頼める人がいない
10. その他（
11. 特に不安はない
12. 将来のことなのでわからない

(4) 介護や医療ケアの選択を自分自身で判断できなくなったときに備え、考えたり話し合ったりしていますか (Oは1つ)

1. 自分で考えたり、家族と話し合ったりして備えている
2. 誰かと話し合ったりはしていないが、自分で考え備えている
3. これから考えていきたいが、今はまだできていない
4. 備えるつもりはない

(5) あなたに介護や医療ケアが必要になっても、住み慣れた地域で過ごし続けるために必要なことは何だと思えますか (Oは3つまで)

1. 話し相手	7. 民生委員等の定期的な訪問
2. 災害などの緊急時の避難の手助け	8. 地域の人からの支援
3. 医療機関への通院の介助	9. お弁当などの配達サービス
4. 買い物への付添い	10. 金銭管理についてのアドバイス
5. 趣味や習い事の余暇が楽しめること	11. 服薬管理などのアドバイス
6. 往診してもらえること	12. 事前に家族間で話し合うこと
13. その他（	

(6) あなたは、「終活※」について関心がありますか (Oは1つ)

1. 既に「終活」を行っている	3. 時期が来れば「終活」を行いたい
2. 近い内に「終活」を始める予定である	4. 「終活」を行うつもりはない

※終活とは、人生の最期を迎えるにあたってのさまざまな準備や人生の総括のことです

(7) あなたは、「わたしのきぼうノート」を知っていますか (Oは1つ)

1. 知っているし、実践している	3. 聞いたことはないが、関心がある
2. 聞いたことはあるが、実践していない	4. 聞いたことはなく、関心もない

■わたしのきぼうノート
北上市が独自に作成している、
生き方について話し合うためのノートです。

北上市が独自に作成している、
生き方について話し合うためのノートです。

(8) あなた自身や家族を、在宅で看取るために必要な環境や支援は何だと思えますか
(Oはいくつでも)

1. 家族の介護が必要になっても、仕事を続けられる環境があること
2. 家族の介護をしている人に対するケアが充実していること
3. 主治医による訪問診療を受けられること
4. 在宅での看取りに向けて、家族の協力が得られること
5. 今後の見通しや症状についての専門家からのアドバイスが受けられること
6. 訪問看護サービスなどの福祉サービスが利用できること
7. 家族の介護を交代してくれる人が、家族や地域の中にいること
8. 困った時に、専門知識を持った人にすぐに相談できること
9. 近所の人に悩みや不安を相談しやすい環境があること
10. 容態の変化などの緊急時への対応が明確になっていること
11. その他（

(9) 北上市は高齢者が暮らしやすいまちだと思いますか (Oは1つ)

1. 暮らしやすいと思う	3. どちらかといえば、暮らしにくいと思う
2. どちらかといえば、暮らしやすいと思う	4. 暮らしにくいと思う

(10) 今後の高齢者に対する施策として、市はどのような点に重点を置くべきだと思いますか

(○は5つまで)

1. 高齢者の生きがいづくり、ボランティア活動の推進
2. 各地域の資源を活用した、地域における福祉サービスの充実
3. 生涯を通じた健康づくりに対する支援
4. 若い時期からの、病気や介護、認知症にならないうための予防
5. 介護事業所や医療機関などの関係機関の連携強化
6. 福祉事業所を拠点とした入所者と地域の交流促進
7. 病院や診療所などの医療機関の充実
8. ホームヘルパーなどの在宅サービスの充実
9. 地域に根差した生活相談窓口の整備、充実
10. 関係機関（役所・住民・事業所・警察など）による認知症の方の見守り体制の整備
11. 特別養護老人ホームなどの施設サービスの整備
12. 高齢者に配慮した住宅の整備
13. おでかけ券（高齢者/バス券）など高齢者の外出支援策の充実
14. バリアフリーの推進によるまちづくり（段差の解消やわかりやすい標識の設置など）
15. 身近な地域における高齢者が集まる場の確保
16. 虐待防止や財産の保全を含めた高齢者の権利を守る施策
17. 高齢者に配慮した防犯・防災の拡充
18. 住民主体の地域に根差した支えあい活動の推進
19. その他（ ）
20. 特になし

問7 地域とのかかわりについて

(1) あなたは、近所付き合いをどの程度していますか (○は1つ)

1. 困ったときお互いに助け合える人がある
2. 話をする人はいないが、困ったときに助け合う人はいない
3. あいさつをする程度である
4. 近所付き合いをほとんどしていない

(2) お住まいの地域での高齢者への声かけや訪問などの活動に参加したいと思いませんか

(○は1つ)

1. 参加したい
2. 参加したくない

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いませんか (○は1つ)

(○は1つ)

1. 是非参加したい
2. 参加してもよい
3. 参加したくない
4. 既に参加している

(4) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いませんか (○は1つ)

(○は1つ)

1. 是非参加したい
2. 参加してもよい
3. 参加したくない
4. 既に参加している

【(3) または (4) で「3. 参加したくない」と回答した方のみお答えください】

(4) ① 地域での活動に参加したくない理由を教えてください (○はいくつでも)

1. 仕事などが忙しく、まったく時間がとれないから
2. 時間をとれないことはないが、時間があれば休養などにあてたいから
3. 参加したいと思う活動がないから
4. 自らの近くに活動の場がないから
5. 団体活動はわずらわしいから。一人でできる趣味などがあるから
6. どんな団体や活動があるのかわからないから
7. 職場などでサークル活動などに参加しているから
8. 健康や体力に自信がないから
9. 地域の活動には関心がないから
10. 外出する手段がないから（送迎や誰かの手助けが必要）
11. その他（ ）

問8 健康について

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか (○は1つ)

1. とてもよい
2. まあよい
3. あまりよくない
4. よくない

(2) あなたは、現在のどの程度幸せですか

「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、あてはまる点数1つに○)



(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか (〇は1つ)

1. はい 2. いいえ

(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいはむから楽しい感じがよくありましたか (〇は1つ)

1. はい 2. いいえ

(5) お酒は飲みますか (〇は1つ)

1. ほぼ毎日飲む 3. ほとんど飲まない
2. 時々飲む 4. ちどもと飲まない

(6) タバコは吸っていますか (〇は1つ)

1. ほぼ毎日吸っている 3. 吸っていたがやめた
2. 時々吸っている 4. ちどもと吸っていない

問9 認知症について

(1) 認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいますか (〇は1つ)

1. はい 2. いいえ

(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか (〇は1つ)

1. はい 2. いいえ

(3) 認知症が心配になった時、どこ・誰に相談するとよいと思いますか (〇はいくつでも)

<ol style="list-style-type: none"> 1. かかりつけ病院の医師 2. 家族や知人 3. 認知症専門病院(脳神経外科、脳神経内科、精神科等) 4. 市役所 5. 地域包括支援センター 6. 担当ケアマネジャー 7. どこに相談したらよいかわからない。または相談できる人はいない 8. その他 ()

(4) あなたは認知症に対してどのようなイメージを持っていますか (〇は1つ)

1. 認知症になっても、できないことを自ら工夫しながら、住み慣れた地域で生活できる
2. 認知症になっても、医療・介護などサポートを利用しながら、住み慣れた地域で生活できる
3. 認知症になると、身の回りのことが出来なくなり、介護施設に入所する必要がある
4. 認知症になると、周りの人に迷惑をかけてしまうので、住み慣れた地域では生活することが難しくなる
5. 認知症になると、症状が次第に進み、何もできなくなってしまう
6. わからない
7. その他 ()

(5) もし、あなたが認知症になったらしたら、どのように暮らしたいと思いますか (〇は1つ)

1. 認知症になっても、できないことを自ら工夫しながら、住み慣れた地域で生活したい
2. 認知症になっても、医療・介護などサポートを利用しながら、住み慣れた地域で生活したい
3. 介護施設に入所したい
4. 誰にも迷惑をかけたくないので、一人で暮らしたい
5. わからない
6. その他 ()

(6) 自分や大切な人が認知症になったらしたら、心配なことや不安に感じることは何ですか (〇はいくつでも)

<ol style="list-style-type: none"> 1. 身近な人への身体的・精神的な負担 2. 頼れる人の存在 3. 認知症の相談場所 4. 友人との交流や趣味などの活動の継続 5. 経済状況 6. 仕事の継続 7. 現在の住居での生活の継続 8. これからの症状や病気の進行 9. 詐欺被害 10. わからない 11. その他 ()

(7) 自分や大切な人が認知症になったとしても、安心して、希望をもって暮らしていくために大切なことは何ですか (〇はいくつでも)

1. 周りの人(職場・学校・近所など)が認知症を理解し、見守ってくれる
2. 大切な人や、信頼できる人の存在
3. 利用できる医療・介護サービスの内容を十分に理解し、今後の生活のイメージや見通しをつけることができる
4. 認知症のことや介護のことを、一緒に考え、寄り添ってくれる支援者がいる
5. 同じ立場の仲間が集い、交流できる場所がある
6. 趣味やこれまで続けてきたことを続けるためのサポートがある
7. わからない
8. その他()

(8) 北上市が実施する認知症に関する取り組みの中で、知っているものを教えてください (〇はいくつでも)

- | | |
|--|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 認知症サポーター養成講座 2. 認知症安心ガイド(ケアパス) 3. 認知症カフェ 4. 認知症地域支援推進員による相談 5. 認知症初期集中支援チーム | <ol style="list-style-type: none"> 6. オンラインケアセンターネット
(高齢者の行方不明者検索システム) 7. 自分でできる認知症の気づきチェック 8. チームオンラインサマいるの活動 9. その他() 10. 知っているものはない |
|--|--|

(9) 認知症について知りたい、学びたいと思いますか (〇は1つ)

1. 思う
2. どちらかというと思う
3. どちらかというと思うわない
4. そう思わない

【(9)で「1. 思う」「2. どちらかというと思う」と回答した方のみお答えください】

- (9) ① どのようなことを学びたいと思いますか (〇はいくつでも)
- | | |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 認知症の症状について 2. 認知症の人への対応や支援について 3. 介護の方法について 4. 利用できる介護サービスや制度について 5. 施設や事業所の情報について | <ol style="list-style-type: none"> 6. 権利擁護支援について 7. 認知症の予防について 8. 社会参加や活動の場について 9. 認知症の治療について 10. その他() |
|---|---|

問 10 成年後見制度の認識について

(1) 「成年後見制度」について知っていますか (〇は1つ)

1. 知っている
2. 聞いたことはあるがよくわからない
3. 知らない

■成年後見制度
認知症などによって判断能力が低下した場合に、その人をサポートする成年後見人を家庭裁判所が選び、選ばれた成年後見人に財産などの管理や、施設等入居の契約、市役所での各種手続き等を行う制度です。

(2) 北上市の成年後見制度の相談窓口は、市役所長寿介護課にある「北上市権利擁護支援センター」ですが知っていますか (〇は1つ)

1. 知っている
2. 知らない

(3) 今後、成年後見制度について、相談してみたいと思いますか (〇は1つ)

1. 相談したい
2. 今はまだ相談の必要はないが、いずれ相談したい
3. 相談するつもりはない
4. その他()

問 11 北上市の独自の施策について

(1) 「きたかみいきいき体操(いきいき百歳体操)」について知っていますか (〇は1つ)

1. 知っているし、やっている
2. 知っているが、やっていない
3. 知らない、聞いたことがない

<p>■北上市公式テレビ放送中 毎日1回 9時00分～9時30分</p> 	<p>■YouTube 北上市公式チャンネル https://www.youtube.com/watch?v=NCWH8GhB0Gk</p> 
--	--

(2) あなたは、どこで人生の最期を迎えたいと思っていますか (Oは1つ)

- | | |
|----------------|----------|
| 1. 自宅 | 4. わからない |
| 2. 施設 (老人ホーム等) | 5. その他 (|
| 3. 病院 |) |

(3) 市の保健福祉サービスや介護保険事業などの取組に対して、ご意見やご要望などがございますしたら、お聞かせください

■■■■以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました■■■■

- ・長時間のご協力ありがとうございました。記入もれがないか、再度お確かめください
- ・郵送で回収いただく場合、記入した調査票は切りの難事ごとなく、同封した返信用封筒に入れて、**11月20日(木)**までに投函してください
- ・返信用封筒に、この調査票のみを入れてご投函ください

用語の説明

(1) 「健康教室」や「健康相談」 保健センターや公民館等で開催される生活習慣病予防や健康づくりに関する教室や相談など
(2) 健康診査 保健センターや医療機関等で実施する問診、血圧測定、尿検査、血液検査、心電図などの総合健診
(3) がん検診 保健センターや医療機関などで実施する胃がん、子宮がん、乳がん、大腸がん、肺がんなどの検診
(4) 訪問指導 保健師、栄養士などの訪問による健康管理、栄養等の指導
(5) 歯の検診・相談 歯科医師による歯の検診や健康チェック、歯科衛生士による口腔衛生指導
(6) 配食サービス ひとりの暮らしのお年寄りや調理が困難な方に食事の宅配と安全確認をするサービス
(7) 緊急時通報システムの設置 緊急通報用の機器により、消防署などに緊急事態を知らせるサービス
(8) 介護用品の支給 介護用品 (紙おむつ、尿取りパッドなど) を支給
(9) 運動機能・栄養・口腔機能改善教室 心身の機能低下を防ぐための運動や低栄養などを改善するプログラム

3 調査票（在宅介護実態調査）

＜手法1：認定調査員による聞き取り調査用＞

★：オプショナル項目

基本調査項目+オプショナル項目 在宅介護実態調査 調査票

被保険者番号【 _____ 】

【A票の聞き取りを行った相手の方は、どなたですか】（複数選択可）

- 調査対象者本人
- 主な介護者となっている家族・親族
- 主な介護者以外の家族・親族
- 調査対象者のケアマネジャー
- その他

A票 認定調査員が、概況調査等と並行して記載する項目

問1 世帯類型について、ご回答ください（1つを選択）

- 単身世帯
- 夫婦のみ世帯
- その他

問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（1つを選択）

- ない
- 家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない
- 週に1～2日ある
- 週に3～4日ある
- ほぼ毎日ある

問8（裏面）へ

問3～問13へ

★問3 主な介護者の方は、どなたですか（1つを選択）

- 配偶者
- 子
- 子の配偶者
- 孫
- 兄弟・姉妹
- その他

★問4（回答不要項目）

問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（1つを選択）

1. 20歳未満	2. 20代	3. 30代
4. 40代	5. 50代	6. 60代
7. 70代	8. 80歳以上	9. わからない

＜手法1：認定調査員による聞き取り調査用＞

★問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください（複数選択可）

【身体介護】

- 日中の排泄
- 夜間の排泄
- 食事の介助（食へる時）
- 入浴・洗身
- 身だしなみ（洗髪・歯磨き等）
- 衣服の着脱
- 屋内の移乗・移動
- 外出の付き添い、送迎等
- 服薬
- 認知症状への対応
- 医療面での対応（経営栄養、スノー等）
- 生活援助
- 食事の準備（調理等）
- 金銭管理や生活面に必要なお手続き
- その他
3. その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）
15. その他
16. わからない

問7 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（複数選択可）

- 主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）
- 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）
- 主な介護者が転職した
- 主な介護者以外の家族・親族が転職した
- 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない
- わからない

※ 自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

● **ごから再び、全員に調査してください。**

★問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援サービスについて、ご回答ください（複数選択可）

- 配食
- 調理
- 掃除・洗濯
- 買い物（宅配は含まない）
- ゴミ出し
- 外出同行（通院、買い物など）
- 移送サービス（介護・福祉タクシー等）
- 見守り、声かけ
- サロンなどの定期的な通いの場
- その他
11. 利用していない

※ 総合事業に基づく支援サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

★問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援サービスを含む）について、ご回答ください（複数選択可）

- 配食
- 調理
- 掃除・洗濯
- 買い物（宅配は含まない）
- ゴミ出し
- 外出同行（通院、買い物など）
- 移送サービス（介護・福祉タクシー等）
- 見守り、声かけ
- サロンなどの定期的な通いの場
- その他
11. 無し

※ 介護保険サービス、介護保険以外の支援サービスともに含みます。

問10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（1つを選択）

- 入所・入居は検討していない
- 入所・入居を検討している
- すでに入所・入居申し込みをしている

※ 施設等とは、特別養老老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養老老人ホームを指します。

1

★ 問11 (回答不要項目)

★ 問12 ご本人(認定調査対象者)は、現在、訪問診療を利用していますか(1つを選択)

- 1. 利用している
 - 2. 利用していない
- ※訪問診療や在宅療養管理指導等を含みません。

★ 問13 現在、(住宅改修・福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用していますか(1つを選択)

- 1. 利用している
- 2. 利用していない

● 問13で「2.」を回答した場合は、問14も調査してください。

★ 問14 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか(複数選択可)

- 1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない
- 2. 本人にサービス利用の希望がない
- 3. 家族が介護をするため必要ない
- 4. 以前、利用していたサービスに不満があった
- 5. 利用料を支払うのが難しい
- 6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない
- 7. 住宅改修・福祉用具貸与・購入のみを利用するため
- 8. サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない
- 9. その他

● 問2で「2.」～「5.」を回答し、さらに「主な介護者が調査に同席している場合は、「主な介護者」の方にB票入のご回答をご記入をお願いしてください。

● 「主な介護者」の方が同席されていない場合は、ご本人(調査対象者の方)にご回答・ご記入をお願いしてください(ご本人にご回答・ご記入をお願いすることが困難な場合は、無回答で結構です)。

B票 主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入頂く項目

※主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入(調査票の該当する番号に○)をお願い致します。

問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください(1つを選択)

- 1. フルタイムで働いている
- 2. パートタイムで働いている
- 3. 働いていない
- 4. 主な介護者に確認しないと、わからない

※パートタイムとは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱任」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合は、被労働時間・日数等からフルタイム/パートタイムのいずれかを選択してください。

問2 問1で「1.」「2.」に回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方

について調整をしていますか(複数選択可)

- 1. 特に行っていない
- 2. 介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている
- 3. 介護のために、「休職(休休や介護休暇等)」を取ってから、働いている
- 4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
- 5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている
- 6. 主な介護者に確認しないと、わからない

★ 問3 問1で「1.」「2.」に回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか(3つまで選択可)

- 1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない
- 2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実
- 3. 制度を利用しやすい職場づくり
- 4. 労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)
- 5. 働く場所の多様化(在宅勤務・テレワークなど)
- 6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供
- 7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置
- 8. 介護をしている従業員への経済的な支援
- 9. その他
- 10. 特にない
- 11. 主な介護者に確認しないと、わからない

問4 問1で「1.」「2.」に回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていく

そうですか(1つを選択)

- 1. 問題なく、続けていく
- 2. 問題はあるが、何らかの形で続けていく
- 3. 続けていくのは、やや難しい
- 4. 続けていくのは、かなり難しい
- 5. 主な介護者に確認しないと、わからない

⇒ 皆様、裏面へお進みください

＜手法Ⅰ：認定調査員による聞き取り調査用＞

● ここから再び、全員の方にお伺いします。

問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください
（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで選択可）

【身体介護】

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1. 日中の排泄 | 2. 夜間の排泄 |
| 3. 食事の介助（食べる時） | 4. 入浴・洗身 |
| 5. 身だしなみ（洗顔・歯磨き等） | 6. 衣服の着脱 |
| 7. 屋内の移乗・移動 | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服薬 | 10. 認知症状への対応 |

【生活援助】

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 11. 医療面での対応（経営栄養、スプレー等） | 13. その他の家事（掃除、洗濯、買い物等） |
| 12. 食事の準備（調理等） | |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き | |
| 【その他】 | |
| 15. その他 | 16. 不安に感じていることは、特になし |
| 17. 主な介護者に確認しないと、わからない | |

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

北上市介護保険事業に関する実態調査
(介護予防・日常生活圏域二一ズ調査及び
第2号被保険者調査、在宅介護実態調査)
－調査結果報告書－

発行年月：令和8年3月

発行：北上市 福祉部 長寿介護課

〒024-8501 岩手県北上市芳町 1-1 本庁舎 1階

電話番号：0197-72-8217